

第5次三鷹市基本計画策定に向けた  
市民満足度調査

報告書

令和5年3月

三 鷹 市



## はじめに

このたび、『第5次三鷹市基本計画』の策定や関連する個別計画の改定等に向けて、現行の各施策に対する市民の皆様への満足度を把握し、行政サービスや施策に関するご意向や多様なご意見を伺うために行った「第5次三鷹市基本計画策定等に向けた市民満足度調査」の結果を取りまとめた報告書を発行いたします。

「市民満足度調査」は、市民の皆様への市政に関する思いや考え、評価等を伺うために、基本計画の策定及び改定の前に行っています。本調査は、住民基本台帳から無作為で選んでいただいた満15歳以上の市民の皆様3,500人に調査票を郵送し、1,529人の方に回答していただきました。

本調査では、前回実施した平成30(2018)年度の調査と同様の調査項目についてお聞きし、三鷹市政についての市民の皆様への満足度、ご意向や評価等についての現状や経年変化を分析しています。また、『第5次三鷹市基本計画』の数値目標の設定に向けて、市の施策に関する質問や個別のテーマに関する質問を加えて、多角的なテーマに関する市民の皆様のお考えや満足度などを数値化しています。回答については、性別・年齢・居住地区などの基本的属性との相関関係を確認するクロス集計を実施しています。

地域課題解決のためには、地域の暮らしの実態を反映した施策が必要であり、「市民満足度調査」の結果は検討の基礎となる極めて大切なデータです。令和6(2024)年度に予定している『第5次三鷹市基本計画』の策定及び関連する個別計画の改定に当たって、この調査結果をはじめとした様々な情報と地域課題を市民の皆様と共有することが大切です。そして、市民の皆様への暮らしやすさの向上を図りつつ、市民の皆様が三鷹市に住み続けたい、三鷹市で活動していきたいと感じていただけるまちづくりを目指して、丁寧に基本計画等の策定や改定作業に取り組んでいきたいと考えています。

結びに、今回の調査に回答していただきました市民の皆様へ心から感謝申し上げますとともに、本報告書が市民の皆様をはじめ、関係行政機関や企業等の皆様にも役立てていただけることを心から願っています。

令和5(2023)年3月

三鷹市長 河村 孝



# 目次

|     |                             |    |
|-----|-----------------------------|----|
| I   | アンケート調査の概要                  | 1  |
| II  | 調査結果の概要                     | 4  |
| III | 回答者の属性                      | 10 |
| IV  | 調査結果                        | 14 |
| 1   | 三鷹市での今後の定住意向                | 14 |
| (1) | 三鷹市での今後の定住意向                | 14 |
| (2) | 三鷹市での定住意向の理由                | 19 |
| (3) | 三鷹市からの転出意向の理由               | 24 |
| 2   | 三鷹市のコミュニティ創生施策やご近所づきあい、地域活動 | 26 |
| (1) | コミュニティ創生施策への満足度             | 26 |
| (2) | 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み        | 30 |
| (3) | 地域活動の参加状況                   | 38 |
| (4) | 現在行っている活動と今後行いたい活動          | 42 |
| (5) | 地域活動に参加する条件                 | 50 |
| 3   | 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度 | 55 |
| (1) | 三鷹市政の満足度                    | 55 |
| (2) | 三鷹市政の満足度の理由                 | 58 |
| (3) | 三鷹市役所の行政機関としての信頼度           | 59 |
| (4) | 三鷹市役所に期待すること                | 62 |
| 4   | 平和、人権、国際化等                  | 63 |
| (1) | 国籍や文化が異なる市民等との関係構築          | 63 |
| (2) | 平和施策の効果                     | 65 |
| (3) | 人権侵害の体験                     | 67 |
| (4) | 性別等による不利益の体験等               | 69 |
| 5   | 農業、産業、商業                    | 71 |
| (1) | 農地の大切さ                      | 71 |
| (2) | 市内産業の市の魅力向上等への貢献            | 73 |
| (3) | 日ごろの地域の商店（街）利用状況            | 75 |
| (4) | 消費者トラブル経験                   | 78 |
| 6   | 都市整備、住環境                    | 80 |
| (1) | 道路の通行のしやすさ                  | 80 |

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| (2) 居住地域の自然環境と生活環境の調和感          | 83  |
| (3) ごみの減量やリサイクルへの取り組み           | 86  |
| (4) 居住地域の住環境の良好さ                | 88  |
| (5) 居住地域の防犯面の安心感                | 91  |
| (6) 市内の移動の円滑さ                   | 94  |
| (7) 豪雨時の浸水被害などへの不安感             | 96  |
| <b>7 健康・福祉</b>                  | 98  |
| (1) 「民生委員・児童委員」の役割認知            | 98  |
| (2) 高齢者の暮らしやすさ                  | 101 |
| (3) 障がいのある人の暮らしやすさ              | 104 |
| (4) 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ           | 107 |
| (5) 日ごろの健康の維持・増進への取り組み          | 110 |
| <b>8 子ども・教育</b>                 | 111 |
| (1) 子どもの人権尊重                    | 111 |
| (2) 子育て世帯の暮らしやすさ                | 114 |
| (3) 小学校・中学校の教育の充実               | 117 |
| (4) 市立学校施設の利用状況                 | 120 |
| <b>9 市（市役所）</b>                 | 123 |
| (1) デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度      | 123 |
| (2) 三鷹の魅力のPRの十分さ                | 125 |
| (3) 市民の意見の市政への反映                | 126 |
| (4) 必要な市の情報取得                   | 128 |
| <b>10 日頃の防災意識や行動</b>            | 129 |
| (1) 日頃の地震対策                     | 129 |
| <b>11 環境に対する意識や行動</b>           | 133 |
| (1) 日頃の環境に配慮した取り組み              | 133 |
| <b>12 ライフ・ワーク・バランス</b>          | 137 |
| (1) 「生活と仕事の調和（ライフ・ワーク・バランス）」の認知 | 137 |
| <b>13 男女平等に関する考え</b>            | 139 |
| (1) 家庭における役割分担                  | 139 |
| (2) 男女平等に関する意識                  | 142 |
| <b>14 子育て支援施策に対する意識</b>         | 148 |
| (1) 子ども・子育て施策への満足度              | 148 |
| (2) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策   | 150 |
| <b>15 健康に対する意識や行動</b>           | 157 |
| (1) 健康診断の受診有無                   | 157 |
| (2) 健康診断の受診場所                   | 158 |
| (3) 健康診断を受診しない理由                | 160 |

|            |                            |     |
|------------|----------------------------|-----|
| <b>16</b>  | <b>スポーツに対する意識や活動</b>       | 163 |
| (1)        | スポーツを行う頻度                  | 163 |
| (2)        | スポーツを行わない理由                | 166 |
| (3)        | 週1回程度、スポーツをするための環境         | 169 |
| <b>17</b>  | <b>芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動</b> | 172 |
| (1)        | 芸術・文化の鑑賞・体験頻度              | 172 |
| (2)        | 芸術・文化の鑑賞・体験を行わない理由         | 174 |
| (3)        | 生涯学習活動を行う頻度                | 177 |
| (4)        | 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無    | 179 |
| (5)        | 生涯学習活動を行わない理由              | 181 |
| (6)        | 今後行いたい活動                   | 184 |
| (7)        | 三鷹市立図書館利用頻度                | 191 |
| (8)        | 三鷹市立図書館を利用しない理由            | 194 |
| (9)        | 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス   | 198 |
| <b>資料編</b> |                            | 204 |
|            | 調査票                        | 204 |

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

「第5次三鷹市基本計画(令和6～9年度)」策定の基礎資料とするため、現行の各施策に対する市民の満足度を把握するとともに、多様な市民意見等を収集するための調査を実施した。

## 2 調査方法

### (1) 調査方法

郵送配布・郵送もしくは Web による回収

### (2) 調査対象と抽出方法

市内在住の満 15 歳以上の中から、住民基本台帳をもとに無作為に抽出した。

### (3) 調査期間

令和4年 10 月 13 日～11 月 14 日

### (4) 調査対象サンプル数

・標本数 3, 500

・総回収数 1, 530 (郵送 1, 136(うち、無効票 1) / Web 394)

・有効回収数 1, 529

・有効回収率 43. 7%

## 3 調査項目

実施方針に即して、以下のような調査項目を設定した。

- (1) 回答者の属性
- (2) 三鷹市での今後の定住意向
- (3) 三鷹市のコミュニティ創生施策やご近所づきあい、地域活動
- (4) 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度
- (5) 平和、人権、国際化等
- (6) 農業、産業、商業
- (7) 都市整備、住環境
- (8) 健康・福祉
- (9) 子ども・教育
- (10) 市(市役所)
- (11) 日頃の防災意識や行動
- (12) 環境に対する意識や行動
- (13) ライフ・ワーク・バランス
- (14) 男女平等に関する考え
- (15) 子育て支援施策に対する意識
- (16) 健康に対する意識や行動



- (17) スポーツに対する意識や活動
- (18) 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

#### 4 標本誤差

下記は無作為抽出の標本誤差算出の数式である。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

$\left[ \begin{array}{l} N=\text{母集団の大きさ(15歳以上人口)} \\ n=\text{回答数(1,529)} \\ P=\text{回答の比率} \end{array} \right]$

今回の調査結果の標本誤差は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。  
 回答数が 1,529 人の設問の誤差の範囲は、最大で±2.6%となる。

表 I-1 標本誤差早見表

| 基数 (n) |       | 回答比率 (p) | 10%または<br>90%前後 | 20%または<br>80%前後 | 30%または<br>70%前後 | 40%または<br>60%前後 | 50%前後   |
|--------|-------|----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------|
|        |       |          |                 |                 |                 |                 |         |
| 総数     |       | 1,529    | ± 1.5%          | ± 2.0%          | ± 2.3%          | ± 2.5%          | ± 2.6%  |
| 性別     | 男性    | 632      | ± 2.4%          | ± 3.2%          | ± 3.6%          | ± 3.9%          | ± 4.0%  |
|        | 女性    | 877      | ± 2.0%          | ± 2.7%          | ± 3.1%          | ± 3.3%          | ± 3.4%  |
| 年代     | 10代   | 41       | ± 9.4%          | ± 12.5%         | ± 14.3%         | ± 15.3%         | ± 15.6% |
|        | 20代   | 100      | ± 6.0%          | ± 8.0%          | ± 9.2%          | ± 9.8%          | ± 10.0% |
|        | 30代   | 177      | ± 4.5%          | ± 6.0%          | ± 6.9%          | ± 7.4%          | ± 7.5%  |
|        | 40代   | 268      | ± 3.7%          | ± 4.9%          | ± 5.6%          | ± 6.0%          | ± 6.1%  |
|        | 50代   | 304      | ± 3.4%          | ± 4.6%          | ± 5.3%          | ± 5.6%          | ± 5.7%  |
|        | 60代   | 249      | ± 3.8%          | ± 5.1%          | ± 5.8%          | ± 6.2%          | ± 6.3%  |
|        | 70代   | 240      | ± 3.9%          | ± 5.2%          | ± 5.9%          | ± 6.3%          | ± 6.5%  |
|        | 80代以上 | 144      | ± 5.0%          | ± 6.7%          | ± 7.6%          | ± 8.2%          | ± 8.3%  |

※本表の計算式の信頼度は 95%である。

#### 5 報告書の見方

- (1) 回答の比率はその設問の回答数を 100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0%にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計比率も図中の数字が一致しない場合がある。  
 (例: 14 頁 住みたい(計)[93.1%]=これからも住みたい[64.2%]+当分は住みたい[29.0%])
- (2) 複数回答の設問は、その設問の回答数を基数として回答比率を算出しているため、すべての比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- (3) 設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。
- (4) 設問の回答数(基数)は「n」で表示している。回答数が 30 未満のものは誤差が大きくなるため、参考値とする。

## 6 用語説明

- (1) 「コミュニティ創生施策」の主な取り組みは以下である。
  - ・地域ケアネットワーク(7か所)の活動支援
  - ・町会・自治会や住民協議会等の地域活動の活性化支援
  - ・公共施設等へのデジタル(Wi-Fi)環境の整備
  - ・「市民参加でまちづくり協議会(Machikoe(マチコエ))」による市民参加の実践
  - ・ボランティアポイント・地域通貨の導入に向けた取り組み
  - ・旧どんぐり山施設を、在宅医療・介護を推進する研究・人財育成の拠点とする「福祉 Labo どんぐり山(仮称)」プロジェクト
  - ・スクール・コミュニティの創造に向けて、学校を地域の共有地「コモンズ」としての移行を目指す学校3部制に向けた取組
- (2) 「子ども・子育て施策」の主な取り組みは以下である。
  - ・子ども・子育て基金の創出
  - ・保育園待機児童者数 令和4年度ゼロ
  - ・保育士等キャリアアップ、宿舍借り上げ助成の対象の拡充による保育従事者の働く環境の向上
  - ・ゆりかご面接をはじめとした産前・産後サポート支援事業
  - ・学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み
  - ・新たな子育て支援サイト・アプリの構築による情報発信、相談体制の強化など、子育て環境の整備
  - ・子どものいる家庭に対する宅食・見守り支援事業
- (3) 「スポーツ」には、サッカー、野球等の競技スポーツだけでなく、健康・体力の保持増進を目的としたウォーキング、散歩(犬の散歩等を含む)、体操、ヨガ、太極拳等の軽い運動や野外活動としてのハイキングや登山、スキーなどを含む。
- (4) 「芸術・文化」は、音楽、演劇、舞踊、映画、アニメーション、マンガ、美術、芸能、文芸などさまざまな分野で、鑑賞、体験などを行うことにより、自分の興味や知的好奇心を高め、感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものを想定している。
- (5) 「生涯学習」は、人が生涯を通じて、各時期の興味や必要に応じて、自分の成長や生活の向上、社会のために自ら進んで行うさまざまな学習のこと。ボランティアや趣味の活動も含む。
- (6) 「三鷹市立図書館」は、三鷹図書館(本館)、三鷹駅前図書館、東部図書館、西部図書館、南部図書館、移動図書館ひまわり号のことをいう。

## II 調査結果の概要

「II 調査結果の概要」において、統計数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとした。

| 例          | 表現       |
|------------|----------|
| 70.1～70.9% | 約7割      |
| 71.0～72.9% | 7割強      |
| 73.0～74.9% | 7割台半ば近く  |
| 75.0～75.9% | 7割台半ば    |
| 76.0～77.9% | 7割台半ばを超え |
| 78.0～78.9% | 8割近く     |
| 79.0～79.9% | 8割弱      |

### 1 三鷹市での今後の定住意向

三鷹市での今後の定住意向は、「これからも住み続けたい」が6割台半ば近くを占め、「当分は住みたい」も含めると、三鷹市での今後の定住意向は9割台半ば近くである。過去の調査結果と比較すると、微差ではあるが過去最高値である。

三鷹市での定住意向の理由としては、「住環境が良い」、「自然環境が良い」が6割以上、「交通の便が良い」、「持ち家がある」が5割以上である。

三鷹市からの転出意向の理由は、「交通の便が悪い」、「買い物などに不便」が3割以上で高い。

### 2 三鷹市のコミュニティ創生施策やご近所づきあい、地域活動

コミュニティ創生施策への満足度は、「ふつう」が6割強を占める。「満足している(計)」は2割強、「不満(計)」は1割台半ば近くである。

市が推進すべきコミュニティ創生の取り組みは、「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」が4割台半ばを超え、「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進」、「地域の居場所づくりなどを行う地域ケアネットワーク事業の推進」が4割前後である。

地域活動の参加状況は、「活動している」と「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」は共に1割強である。「活動していない」が7割台半ば近くを占める。過去の調査結果と比較しても伸長傾向である。

現在行っている活動と今後行いたい活動は、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(3割台半ば近く)」と「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(2割台半ば近く)」が上位2項目である。

地域活動に参加する条件は、「誰もが参加しやすい条件や雰囲気」、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」が4割を超えて高い。

### 3 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

三鷹市政の満足度は、「まあ満足している」が6割台半ばを超えて最も高く、「満足(計)」は7割台半ばを超える。「不満(計)」は約2割である。

三鷹市政の満足な点の理由として、「施策の成果が出ている／安定した市政運営(57件)」、「職員対応がよい／市長が信頼できる(52件)」が50件以上。「行政サービス(医療・福祉・ごみ・ワクチン等)が行き届いている」は48件であるが、この中にはコロナ禍関連の記述(22件)が含まれている。また、「広報誌等による積極的な情報公開/市民の意見を吸い上げている(47件)」では、【広報みたか】に関する記述が目立った。不満な点は「施策の内容・方向性・成果等に不満(44件)」、「情報提供が少ない／市民の意見が反映されていない(36件)」、「行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満/地域格差がある(34件)」が30件以上。満足点、不満点とも「施策」に関する回答が最上位を占め、平成30年の調査結果と変わらない。

三鷹市役所の行政機関としての信頼度は、「まあ信頼できる」が7割近くで最も高い。「信頼できる(計)」は9割近くに達する。「信頼できない(計)」は1割近くである。前述の三鷹市政の満足度よりさらに三鷹市役所の行政機関としての信頼度の方が高い。過去の調査結果と比較すると、若干だが「信頼できる」が伸長している。

三鷹市役所に期待することや意見・要望は、「公共施設(57件)」に関する意見・要望が最も多く、この中には「市庁舎の建て替え、古い」といった記述が20件含まれる。「市政(47件)」、「情報公開(47件)」、「職員の対応・態度(40件)」についても多く挙げられた。

#### 4 平和、人権、国際化等

国籍や文化が異なる市民等との関係構築は、「築けている(計)」は3割台半ば近くである。

平和施策の効果は、「どちらともいえない」が5割強を占め、「そう思う」は1割未満にとどまる。「そう思う(計)」が3割強である。

人権侵害の体験は、「ない」が7割台半ばを超え、「ある」は1割未満である。

性別等による不利益の体験等は、「ない」が約7割を占め、「ある」は1割台半ばを超える程度である。

#### 5 農業、産業、商業

農地の大切さは、「大切である」が5割台半ばを超え、「大切である(計)」は9割近くに達する。

市内産業の市の魅力向上等への貢献は、「そう思う」が3割弱、「そう思う(計)」が6割台半ば近くである。「そう思わない(計)」は1割弱である。

日ごろの地域の商店(街)利用状況は、「よく利用している」が3割台半ば、「利用している(計)」は7割強である。「利用していない(計)」も約2割存在する。

消費者トラブルの経験は、「ない」が9割強を占め、「ある」は1割未満である。

#### 6 都市整備、住環境

道路の通行のしやすさは、「そう思う(計)」が4割近くに対し、「そう思わない(計)」も約4割であり拮抗している。しかし、「そう思う(1割弱)」より「そう思わない(2割弱)」の方が約10ポイント高く、強弱は鮮明である。

居住地域の自然環境と生活環境の調和感は、「そう思う(計)」が7割台半ば近く、「そう思わない(計)」が1割弱である。

ごみの減量やリサイクルへの取り組みは、「よく取り組んでいる」が4割台半ばを超える。「取り組んでいる(計)」は8割台半ばを超える。

居住地域の住環境の良好さは、「そう思う」が3割台半ばを超え、「そう思う(計)」では8割台半ばを超える。「そう思わない(計)」は1割に満たない。

居住地域の防犯面の安心感は、「そう思う」が2割強、「そう思う(計)」が7割強である。「そう思わない(計)」は1割未満である。

市内の移動の円滑さは、「そう思う」が約3割で、「そう思う(計)」は7割近い。「そう思わない(計)」は1割台半ばを超える程度である。

豪雨時の浸水被害などへの不安感を「感じる」が1割未満、「感じる(計)」が2割強である。「感じない(計)」が6割台半ば近くである。

## 7 健康・福祉

「民生委員・児童委員」の役割の認知状況は、「知っている」が3割台半ば近く、「聞いたことはあるが役割は知らない(5割近く)」も含めると「認知(計)」は8割台半ば近くである。

高齢者の暮らしやすさについては、「そう思う」が1割未満で、「そう思う(計)」が5割近くである。「そう思わない(計)」が約1割である。

障がいのある人の暮らしやすさは、「どちらともいえない」が5割台半ばを占める。「そう思う」は1割未満であり、「そう思う(計)」も2割台半ばを超える程度にとどまる。「そう思わない(計)」は1割台半ばである。

経済的な困窮状態下での暮らしやすさは、「どちらともいえない」が5割台半ばを超える。「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」は2割強で拮抗している。

日ごろの健康の維持・増進への取り組みは、「取り組んでいる(計)」が7割強である。「取り組んでいない(計)」は1割台半ばを超える程度である。

## 8 子ども・教育

子どもの人権尊重は、「そう思う(計)」は5割台半ばを超える。「そう思わない(計)」は1割未満である。

子育て世帯の暮らしやすさは、「そう思う(計)」は6割近く、「そう思わない(計)」は1割未満である。

小学校・中学校の教育の充実は、「そう思う(計)」は5割弱、「そう思わない(計)」は1割未満である。

市立学校施設の利用状況は、「まったく利用していない」が6割台半ばを超える。「利用している(計)」は1割強にとどまり、「利用していない(計)」は約8割に達する。

## 9 市(市役所)

デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度は、「どちらともいえない」が5割台半ばを占める。「満足している(計)」は2割台半ば近く、「満足していない(計)」は1割台半ばを超える程度である。

三鷹の魅力のPRの十分さは、「そう思う(計)」は1割台半ばを超える程度。「そう思わない(計)」は4割強である。

市民の意見の市政への反映は、「どちらともいえない」が約6割を占める。「そう思う(計)」は1割台半ばを超える程度、「そう思わない(計)」は約2割である。

必要な市の情報取得については、「得られている(計)」は6割近くを占める。「得られていない(計)」は1割台半ば近くである。

## 10 日頃の防災意識や行動

日頃の地震対策で上位3項目は「普段から食べている食品を少し多めに買い置きして、賞味期限が切れる前に食べ、それを買って足すという日常備蓄の考えを取り入れている」、「発災後自宅でも最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている」、「避難するときに携帯する非常用持出袋(1日分程度の食料・水・常備薬など)を用意している」で、共に4割以上である。「特に行っていない」は1割強である。

## 11 環境に対する意識や行動

日頃の環境に配慮した取り組みとして、「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」、「シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している」が8割以上である。「特に行っていない」は1.7%にとどまる。平成30年の調査結果との比較は、項目の追加や文言変更があり単純比較はできないが、「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」は明確に伸長した。また、「特に行っていない」も微減傾向で、更なる改善がみられた。

## 12 ライフ・ワーク・バランス

「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知については、18歳以上を対象に再集計した。「言葉も内容も知っている」が4割台半ばである。「認知(計)」は8割近くである。過去の調査結果と比較すると、「言葉も内容も知っている」が伸長し、「言葉も内容も知らない」が低下傾向である。「認知(計)」は、平成27年は6割台半ばであり、13.4ポイント伸長している。

## 13 男女平等に関する考え

家庭での【(ア)家事】、【(イ)育児】、【(ウ)介護】における役割分担について聴取した。3項目共に「男女が同じ程度」が過半数であるが、残り半数弱の構成比は、【(ア)家事】、【(イ)育児】については「女性(計)」の方が高い。この2項目については「男性(計)」は1%前後にとどまる。【(ウ)介護】についても若干「女性(計)」の方が高いが、「女性(計)」も1割近くにとどまる。代わりに「家族以外(民間・行政サービスを含む。)が担う」が1割台半ばに高まっている。また「わからない」も1割台半ば近くまで増加している。

男女平等に関する意識で「平等になっている」が高いのは、【(ウ)学校教育の場で(約4割)】と【(ア)家庭の中で(3割台半ばを超える)】である。「男性優遇(計)」が高いのは、【(オ)政治の場で(7割台半ば近く)】、【(キ)(6割台半ば近く)】。全項目で「女性優遇(計)」より「男性優遇(計)」の方が高い。

## 14 子育て支援施策に対する意識

子ども・子育て施策への満足度は、「ふつう」が5割台半ばを超える。「満足(計)」は2割強。「不満(計)」は1割未満。「無回答」も1割台半ば近く存在する。

三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策は、「子育てと仕事の両立ができる職場づくり(4割台半ば近く)」が最も高く、「保育園、学童保育所の待機児童解消」、「奨学金制度などの経済的支援」等が3割台半ばを超えて続く。上位6項目が3割以上である。

## 15 健康に対する意識や行動

健康診断の受診有無は、「受けている」が8割台半ば近く、「受けていない」が1割台半ばである。

健康診断の受診場所は、「勤務先・通学先の健康診査で」が6割弱で最も高い。次いで「市が実施する健康診査(特定健康診査など)」が3割台半ば近くである。

健康診断を受診しない理由としては、「心身の調子が悪くなったら受ければ良いと思うから」が約2割で最上位である。「その他」も約2割だが、コロナ禍の影響や通院している等の理由が大半である。「特に理由はない」は1割台半ばである。

## 16 スポーツに対する意識や活動

スポーツを行う頻度は、18歳以上を対象に再集計した。「1回も行っていない」が2割弱で最も高い。「週3日以上」～「週に1日」はそれぞれ1割台半ば前後である。

スポーツを行わない理由は、18歳以上を対象に再集計した。「学校や仕事で忙しくて時間がない」、「きっかけがない」が2割以上、「特に理由はない」は1割台半ばである。

週1回程度、スポーツをするための環境は、18歳以上を対象に再集計した。「個人で気軽にできるスポーツのメニューがあれば良い」が3割台半ばを超えて最も高い。次いで「家や職場の近くにスポーツができる施設や場所があれば良い(3割台半ば近く)」が続く。「特になし」は2割近くである。

## 17 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

芸術・文化の鑑賞・体験頻度は「1回も行っていない」が2割台半ばで最も高い。次に「年に1～3日(2割強)」が続き、「鑑賞・体験(計)」は7割強である。

芸術・文化の鑑賞・体験を行わない理由の最上位項目は「きっかけがない(約3割)」で、「学校や仕事で忙しくて時間がない」が2割強で続いている。「特に理由はない」も2割近く存在する。

生涯学習活動を行う頻度は、18歳以上を対象に再集計した。「1回も行っていない」が4割台半ばを超える。活動を行っている中では、「年に1～3日」、「1か月に1～3日」が1割を超える程度で、「活動(計)」は5割弱である。平成30年の調査結果と比較すると、「活動(計)」が5.7ポイント伸長した。

生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無は、18歳以上を対象に再集計した。生涯学習の成果の活かし方として「自分の人生を豊かにしている」が7割台半ば近くとなっている。「家庭生活や日常生活に活かしている」が3割強で続く。

生涯学習活動を行わない理由は、18歳以上を対象に再集計した。「きっかけがない(4割近く)」が最上位項目である。

今後行いたい【芸術・文化の鑑賞・体験】活動は、18歳以上を対象に再集計した。「コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞」が5割台半ばを超え最も高い。次いで「映画館での映画鑑賞(アニメーション作品を除く)」、「美術館での絵画鑑賞」、「劇場などでの演劇、舞踊(ダンス)、ミュージカルの鑑賞」などが4割台で高い。

今後行いたい【生涯学習活動】は、18歳以上を対象に再集計した。「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)」が5割台半ば近くで最も高い。「教養的なもの(歴史、文学、哲学など)」、「家庭生活に役立つ技術に関すること(料理、洋裁、収納整理など)」が3割以上で続く。

三鷹市立図書館利用頻度は、「1回も利用していない」が6割強を占め、「利用(計)」は3割台半ばを超える程度である。利用者の中では、「年に1～3日」が1割台半ば近くで最も高い。

三鷹市立図書館を利用しない理由は、「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」が3割台半ばを超えて最も高い。次いで「情報収集はインターネットで行う」、「図書館サービスの拠点が近くにないため利用できない」が2割台で高い。

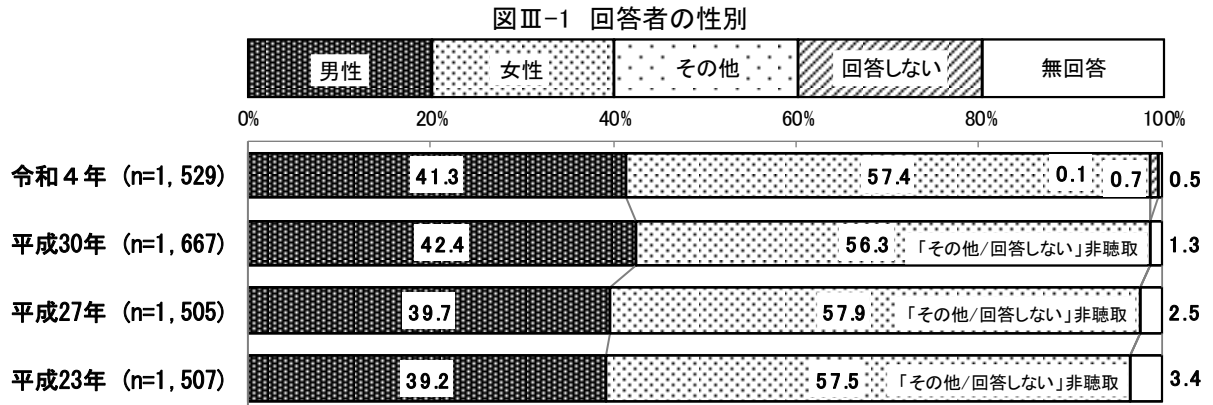
三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービスは、「特になし(2割台半ば近く)」を除くと、「閲覧席(資料の閲覧や研究のために利用する席)の拡充」、「自習室や予約制の学習室など閲覧席以外の席の拡充」、「蔵書構成・蔵書冊数の充実」の順に2割台で高い。



### Ⅲ 回答者の属性

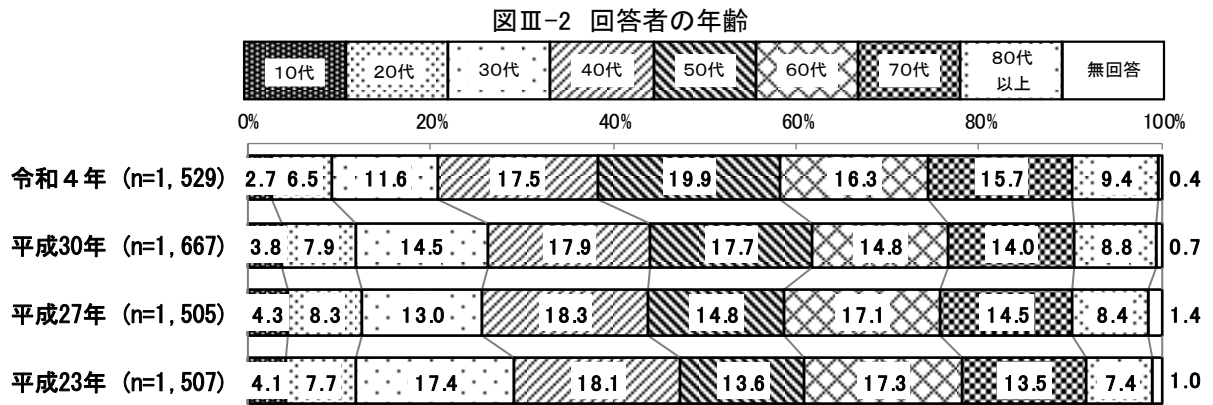
#### 1 回答者の性別

男性が41.3%、女性が57.4%である。  
過去の調査結果と比較すると、平成30年水準である。



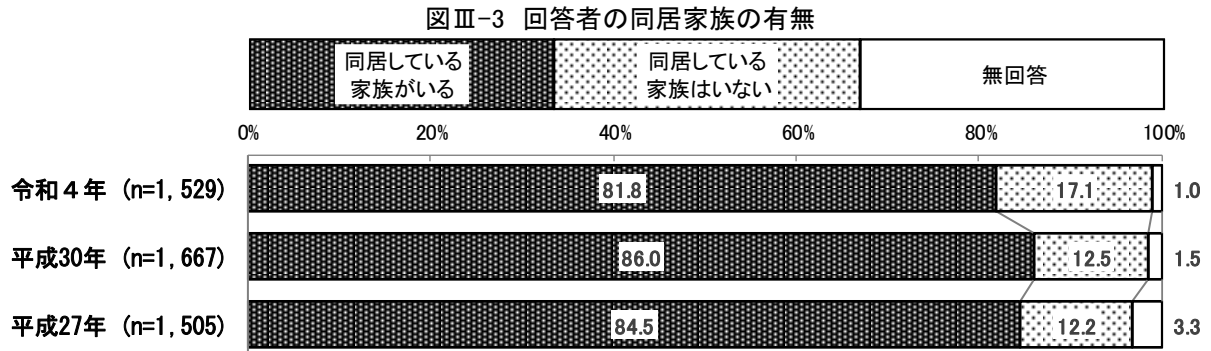
#### 2 回答者の年齢

「50代」が19.9%で最も高く、次いで「40代(17.5%)」が高い。逆に「10代」は2.7%にとどまる。  
過去の調査結果と比較すると、50代は毎回伸長しており、逆に30代以下は毎回減少している。



### 3 回答者の同居家族の有無

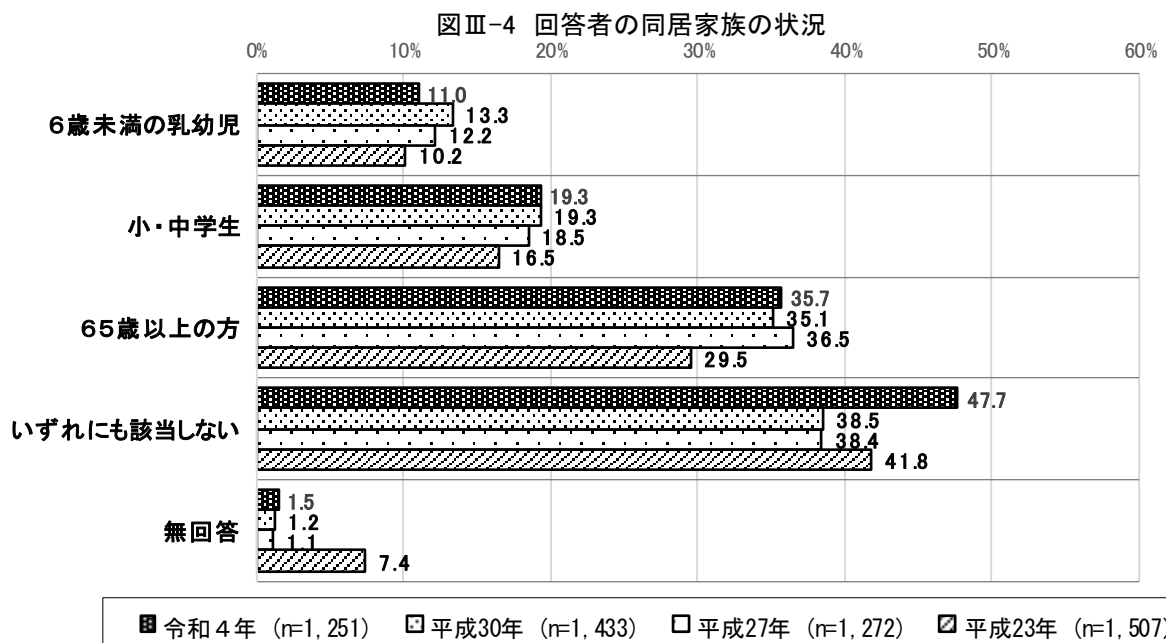
「同居している家族がいる」が81.8%、「同居している家族はいない」が17.1%である。過去の調査結果と比較すると、「同居している家族はいない」が毎回伸長している。



### 4 回答者の同居家族の状況

上記3で「同居している家族がいる」と回答した人に同居家族の状況を聞いたところ、「いずれにも該当しない」が47.7%で最も高く、次いで「65歳以上の方(35.7%)」が高い。「小・中学生」は19.3%、「6歳未満の乳幼児」は11.0%である。

過去の調査結果と比較すると、「いずれにも該当しない」が最も高い。

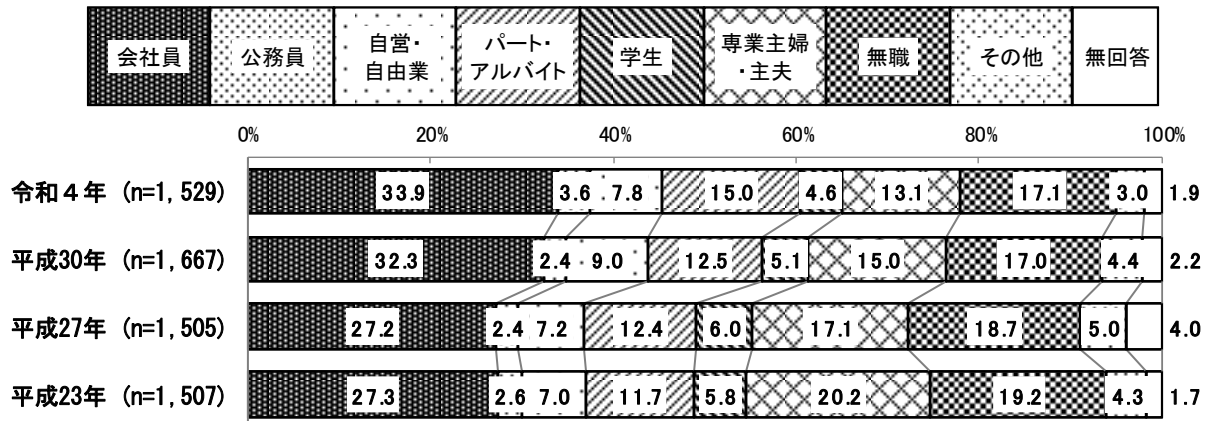


## 5 回答者の職業

「会社員」が 33.9%で最も高い。次いで「無職(17.1%)」、「パート・アルバイト(15.0%)」、「専業主婦・主夫(13.1%)」が 10%以上である。

過去の調査結果と比較すると、毎回「専業主婦・主夫」が減少しており、逆に「会社員」「パート・アルバイト」は伸長している。

図Ⅲ-5 回答者の職業



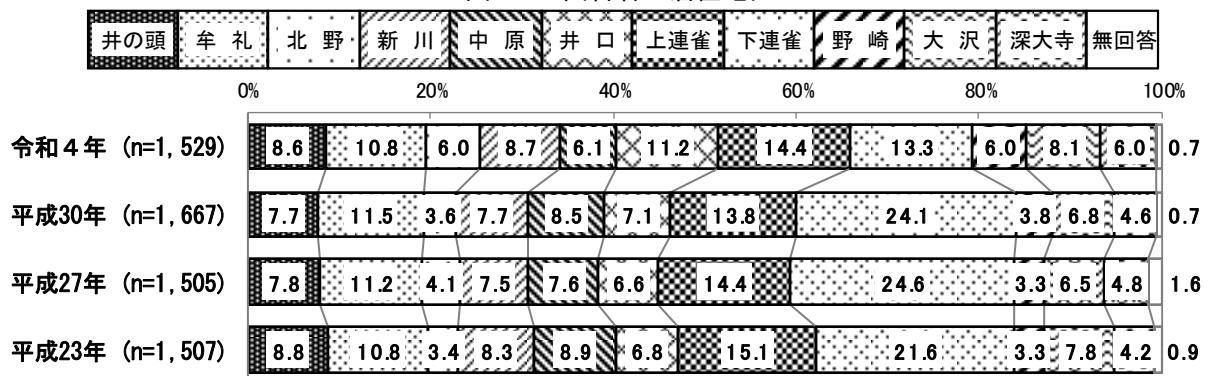
## 6 回答者の居住地区

「上連雀(14.4%)」、「下連雀(13.3%)」、「井口(11.2%)」、「牟礼(10.8%)」が 10%以上である。

過去の調査結果と比較すると、過去3回は「下連雀」が 20%以上を占めていたが、今回は 13.3%にとどまった。

三鷹市地区別人口比率と比較すると、「下連雀」は乖離している。

図Ⅲ-6 回答者の居住地区



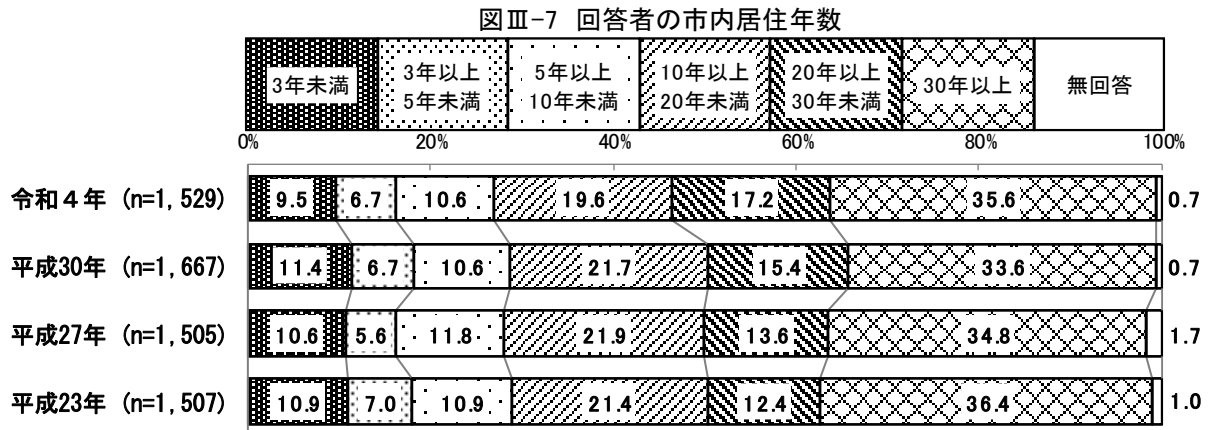
【参考資料】三鷹市地区別人口比率(令和4年11月1日現在)



## 7 回答者の市内居住年数

「30年以上」が35.6%で最も高い。次いで「10年以上20年未満」(19.6%)、「20年以上30年未満」(17.2%)が高い。

過去の調査結果と比較すると、「20年以上」が増加傾向である。



## IV 調査結果

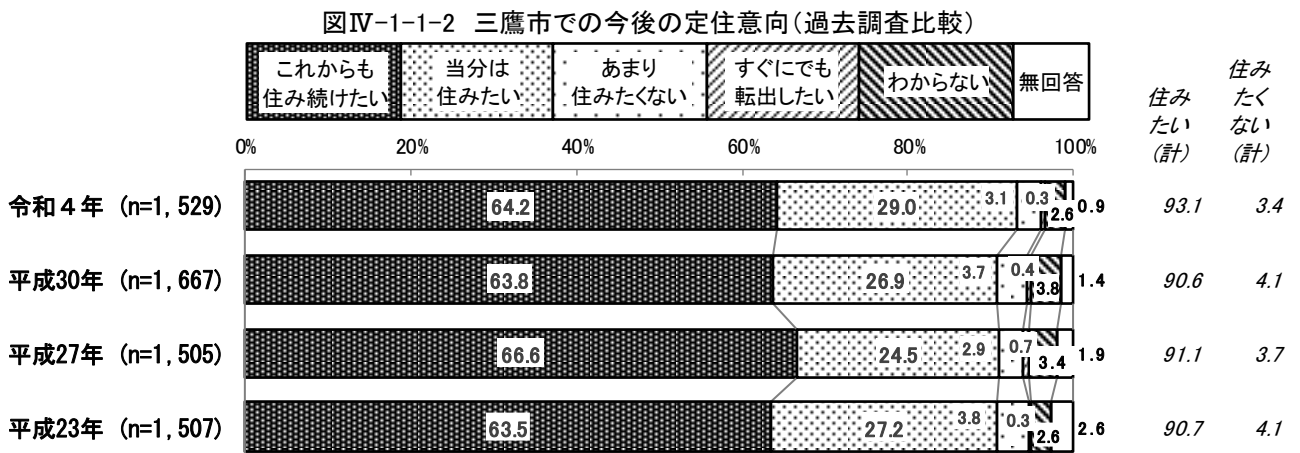
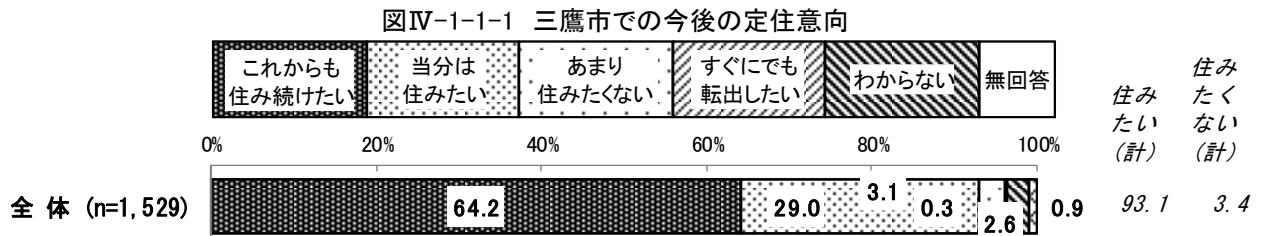
### 1 三鷹市での今後の定住意向

#### (1) 三鷹市での今後の定住意向

問1:あなたは三鷹市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「これからも住み続けたい」が 64.2%を占め、「住みたい(計) (「これからも住み続けたい」+「当分は住みたい)」では 93.1%を占める。

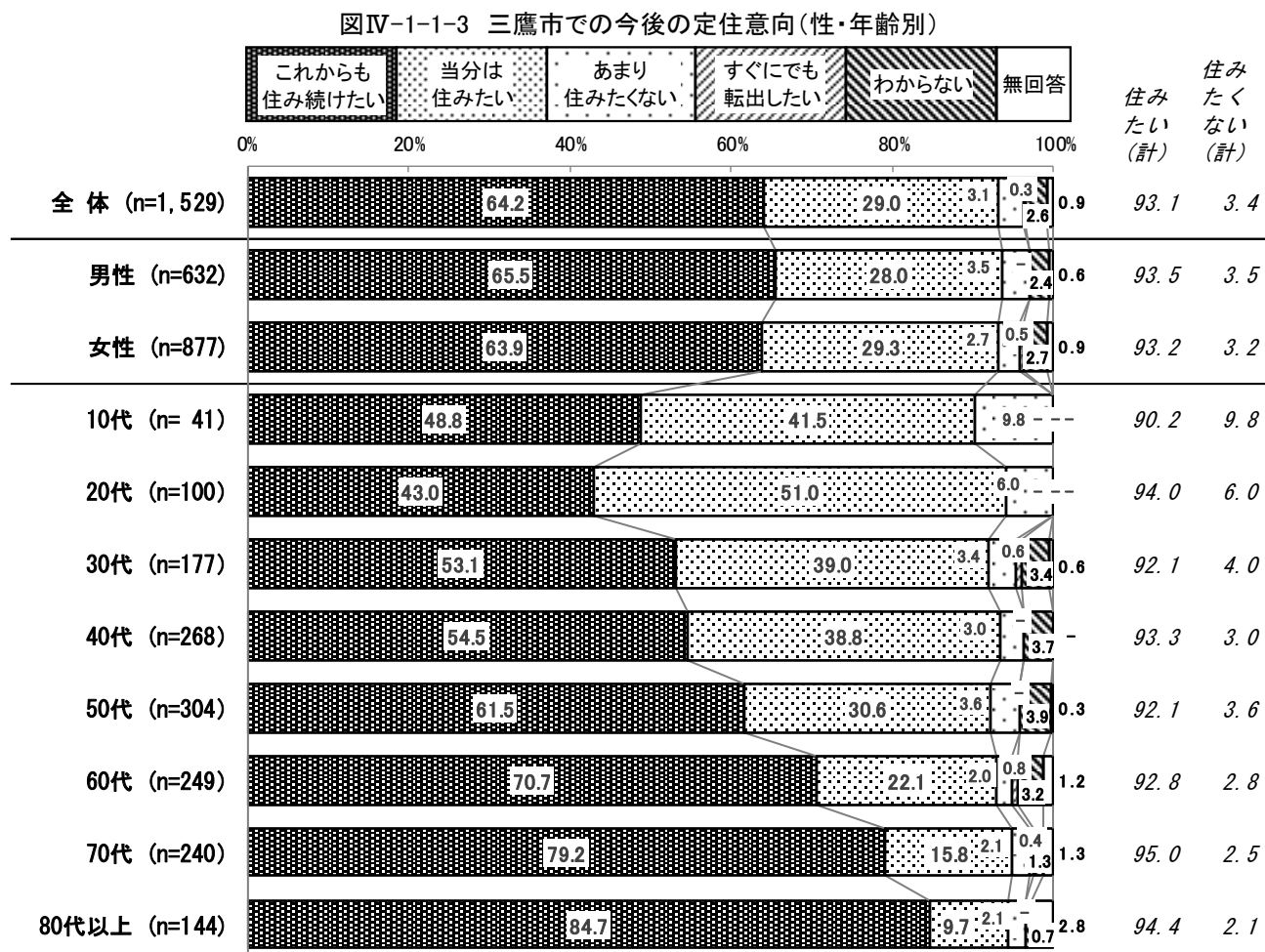
過去の調査結果と比較すると、微差ではあるが「住みたい(計)」は過去最高値、「住みたくない(計) (「あまり住みたくない」+「すぐにも転出したい)」は過去最低値である。



① 性・年齢別

性別で見ると、男女ともほぼ同様の傾向であり、「これからも住み続けたい」は65%前後である。

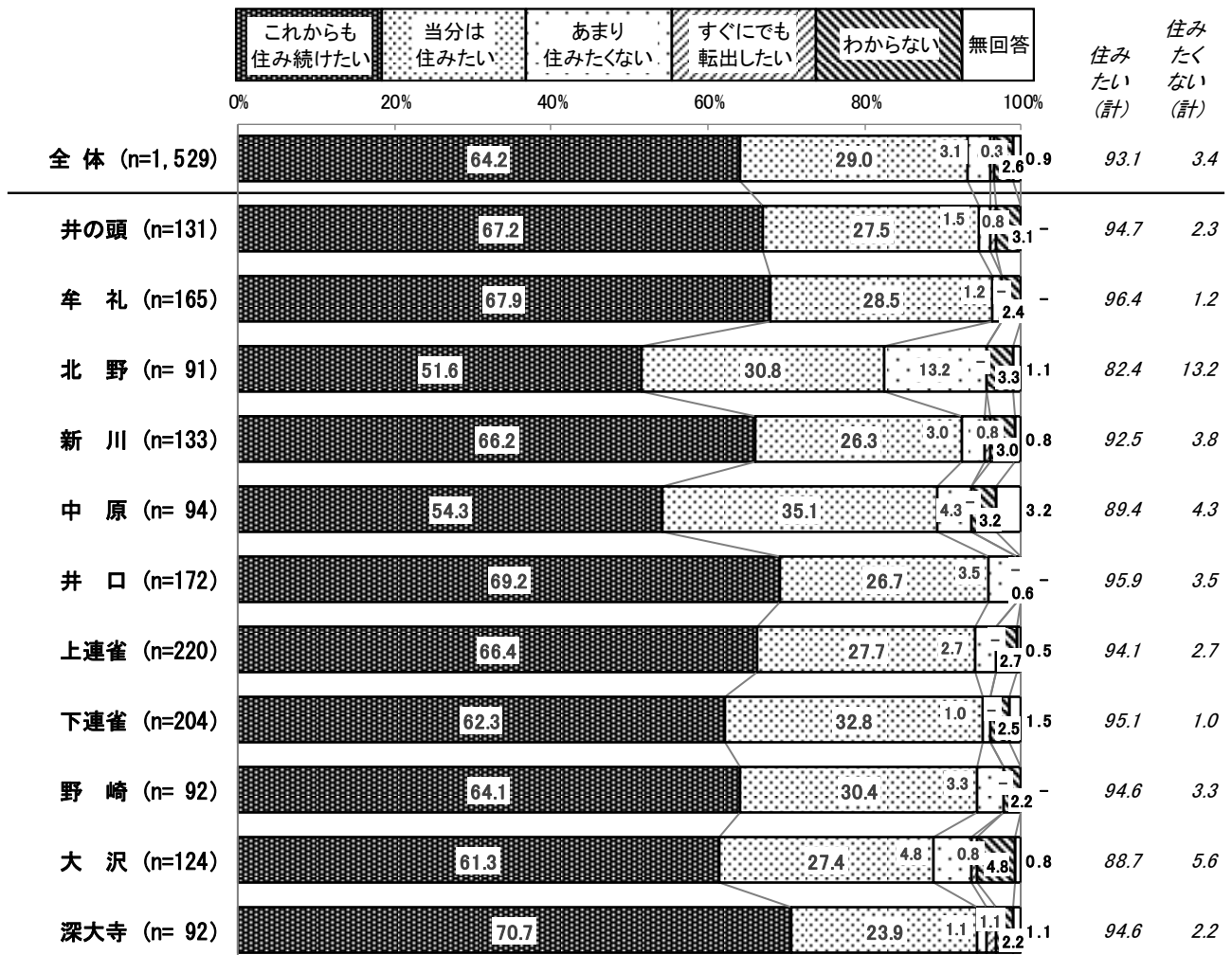
年齢別で見ると、20代から年代が上がるに連れ「これからも住み続けたい」が増加している。30代で過半数となり、80代以上では84.7%に達する。「住みたい(計)」は全年代で90%以上であるが、その濃度には差がある。



## ② 地区別

地区別でみると、「これからも住み続けたい」が最も高いのは深大寺の 70.7%である。最も低いのは北野(51.6%)であるが過半数ではある。ただし、北野は「あまり住みたくない」が 13.2%存在し、他地区より高い。

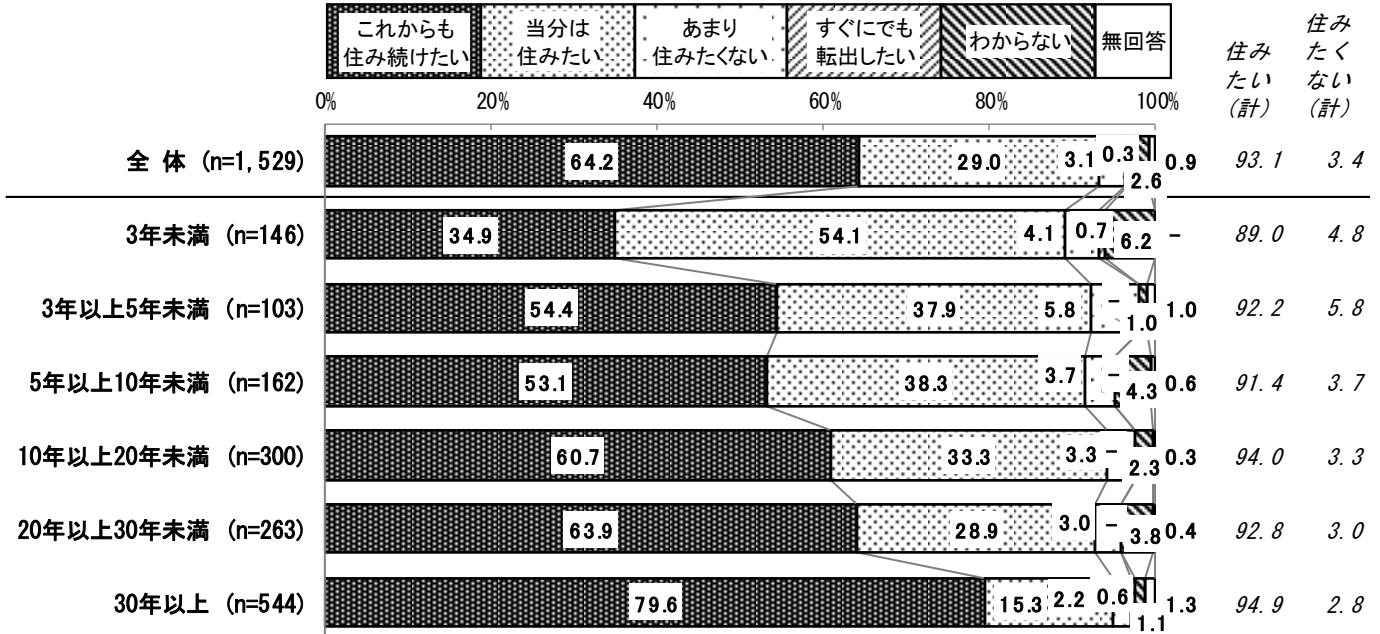
図IV-1-1-4 三鷹市での今後の定住意向(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるに連れ「これからも住み続けたい」が高くなる傾向がある。3年未満が34.9%であるのに対し、30年以上では79.6%を占める。

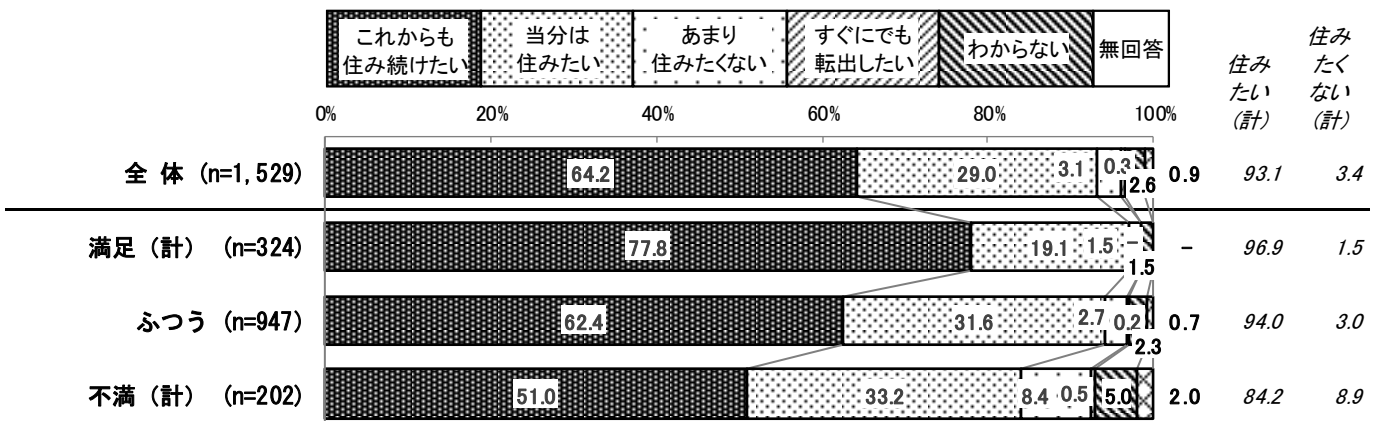
図IV-1-1-5 三鷹市での今後の定住意向(居住年数別)



### ④ 地域とのつながりやご近所づきあいの満足度別

地域とのつながりやご近所づきあいの満足度別でみると、「これからも住み続けたい」は満足度による差が顕著であり、満足している(計)層では77.8%を占めるのに対し、不満(計)層では51.0%である。不満(計)層でも「住みたい(計)」は84.2%ではあるが、「住みたくない(計)」も8.9%存在し、他層より5ポイント以上高い。

図IV-1-1-6 三鷹市での今後の定住意向(コミュニティ創生施策への満足度別)

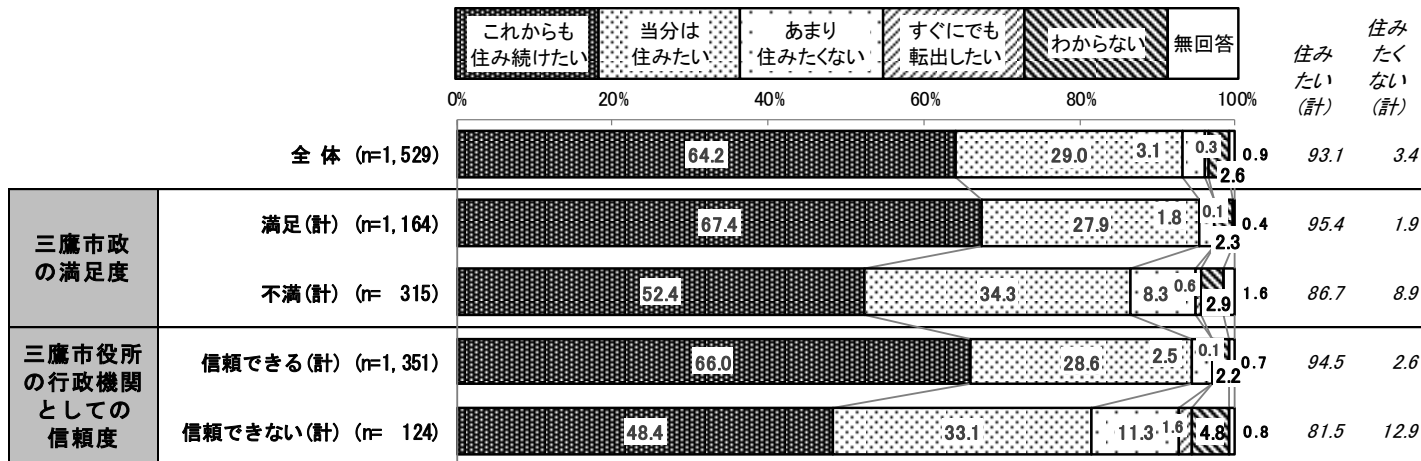




⑤ 市政の満足度・市役所の行政機関としての信頼度別

満足(計)層・信頼できる(計)層では、「これからも住み続けたい」が65%以上、「住みたい(計)」は95%前後である。不満(計)層・信頼できない(計)層でも、「これからも住み続けたい」が50%前後、「住みたい(計)」は80%以上存在する。しかし、信頼できない(計)層では「住みたくない(計)」も12.9%で相対的に高い。

図IV-1-1-7 三鷹市での今後の定住意向(市政の満足度・市役所の行政機関としての信頼度別)

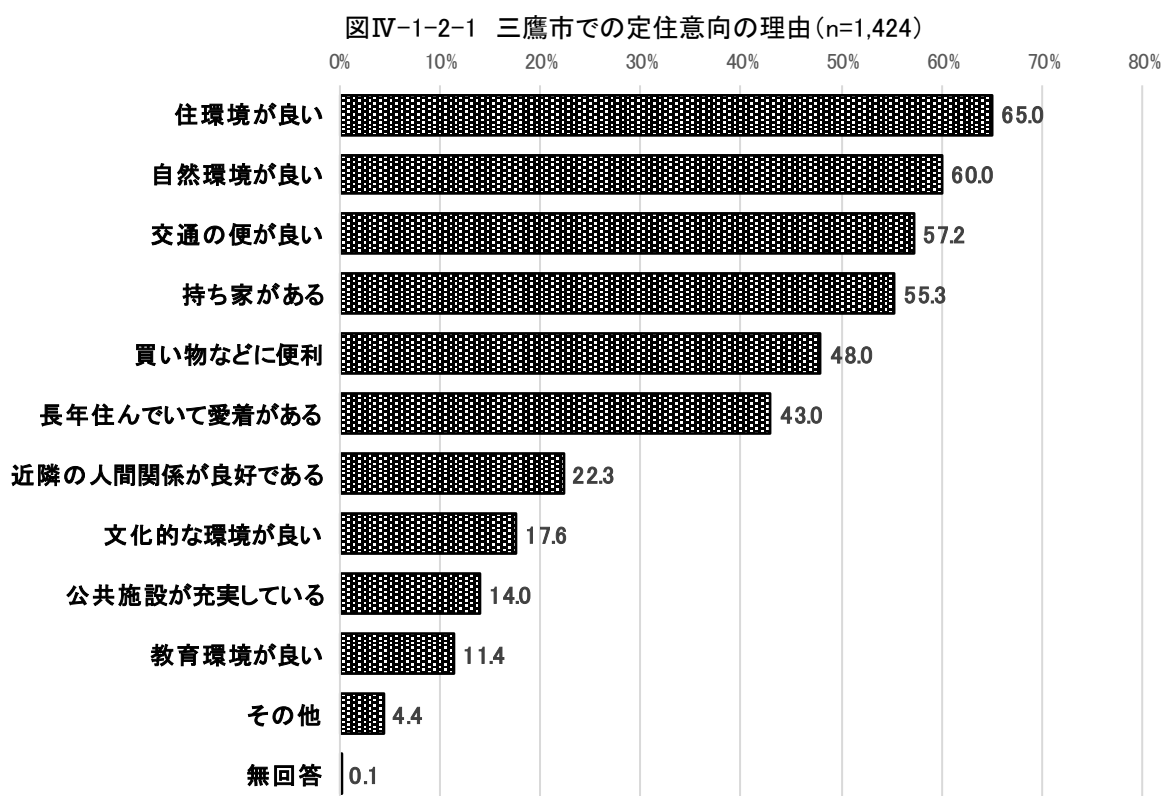


## (2) 三鷹市での定住意向の理由

問1-1: 三鷹市に住み続けたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問1で「これからも住み続けたい」「当分は住みたい」と回答した方対象]

「住環境が良い(65.0%)」、「自然環境が良い(60.0%)」が 60%以上、「交通の便が良い(57.2%)」、「持ち家がある(55.3%)」が 50%以上で高い。

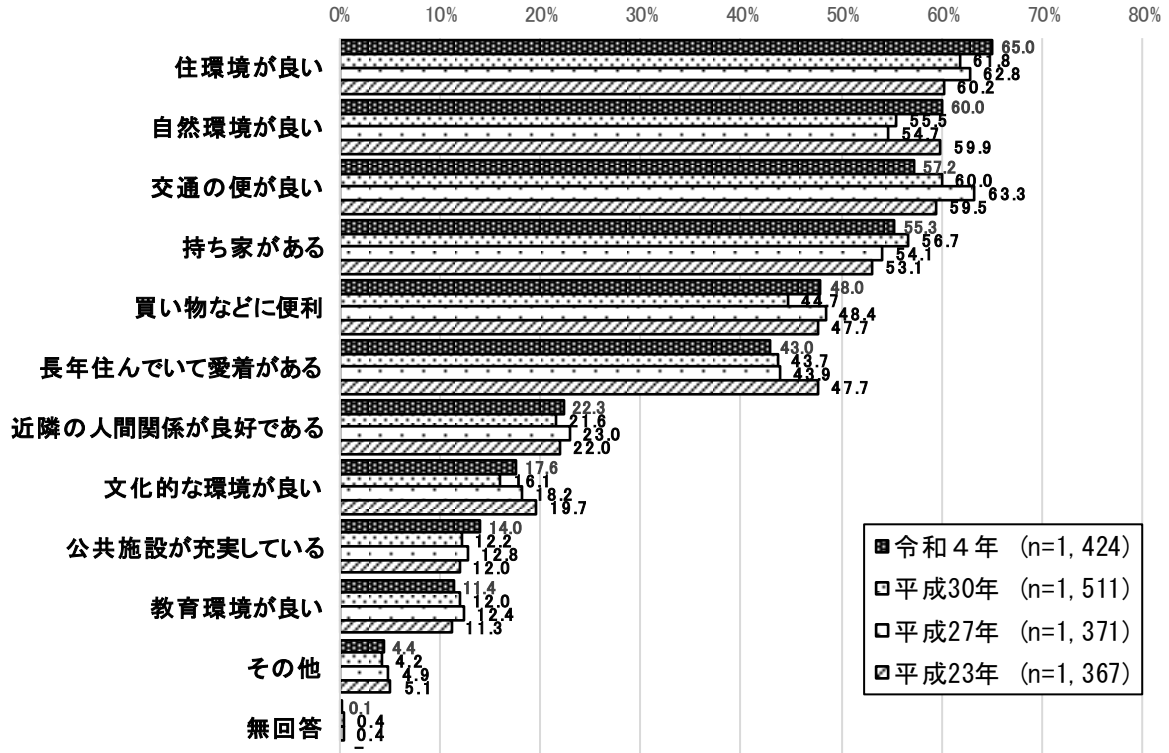
過去の調査結果と比較すると、上記の上位4項目間では順位変動があるものの毎回 50%以上を維持している。それ以下の項目には順位変動がない。



### 【その他の回答】

「病院に通いやすい・近い・安心」、「職場・学校に近い」、「馴染みの店がある」、「家族・友人・知人がいる」、「子どもを転校させたくない」、「静か・治安がよい」など

図IV-1-2-2 三鷹市での定住意向の理由(過去調査比較)

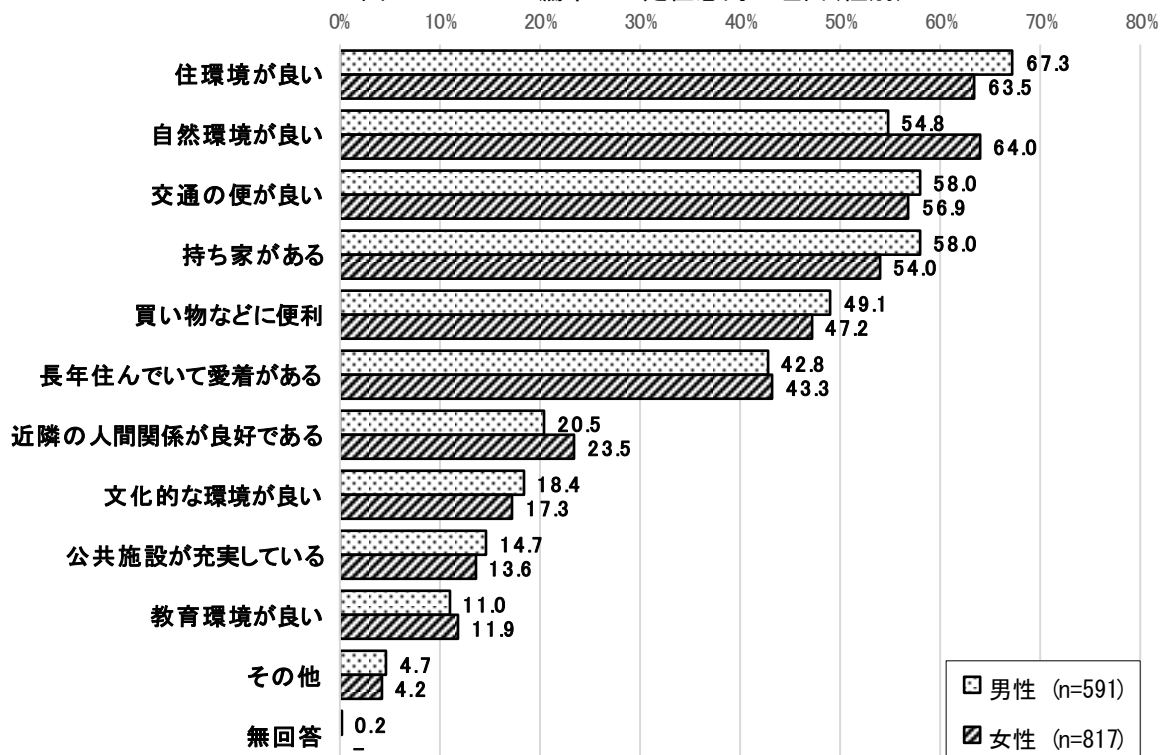


① 性・年齢別

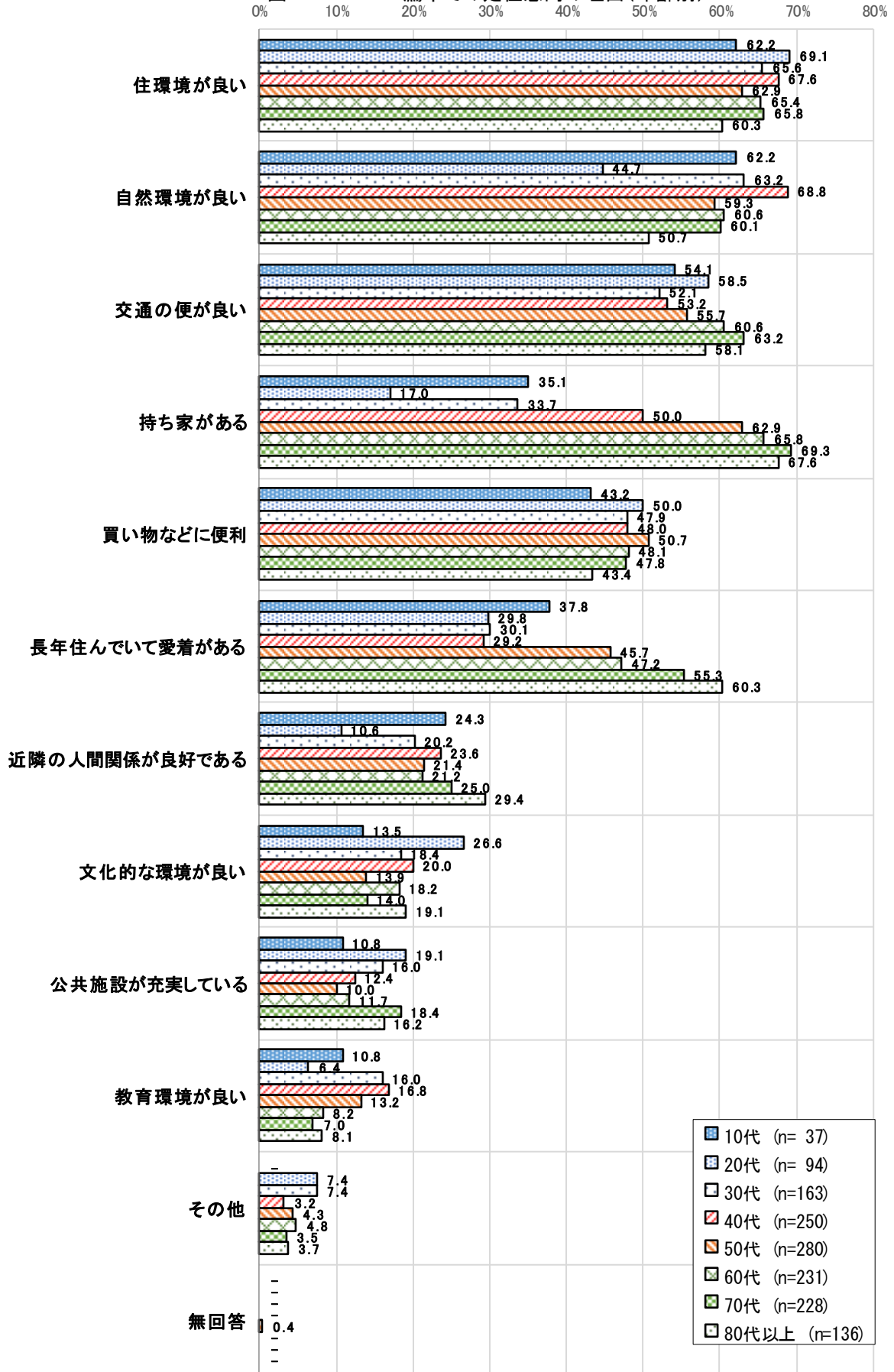
性別でみると、男性では「住環境が良い(67.3%)」、「交通の便が良い(58.0%)」、「持ち家がある(58.0%)」が、女性では「自然環境が良い(64.0%)」、「住環境が良い(63.5%)」、「交通の便が良い(56.9%)」が上位である。男性の「自然環境が良い」は54.8%であり、女性より9.2ポイント低い。

年齢別では、「住環境が良い」、「交通の便が良い」は各年代とも50%以上を占める。「持ち家がある」、「長年住んでいて愛着がある」は50代から高くなる傾向がある。

図IV-1-2-3 三鷹市での定住意向の理由(性別)



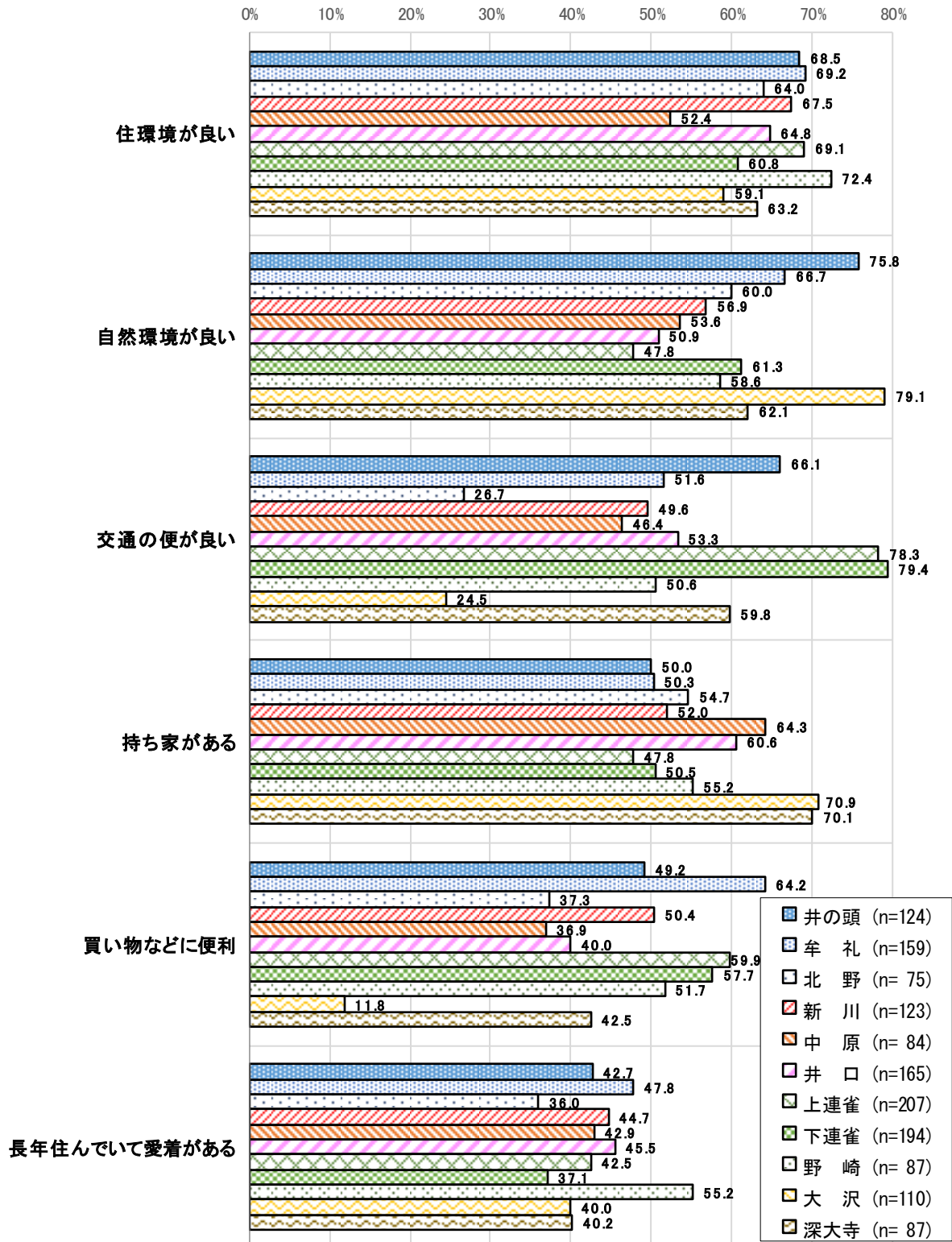
図IV-1-2-4 三鷹市での定住意向の理由(年齢別)



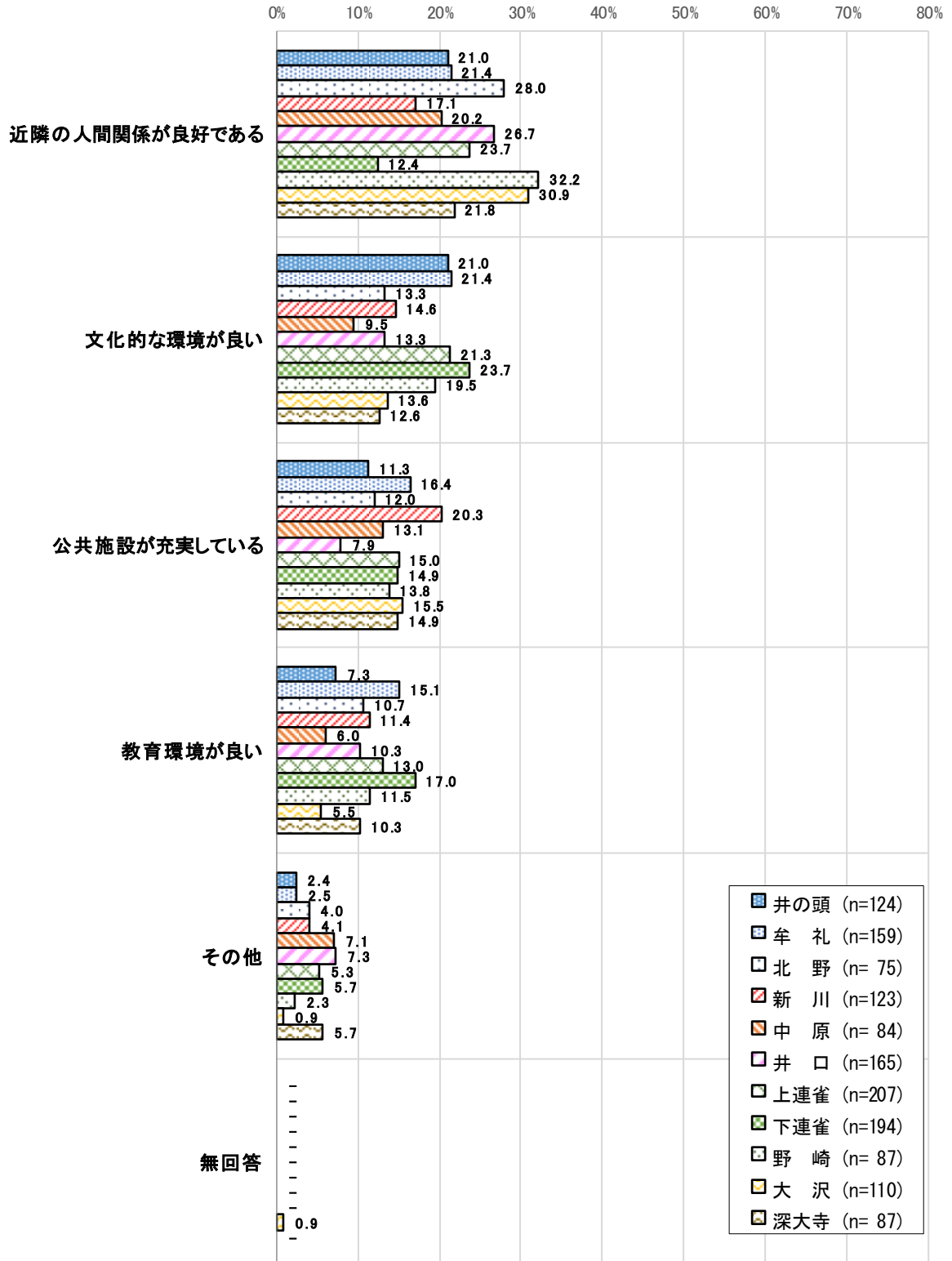
## ② 地区別

地区別でみると、地区による差が大きいのは「交通の便が良い」、「買い物などに便利」、「自然環境が良い」などである。「交通の便が良い」は上連雀と下連雀では8割近くであるのに対し、大沢と北野は25%前後にとどまる。「買い物などに便利」は牟礼(64.2%)と大沢(11.8%)間で 52.4 ポイントの差がある。

図IV-1-2-5 三鷹市での定住意向の理由(地区別)(その1)



図IV-1-2-5 三鷹市での定住意向の理由(地区別)(その2)

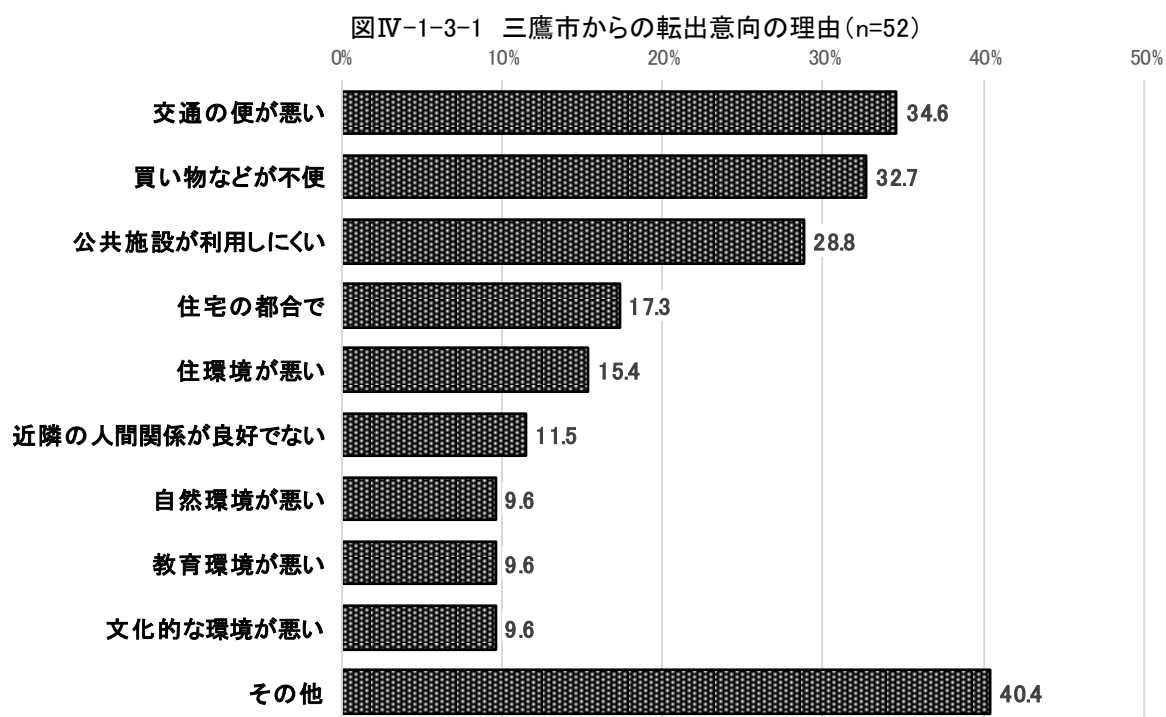


### (3) 三鷹市からの転出意向の理由

問1-2: 三鷹市に住み続けたくない理由について、**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。[問1で「あまり住みたくない」「すぐにでも転出したい」と回答した方対象]

「交通の便が悪い」が34.6%で最も高く、次いで「買い物などに不便(32.7%)」が高い。

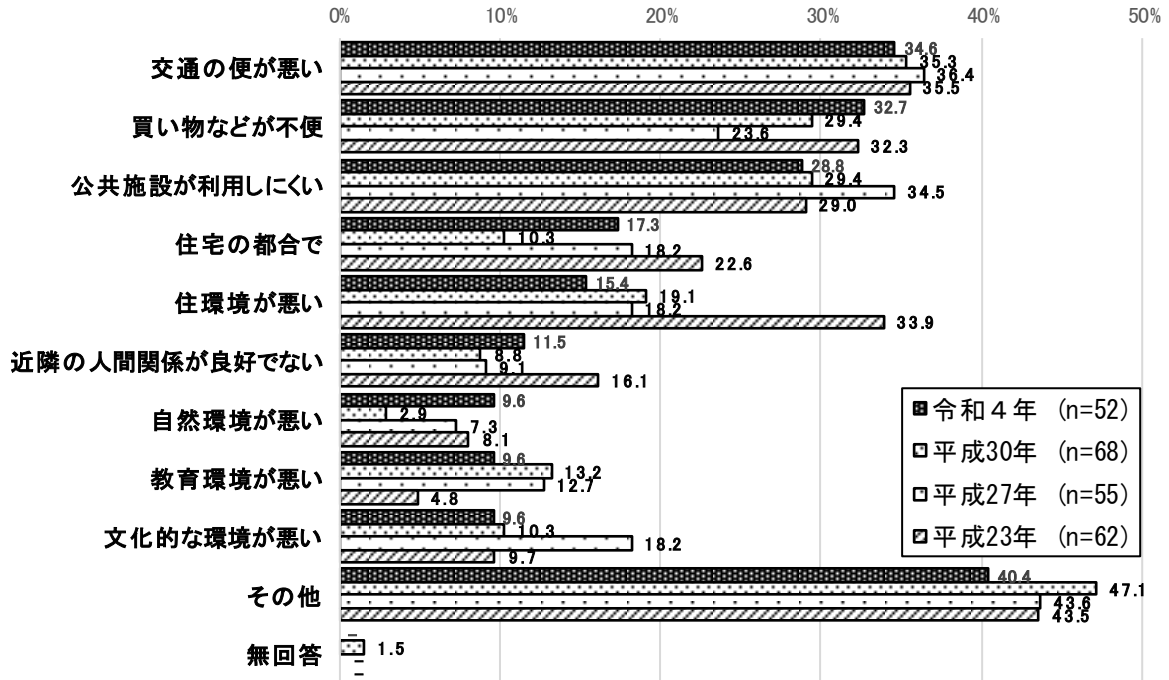
過去の調査結果と比較すると、回答数が少ないため経年変化の傾向をみるのは難しいが、「交通の便が悪い」はいずれの年も30%以上で高い。また、「住環境が悪い」は、平成23年は33.9%で「交通の便が悪い」に次いで高かったが、平成27年から20%未満となり、今回は15.4%である。



【その他の回答】

「道路が狭い」、「行政サービスが悪い・鈍い」など

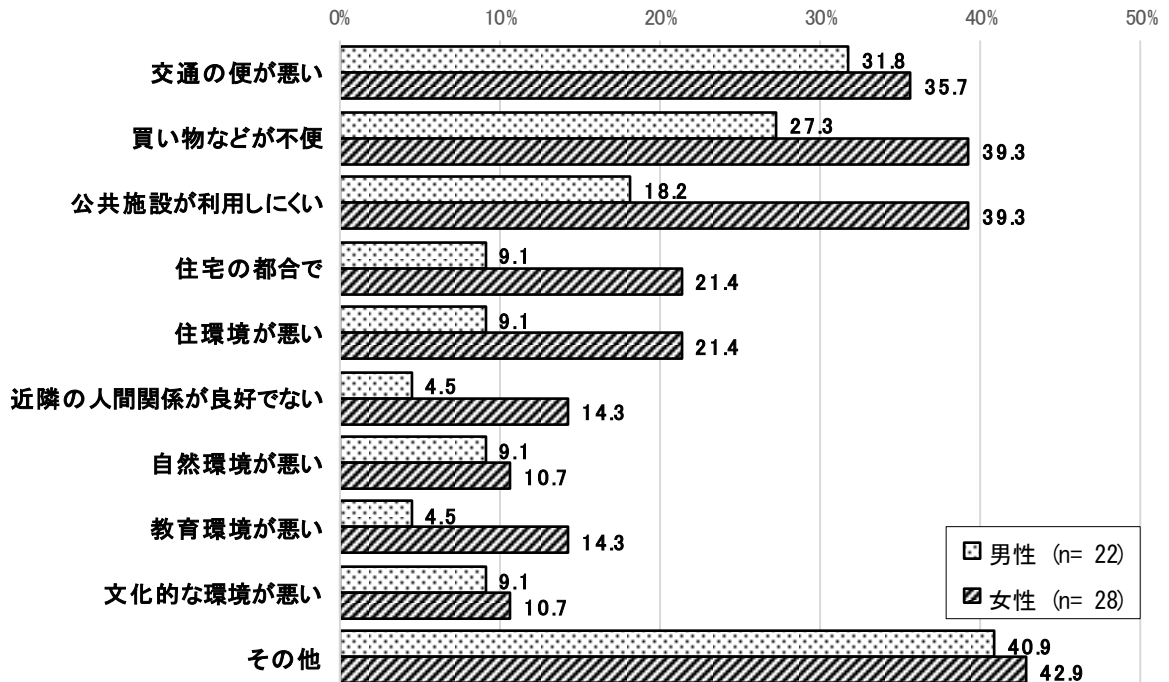
図IV-1-3-2 三鷹市からの転出意向の理由(過去調査比較)



① 性別

男女共に回答数が少なく参考程度とする。

図IV-1-3-3 三鷹市からの転出意向の理由(性別)



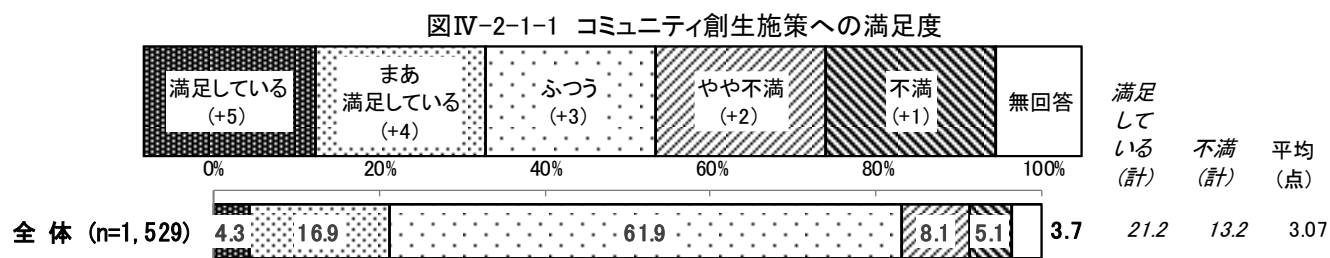


## 2 三鷹市のコミュニティ創生施策やご近所づきあい、地域活動

### (1) コミュニティ創生施策への満足度

問2:あなたは、三鷹市のコミュニティ創生施策に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「ふつう」が 61.9%で最も高い。「満足している(計)」「満足している」「まあ満足している」は 21.2%である。一方、「不満(計)」「やや不満」「不満」は 13.2%で、「満足している(計)」の方がやや高い。

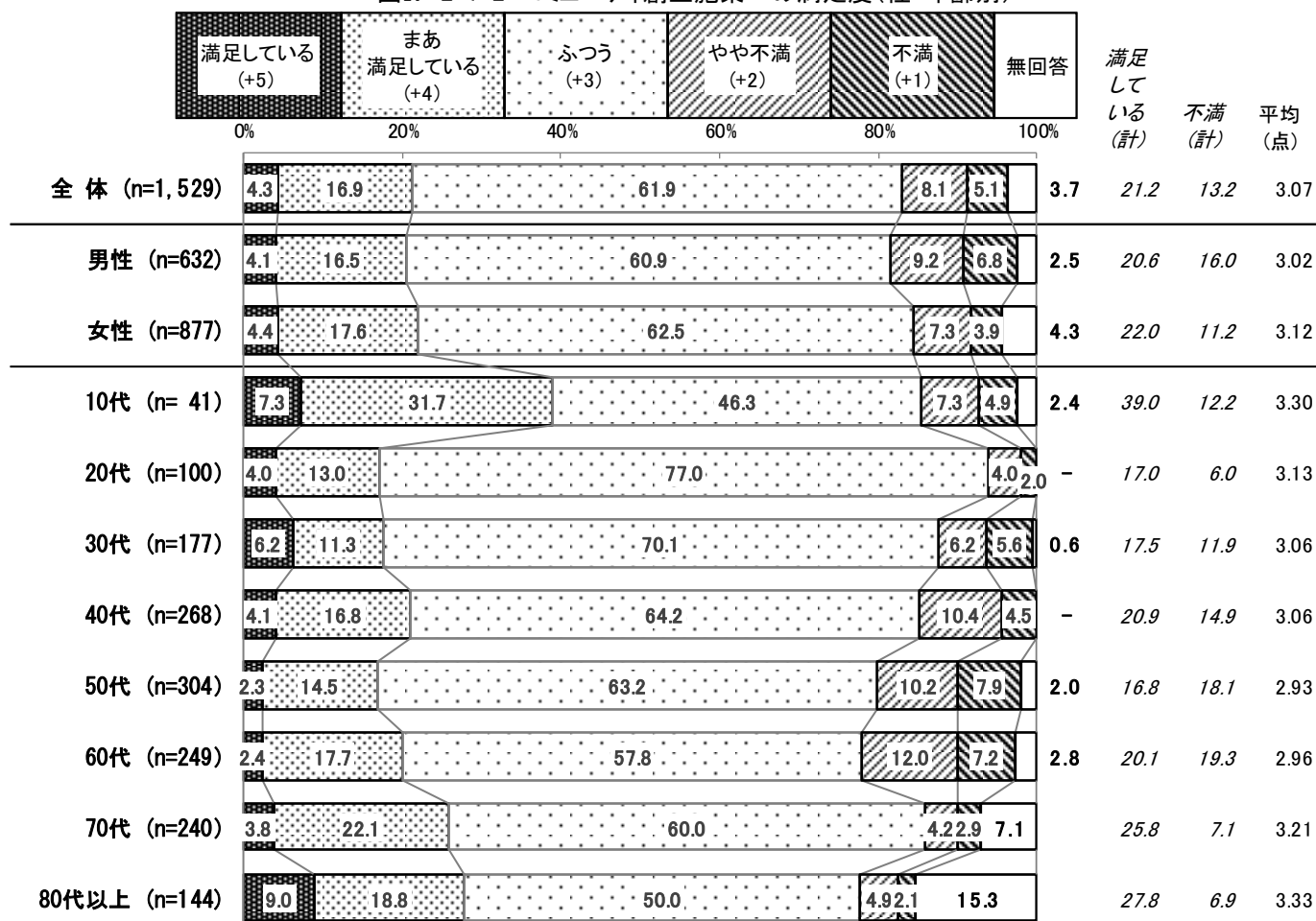


① 性・年齢別

性別では、ほぼ同様の傾向である。

年齢別でみると、「ふつう」は20代(77.0%)、30代(70.1%)は70%以上で高いが、10代は46.3%にとどまる。「満足している(計)」が最も高いのは10代(39.0%)で、80代以上(27.8%)がそれに次ぐ。50代・60代では「満足している(計)」と「不満(計)」は同程度であり差がない。

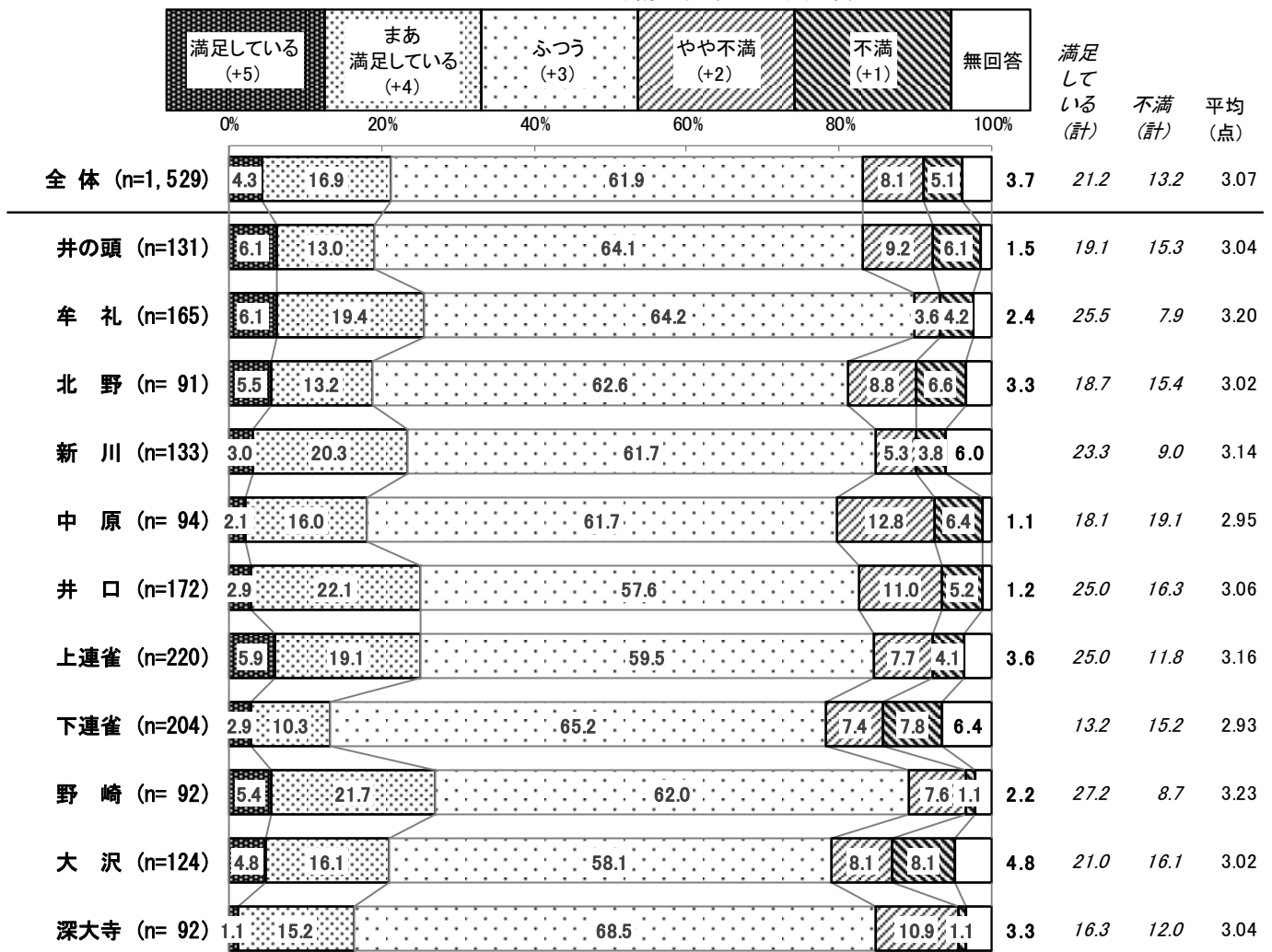
図IV-2-1-2 コミュニティ創生施策への満足度(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「ふつう」は 60%前後で推移している。「満足している(計)」が最も高いのは野崎の 27.2%である。「不満(計)」は中原が 19.1%で最も高い。中原と下連雀は「満足している(計)」より「不満(計)」の方がやや高い。

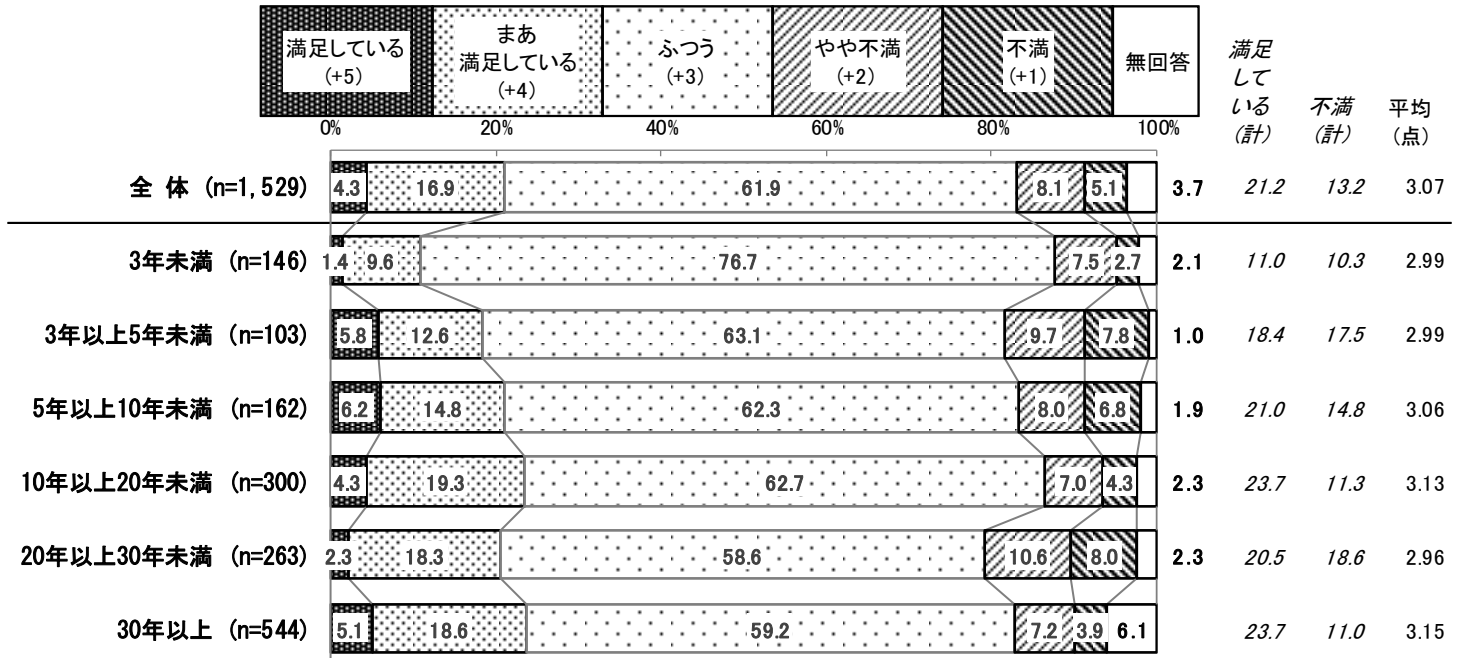
図IV-2-1-3 コミュニティ創生施策への満足度(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、20年以上の計2層で「ふつう」が60%未満である。5年以上の計4層で「満足している(計)」が20%以上を占める。

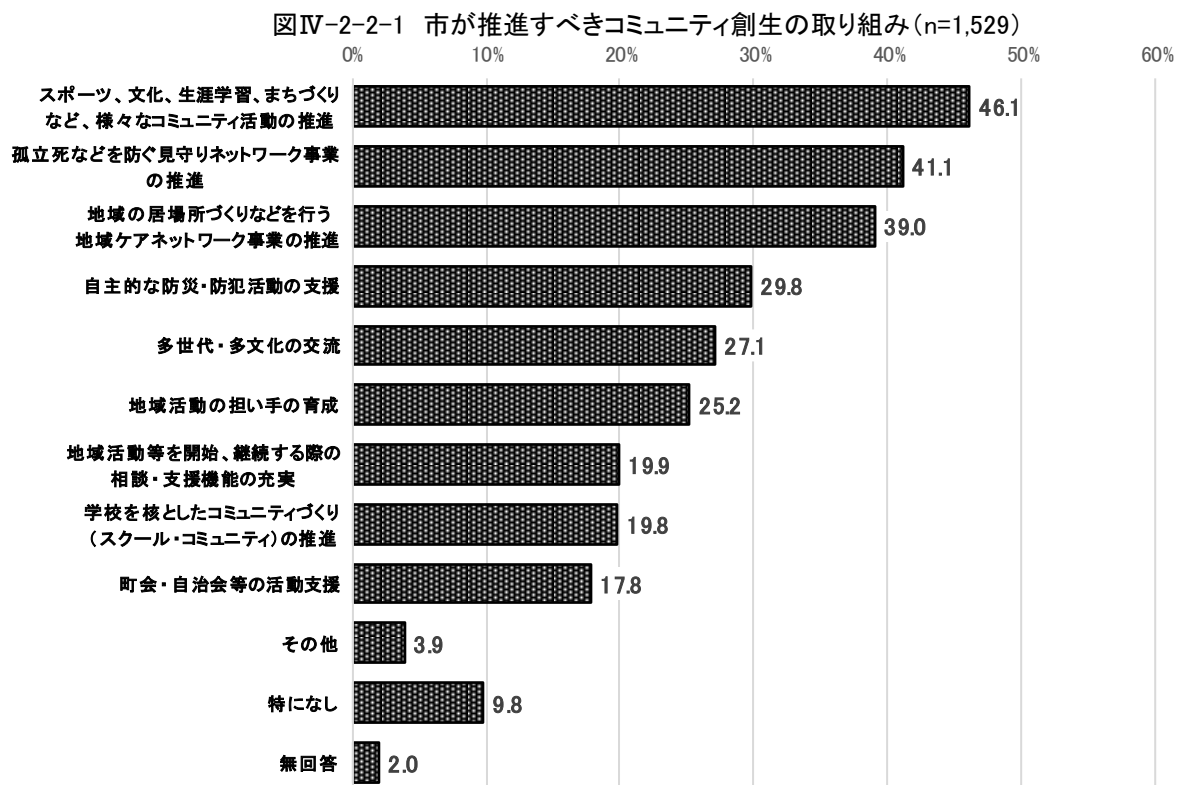
図IV-2-1-4 コミュニティ創生施策への満足度(居住年数別)



## (2) 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み

問3: 今後、住民同士が共に支えあう地域社会を生み出すために、三鷹市が推進すべき取り組みはどういうものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進(46.1%)」、「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進(41.1%)」、「地域の居場所づくりなどを行う地域ケアネットワーク事業の推進(39.0%)」が上位3項目である。以降の項目は30%未満である。



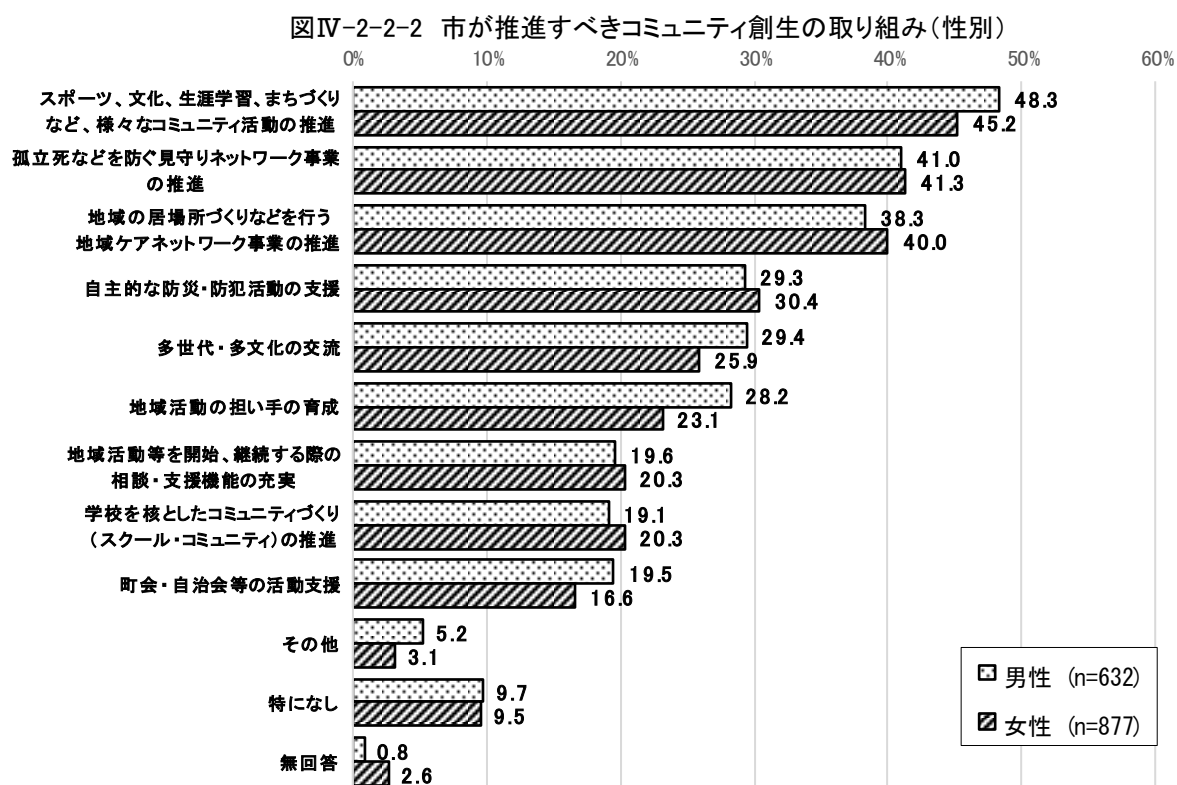
### 【その他の回答】

「育児支援」、「子供の安心・安全を守る施策」、「公園やスポーツ施設の増設」、「障がい者支援」、「高齢者サポート」、「多くの人が参加できる講座・イベントの開催」、「道路の整備」など

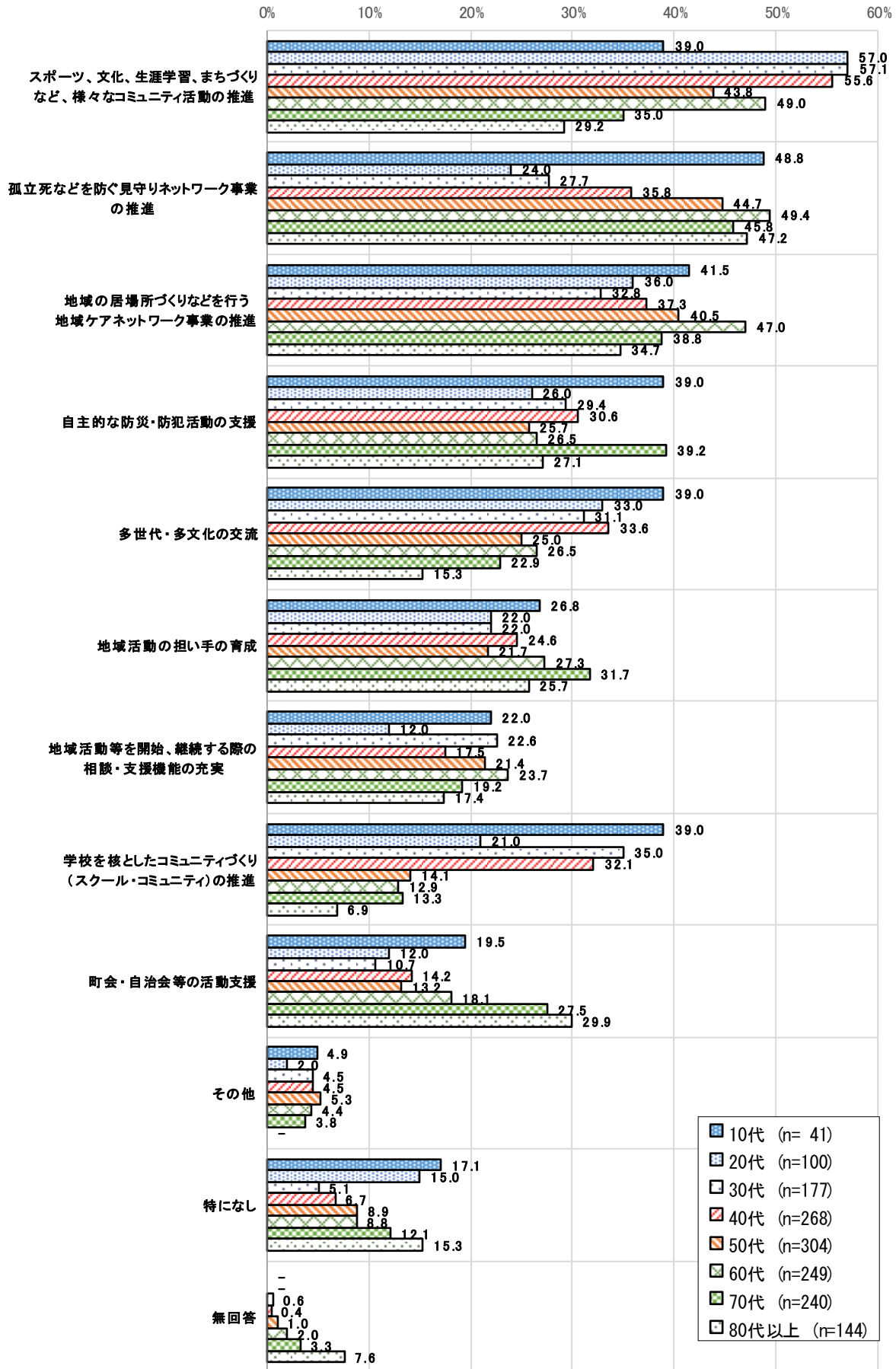
### ① 性・年齢別

性別でみると、男女共にほぼ同様の傾向である。上位3項目は 40%前後だが、それ以降の項目は 30%未満である。

年齢別でみると、「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進」は 20代(24.0%)、30代(27.7%)では 20%台にとどまり、他層より低い。「多世代・多文化の交流」は 10代(39.0%)が最も高く、年代が上がるに連れて低下していく傾向がある。80代以上では 15.3%にとどまる。



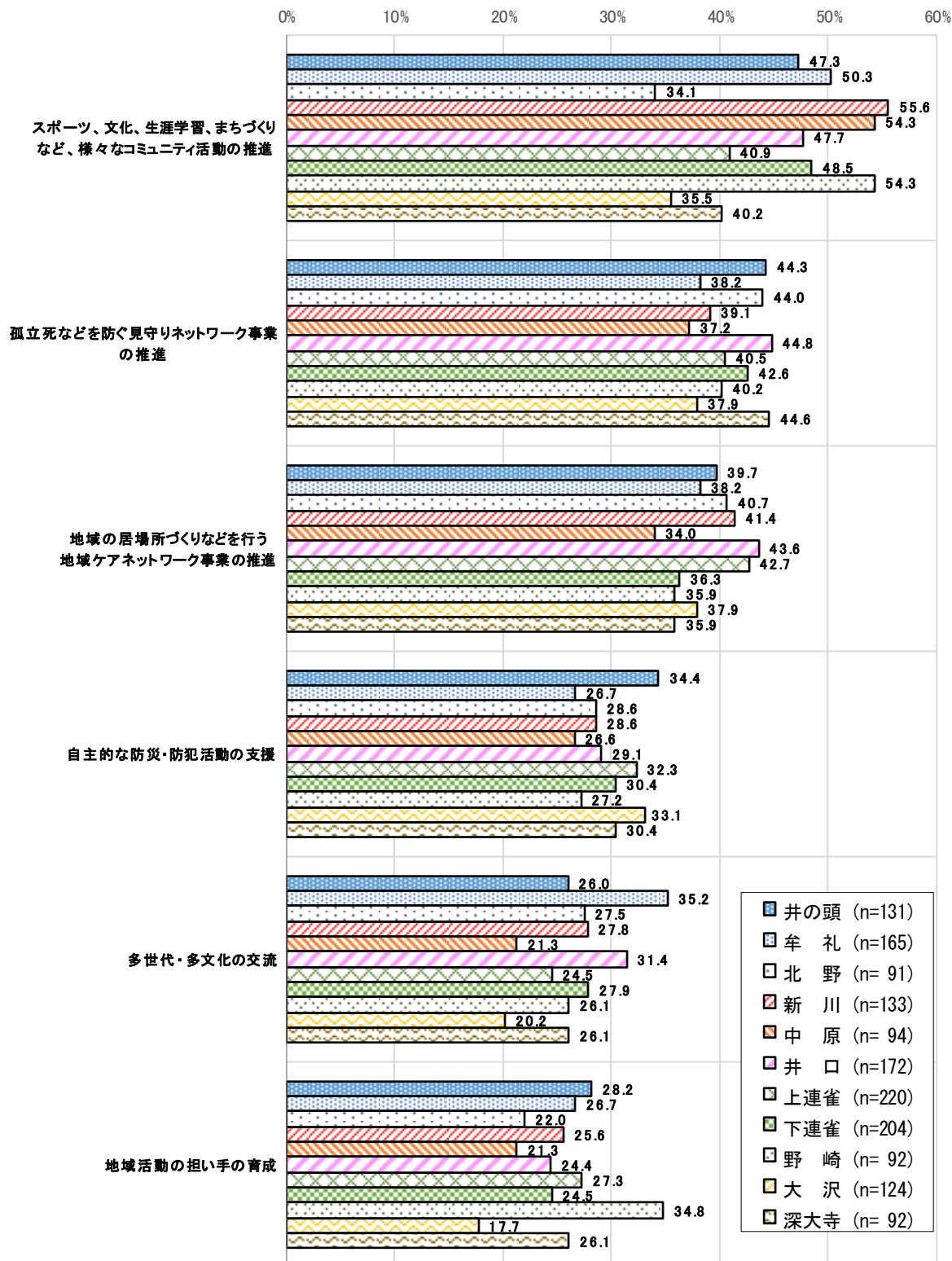
図IV-2-2-3 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み(年齢別)



## ② 地区別

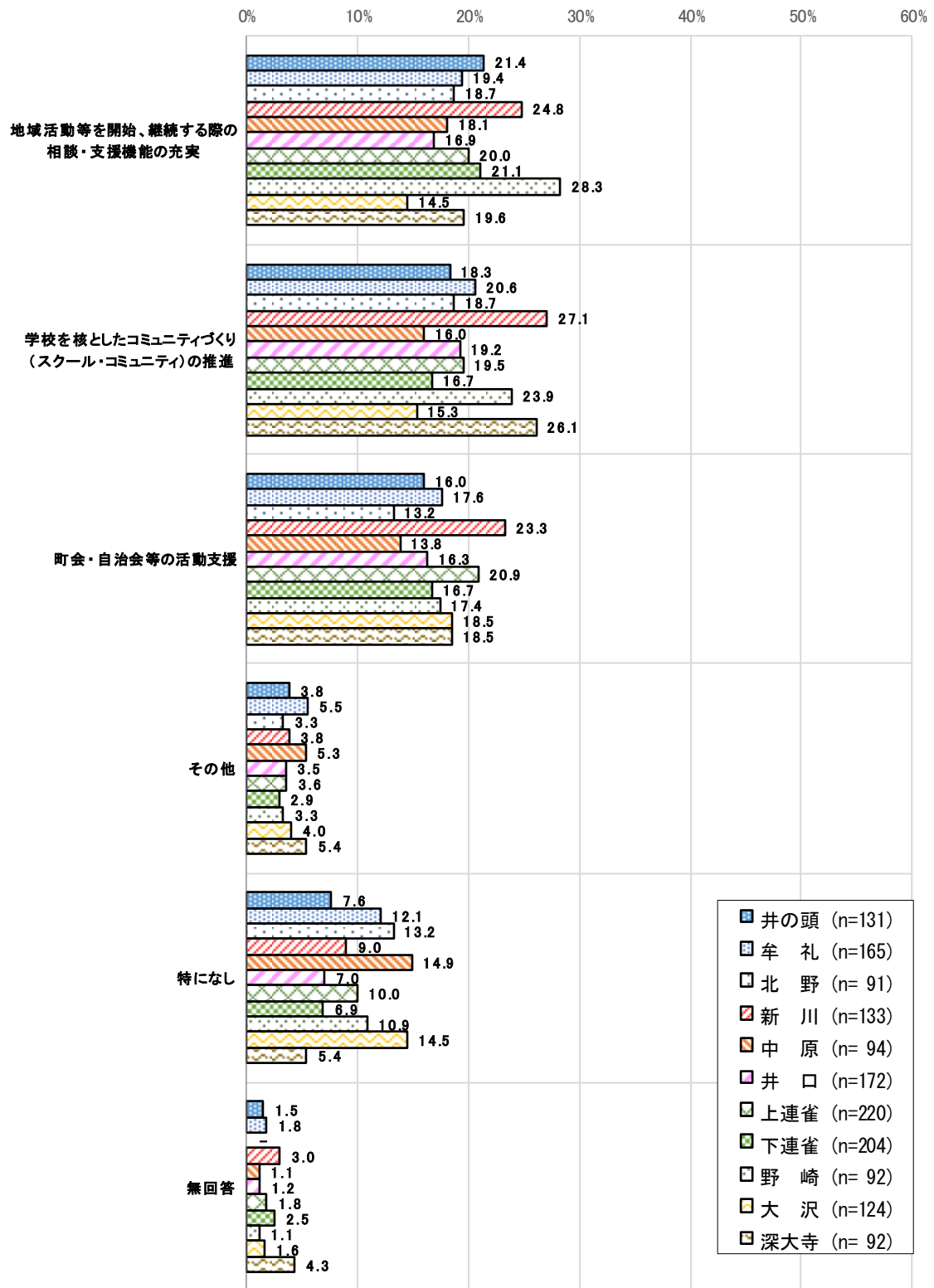
地区別でみると、「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」のみで50%以上の地区が存在する(4地区)。その中で北野(34.1%)と大沢(35.5%)のみが30%台にとどまる。最上位の新川(55.6%)と北野は21.5ポイント差で、これは他項目を総じてみても最大差である。

図IV-2-2-4 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み(地区別)(その1)





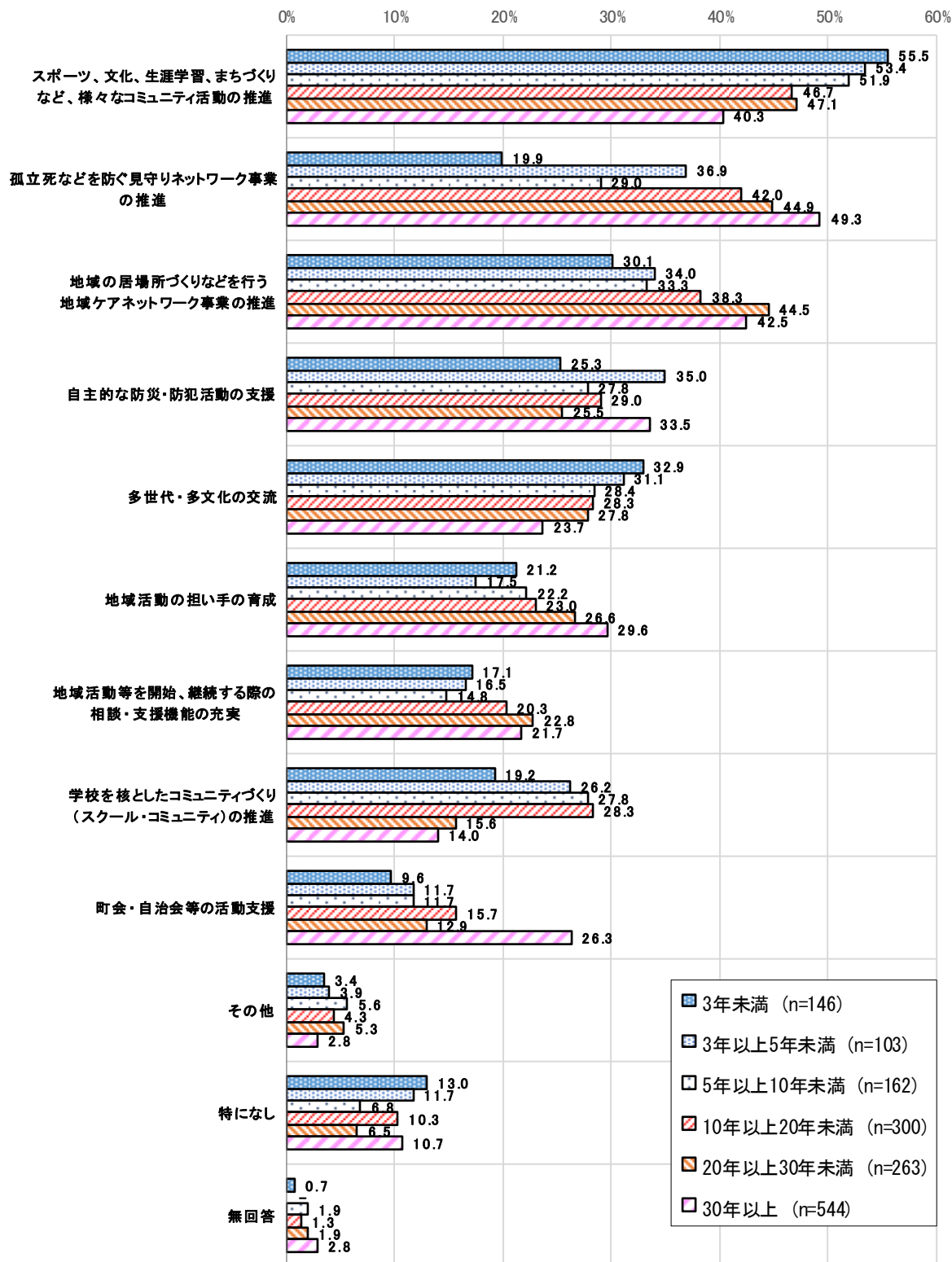
図IV-2-2-4 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み(地区別)(その2)



### ③ 居住年数別

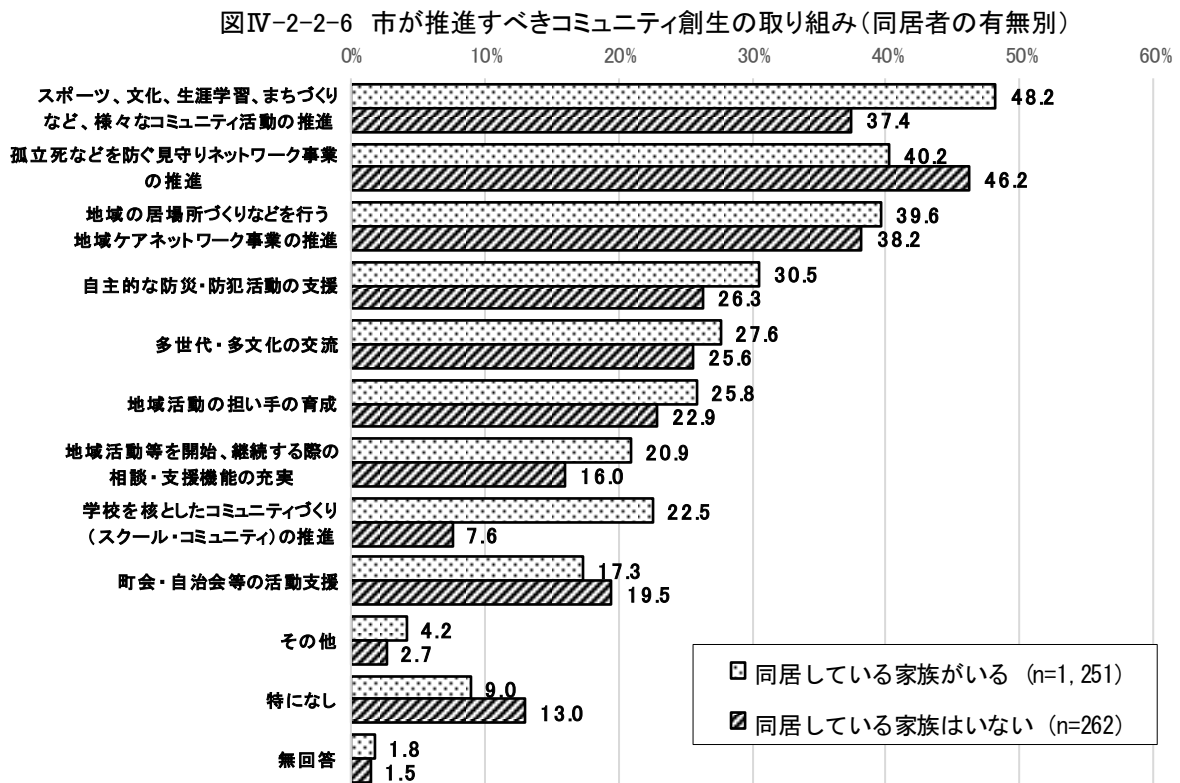
居住年数別でみると、「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進」の他、概ねの項目で居住年数が長い方が高い傾向にあるが、「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」と「多世代・多文化の交流」は居住年数が長い方が低い傾向である。

図IV-2-2-5 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み(居住年数別)



#### ④ 同居者の有無別

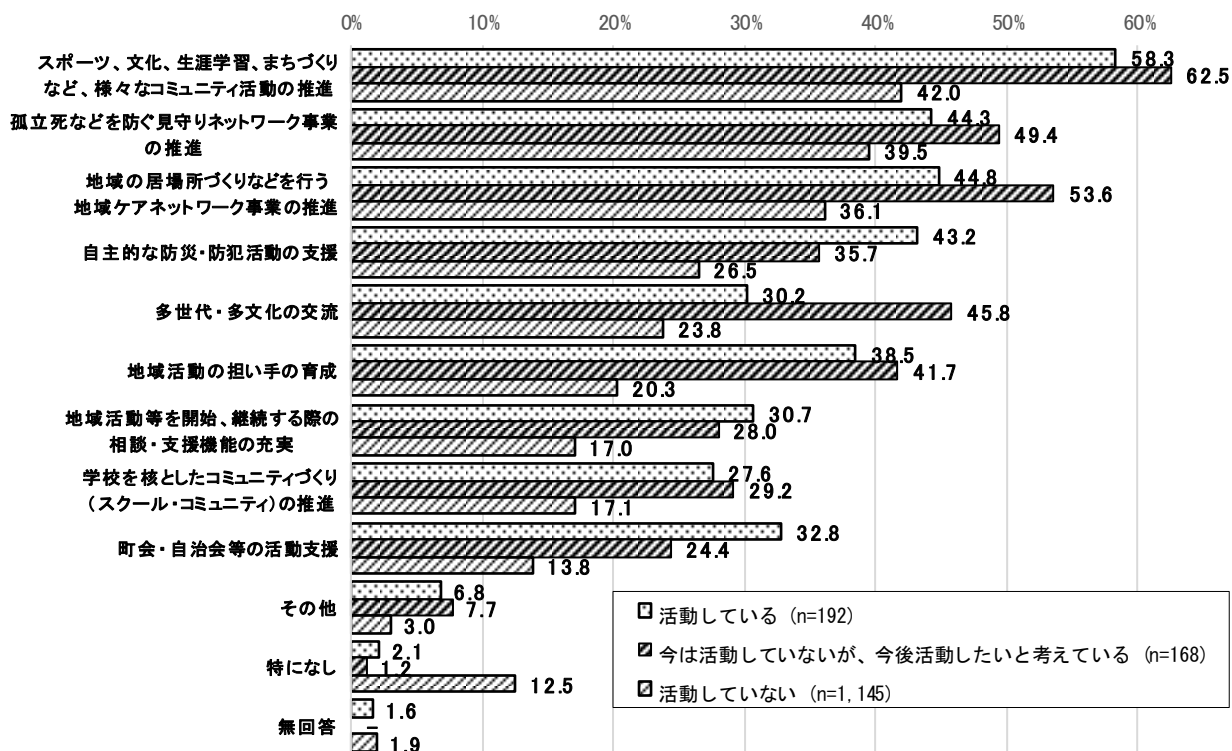
同居者の有無別でみると、同居している家族がいる層では「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進(48.2%)」が最上位だが、同居している家族はいない層では「孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進(46.2%)」が最上位である。2層間比較では、「学校を核としたコミュニティづくり(スクール・コミュニティ)の推進」、「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」の2項目で 10 ポイント以上の差があり、いずれも同居している家族がいる層の方が高い。



### ⑤ 地域活動の参加状況別

問4の地域活動の参加状況別でみると、3層共に「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」が最も高い。活動している層では、「多世代・多文化の交流(30.2%)」より「地域活動の担い手の育成(38.5%)」、「町会・自治会等の活動支援(32.8%)」の方が高い。活動していない層は全項目において他2層より低い。特に「地域活動の担い手の育成」や「スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進」で他層との乖離が目立つ。

図IV-2-2-7 市が推進すべきコミュニティ創生の取り組み(地域活動の参加状況別)



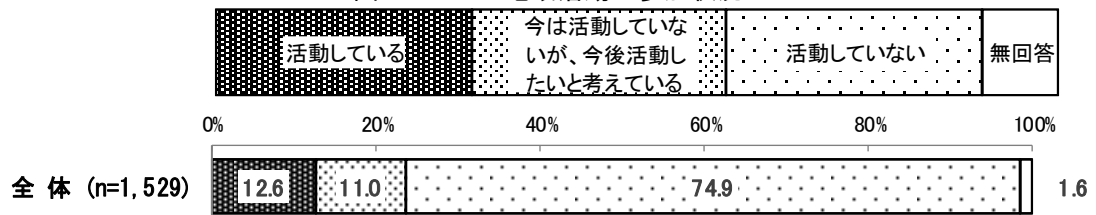
### (3) 地域活動の参加状況

問4: あなたはお住まいの地域で何かしらの活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

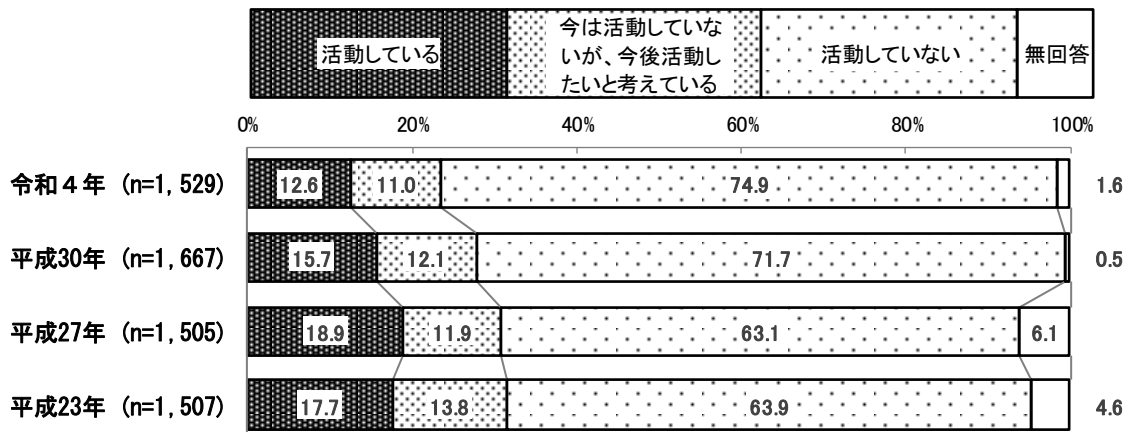
「活動していない」が 74.9%で最も高い。「活動している」は 12.6%、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」は 11.0%である。

過去の調査結果と比較すると、「活動している」、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」が低下傾向である。代わりに「活動していない」が伸長している。

図IV-2-3-1 地域活動の参加状況



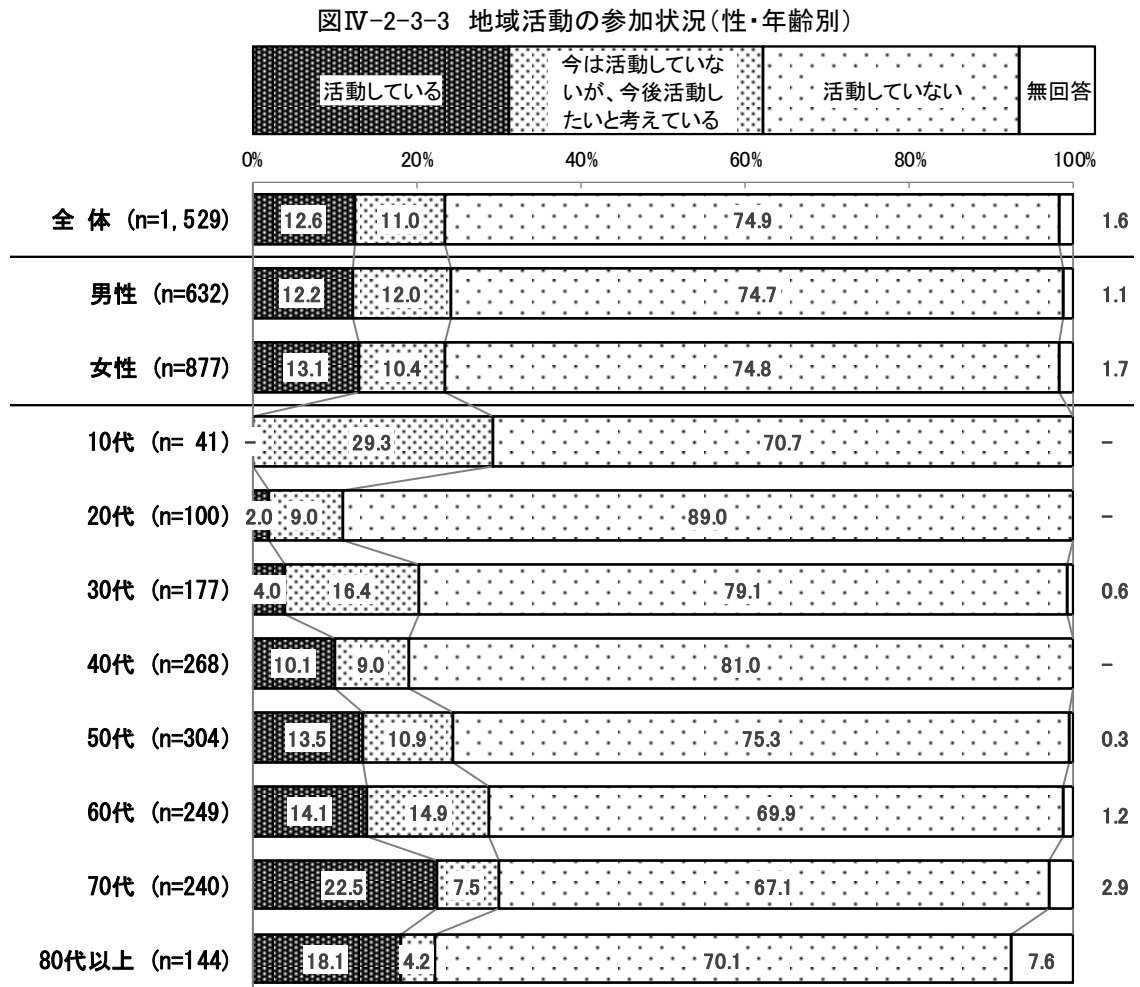
図IV-2-3-2 地域活動の参加状況(過去調査比較)



① 性・年齢別

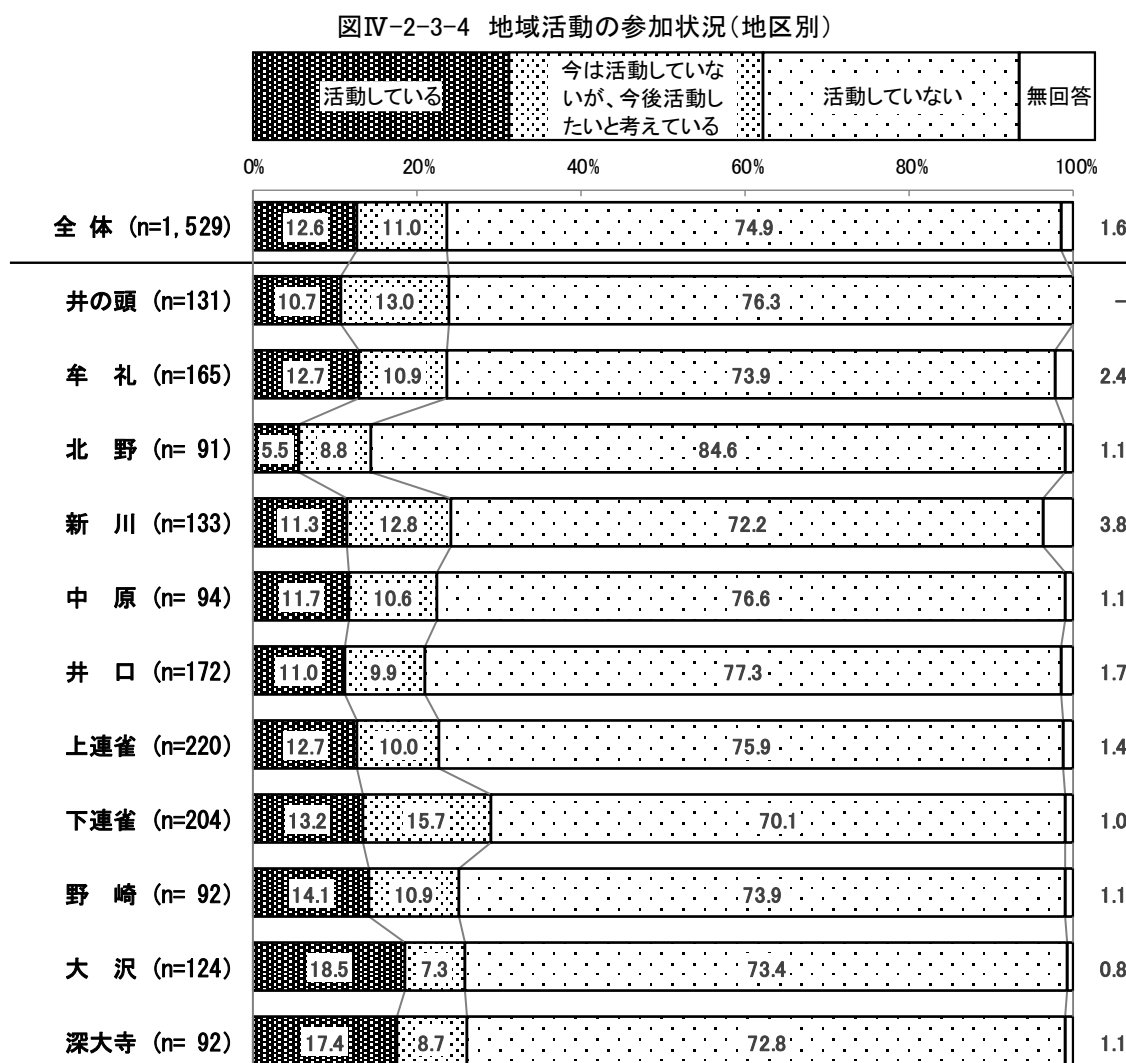
性別でみると、男女間に大差はない。

年齢別でみると、10代から70代までは年代が上がるに連れ「活動している」が高くなる傾向にある。10代では「活動している」は皆無だが、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」は29.3%であり最も高い。



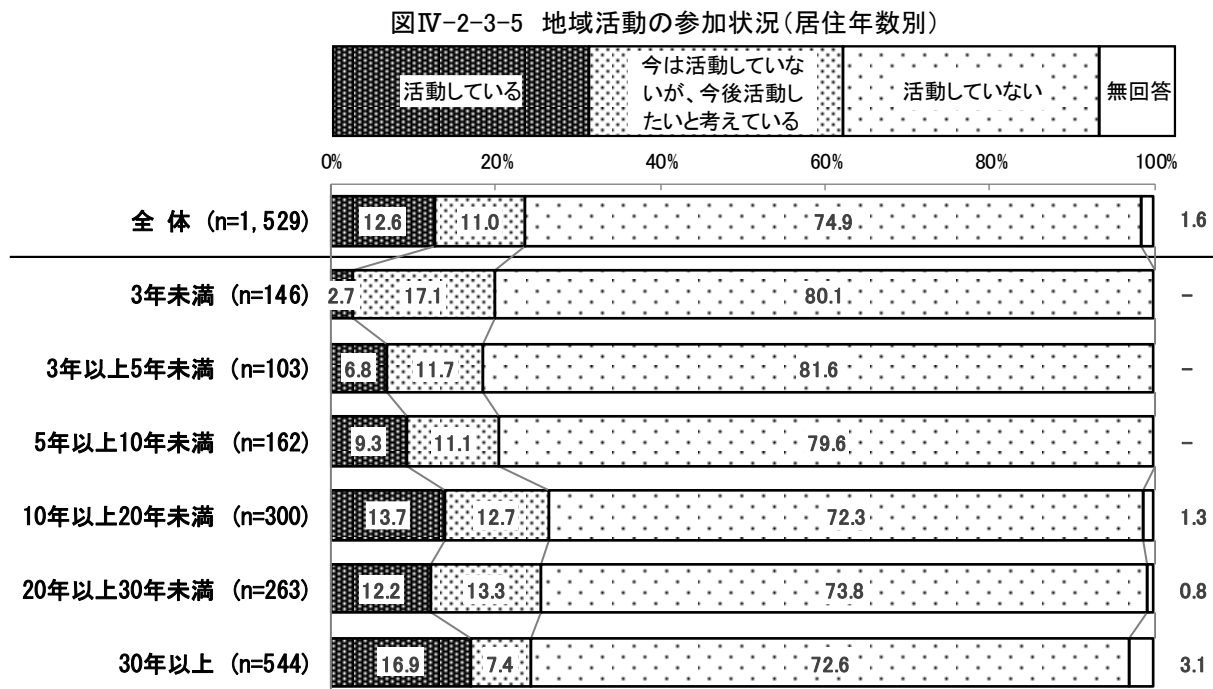
## ② 地区別

地区別でみると、「活動している」は大沢(18.5%)、深大寺(17.4%)が他地区より若干高い。逆に、北野は「活動していない」が84.6%で他地区より高く、「活動している」が5.5%、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」が8.8%にとどまる。



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、居住年数が長くなるほど「活動している」が高くなる傾向にあり、3年未満では2.7%だが、30年以上では16.9%となっている。





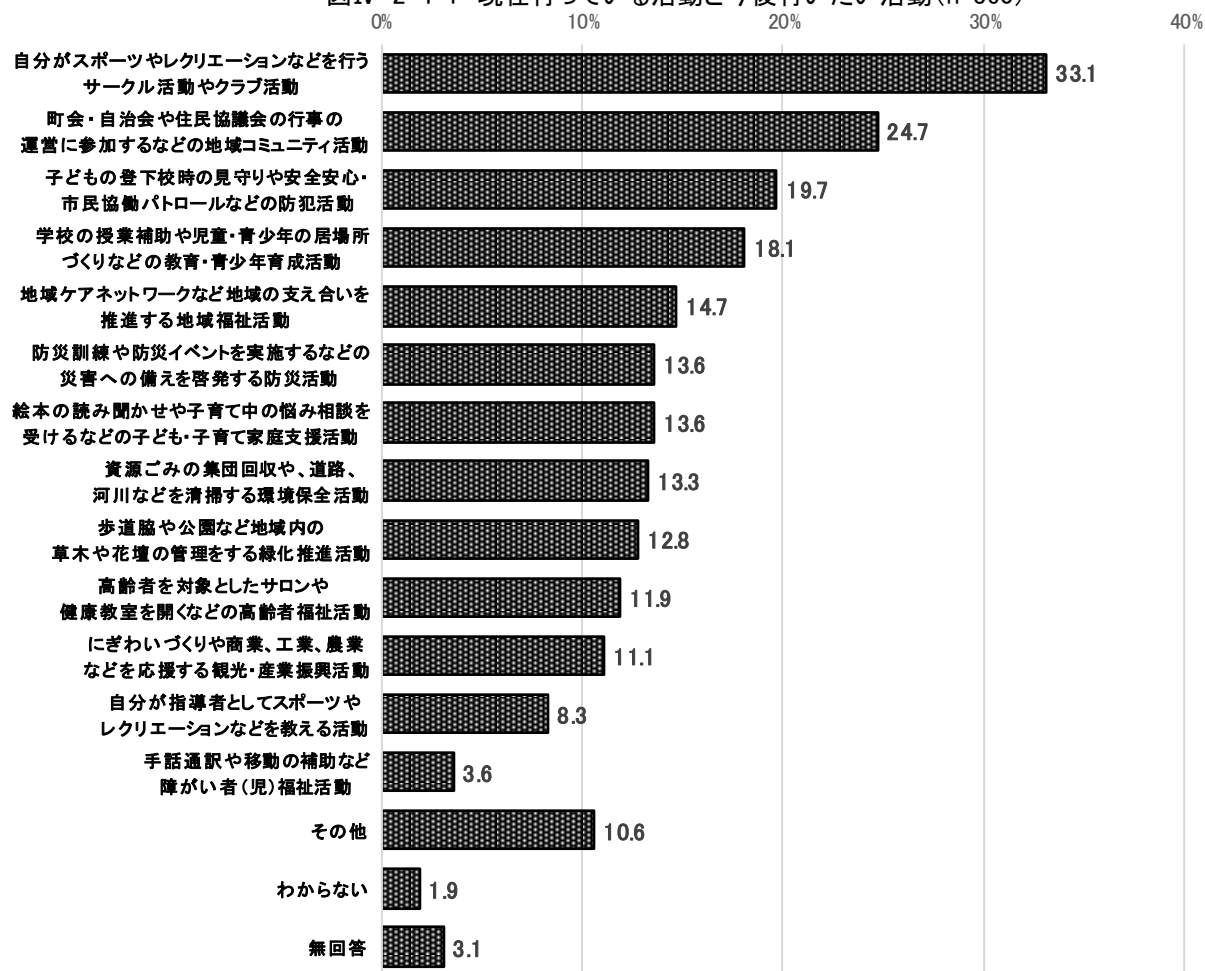
#### (4) 現在行っている活動と今後行いたい活動

問4-1:「活動している」と回答した方は現在行っている活動、「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方は今後行いたいと考えている活動について、**あてはまるものをすべて選**び、番号に○印をつけてください。[問4で「活動している」「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方対象]

「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(33.1%)」と「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(24.7%)」が上位2項目である。以降の項目は10%台が続く。

平成30年の調査結果と比較すると、上位3項目が平成30年より低下している。最も低下しているのは「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動」であり、7.7ポイント低下している。

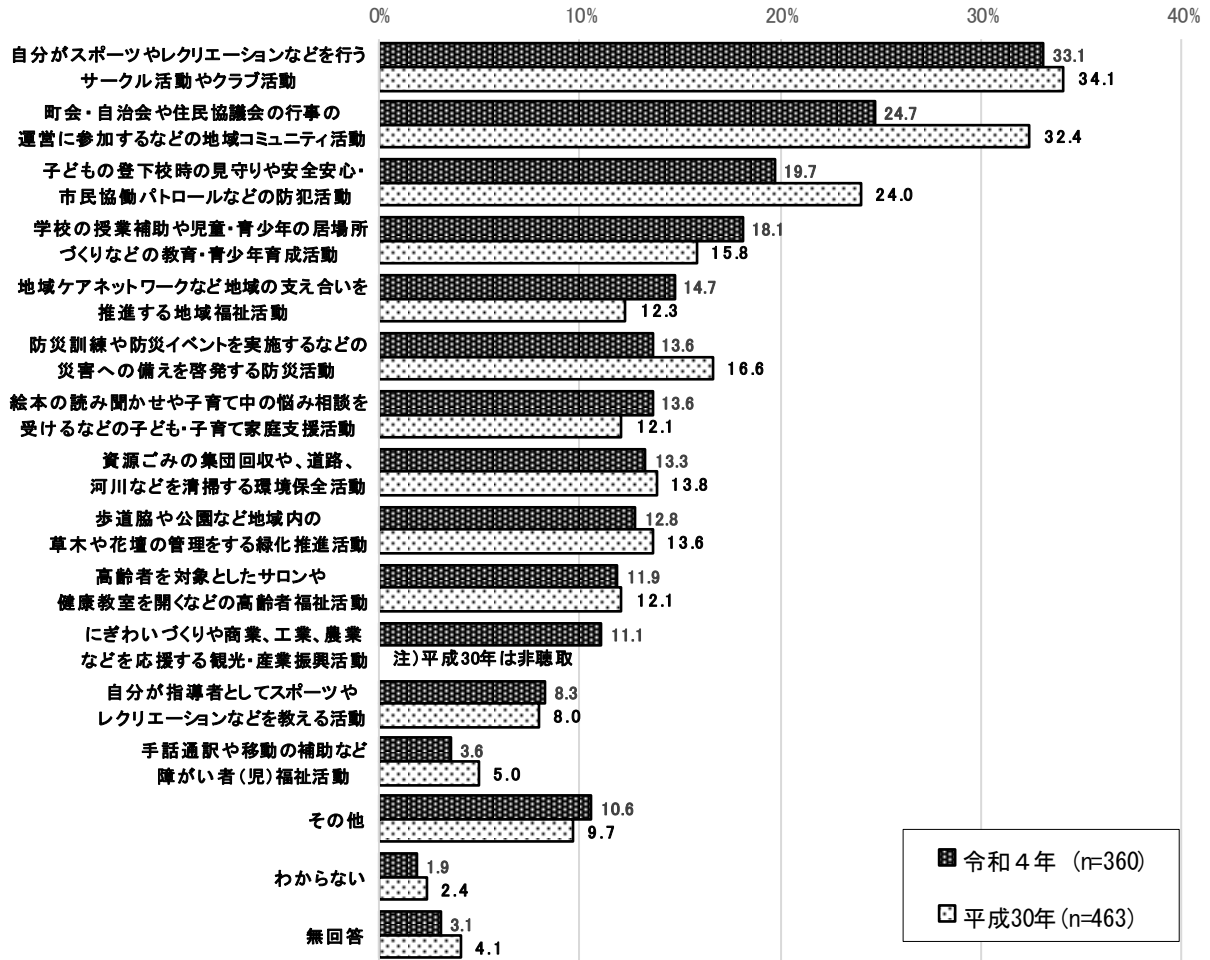
図IV-2-4-1 現在行っている活動と今後行いたい活動(n=360)



**【その他の回答】**

「図書館や公園などでのボランティア活動」、「講座の講師」、「町内の役員・町内パトロール」、「地域の交通隊」、「障がい者支援」、「捨て猫等の動物の保護」など

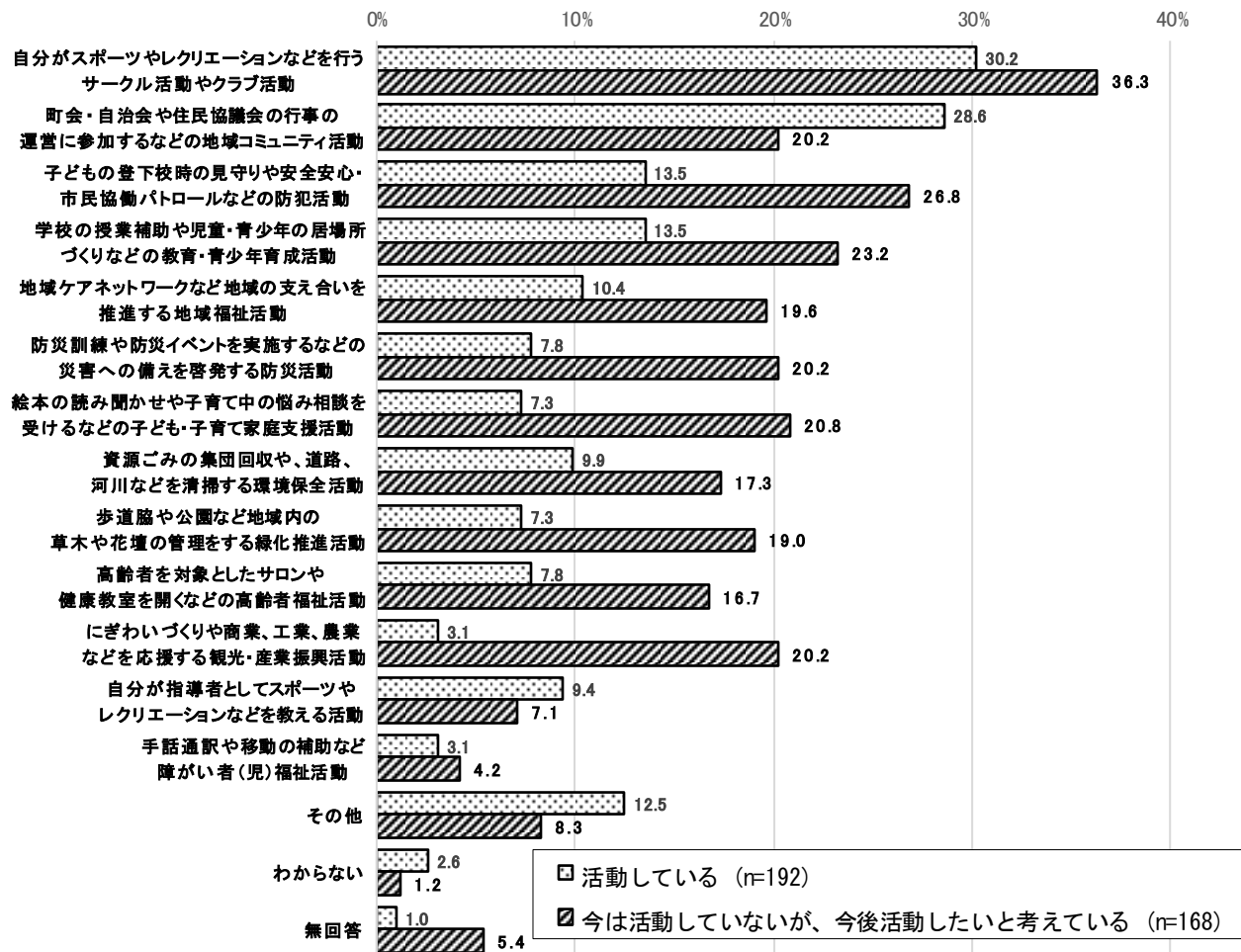
図IV-2-4-2 現在行っている活動と今後行いたい活動(過去調査比較)



### ① 地域活動の参加状況別

地域活動の参加状況別では、活動している層では「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(30.2%)」と「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(28.6%)」のみが30%前後で、他項目は20%に達していない。今は活動していないが、今後活動したいと考えている層では、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(36.3%)」を筆頭に20%以上が7項目存在する。

図IV-2-4-3 現在行っている活動と今後行いたい活動(地域活動の参加状況別)

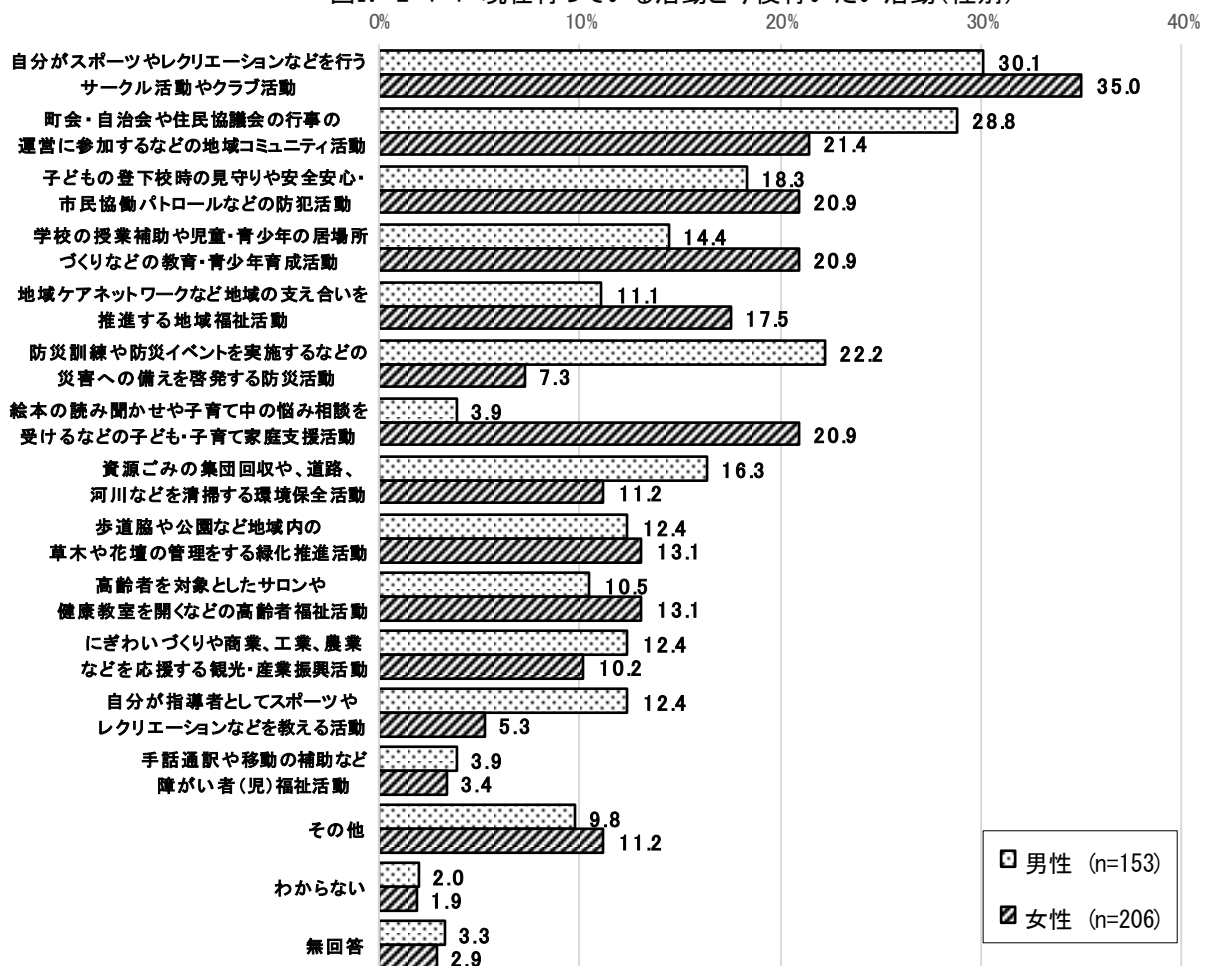


## ② 性・年齢別

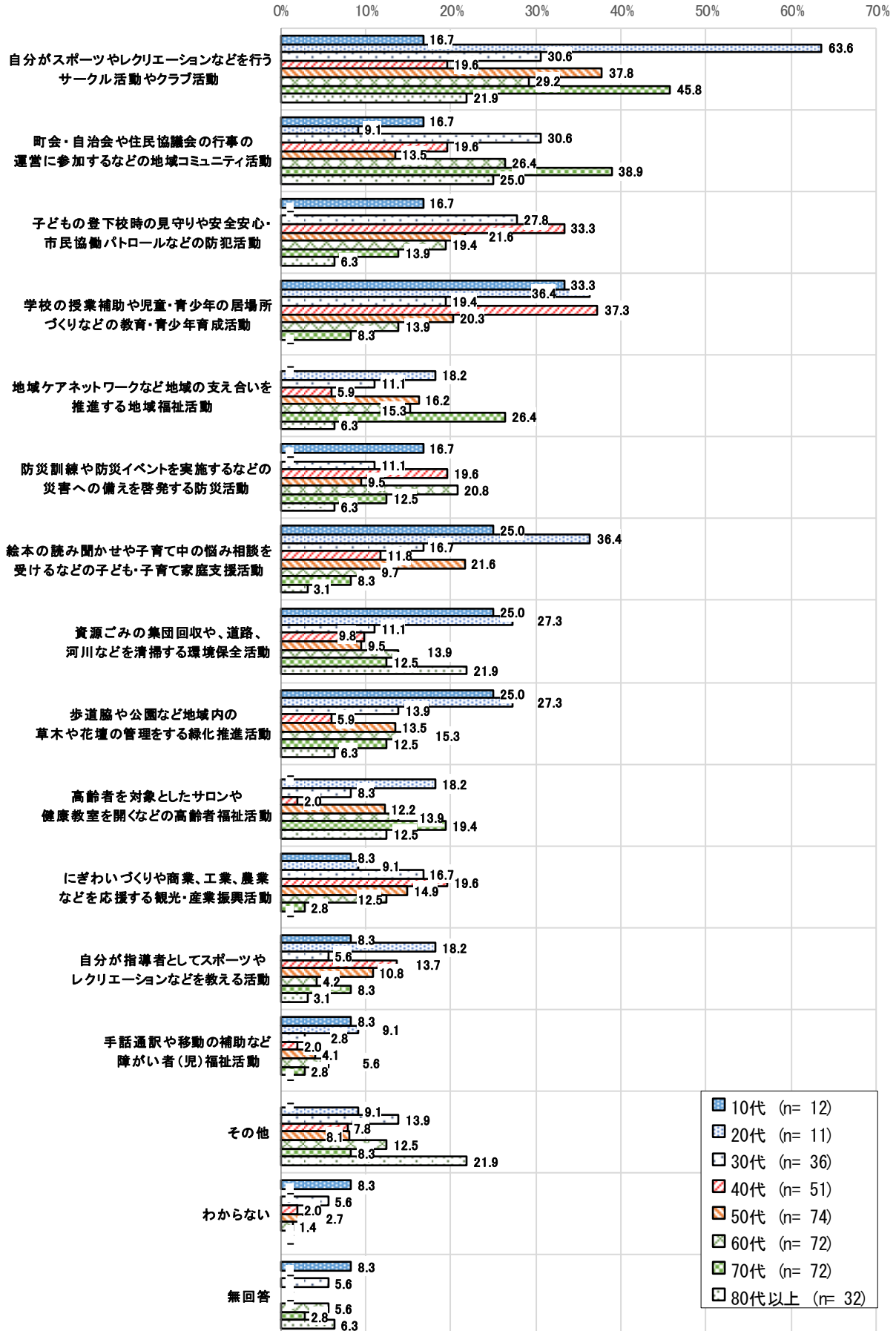
性別でみると、男性は「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(30.1%)」、「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(28.8%)」、「防災訓練や防災イベントを実施するなどの災害への備えを啓発する防災活動(22.2%)」の3項目が20%以上であるのに対し、女性では「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(35.0%)」、「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(21.4%)」、「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動(20.9%)」、「学校の授業補助や児童・青少年の居場所づくりなどの教育・青少年育成活動(20.9%)」、「絵本の読み聞かせや子育て中の悩み相談を受けるなどの子ども・子育て家庭支援活動(20.9%)」の5項目が20%以上である。また、「絵本の読み聞かせや子育て中の悩み相談を受けるなどの子ども・子育て家庭支援活動」は女性の方が17.0ポイント高い。逆に「防災訓練や防災イベントを実施するなどの災害への備えを啓発する防災活動」は男性の方が14.9ポイント高い。

年齢別でみると、10代・20代は回答数が少ないため傾向をみるのは難しいが、40代の「学校の授業補助や児童・青少年の居場所づくりなどの教育・青少年育成活動(37.3%)」、「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動(33.3%)」、50代の「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(37.8%)」、70代の「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動(45.8%)」、「町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動(38.9%)」等が高い。

図IV-2-4-4 現在行っている活動と今後行いたい活動(性別)



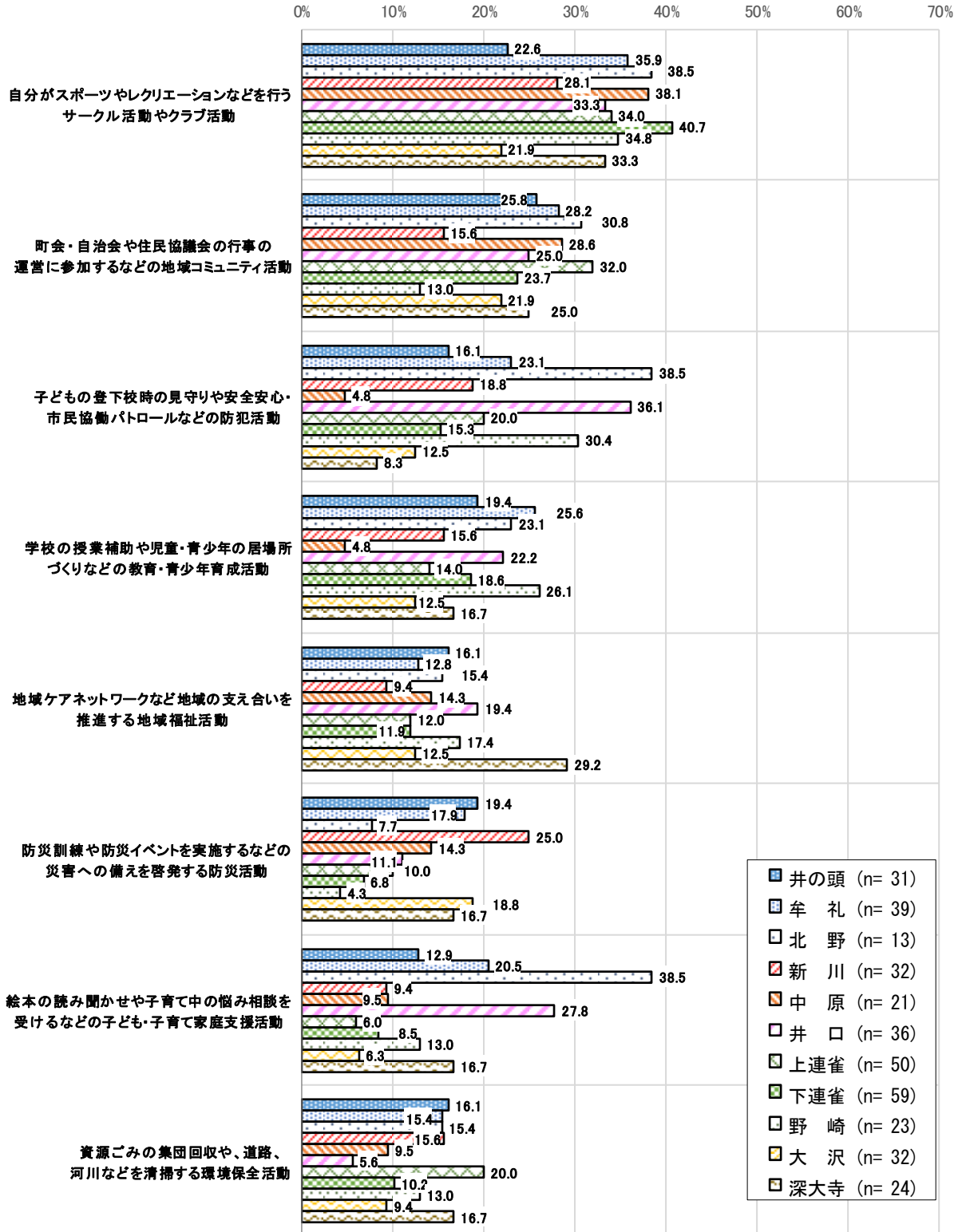
図IV-2-4-5 現在行っている活動と今後行いたい活動(年齢別)



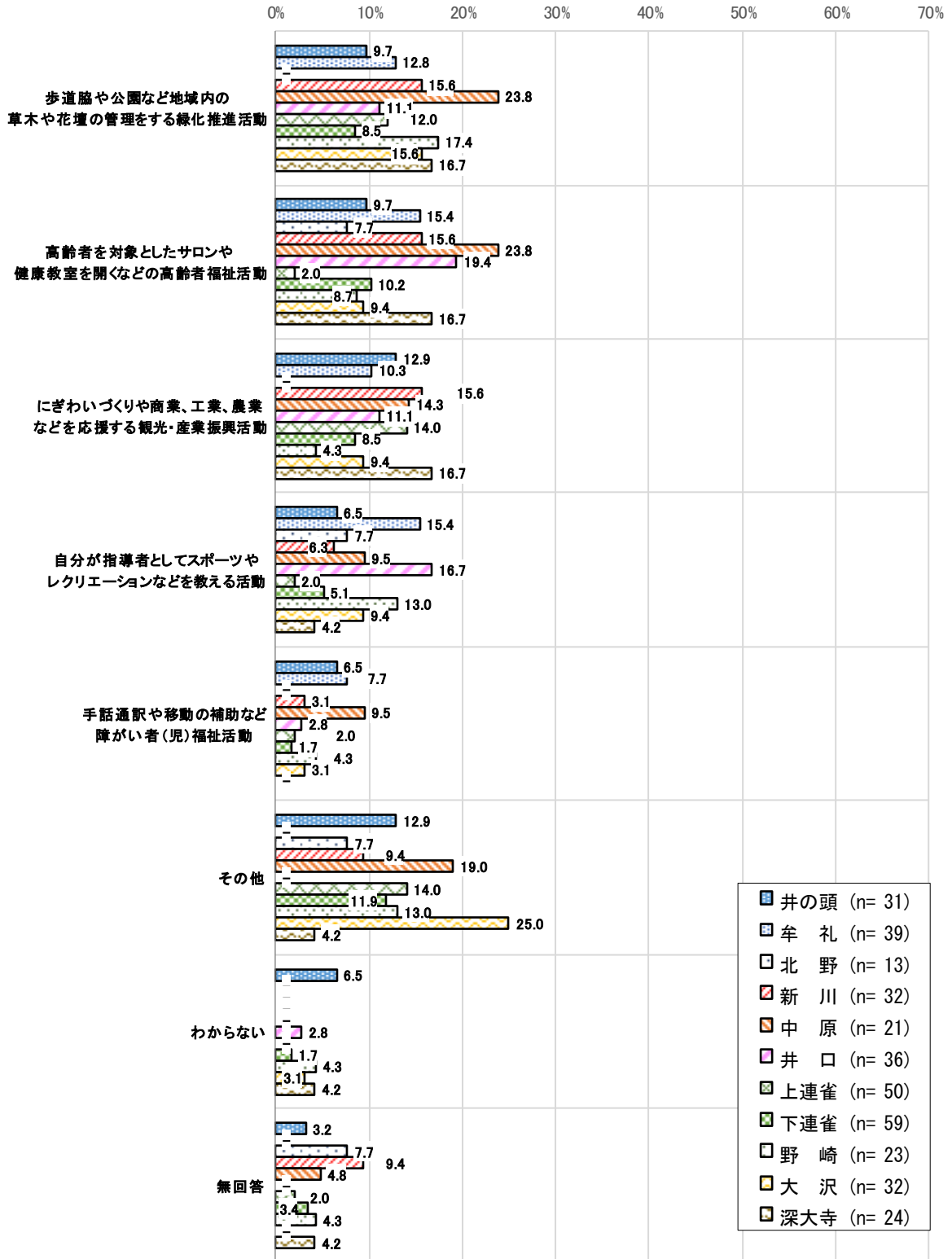
### ③ 地区別

地区別でみると、回答数が少ない地区があるため比較するのは難しいが、「自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動」は下連雀で 40.7%であるが、大沢(21.9%)、井の頭(22.6%)、新川(28.1%)では 20%台にとどまる。

図IV-2-4-6 現在行っている活動と今後行いたい活動(地区別)(その1)



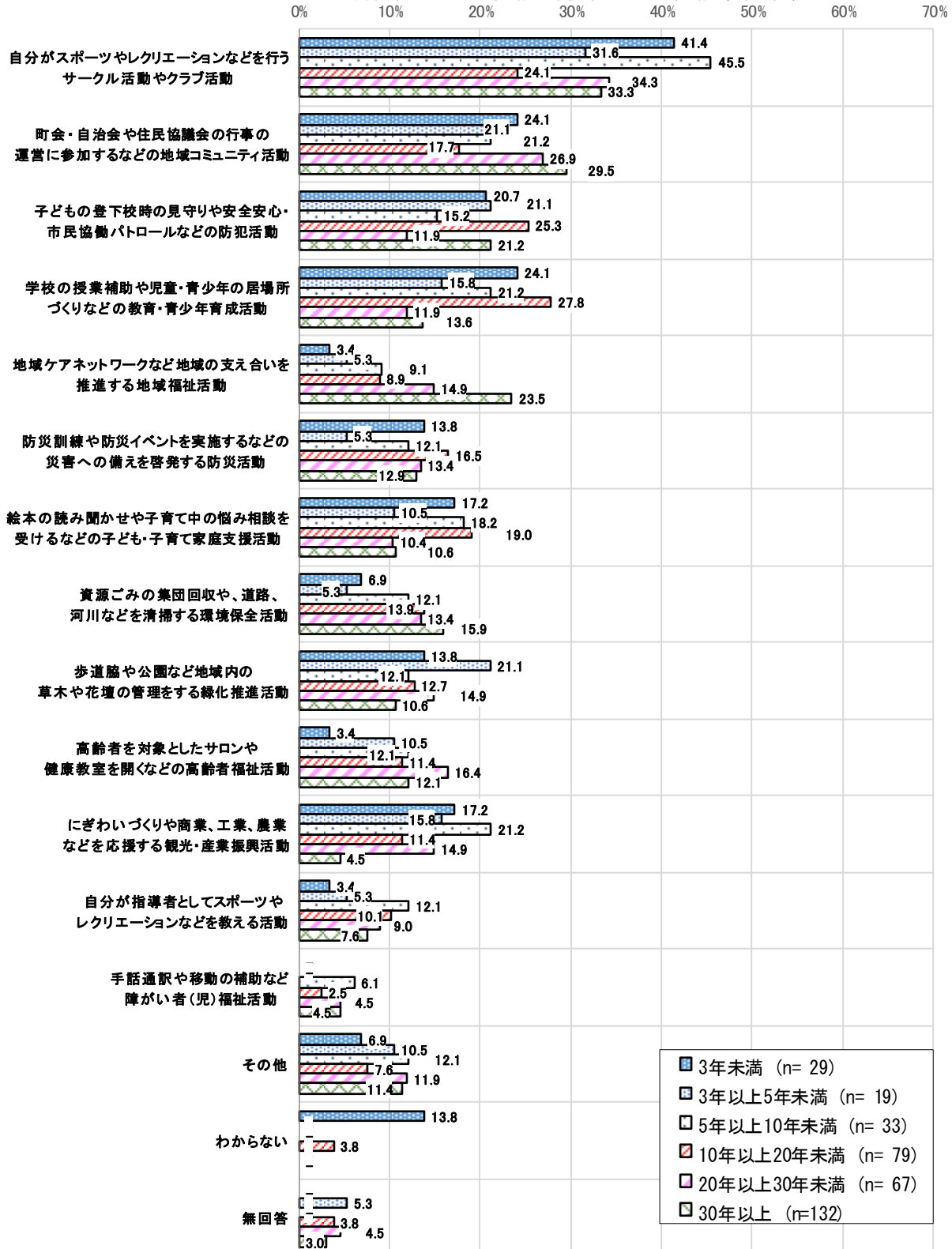
図IV-2-4-6 現在行っている活動と今後行いたい活動(地区別)(その2)



#### ④ 居住年数別

居住年数別でみると、回答数の少ない3年未満層・3年以上5年未満層を除くと、10年以上20年未満層では全体での上位2項目よりも「学校の授業補助や児童・青少年の居場所づくりなどの教育・青少年育成活動(27.8%)」、「子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動(25.3%)」が高い。

図IV-2-4-7 現在行っている活動と今後行いたい活動(居住年数別)





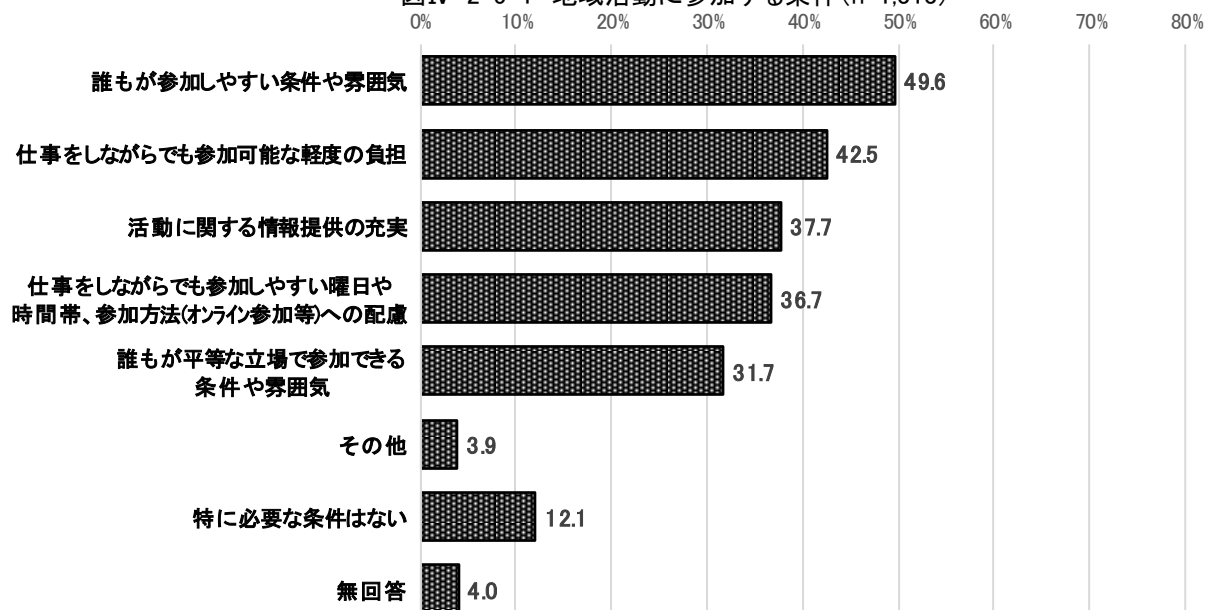
(5) 地域活動に参加する条件

問4-2:あなたが今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要となりますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問4で「今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「活動していない」と回答した方対象]

「誰もが参加しやすい条件や雰囲気(49.6%)」、「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担(42.5%)」が40%以上で、他3項目も30%台で続く。

過去の調査結果と比較すると、今回から「誰もが参加しやすい条件や雰囲気」が新規項目として追加されており単純比較はできないが、「誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気」以外の3項目は今回が最も高い。

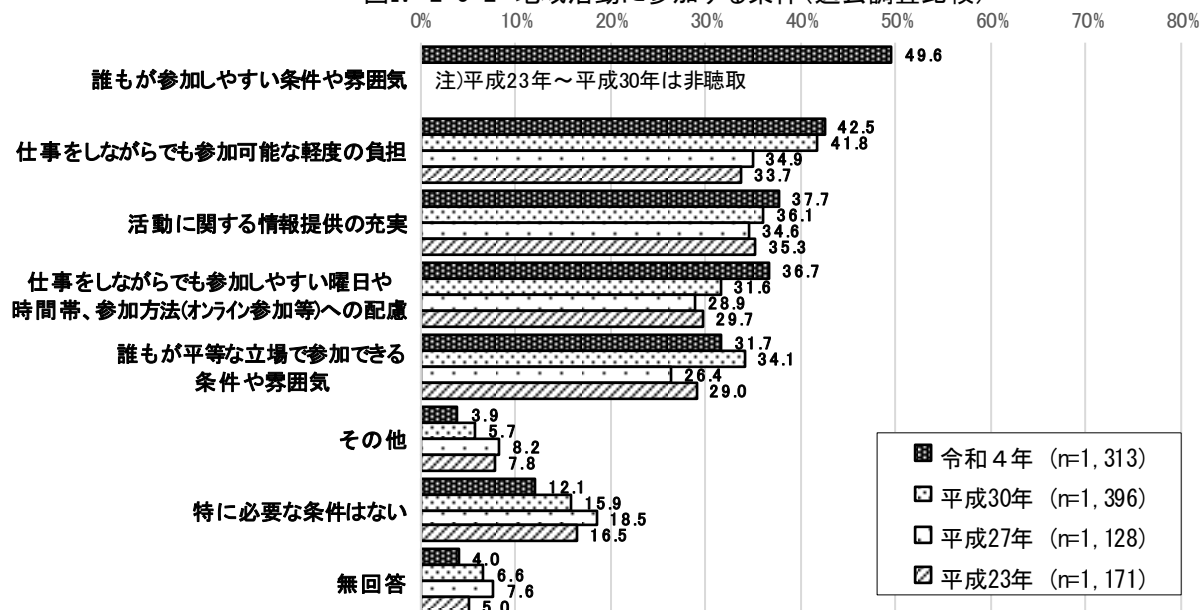
図IV-2-5-1 地域活動に参加する条件(n=1,313)



【その他の回答】

「魅力あるテーマ」、「学生でも活躍できるような場所、時間帯、環境」、「活動のためのスペース」、「金銭的支援」、「年齢・障がい・病気への配慮」、「活動したくない/活動できない(体調不良・高齢・障がいがある・時間がない)」など

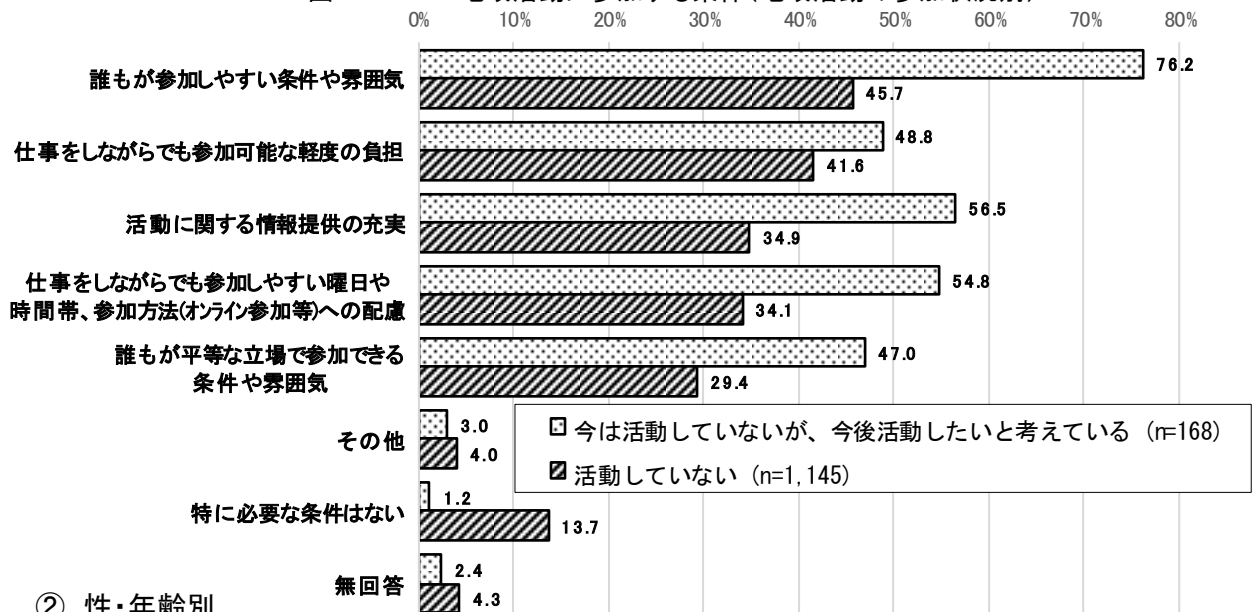
図IV-2-5-2 地域活動に参加する条件(過去調査比較)



### ① 地域活動の参加状況別

地域活動の参加状況別では、今は活動していないが、今後活動したいと考えている層では「誰もが参加しやすい条件や雰囲気(76.2%)」を筆頭に、他4項目も45%以上である。活動していない層は、今は活動していないが、今後活動したいと考えている層比較で全項目が低い。また、「特に必要な条件はない」は13.7%に達する。ただし、項目間のランクは全体結果と等しい。

図IV-2-5-3 地域活動に参加する条件(地域活動の参加状況別)

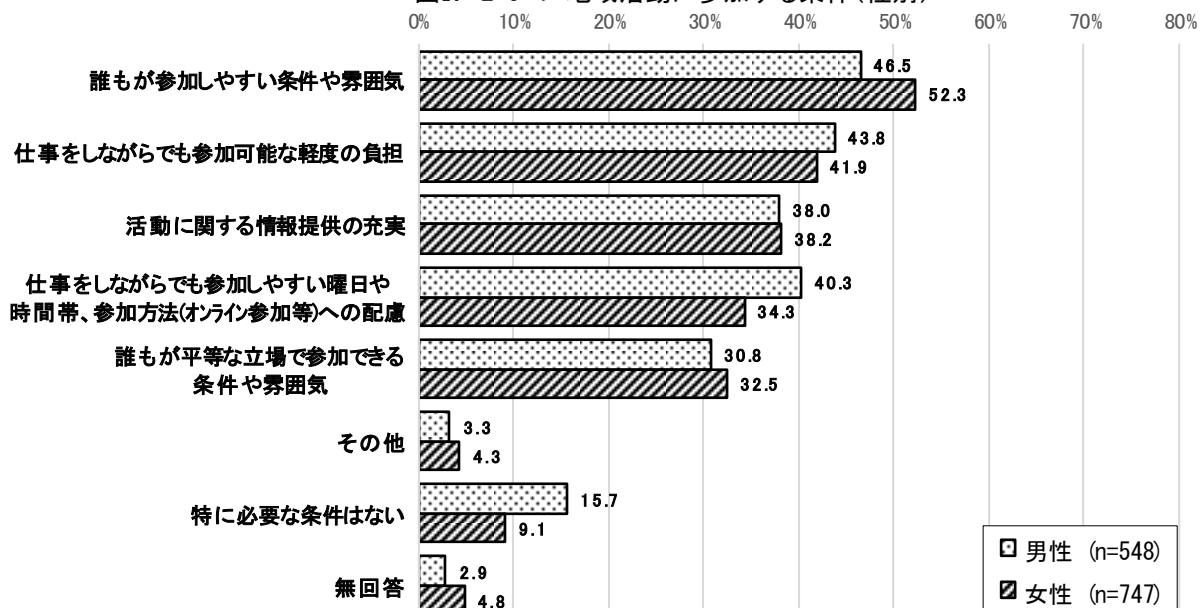


### ② 性・年齢別

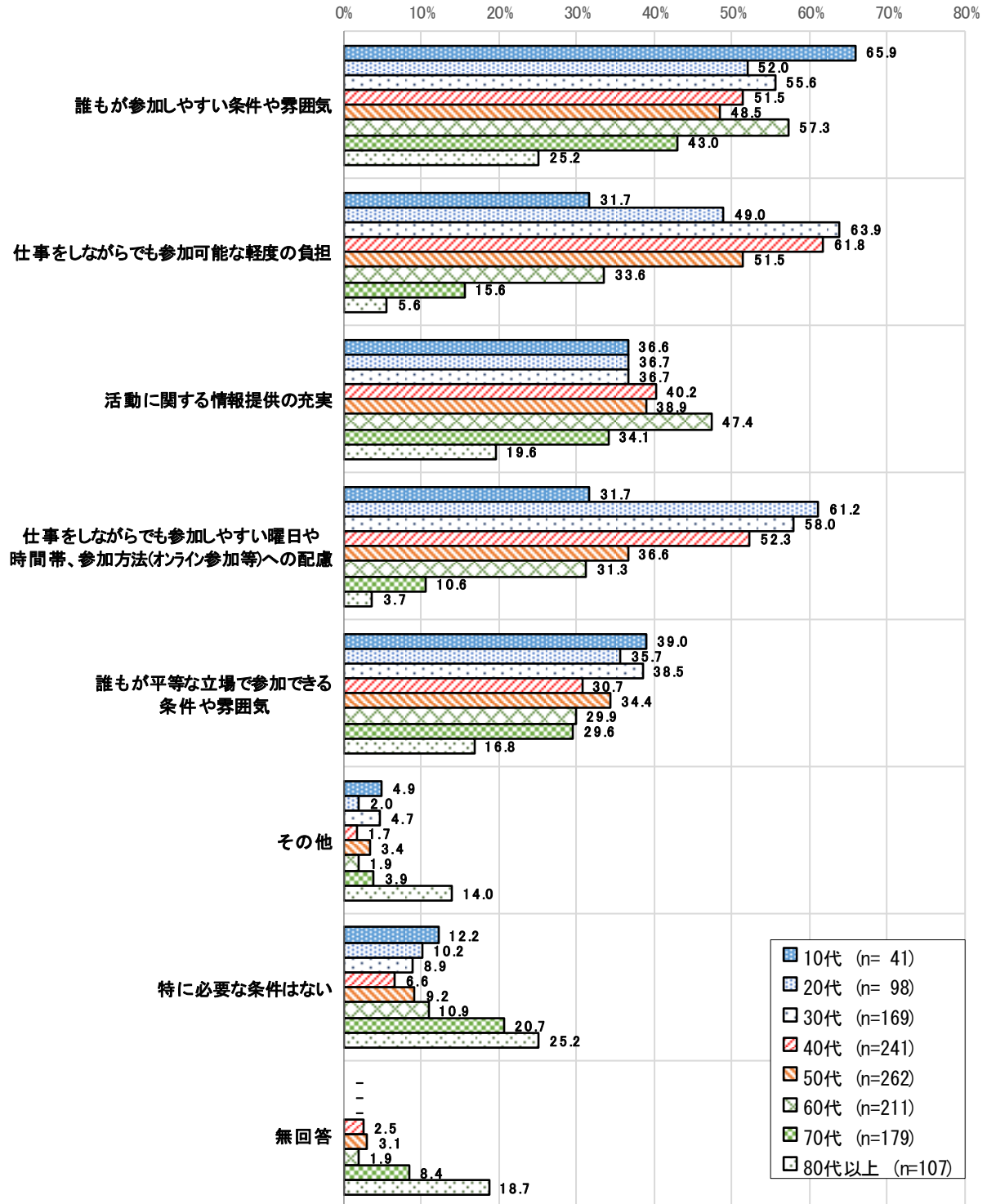
性別でみると、男女で差が大きいのは「特に必要な条件はない」、「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯、参加方法(オンライン参加等)への配慮」で、女性より男性の方が6ポイント以上高い。逆に「誰もが参加しやすい条件や雰囲気」は男性より女性の方が5.8ポイント高い。

年齢別でみると、10代の「誰もが参加しやすい条件や雰囲気(65.9%)」、20代の「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯、参加方法(オンライン参加等)への配慮(61.2%)」、30代・40代の「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担(30代・63.9%/40代・61.8%)」が60%以上である。その一方で80代以上は他年代と乖離があり、他年代より高いのは「特に必要な条件はない(25.2%)」、「その他(14.0%)」であり、「無回答」も18.7%存在する。

図IV-2-5-4 地域活動に参加する条件(性別)

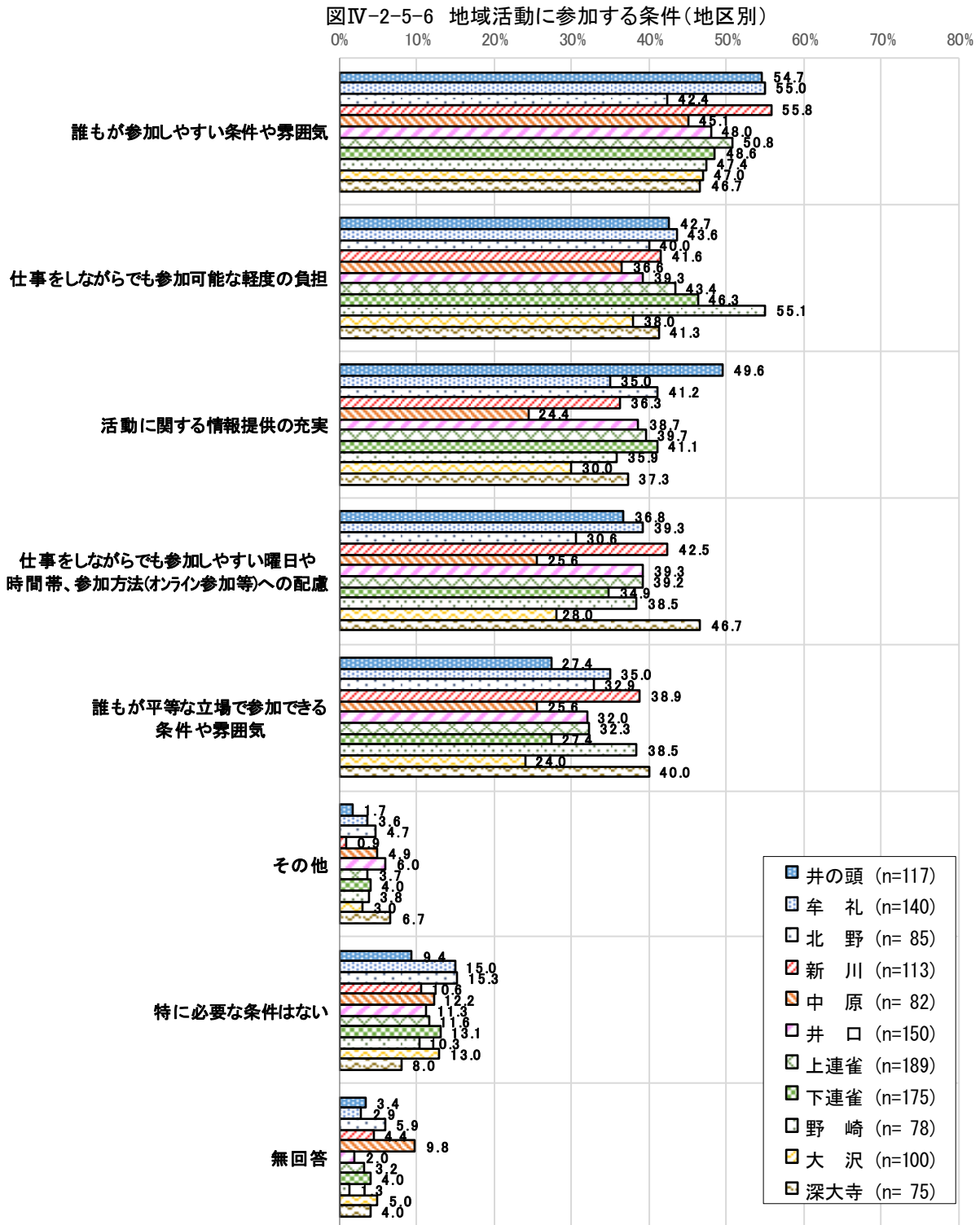


図IV-2-5-5 地域活動に参加する条件(年齢別)



### ③ 地区別

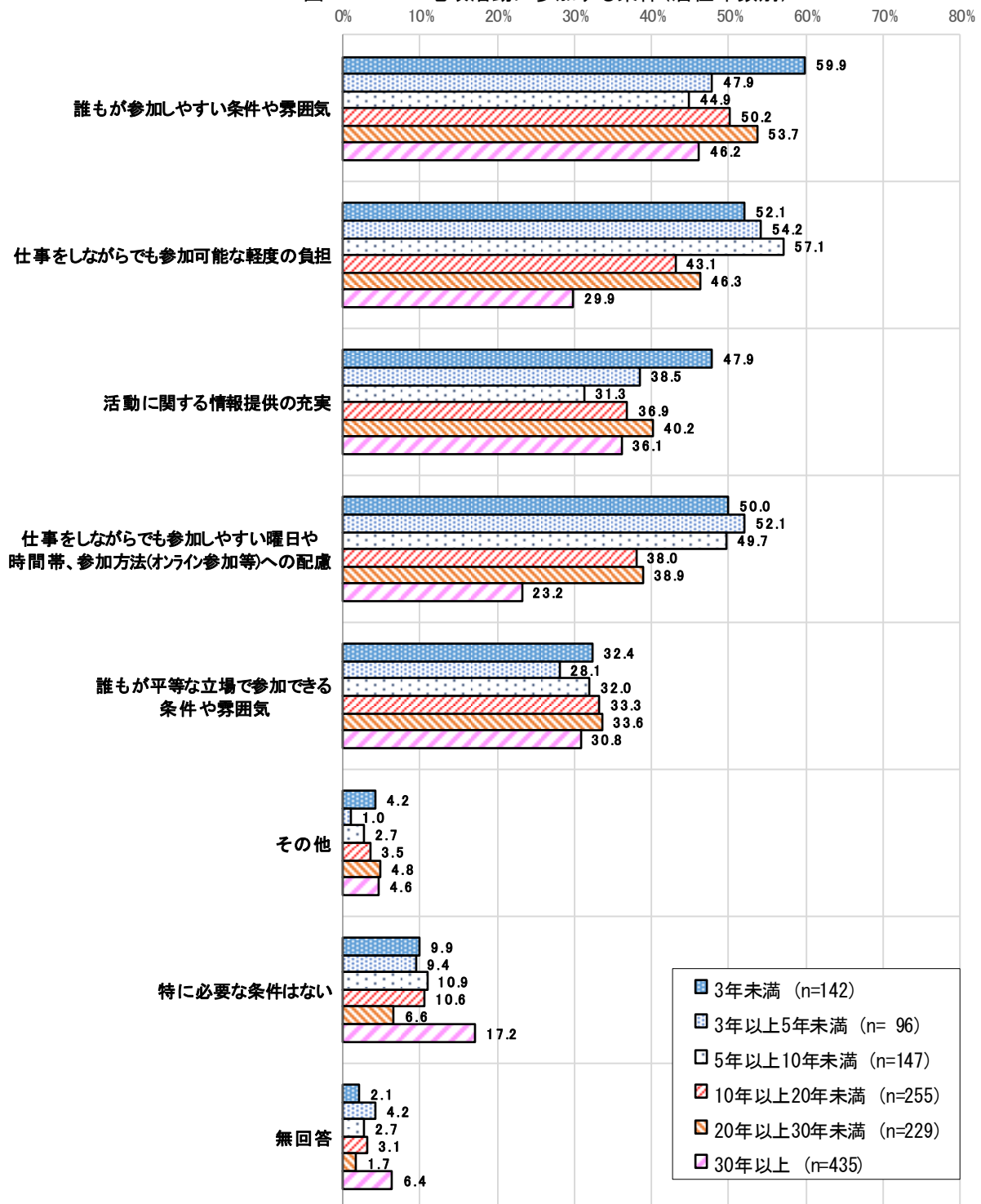
地区別でみると、「誰もが参加しやすい条件や雰囲気」は井の頭・牟礼・新川・上連雀で50%以上である。「活動に関する情報提供の充実」は井の頭(49.6%)と中原(24.4%)の差が大きい(25.2ポイント差)。



#### ④ 居住年数別

居住年数別でみると、「誰もが参加しやすい条件や雰囲気」、「活動に関する情報提供の充実」は3年未満層が最も高い。「仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担」、「仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯、参加方法(オンライン参加等)への配慮」は10年未満の3層が高く、各50%前後である。

図IV-2-5-7 地域活動に参加する条件(居住年数別)



### 3 三鷹市政に対する総合的な満足度・行政機関としての信頼度

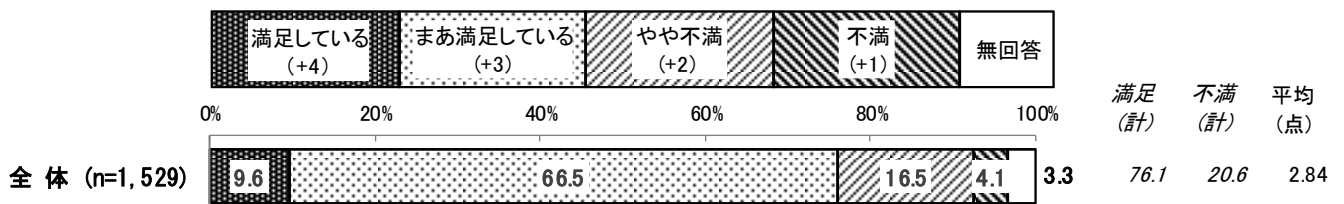
#### (1) 三鷹市政の満足度

問5: 三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

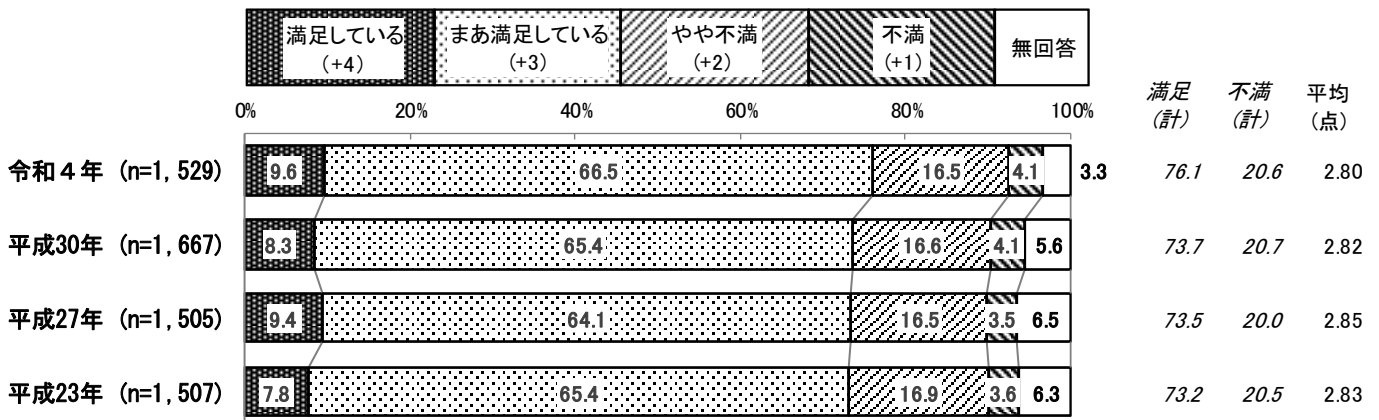
「まあ満足している」が 66.5%を占め、最も高い。「満足(計) (「満足している」+「まあ満足している」)」は 76.1%に達する。一方、「不満(計) (「やや不満」+「不満」)」は 20.6%である。平均点は 2.84 点。

過去の調査結果と比較すると、傾向はほぼ同様だが、「無回答」が若干減少している。無回答を除いて再集計すると「満足(計)」78.7%、「不満(計)」21.3%であり、平成 27 年水準である。

図IV-3-1-1 三鷹市政の満足度

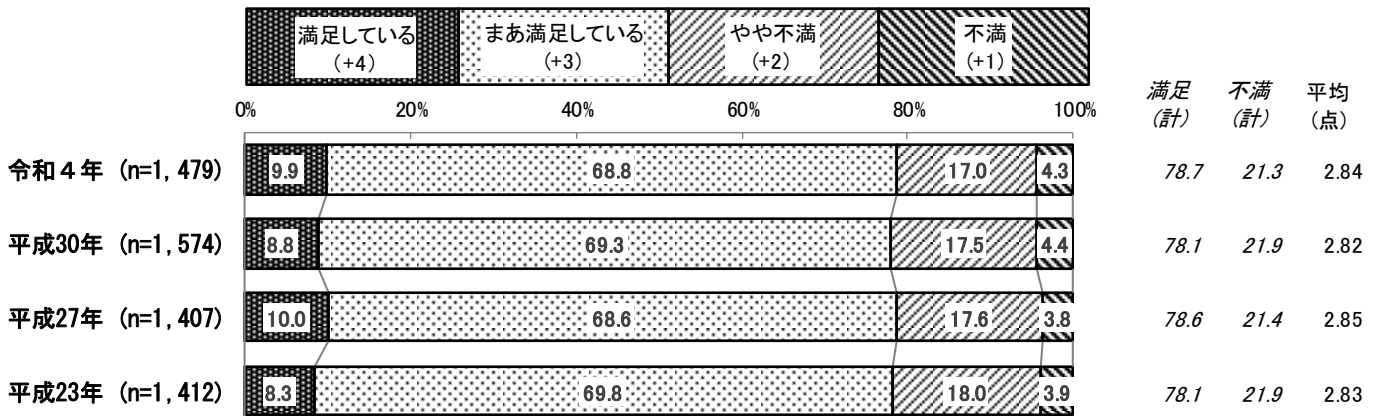


図IV-3-1-2 三鷹市政の満足度(過去調査比較)



#### 【参考資料】

三鷹市政の満足度(過去調査比較—無回答を除いた場合)

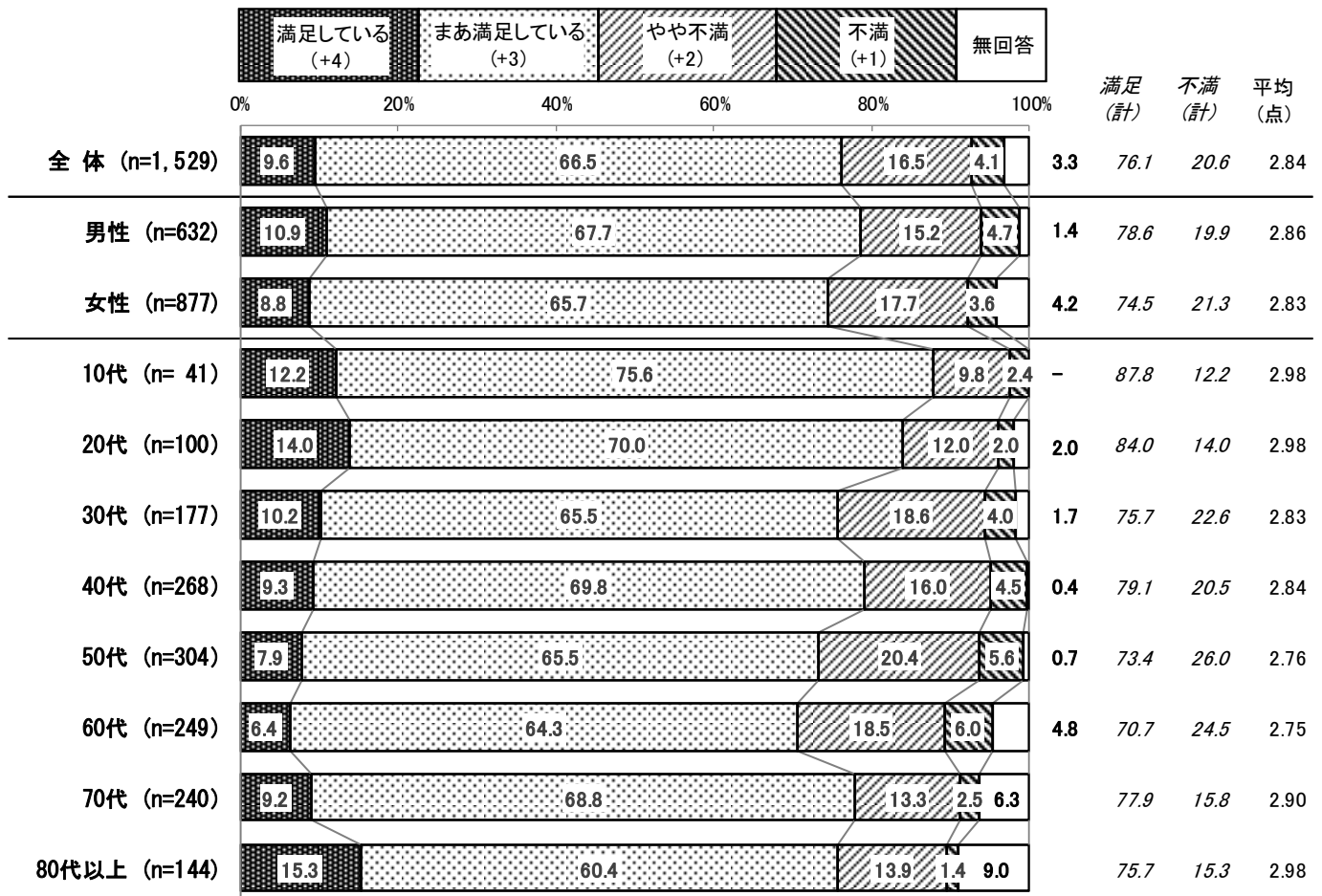


① 性・年齢別

性別でみると、男性の方が「満足(計)」がやや高く78.6%である。

年齢別でみると、「満足(計)」が各年代共に70%以上である。その中でも10代(87.8%)、20代(84.0%)は85%前後で特に高い。

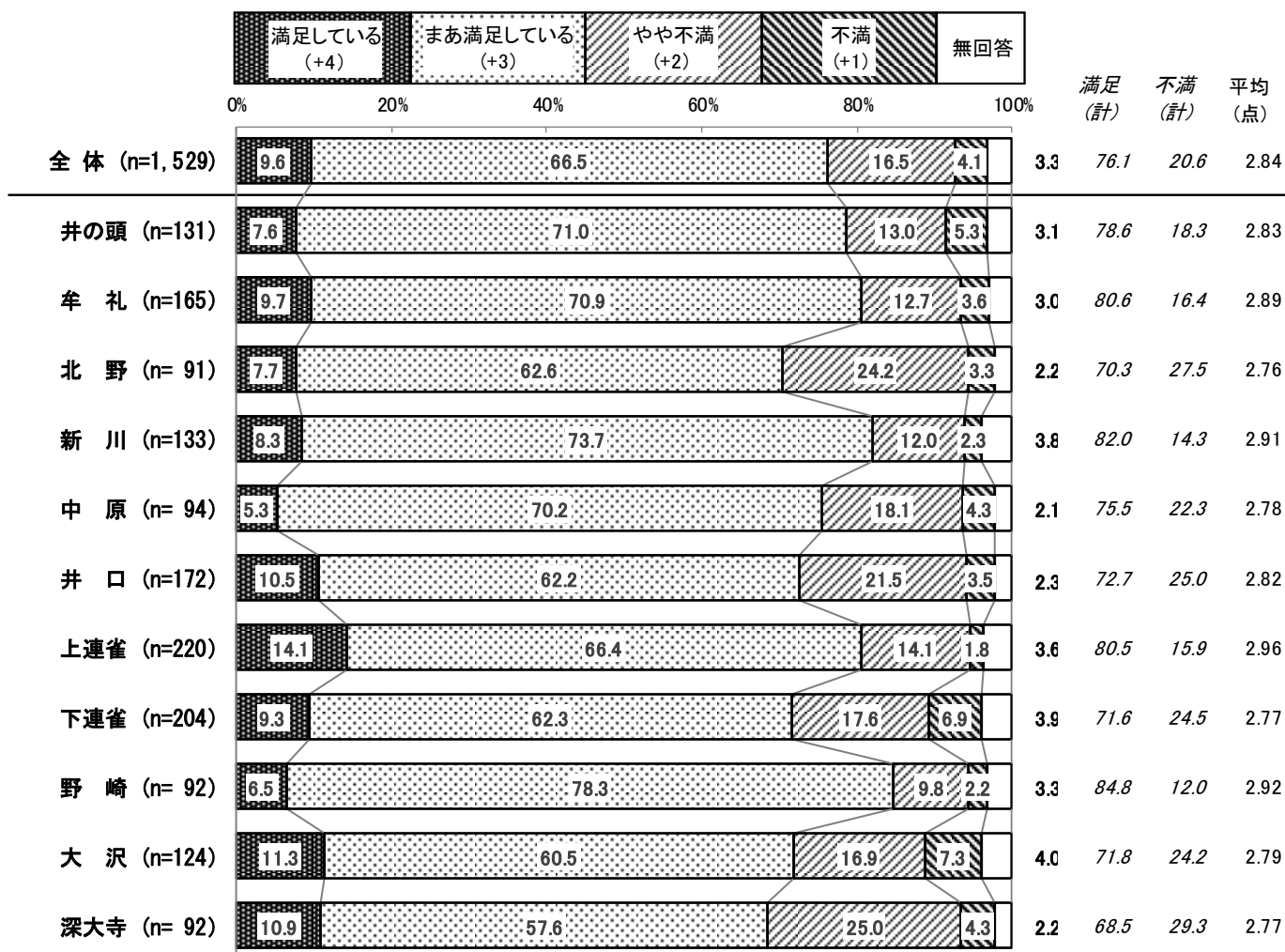
図IV-3-1-3 三鷹市政の満足度(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「満足(計)」が最も高いのは野崎(84.8%)で、新川(82.0%)、牟礼(80.6%)、上連雀(80.5%)が80%以上である。「不満(計)」は北野(27.5%)、井口(25.0%)が25%以上である。

図IV-3-1-4 三鷹市政の満足度(地区別)





(2) 三鷹市政の満足度の理由

問5-1: そのように思う理由をご記入ください。

問5の三鷹市政についての総合的な満足度の回答についての理由を自由記入で回答してもらい、その内容を分類した。問5で「満足(計)」は満足理由のみ、「不満(計)」は不満理由のみを分類した。

満足な点は「施策の成果が出ている/安定した市政運営(57件)」、「職員応対がよい/市長が信頼できる(52件)」が50件以上である。「行政サービス(医療・福祉・ごみ・ワクチン等)が行き届いている(48件)」の中には、コロナ禍関連の記述(22件)が含まれている。また、「広報誌等による積極的な情報公開/市民の意見を吸い上げている(47件)」では、【広報みたか】に関する記述が目立った。

不満な点は「施策の内容・方向性・成果等に不満(44件)」、「情報提供が少ない/市民の意見が反映されていない(36件)」、「行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満/地域格差がある(34件)」が30件以上である。

満足点、不満点とも「施策」に関する回答が最上位を占め、平成30年の調査結果と変わらない。

表IV-3-2-1 三鷹市政の満足度の理由

| 満足な点                           | 令和4年      | 平成30年     | 差   | 不満な点                         | 令和4年    | 平成30年   | 差   |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----|------------------------------|---------|---------|-----|
|                                | 満足計       |           |     |                              | 不満計     |         |     |
|                                | (n=1,164) | (n=1,229) |     |                              | (n=315) | (n=345) |     |
| 内容                             | 件数        | 件数        |     | 内容                           | 件数      | 件数      |     |
| 施策の成果が出ている/安定した市政運営            | 57        | 83        | -26 | 施策の内容・方向性・成果等に不満             | 44      | 52      | -8  |
| 職員応対がよい/市長が信頼できる               | 52        | 49        | 3   | 情報提供が少ない/市民の意見が反映されていない      | 36      | 24      | 12  |
| 行政サービス(医療・福祉・ごみ・ワクチン等)が行き届いている | 48        | 24        | 24  | 行政サービス(医療・福祉・ごみ等)に不満/地域格差がある | 34      | 33      | 1   |
| 広報誌等による積極的な情報公開/市民の意見を吸い上げている  | 47        | 12        | 35  | 道路整備が遅れている/自転車マナー・違法駐輪の改善    | 26      | 18      | 8   |
| 子育てしやすい/出産前後に様々なサポートがある        | 32        | 17        | 15  | 子育て支援の拡充(医療費助成・待機児童解消等)      | 23      | 36      | -13 |
| 住環境がよい/暮らしやすい                  | 27        | 53        | -26 | 公共施設(図書館・公園等)が不十分・不便・整備不足    | 23      | 35      | -12 |
| 高齢者生活支援に納得/障害者にやさしい            | 17        | 12        | 5   | 税金が高い                        | 21      | 8       | 13  |
| 地域コミュニティの機能が整っている/行事が充実/皆親切    | 17        | 10        | 7   | 公共交通機関の地域差が大きい/不十分           | 16      | 15      | 1   |
| 安全・安心/災害対策が充実                  | 13        | 26        | -13 | 教育環境(教育の質・施設環境等)がよくない        | 15      | 10      | 5   |
| 自然が多い/環境へ取り組む姿勢を評価             | 13        | 11        | 2   | 障害者・高齢者・低所得者への支援が不十分         | 14      | 21      | -7  |
| 公共施設が充実・便利                     | 11        | 26        | -15 | 職員応対がよくない/仕事の効率化             | 13      | 19      | -6  |
| 子ども教育が充実/小中一貫教育が良い             | 6         | 9         | -3  | 街に活気がない/経済の活性化対策が不十分         | 13      | 8       | 5   |
| 街がきれい/街並みが清潔                   | 4         | 4         | 0   | 緑地の減少/環境整備の認識力が低い            | 13      | 10      | 3   |
| 道路の整備が進んでいる                    | 3         | 7         | -4  | 恩恵がない/若者世代・働く世代への支援がない/不平等   | 10      | 16      | -6  |
|                                |           |           |     | 防災、防犯をもっとやるべき                | 5       | 5       | 0   |
| その他                            | 3         | 3         | 0   | その他                          | 11      | 13      | -2  |
| 不満・トラブルがない/他市と比べて              | 256       | 202       | 54  |                              |         |         |     |
| (共通)接点がない/わからない/興味がない/他を知らない   |           |           |     |                              | 27      | 69      | -42 |
| (共通)特になし                       |           |           |     |                              | 29      |         |     |

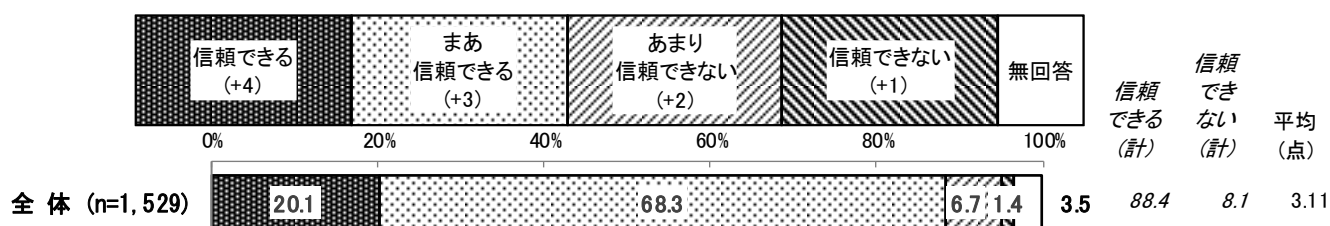
注) 1件の回答に複数の内容が記入されている場合はそれぞれの内容についてカウントした。そのため表の件数の合計とn数は一致しない。

### (3) 三鷹市役所の行政機関としての信頼度

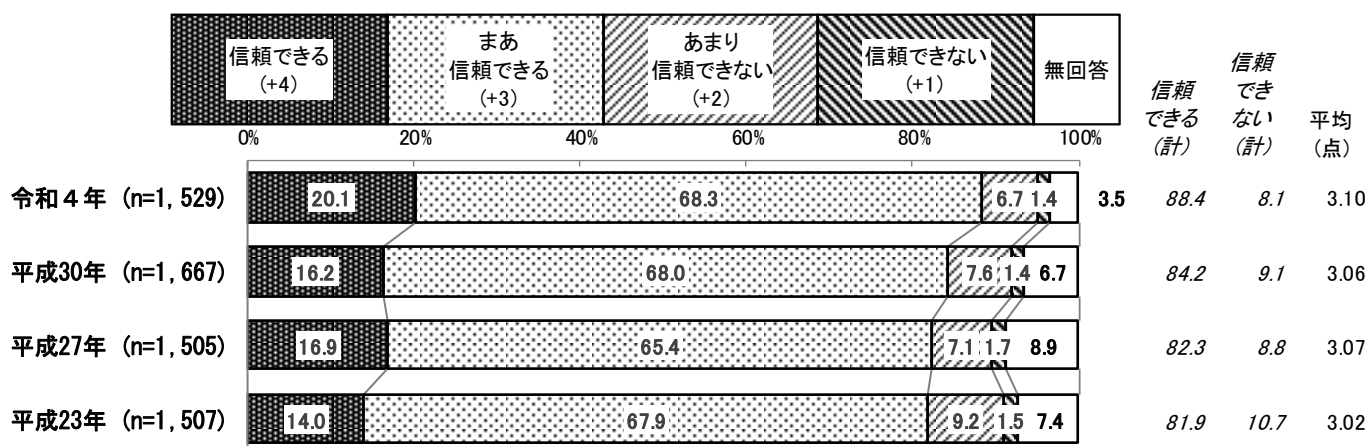
問6: 三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「まあ信頼できる」が 68.3%で最も高い。「信頼できる(計) (「信頼できる」+「まあ信頼できる」)」は 88.4%に達する。「信頼できない(計) (「あまり信頼できない」+「信頼できない」)」は 8.1%である。前問の三鷹市政の満足度よりさらに三鷹市役所の行政機関としての信頼度の方が高い。平均点は 3.11 点。過去の調査結果と比較すると、「信頼できる」が伸長しており、「信頼できる(計)」も同様である。また、「信頼できない(計)」も8%台に低下している。

図IV-3-3-1 三鷹市役所の行政機関としての信頼度

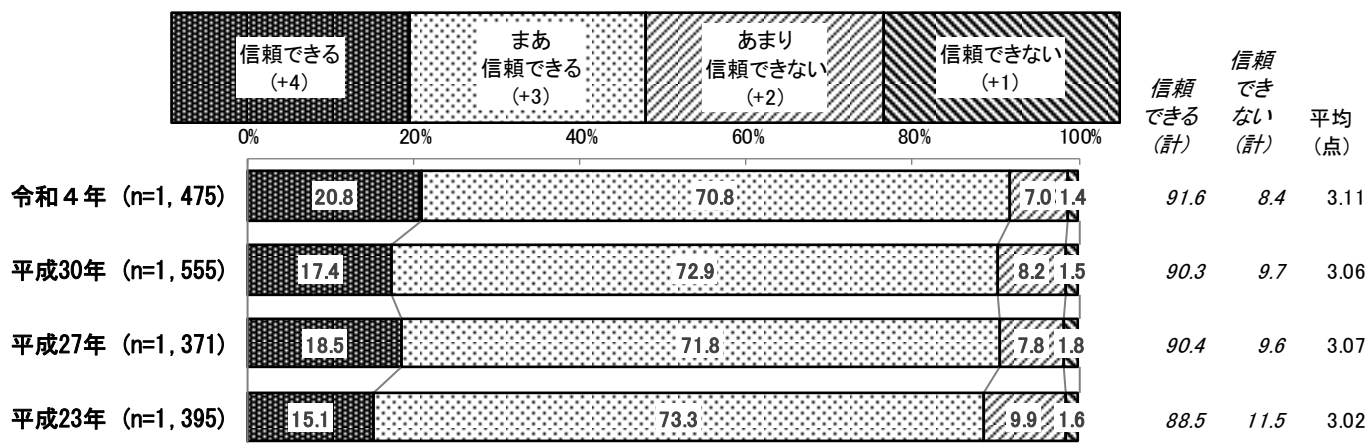


図IV-3-3-2 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(過去調査比較)



#### 【参考資料】

三鷹市役所の行政機関としての信頼度(過去調査比較—無回答を除いた場合)

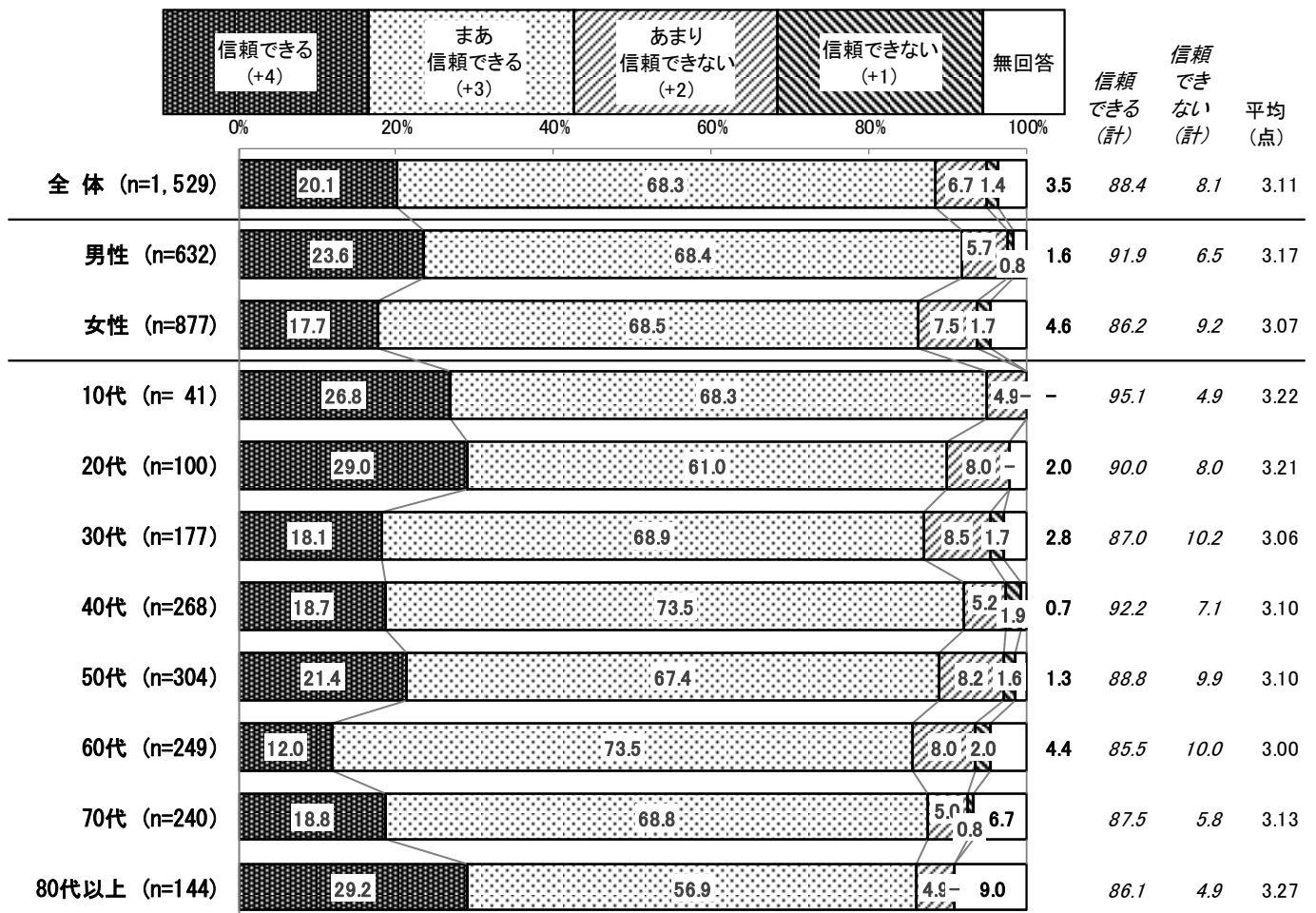


① 性・年齢別

性別でみると、男性は「信頼できる」が 23.6%、「信頼できる(計)」は 91.9%に達する。女性より男性の方が高い。

年齢別でみると、10代・20代の評価が高く、「信頼できる」が 25%以上、「信頼できる(計)」は 90%以上である。「信頼できない(計)」は、30代(10.2%)、60代(10.0%)で 10%台である。

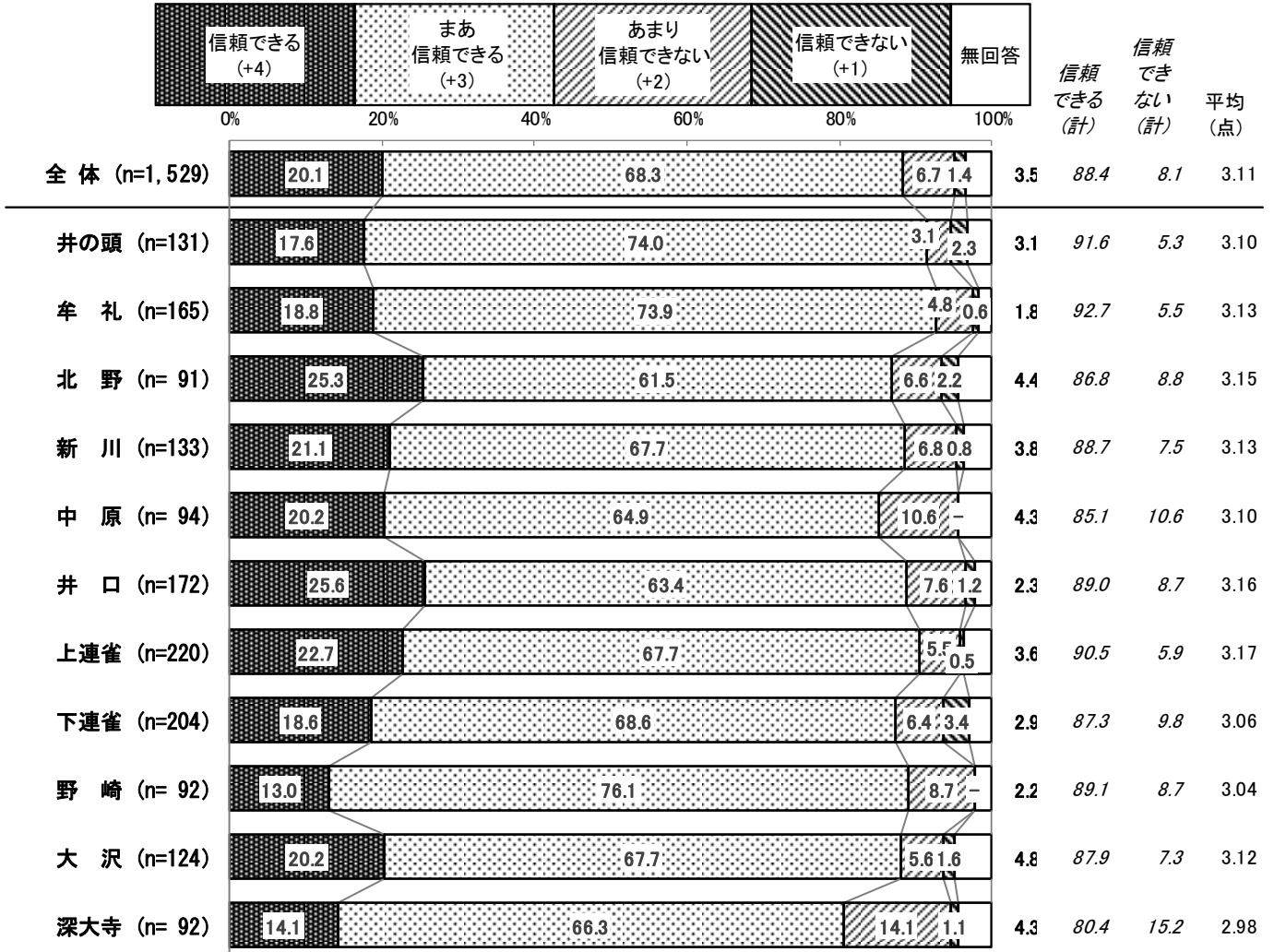
図IV-3-3-3 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「信頼できる(計)」が最も高いのは牟礼(92.7%)であり、井の頭(91.6%)、上連雀(90.5%)が続く。逆に、最も低いのは深大寺(80.4%)で、「信頼できない(計)」も15.2%で最も高く、平均点は唯一3点を下回る。

図IV-3-3-4 三鷹市役所の行政機関としての信頼度(地区別)



#### (4) 三鷹市役所に期待すること

問7: 三鷹市役所に期待すること、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

三鷹市役所に期待することや意見・要望について自由記入で回答してもらい、その内容を分類した。「公共施設(57件)」に関する意見・要望が最も多く、この中には「市庁舎の建て替え、古い」といった記述が20件含まれる。「市政(47件)」、「情報公開(47件)」、「職員の対応・態度(40件)」についても多く挙げられた。

表IV-3-4-1 三鷹市役所に期待すること

| 内 容  | 令和4年           | 平成30年          | 差   |
|--|----------------|----------------|-----|
|  | 記述者<br>(n=482) | 記述者<br>(n=440) |     |
| 公共施設(市庁舎の建て替え/公園の整備・拡充/図書館の充実<br>/市全体にバランス良く施設を配置)   | 57             | 36             | 21  |
| 市政(若者向けの政策を/全ての市民への支援/魅力ある市に/優先順位よく考えて)              | 47             | 52             | -5  |
| 情報公開(広報活動に工夫を/市民の意見を聞いてほしい/明確な情報開示)                  | 47             | 28             | 19  |
| 職員の対応・態度(親切・丁寧な対応を/わかりやすい説明を/明るい雰囲気のある役所に)           | 40             | 39             | 1   |
| 子育て支援(待機児童解消/医療費支援の拡大/子育て世代が転入しやすい環境を)               | 36             | 38             | -2  |
| 行政サービス(行政の効率化/行政サービスの充実/隣接市との連携)                     | 33             | 28             | 5   |
| 窓口サービス(デジタル化の推進/市政窓口のサービス拡充/夜間・土日対応)                 | 32             | 27             | 5   |
| 道路・交通整備(道路が狭い/歩道整備/道路が暗い)                            | 31             | 29             | 2   |
| 市役所(職員・議員が多すぎ/横の連携を/地域とのつながりを深める)                    | 21             | 25             | -4  |
| 商業(商業施設の充実/商店街に活気がない/客引きの取り締り)                       | 20             | 10             | 10  |
| 公共交通(アクセスが悪い/バスが少ない・値段が高い)                           | 18             | 26             | -8  |
| 教育環境(将来ある子どもたちへ予算を/人口増加に伴う小中学校不足/通学路の確保)             | 18             | 19             | -1  |
| 環境(環境整備対策を行って/森、畑、田んぼが共存している町に)                      | 17             | 13             | 4   |
| 税金(住民税・市税が高い/納税の軽減を)                                 | 16             | 12             | 4   |
| 高齢者支援(高齢者福祉政策の充実/高齢者の雇用確保/公共老人ホームの拡充)                | 15             | 26             | -11 |
| 防犯・防災(市民の安全・安心/防災対策)                                 | 14             | 26             | -12 |
| スポーツ・健康・芸術・文化(スポーツ施設/健康増進教育/音楽ホール・文化的な施設を)           | 11             | 18             | -7  |
| 障がい者支援(障がい者福祉の充実・フレキシブルな対応)                          | 9              | 6              | 3   |
| 開発(開発が遅れている地域がある/マンション開発により住環境悪化<br>/都市計画の方向が理解できない) | 9              | 15             | -6  |
| ごみ(ごみ袋代が高い/ごみ分別の緩和)                                  | 9              | 14             | -5  |
| 自転車(駐輪場が少ない・値段が高い/自転車のマナーが悪い)                        | 8              | 14             | -6  |
| 地域コミュニティ・ボランティア活動(参加しやすい環境作り/地域のコミュニティが希薄)           | 8              | 12             | -4  |
| 職員・窓口ポジティブな意見  | 49             | 36             | 13  |
| 特になし/不適當/満足/要望なし                                     | 65             | 69             | -4  |
| その他  | 4              | 4              | 0   |

注) 1件の回答に複数の内容が記入されている場合はそれぞれの内容についてカウントした。そのため表の件数の合計とn数は一致しない。

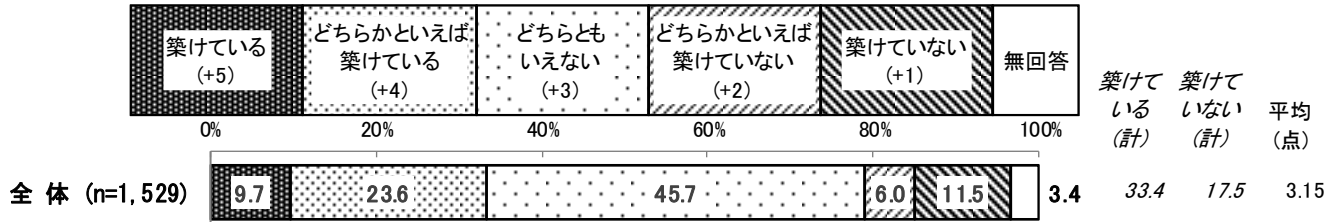
#### 4 平和、人権、国際化等

##### (1) 国籍や文化が異なる市民等との関係構築

問8:あなたは、国籍や文化が異なる市民等と良好な関係を築けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらともいえない」が 45.7%を占めている。「築けている(計)」「築けている」「どちらかといえば築けている」は 33.4%である。

図IV-4-1-1 国籍や文化が異なる市民等との関係構築

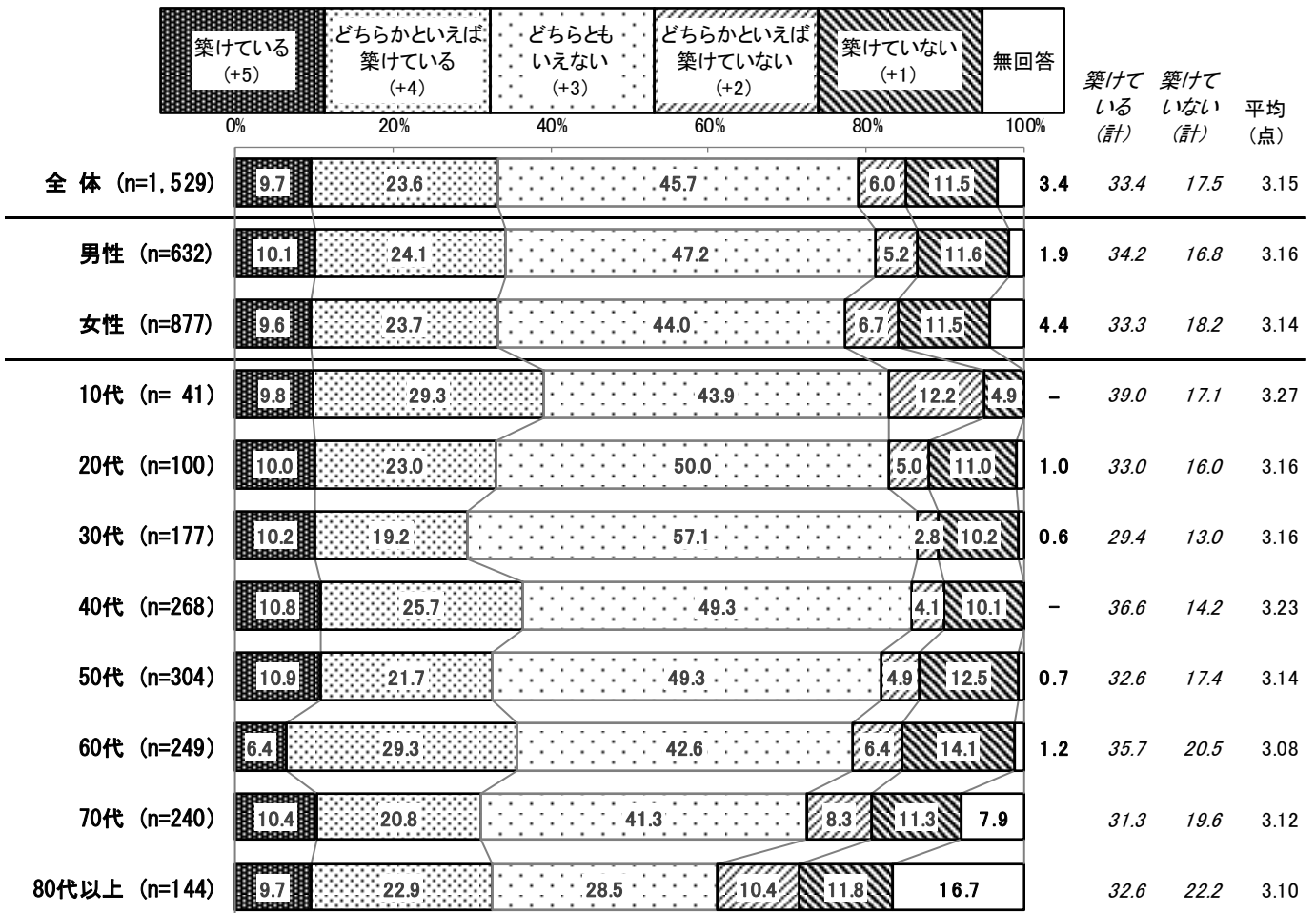


##### ① 性・年齢別

性別でみると、「築けていない(計)」「どちらかといえば築けていない」「築けていない」は、若干ではあるが女性の方が高い(18.2%)。

年齢別でも、「築けている(計)」は概ねの層で 30%台で推移している。「築けていない(計)」は 60代以上の計3層で 20%前後と高い。

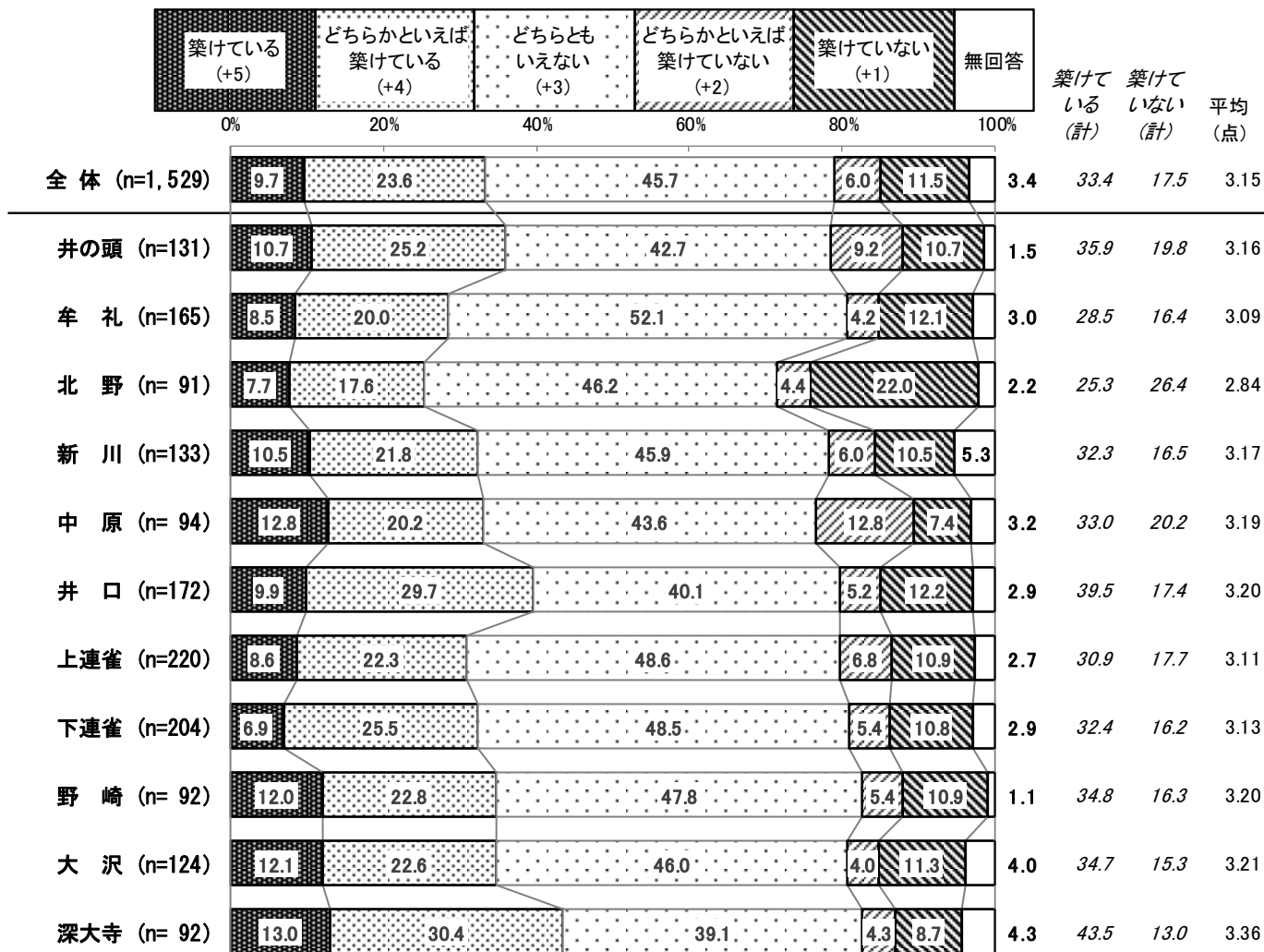
図IV-4-1-2 国籍や文化が異なる市民等との関係構築(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「築けている(計)」で最も高いのは深大寺(43.5%)で唯一 40%以上である。逆に、最も低いのは北野で 25.3%である。北野は「築けていない(計)」も最も高い(26.4%)。

図IV-4-1-3 国籍や文化が異なる市民等との関係構築(地区別)

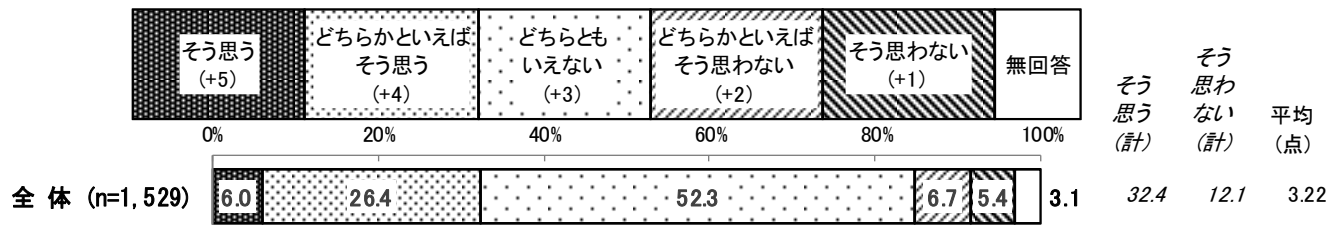


(2) 平和施策の効果

問9:あなたは、三鷹市の平和施策が市民の平和への意識醸成に十分効果があると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」は 6.0%にとどまり、「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」が 32.4%である。「どちらともいえない(52.3%)」が過半数を占める。

図IV-4-2-1 平和施策の効果

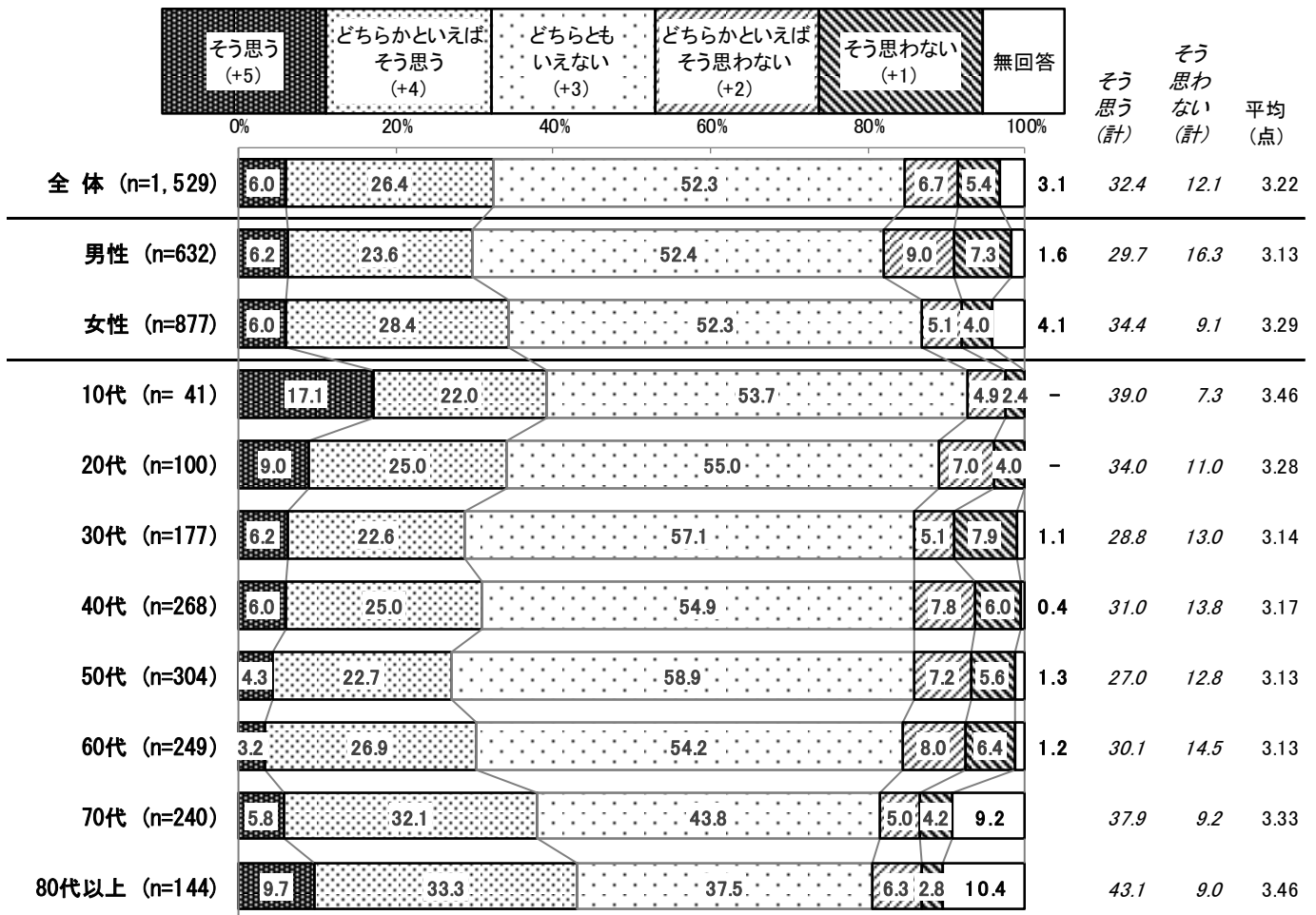


① 性・年齢別

性別でみると、「そう思う(計)」は男性(29.7%)より女性(34.4%)の方が 4.7 ポイント高い。

年齢別でみると、10代の「そう思う」は唯一 10%以上(17.1%)である。30～60代の計4層で「そう思う(計)」に伸長はないが、70代から増加し、80代以上では 43.1%に達する。

図IV-4-2-2 平和施策の効果(性・年齢別)

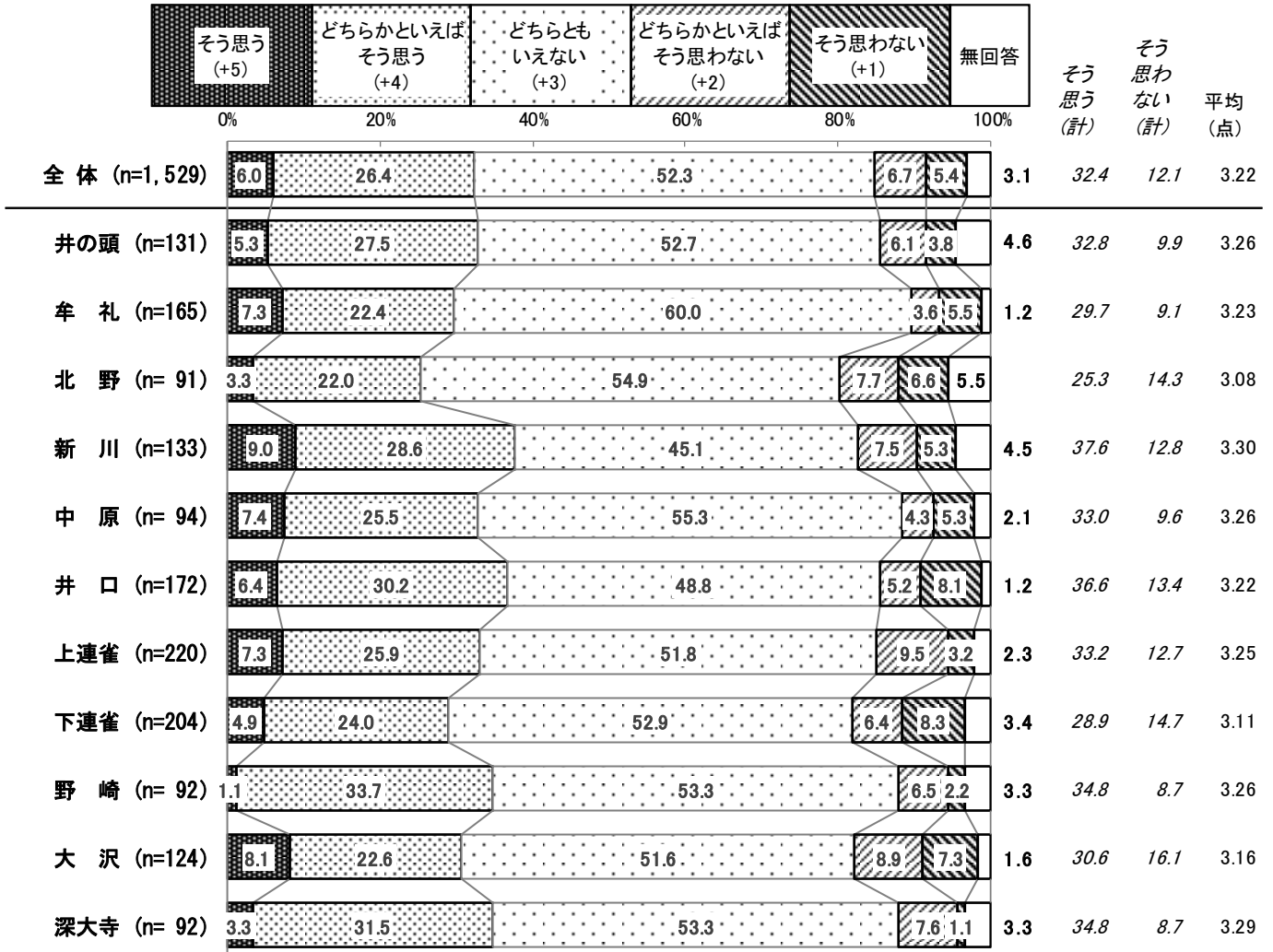




② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは新川(37.6%)で、井口(36.6%)、野崎(34.8%)、深大寺(34.8%)が続く。「そう思わない(計)」は大沢(16.1%)が最も高い。

図IV-4-2-3 平和施策の効果(地区別)

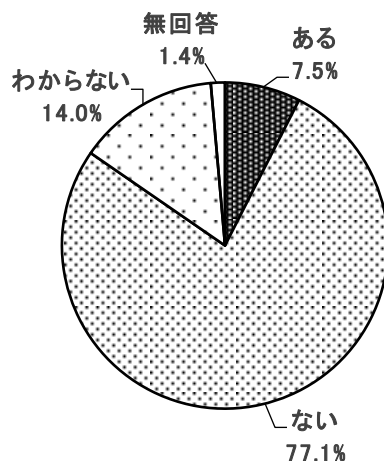


### (3) 人権侵害の体験

問 10: あなたは、最近、人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「ない」が77.1%を占め、「ある」は7.5%である。

図IV-4-3-1 人権侵害の体験 (n=1,529)

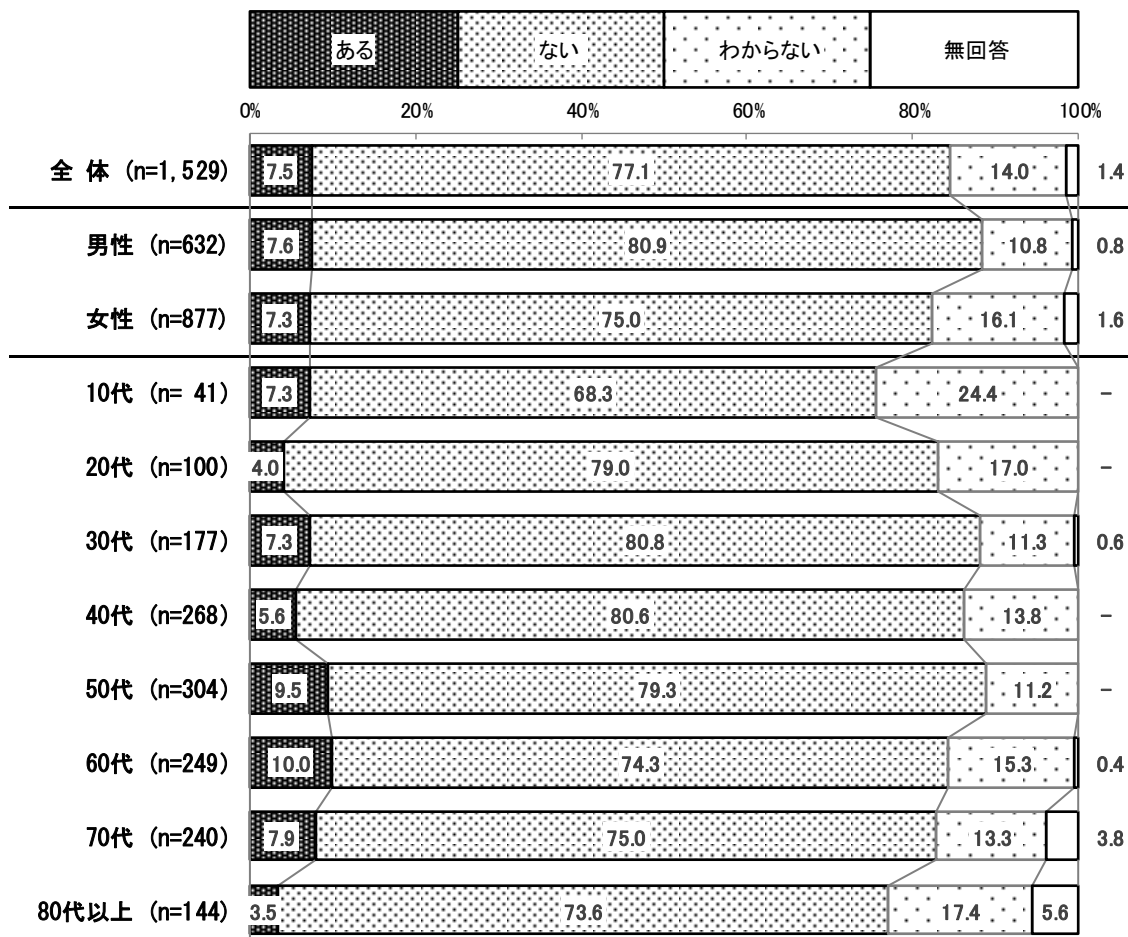


#### ① 性・年齢別

性別でみると、男女共に「ある」は7%台である。

年齢別でみると、「ある」は60代(10.0%)が唯一10%以上である。10代では「わからない」が24.4%存在し、他層よりも高い。

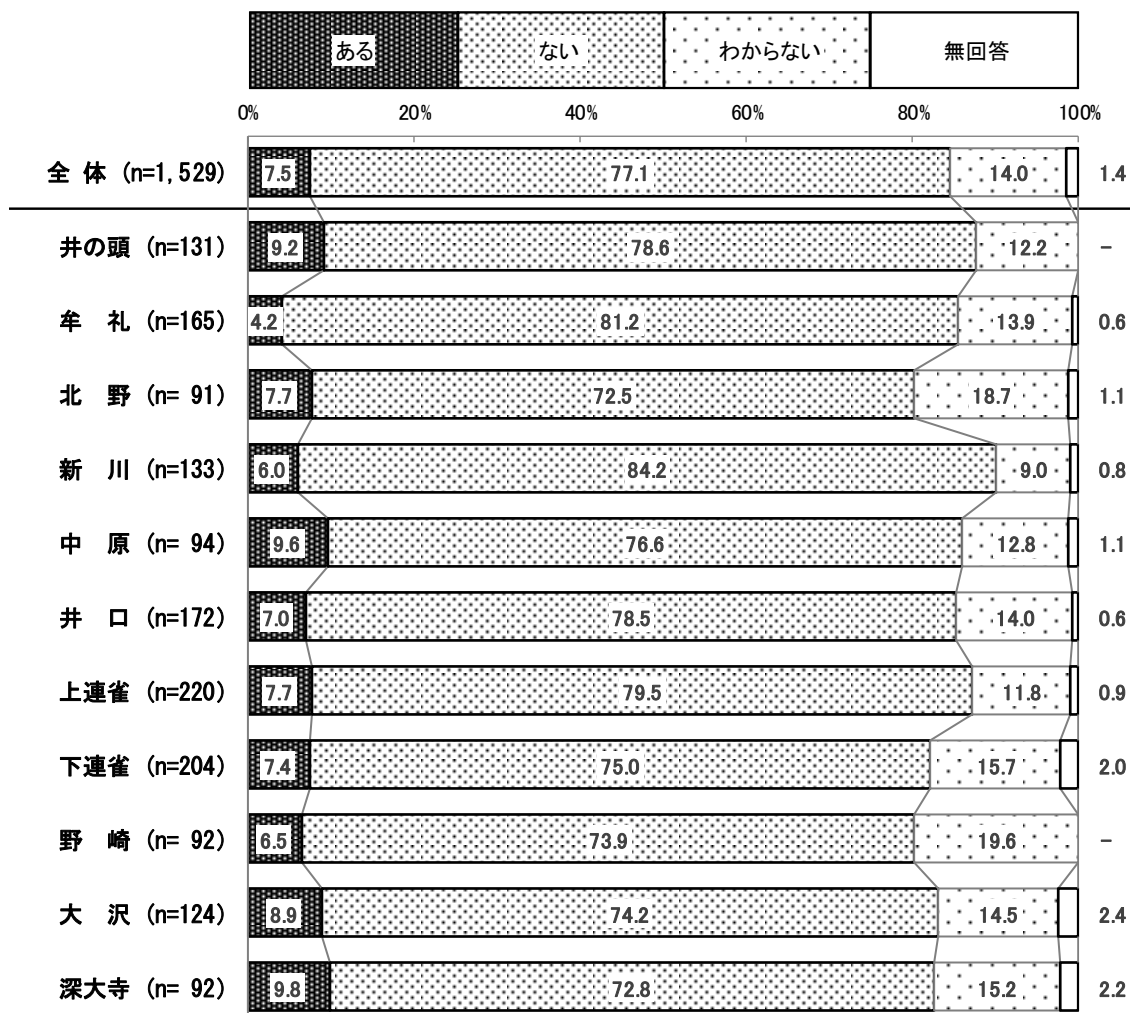
図IV-4-3-2 人権侵害の体験(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、大差はない。

図IV-4-3-3 人権侵害の体験(地区別)

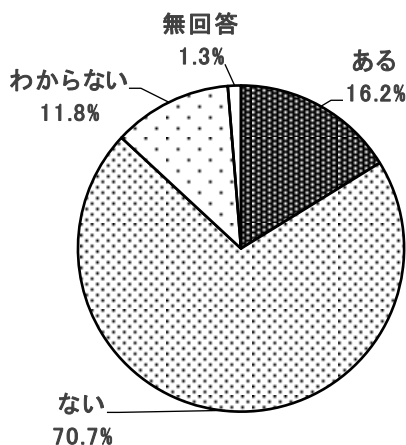


#### (4) 性別等による不利益の体験等

問 11: あなたは、普段の生活の中で、性別等による不利益を、自分が受けたり、他人が受けるところを見たりしたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「ない」が70.7%を占め、「ある」は16.2%である。

図IV-4-4-1 性別等による不利益の体験等(n=1,529)

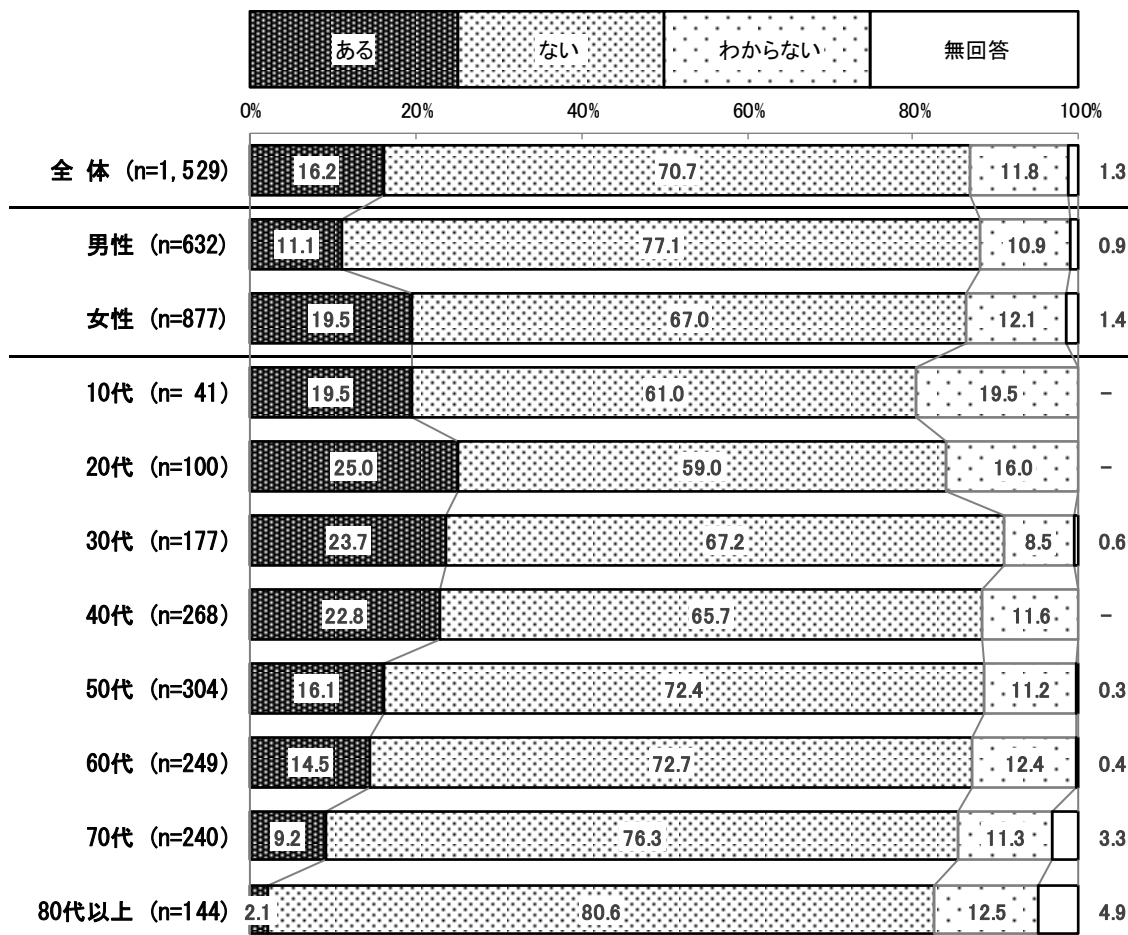


##### ① 性・年齢別

性別でみると、「ある」は男性(11.1%)より女性(19.5%)の方が高い。

年齢別でみると、20～40代の計3層では「ある」が20%以上である。50代を境に減少し、80代以上では2.1%まで低下している。

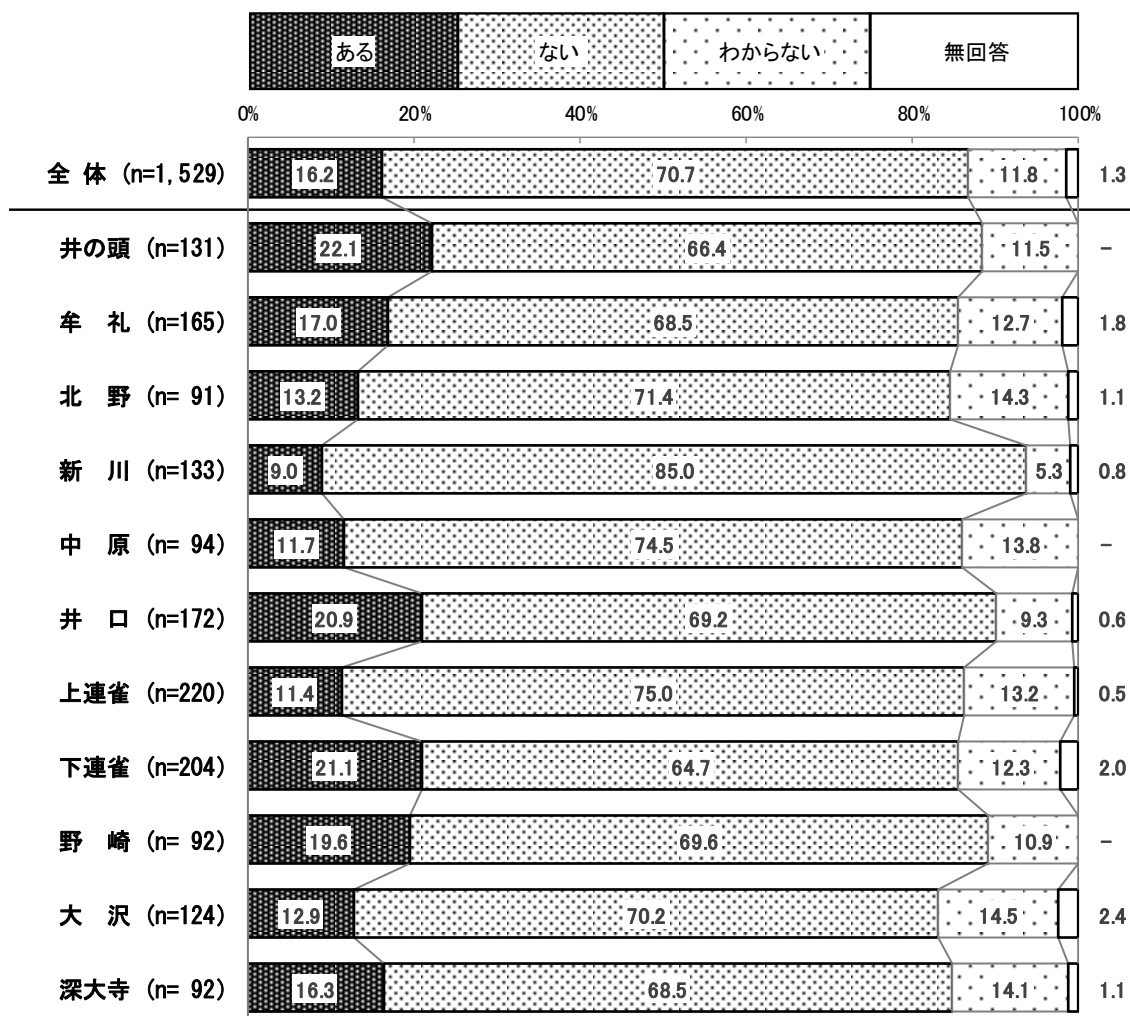
図IV-4-4-2 性別等による不利益の体験等(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「ある」が20%以上なのは井の頭(22.1%)、下連雀(21.1%)、井口(20.9%)である。最も低いのは新川(9.0%)で、新川は「ない(85.0%)」が唯一80%以上である。

図IV-4-4-3 性別等による不利益の体験等(地区別)

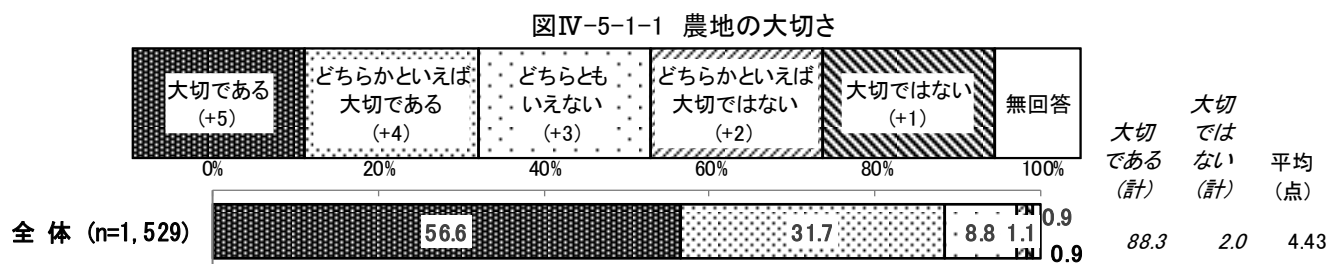


## 5 農業、産業、商業

### (1) 農地の大切さ

問 12: あなたにとって、農地は大切な存在ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「大切である(56.6%)」が過半数を占め、「大切である(計) (「大切である」+「どちらかといえば大切である)」は 88.3% である。

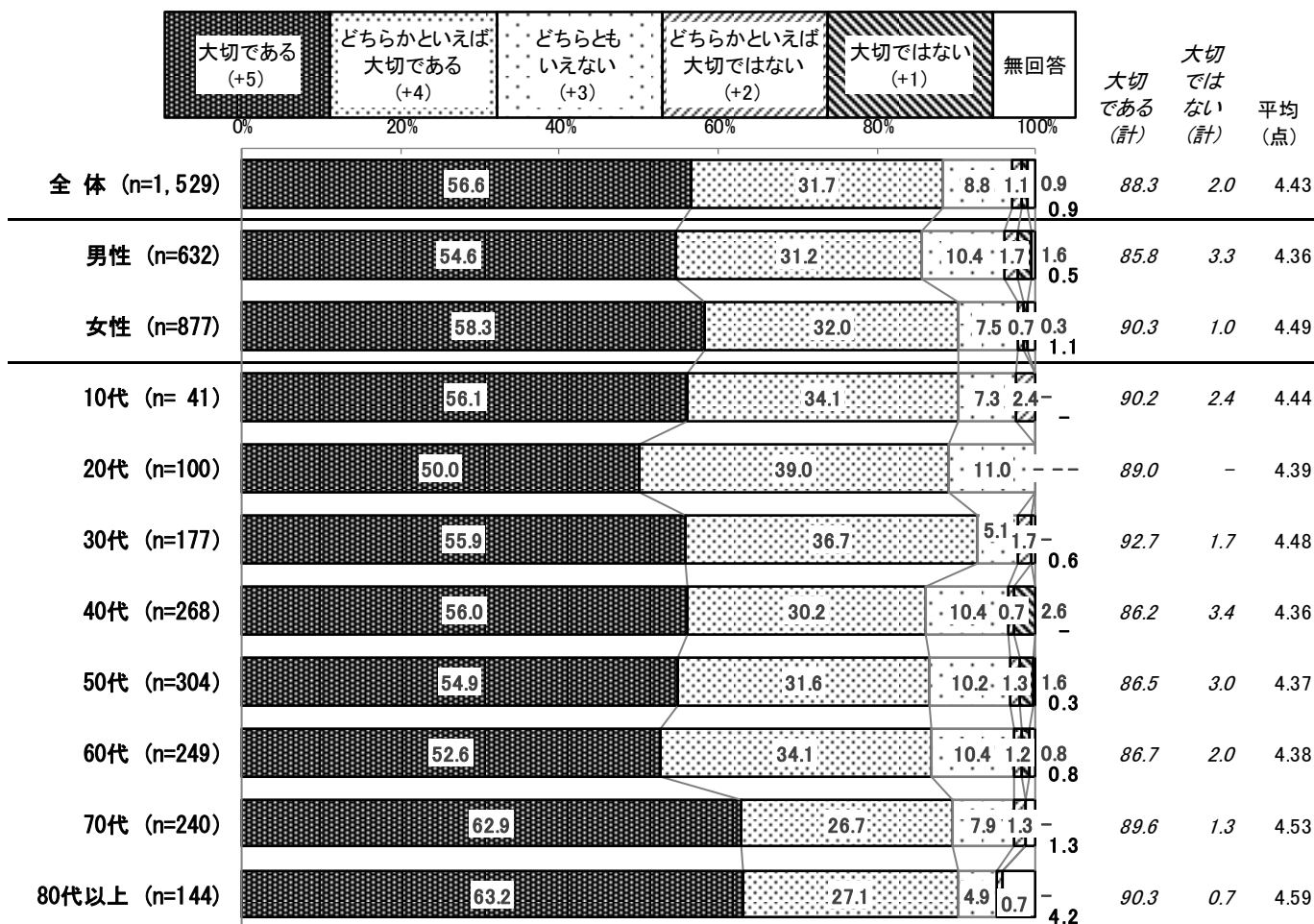


#### ① 性・年齢別

性別でみると、「大切である」は男性(54.6%)より女性(58.3%)の方が 3.7 ポイント高い。

年齢別でも、「大切である」は全層 50%以上。特に 70 代(62.9%)、80 代以上(63.2%)は 60% 以上となっている。

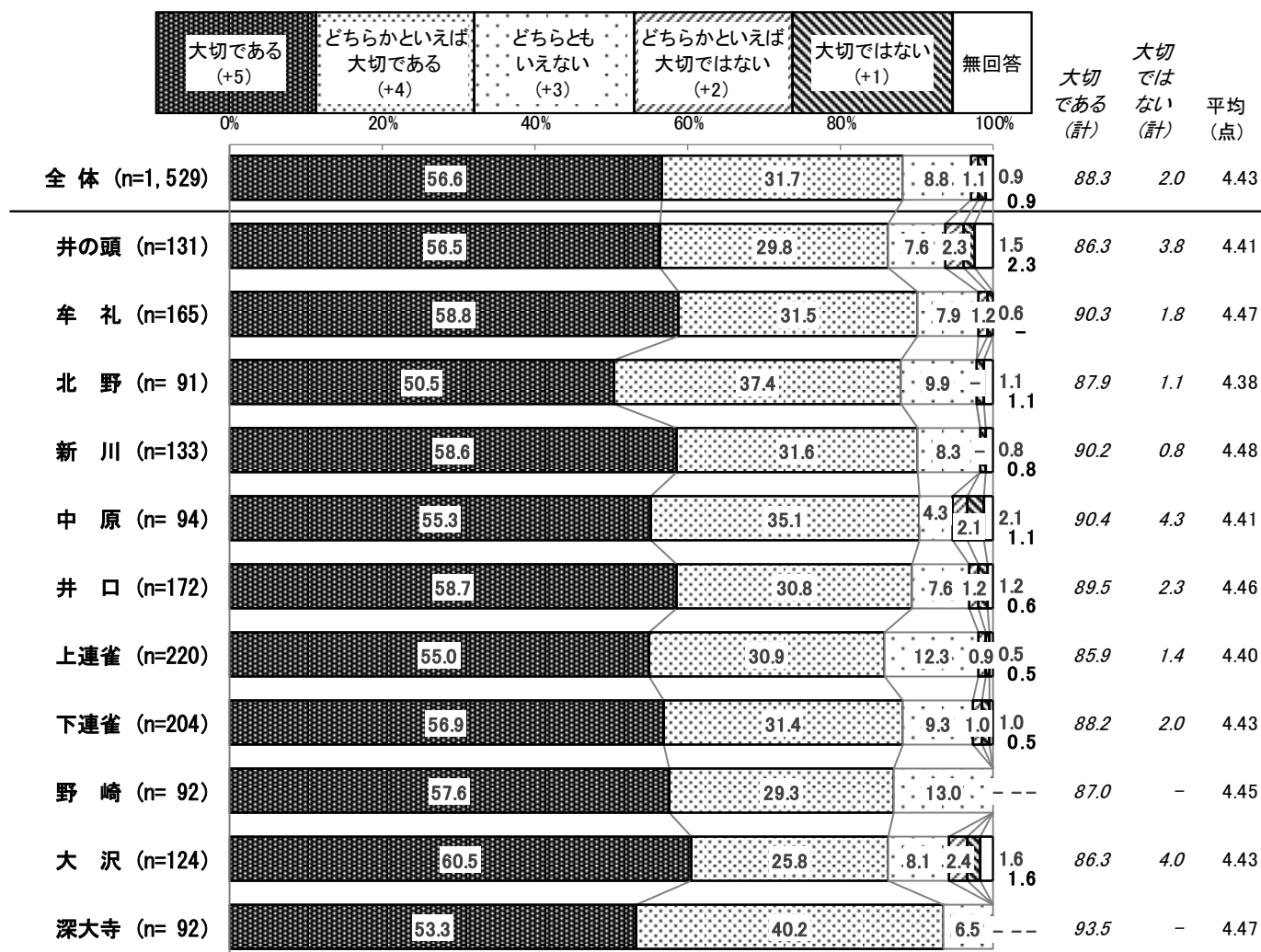
図IV-5-1-2 農地の大切さ(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「大切である」が大沢(60.5%)で60%以上を占める。深大寺は53.3%であるが、「大切ではない(計)」「どちらかといえば大切ではない」「大切ではない」が皆無であり、「大切である(計)」が93.5%に達する。

図IV-5-1-3 農地の大切さ(地区別)

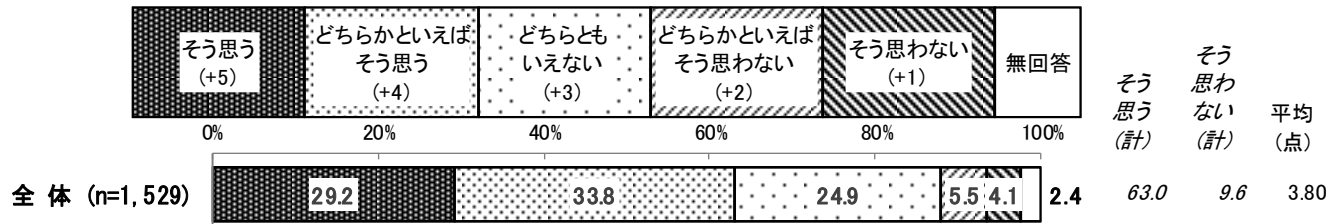


(2) 市内産業の市の魅力向上等への貢献

問 13: あなたは、三鷹市内の産業の存在が、三鷹市の魅力向上と活性化につながっていると思いますか。  
 あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」は 29.2%、「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」が 63.0%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」は 9.6%である。

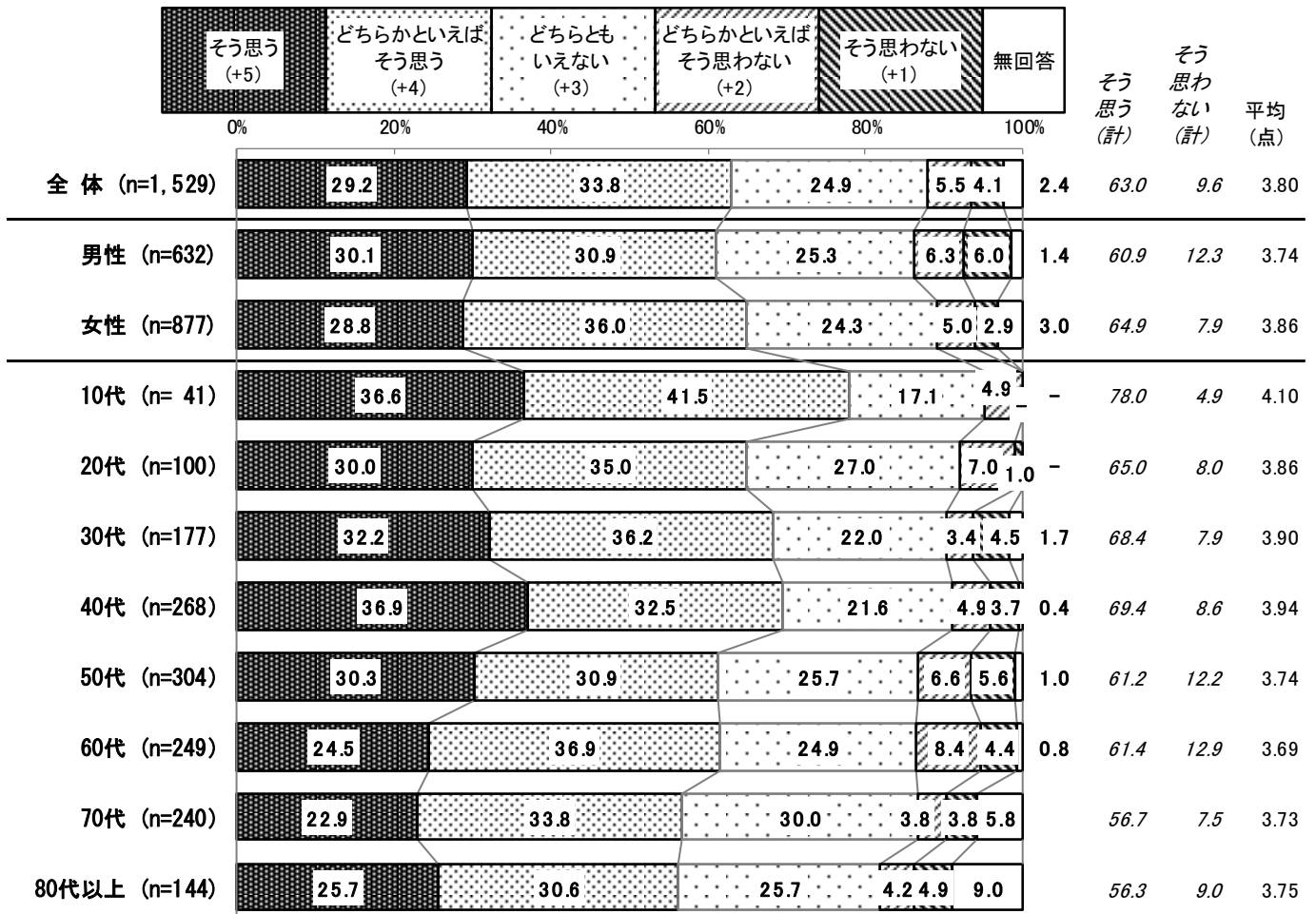
図IV-5-2-1 市内産業の市の魅力向上等への貢献



① 性・年齢別

性別でみると、「どちらかといえばそう思う」は男性(30.9%)より女性(36.0%)の方が 5.1 ポイント高い。  
 年齢別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは 10 代(78.0%)。逆に、70 代(56.7%)、80 代以上(56.3%)は 60%未満と低い。

図IV-5-2-2 市内産業の市の魅力向上等への貢献(性・年齢別)

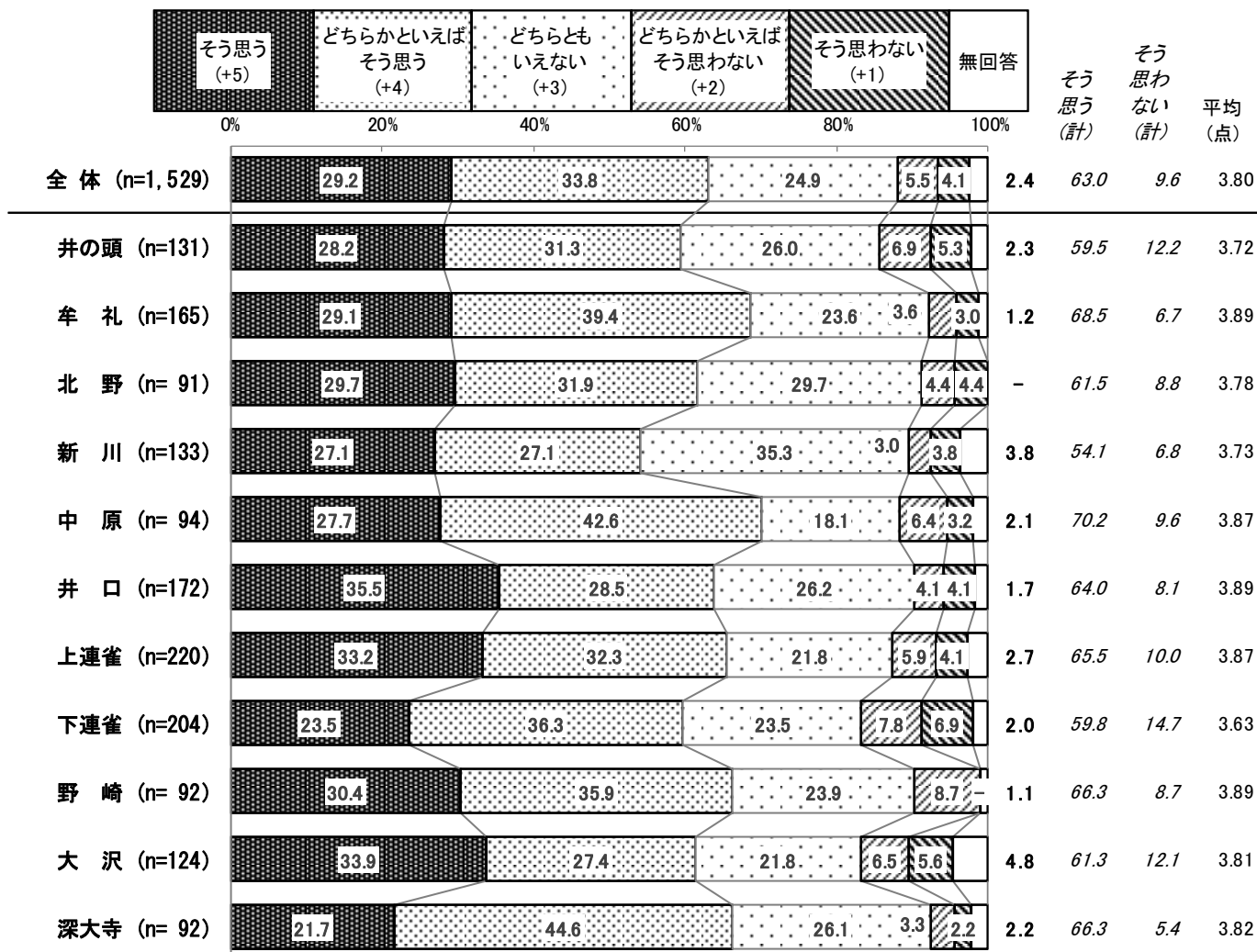




## ② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは中原(70.2%)で、最も低いのは新川(54.1%)である。「そう思わない(計)」が最も高いのは下連雀(14.7%)で、井の頭(12.2%)、大沢(12.1%)、上連雀(10.0%)も10%以上である。

図IV-5-2-3 市内産業の市の魅力向上等への貢献(地区別)

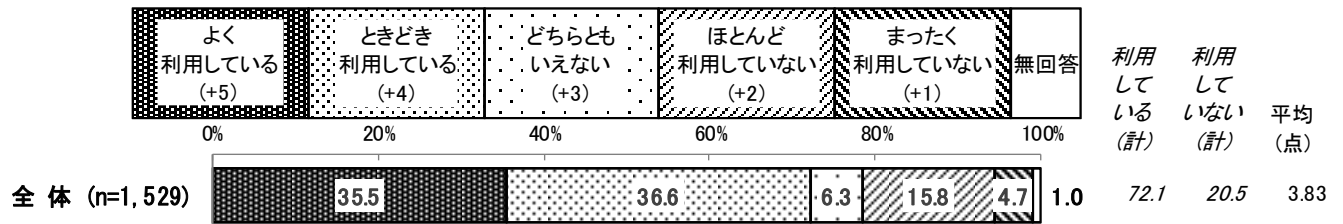


(3) 日ごろの地域の商店(街)利用状況

問 14: あなたは、日ごろから地域の商店(街)を利用していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「よく利用している」は 35.5%、「利用している(計)」「よく利用している」「ときどき利用している」が 72.1%である。「利用していない(計)」「ほとんど利用していない」「まったく利用していない」も 20.5%存在する。

図IV-5-3-1 日ごろの地域の商店(街)利用状況

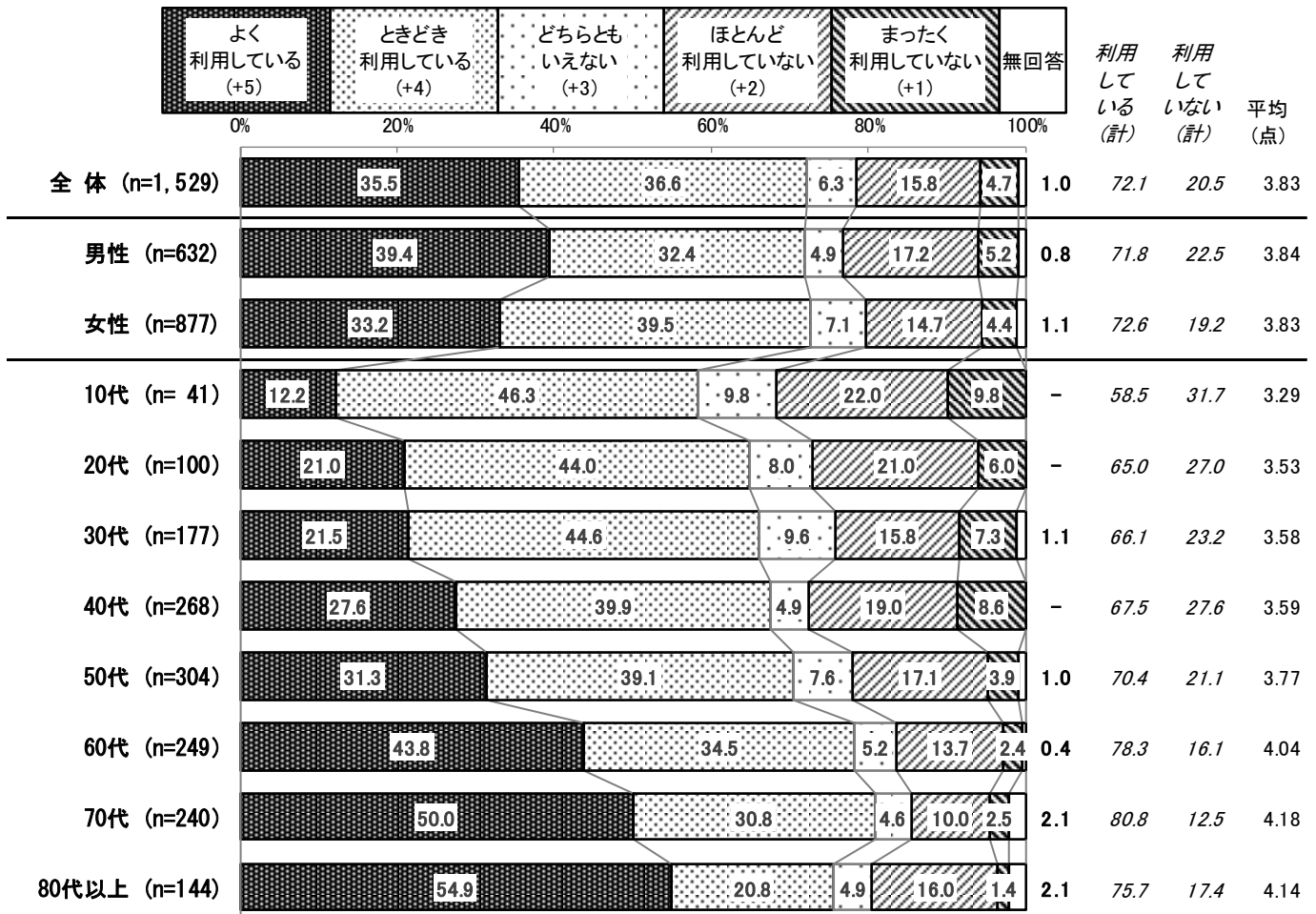


① 性・年齢別

性別でみると、「よく利用している」は、女性(33.2%)より男性(39.4%)の方が 6.2 ポイント高いが、「利用している(計)」では大差ない。

年齢別でみると、年代が上がるに連れ「よく利用している」が伸長し、10代が 12.2%に対し、80代以上では 54.9%にもなる。「利用していない(計)」に目を移すと 50代以下の計5層において 20%以上が利用していない。

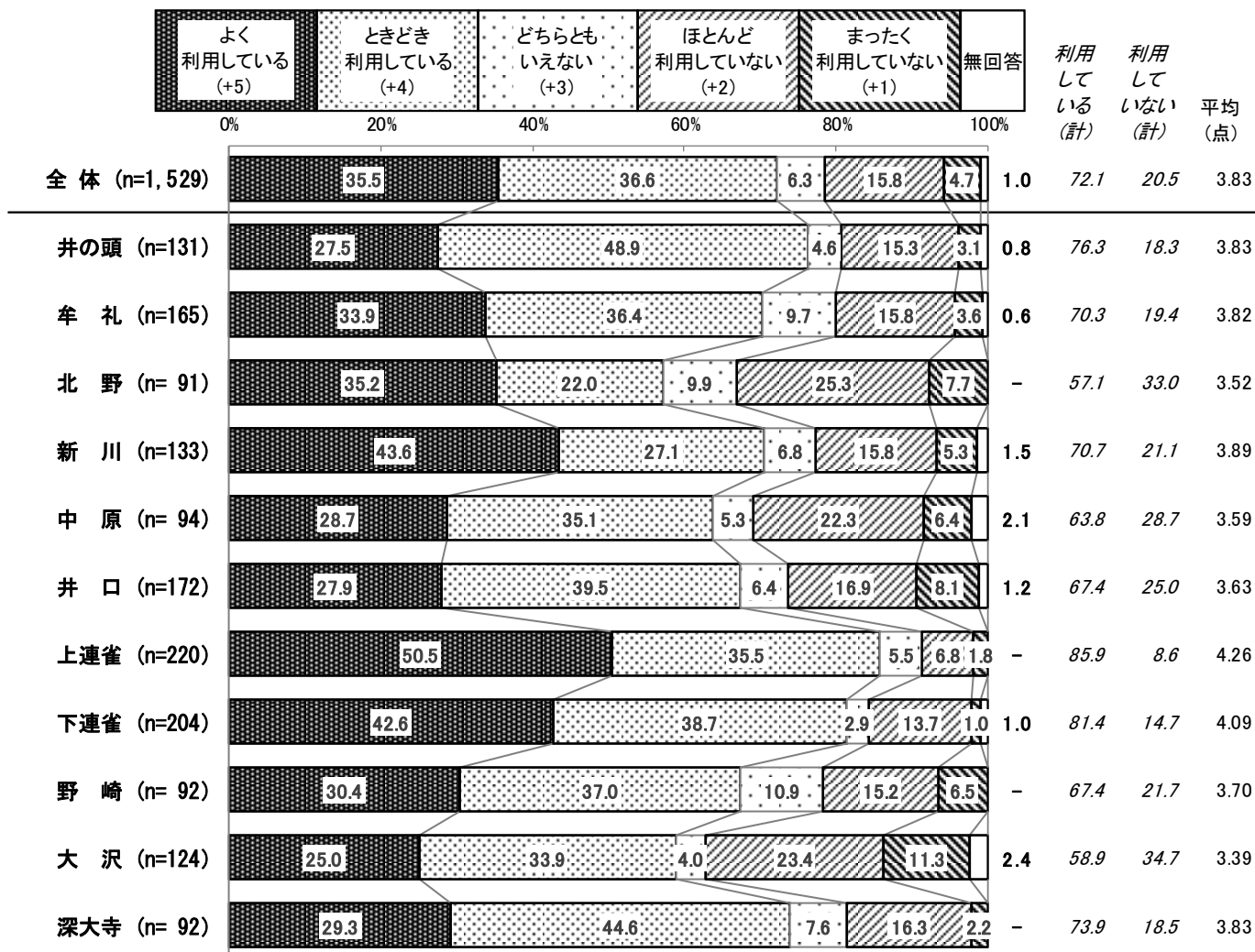
図IV-5-3-2 日ごろの地域の商店(街)利用状況(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「利用している（計）」が上連雀(85.9%)、下連雀(81.4%)で 80%以上である。一方、北野(57.1%)、大沢(58.9%)では 50%台にとどまり、「利用していない（計）」も北野(33.0%)、大沢(34.7%)は 30%以上である。

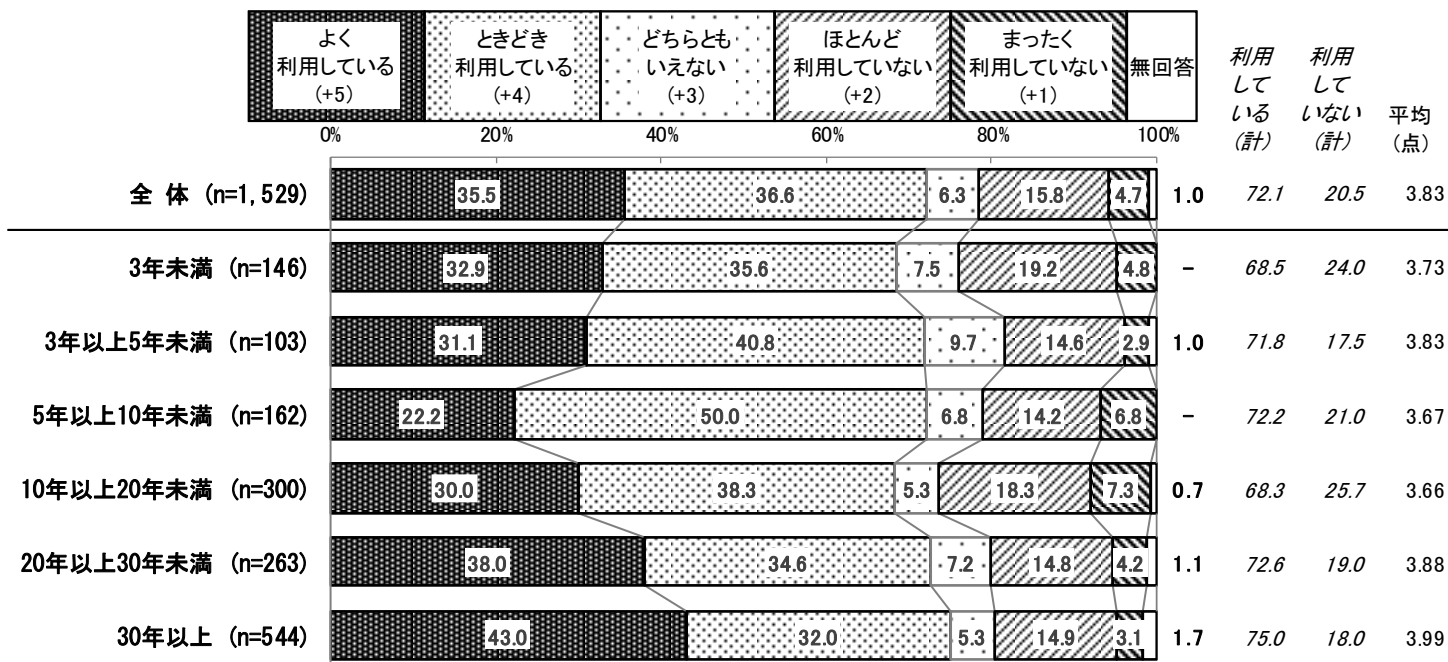
図IV-5-3-3 日ごろの地域の商店(街)利用状況(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別では、「利用している（計）」が30年以上層（43.0%）で唯一40%以上である。「利用している（計）」も75.0%で最も高い。「利用していない（計）」が最も高いのは10年以上20年未満層で25.7%である。

図IV-5-3-4 日ごろの地域の商店（街）利用状況（居住年数別）

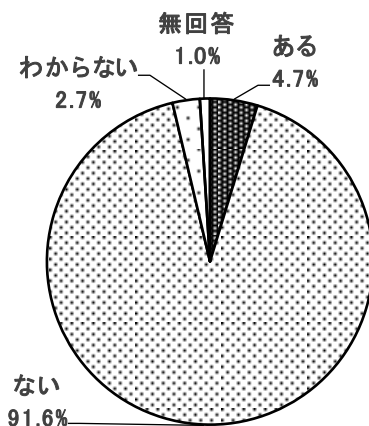


#### (4) 消費者トラブル経験

問 15: あなたは、この2～3年間に消費者トラブルにあったことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「ない」が91.6%を占め、「ある」は4.7%である。

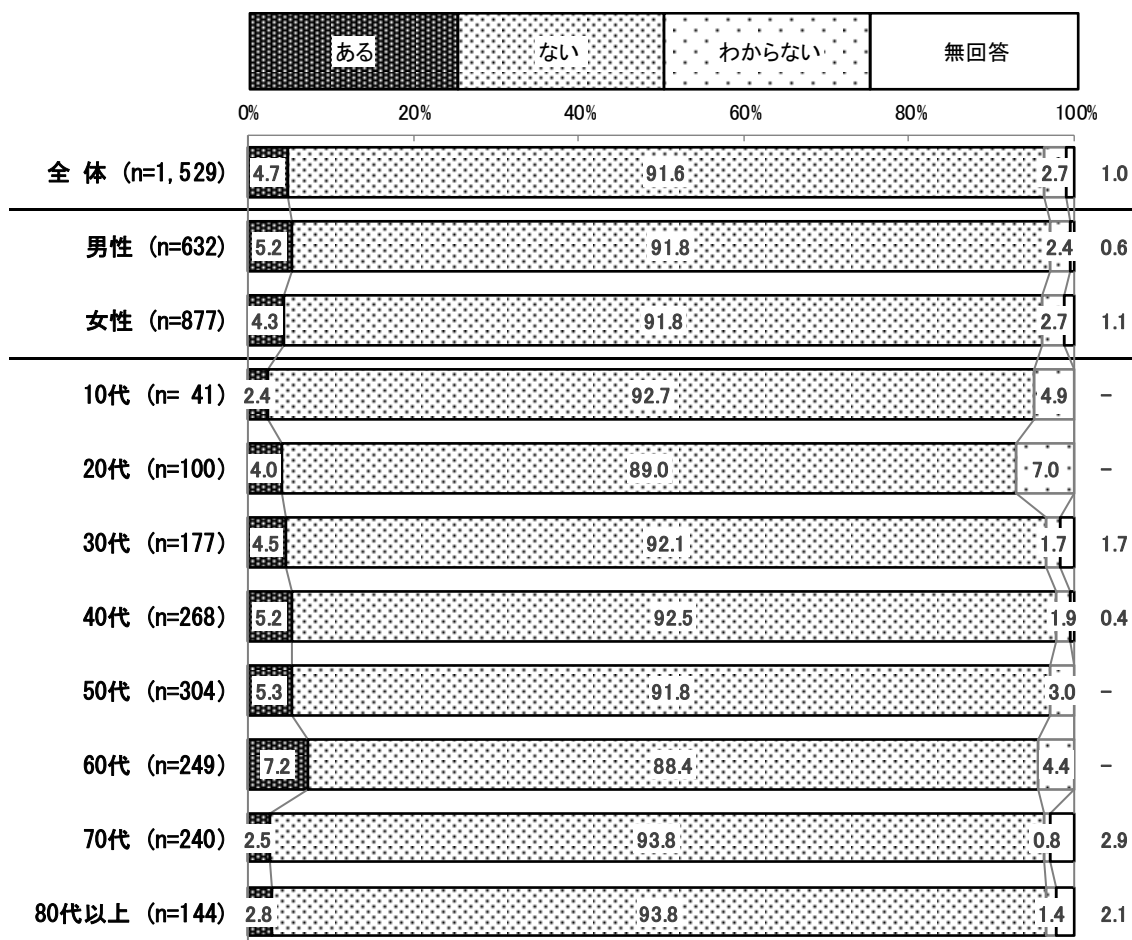
図IV-5-4-1 消費者トラブル経験 (n=1,529)



##### ① 性・年齢別

性・年齢別でも大差はなく、「ない」が各層約9割を占める。「ある」が最も高いのは60代の7.2%である。

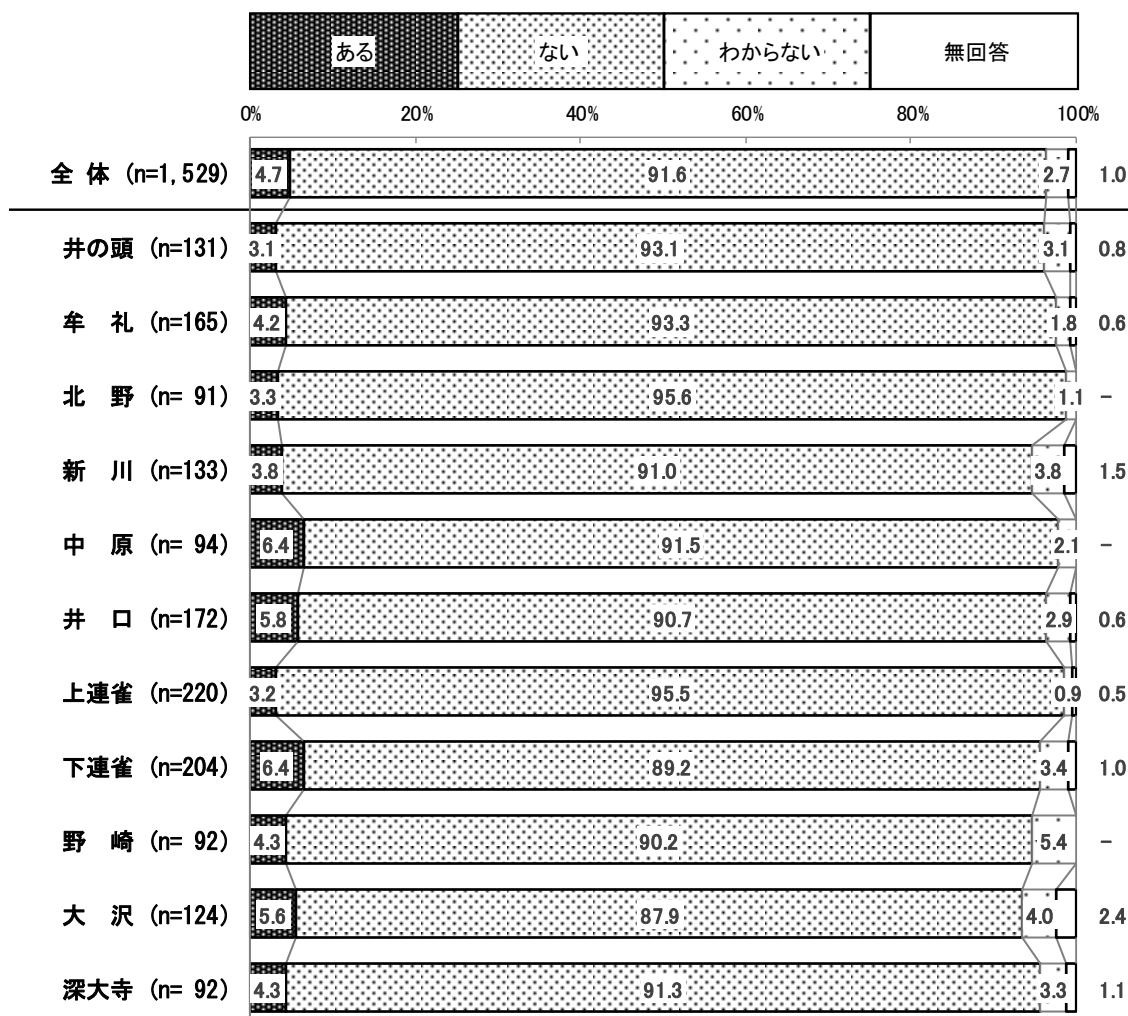
図IV-5-4-2 消費者トラブル経験(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみても大差はない。「ない」が各層約9割を占める。「ある」が最も高いのは中原と下連雀の6.4%である。

図IV-5-4-3 消費者トラブル経験(地区別)



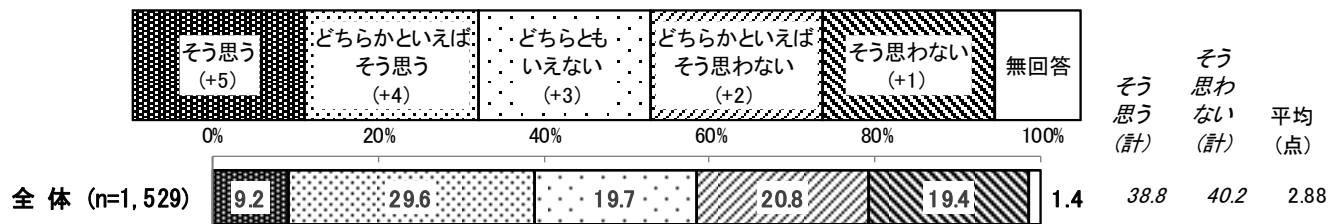
## 6 都市整備、住環境

### (1) 道路の通行のしやすさ

問 16: あなたは、普段利用している道路が、安全の面とネットワークの面から通行しやすいと思いますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」が 38.8%に対し、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」が 40.2%で拮抗している。しかし、「そう思う(9.2%)」より「そう思わない(19.4%)」の方が 10.2 ポイント高い。

図IV-6-1-1 道路の通行のしやすさ

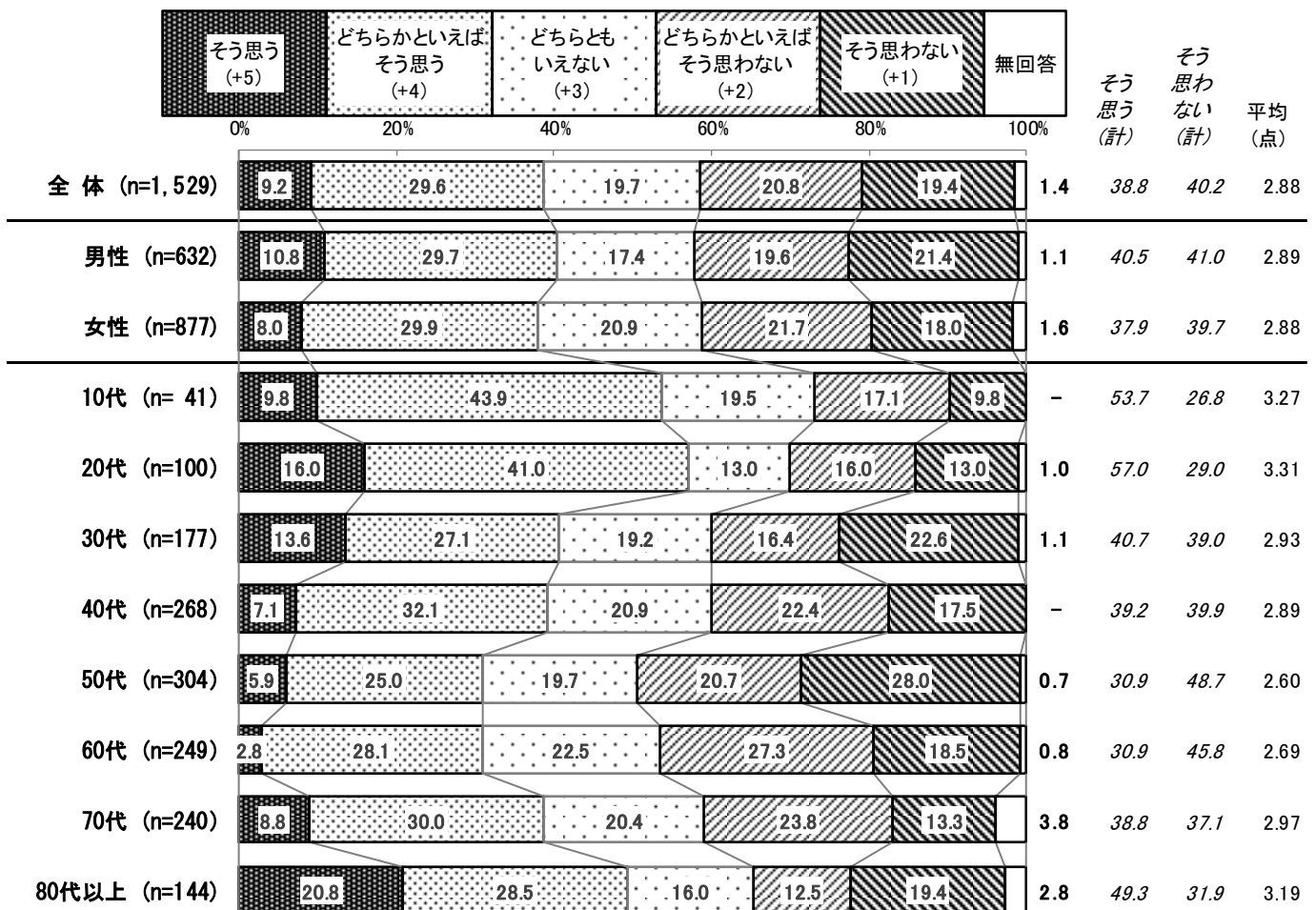


#### ① 性・年齢別

性別でみても、「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」が拮抗している。しかし、男女共に「そう思う」より「そう思わない」の方が高い。

年齢別でみると、10代・20代・80代以上では「そう思う(計)」は50%前後で「そう思わない(計)」より高い。50代・60代では逆の傾向であり、50代の「そう思わない」は28.0%に達する。

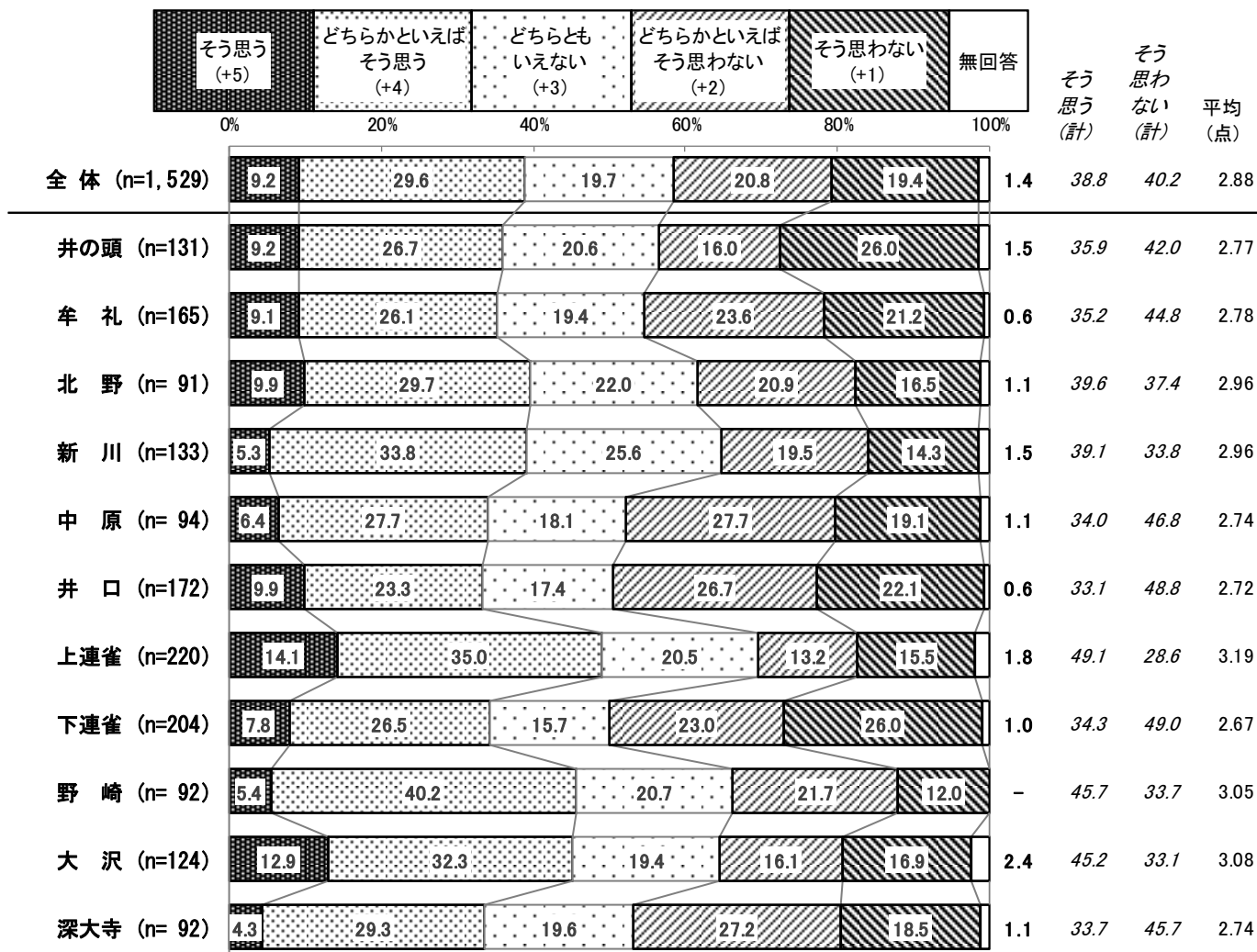
図IV-6-1-2 道路の通行のしやすさ(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「そう思わない(計)」が40%以上なのは下連雀(49.0%)、井口(48.8%)の他、計6地区存在する。その内、井の頭(26.0%)、下連雀(26.0%)等、計4地区で「そう思わない」が20%以上である。

図IV-6-1-3 道路の通行のしやすさ(地区別)

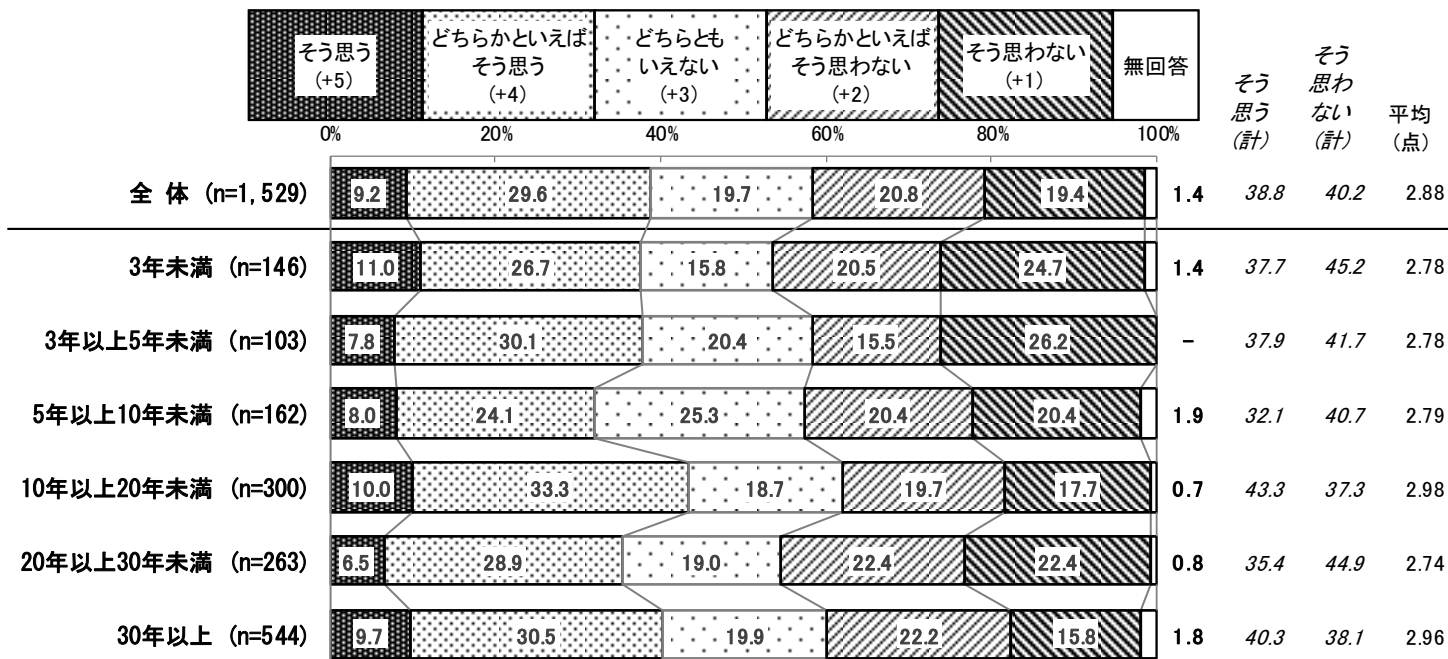




### ③ 居住年数別

居住年数別で見ると、計6層中4層で「そう思わない」が 20%以上、かつ、「そう思わない(計)」が 40%以上である。

図IV-6-1-4 道路の通行のしやすさ(居住年数別)

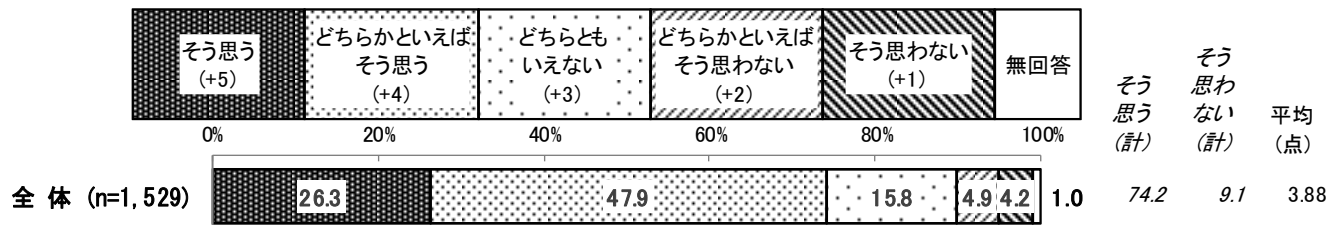


(2) 居住地域の自然環境と生活環境の調和感

問 17: あなたは、あなたの住んでいる地域の自然環境(公園や緑地など人工物も含む。)と生活環境が調和していると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計)」「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」が 74.2%である。「そう思わない(計)」「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」が 9.1%である。

図IV-6-2-1 居住地域の自然環境と生活環境の調和感

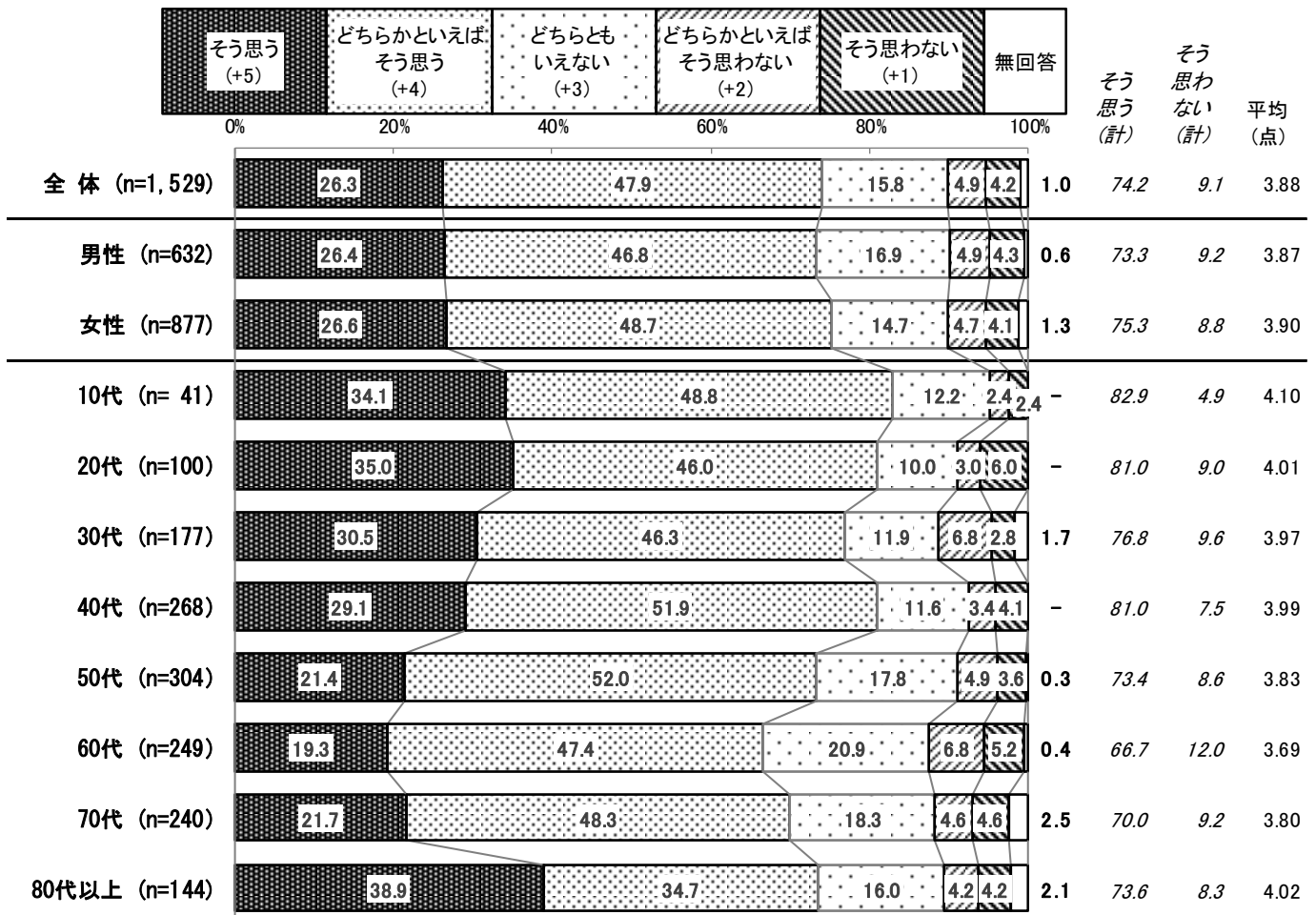


① 性・年齢別

性別では大差がない。

年齢別でみると、「そう思う(計)」が 10代(82.9%)、20代(81.0%)、40代(81.0%)で 80%以上を占める。60代は「そう思う(計)」が 66.7%にとどまり、「そう思わない(計)」は 12.0%である。

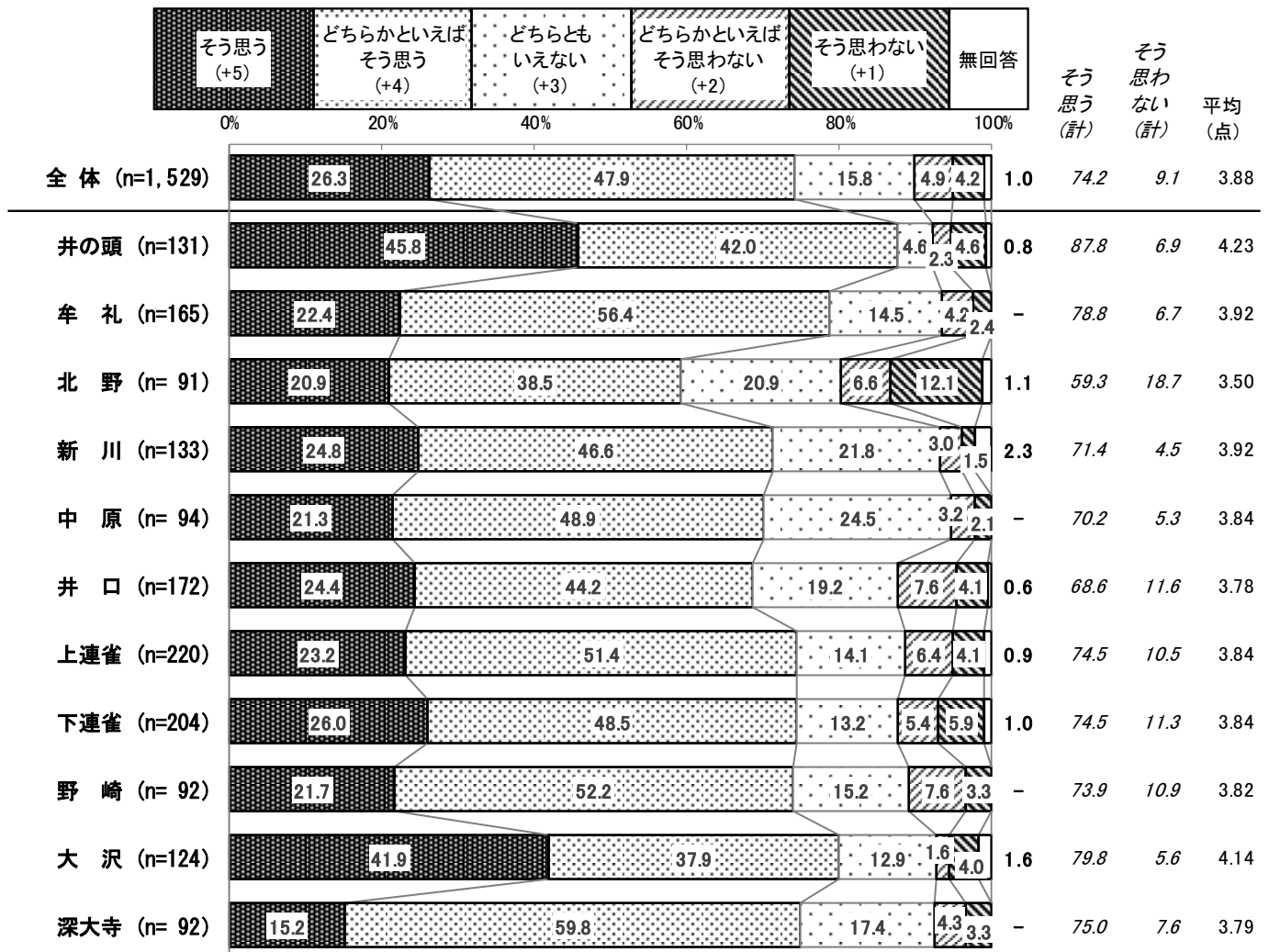
図IV-6-2-2 居住地域の自然環境と生活環境の調和感(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「そう思う」が井の頭(45.8%)、大沢(41.9%)で40%以上を占める。井の頭は「そう思う(計)」も87.8%で最も高い。「そう思う(計)」が最も低いのは北野で59.3%である。「そう思わない(計)」は18.7%で最も高い。

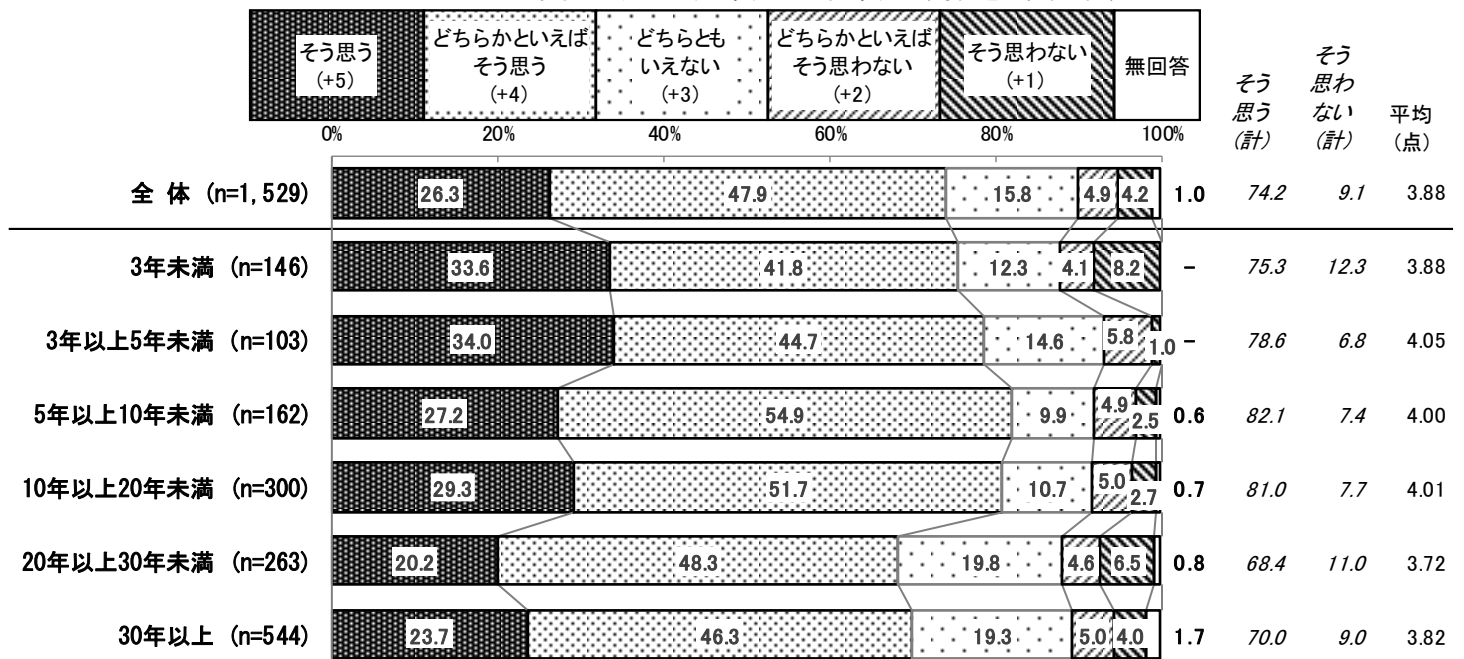
図IV-6-2-3 居住地域の自然環境と生活環境の調和感(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別では、「そう思う」が3年未満層(33.6%)、3年以上5年未満層(34.0%)で30%以上である。ただし、「そう思う(計)」は2層共に70%台である。「そう思う(計)」が最も高いのは5年以上10年未満層で82.1%である。

図IV-6-2-4 居住地域の自然環境と生活環境の調和感(居住年数別)

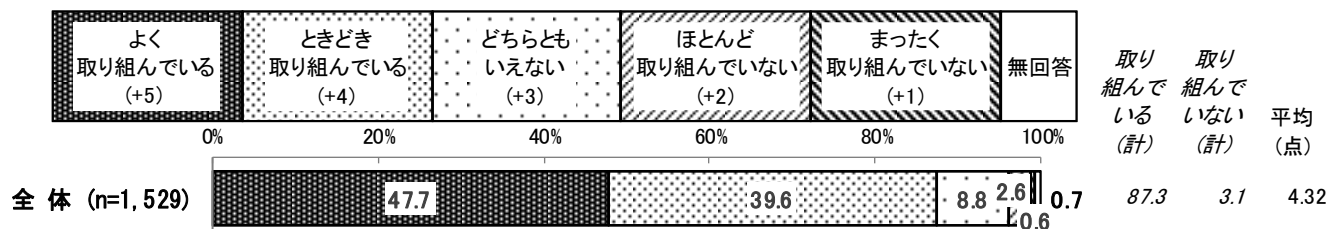


(3) ごみの減量やリサイクルへの取り組み

問 18: あなたは、普段からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「よく取り組んでいる」が 47.7%である。「取り組んでいる(計) (「よく取り組んでいる」+「ときどき取り組んでいる)」は 87.3%に達する。

図IV-6-3-1 ごみの減量やリサイクルへの取り組み

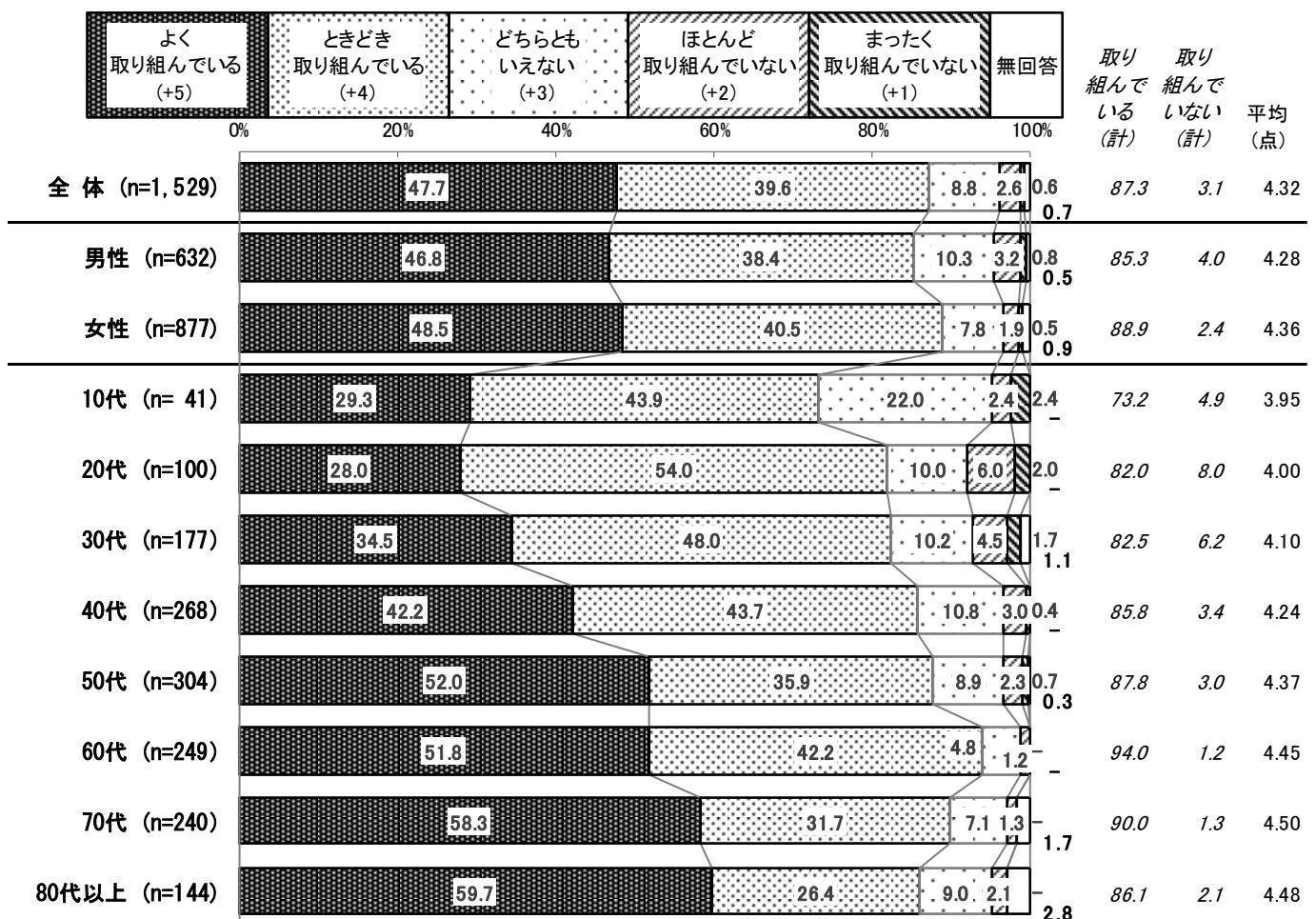


① 性・年齢別

性別でみると、「取り組んでいる(計)」は男女共に 85%以上を占める。

年齢別でみると、「よく取り組んでいる」は年代が上がるに連れ伸長する傾向がある。「取り組んでいる(計)」は 10 代が 73.2%で相対的に低い。逆に、60 代(94.0%)、70 代(90.0%)では 90%以上である。

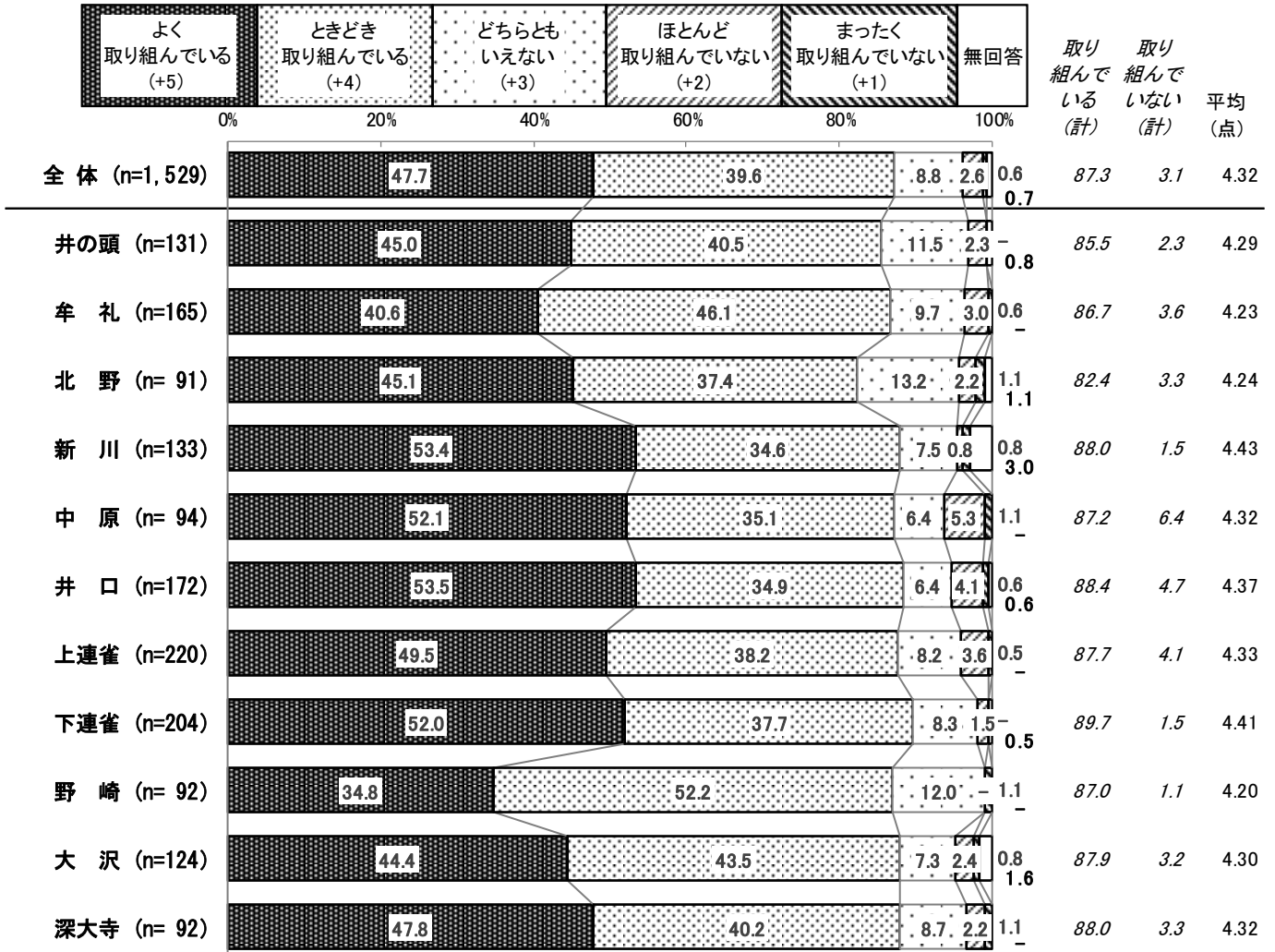
図IV-6-3-2 ごみの減量やリサイクルへの取り組み(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「よく取り組んでいる」が最も高いのは井口の 53.5%である。新川(53.4%)、中原(52.1%)、下連雀(52.0%)も 50%以上である。「取り組んでいる(計)」は全地区 85%前後である。

図IV-6-3-3 ごみの減量やりサイクルへの取り組み(地区別)

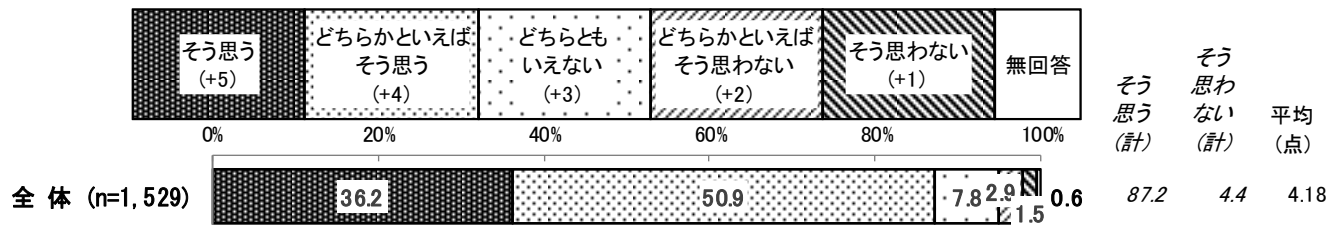


(4) 居住地域の住環境の良好さ

問 19: あなたは、あなたの住んでいる地域は良好な住環境であると思いますか。あてはまるものを1つ  
 選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」が 36.2%、「そう思う(計)」「(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」が 87.2%、「そう思わない(計)」「(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)」が 4.4%である。

図IV-6-4-1 居住地域の住環境の良好さ

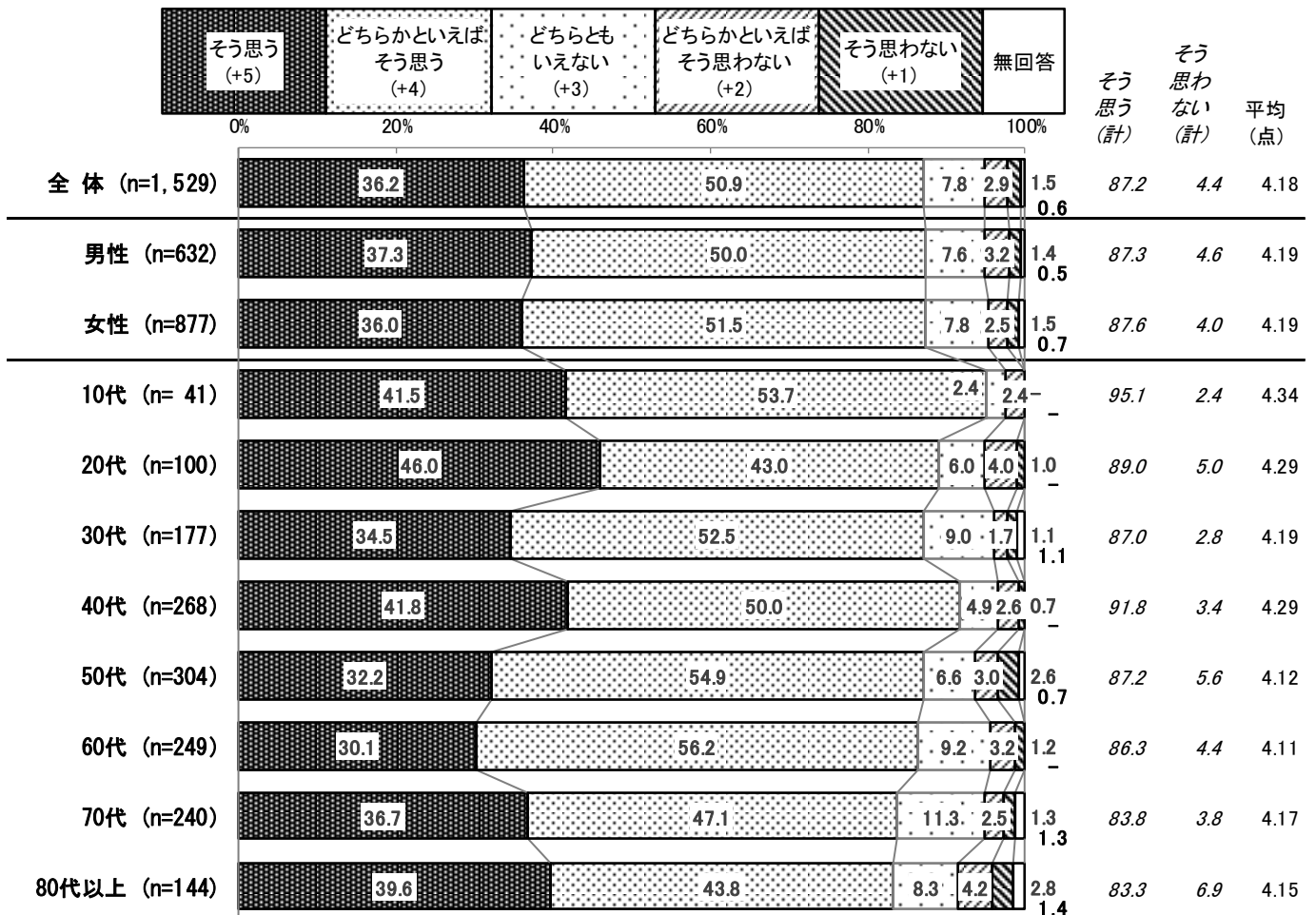


① 性・年齢別

性別では大差がなく、「そう思う(計)」は男性 87.3%、女性 87.6%である。

年齢別でみると、「そう思う」が高いのは、10代(41.5%)、20代(46.0%)、40代(41.8%)である。そのうち、10代(95.1%)、40代(91.8%)では、「そう思う(計)」も90%以上である。

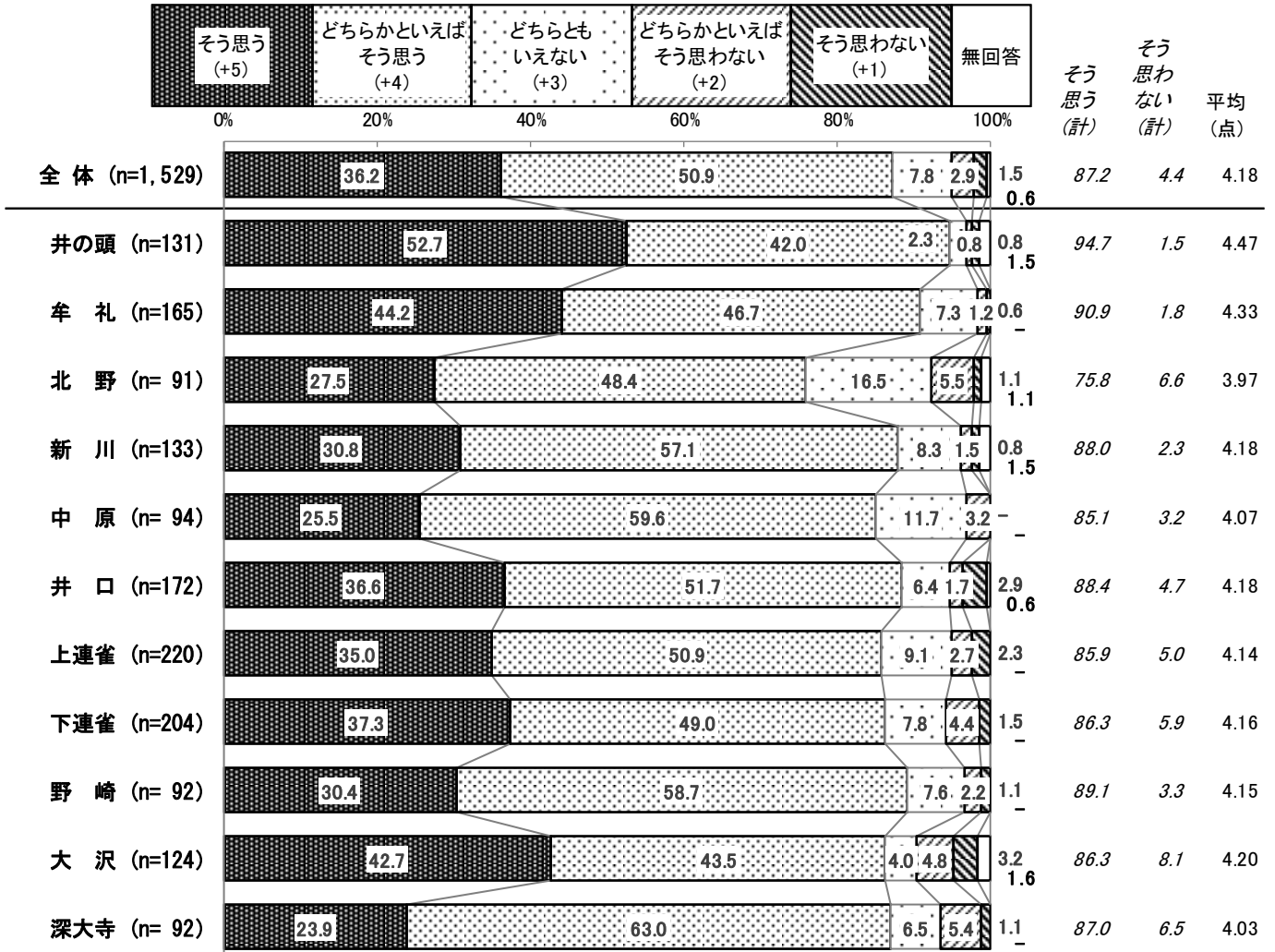
図IV-6-4-2 居住地域の住環境の良好さ(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、最も高いのが井の頭で、「そう思う」が 52.7%、「そう思う(計)」が 94.7%である。牟礼がそれに次ぎ、「そう思う」が 44.2%、「そう思う(計)」が 90.9%である。

図IV-6-4-3 居住地域の住環境の良好さ(地区別)

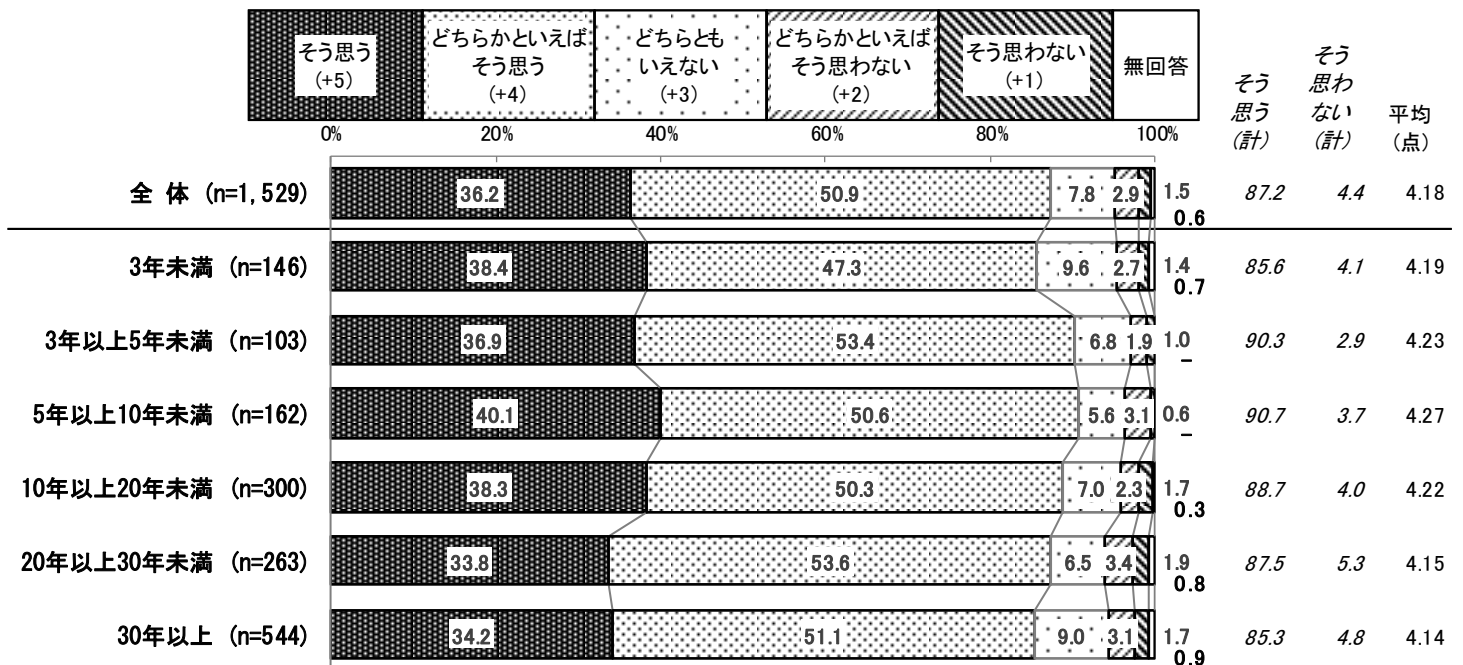




### ③ 居住年数別

居住年数別で「そう思う(計)」が最も高いのは5年以上10年未満層で90.7%である。他層も85%以上である。

図IV-6-4-4 居住地域の住環境の良好さ(居住年数別)

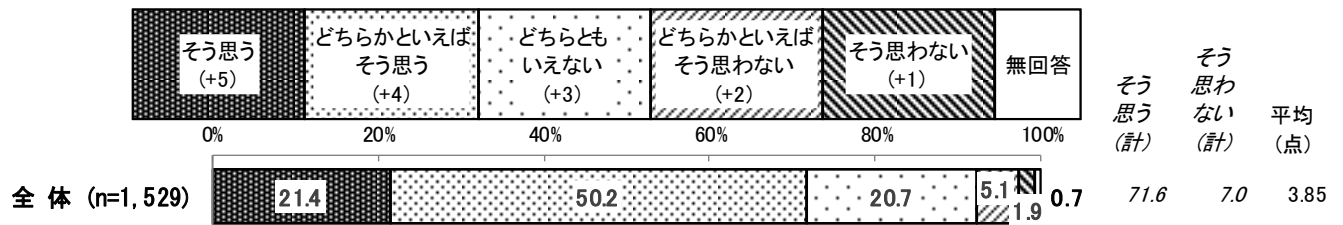


(5) 居住地域の防犯面の安心感

問 20: あなたは、あなたの住んでいる地域は防犯の面で安心して暮らせる環境であると思いますか。  
 あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」が 21.4%、「そう思う(計)」「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」が 71.6%、「そう思わない(計)」「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」が 7.0%である。

図IV-6-5-1 居住地域の防犯面の安心感

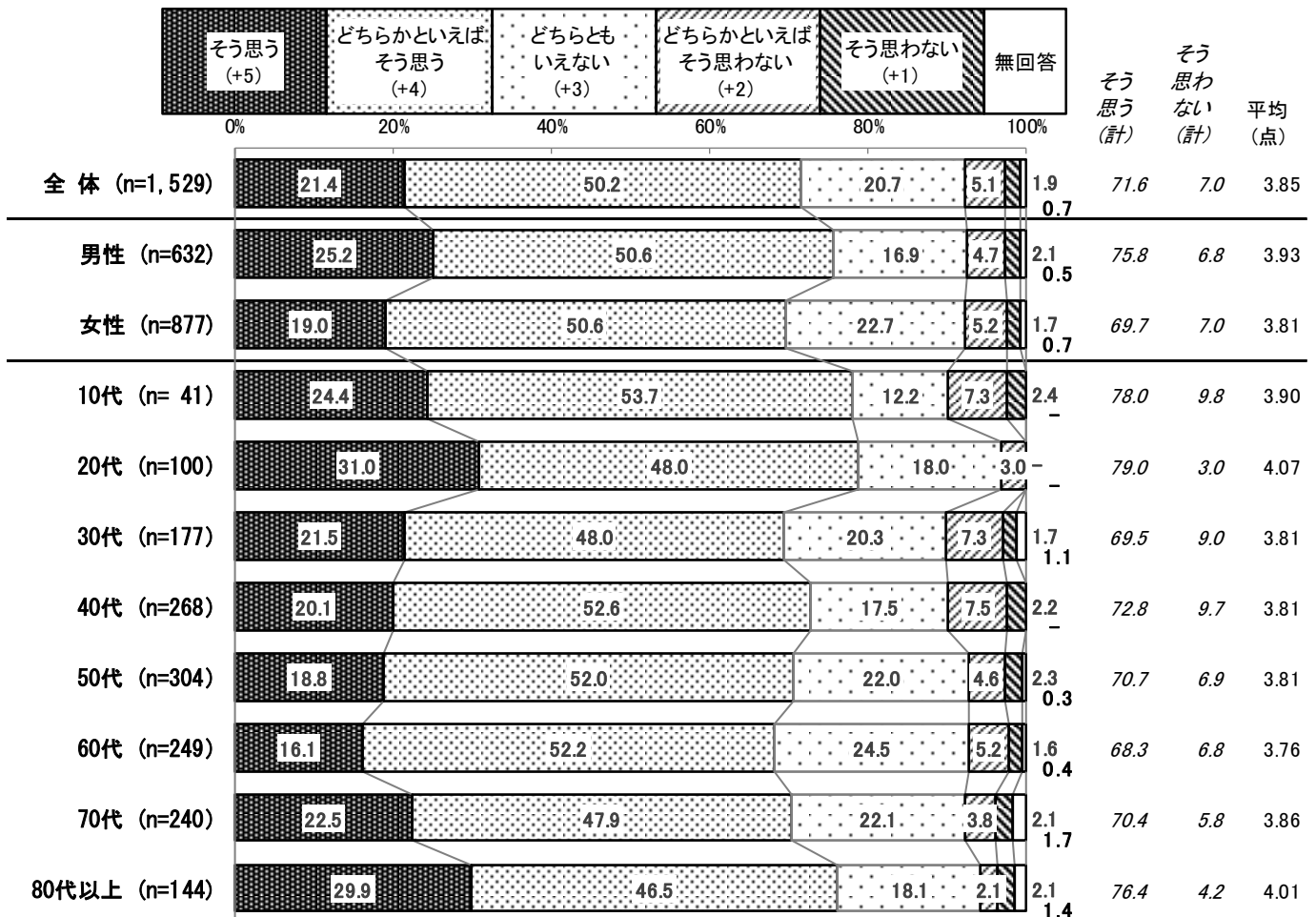


① 性・年齢別

性別でみると、男性より女性の方が低く、「そう思う」は男性が 25.2%に対し、女性は 19.0%である。  
 「そう思う(計)」は男性が 75.8%に対し、女性は 69.7%である。

年齢別でみると、50代(18.8%)、60代(16.1%)の「そう思う」は 20%を下回っている。

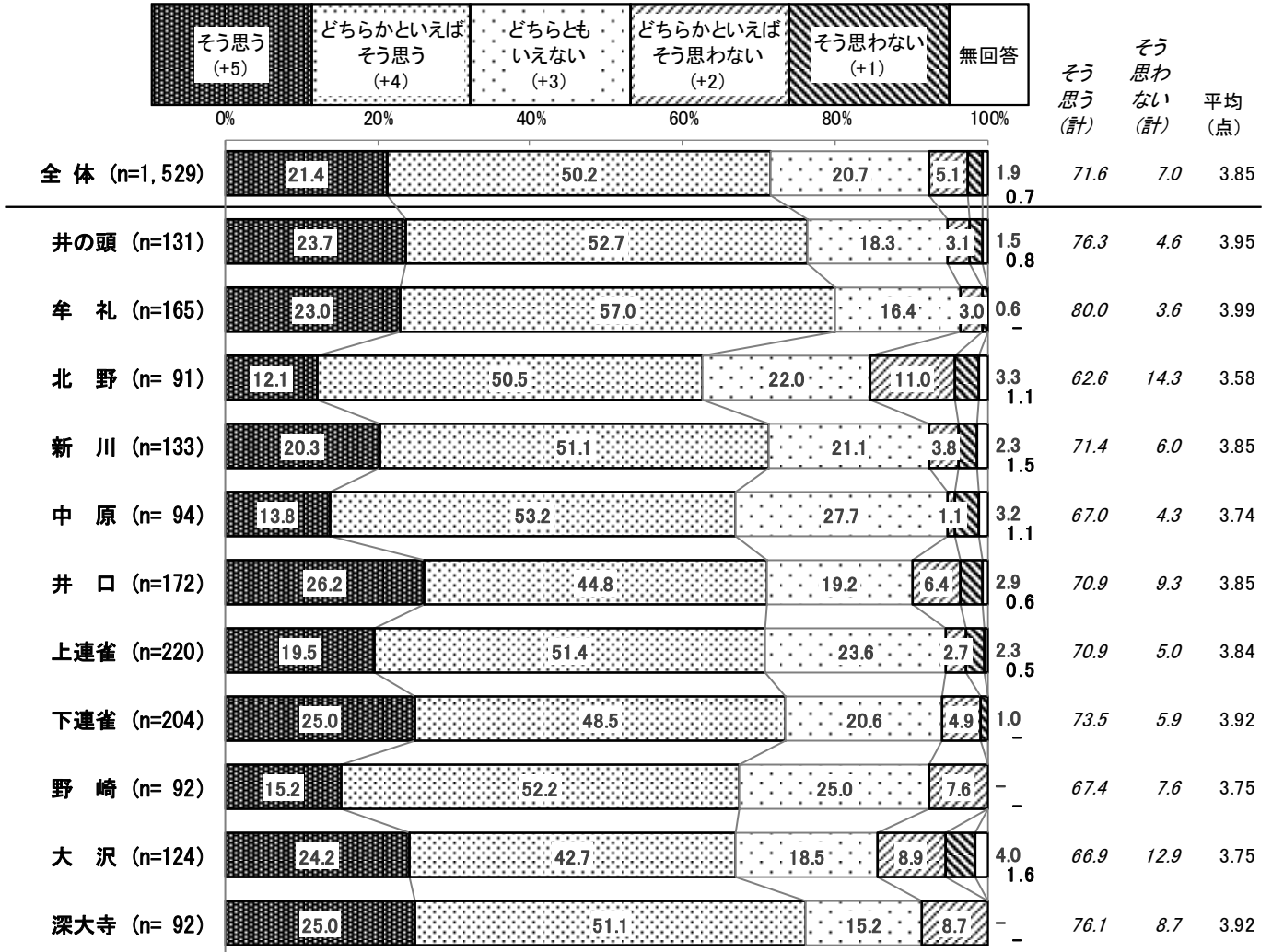
図IV-6-5-2 居住地域の防犯面の安心感(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、最も低いのは北野で、「そう思う」が 12.1%、「そう思う(計)」が 62.6%で、両数値共に最も低い。また、「そう思わない(計)」は 14.3%で最も高い。牟礼は「そう思う(計)」が 80.0%で唯一 80%以上と高く、「そう思わない(計)」も最も低く 3.6%である。

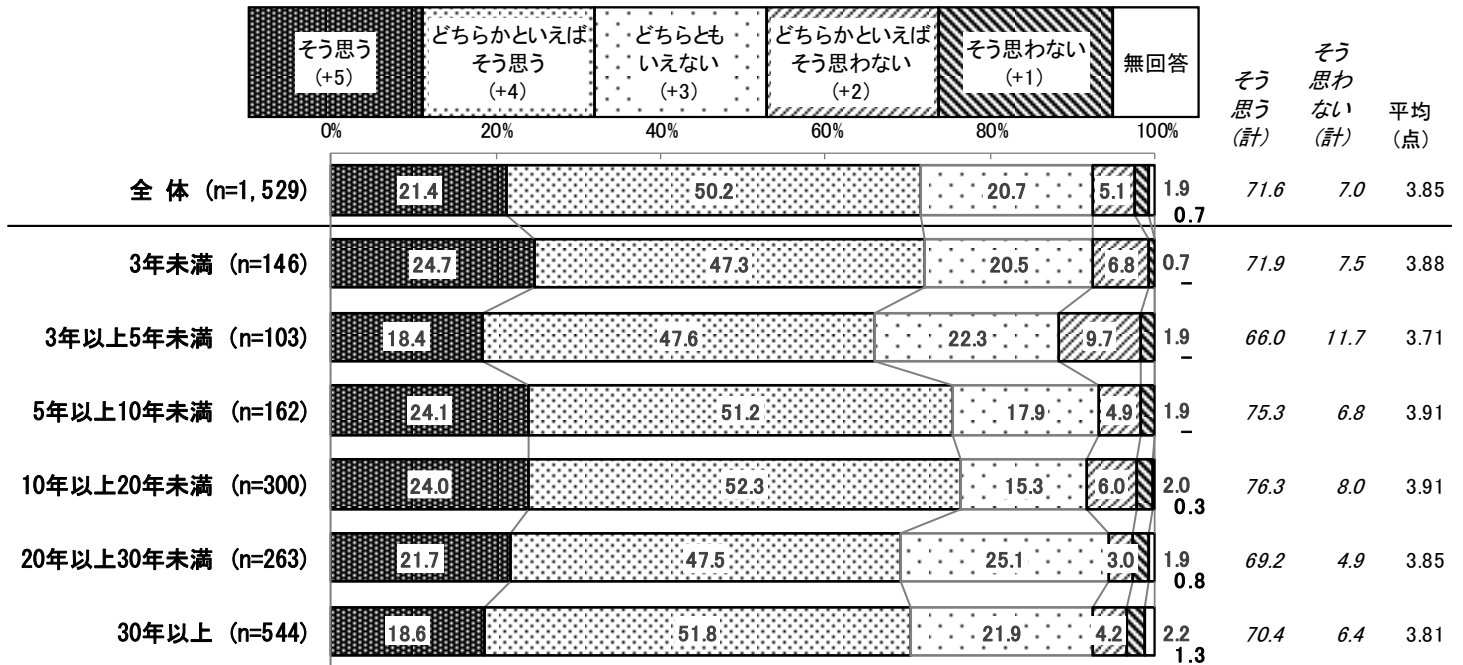
図IV-6-5-3 居住地域の防犯面の安心感(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると3年以上5年未満層は「そう思う(計)」が 66.0%、「そう思わない(計)」は 11.7%で相対的に低い。

図IV-6-5-4 居住地域の防犯面の安心感(居住年数別)

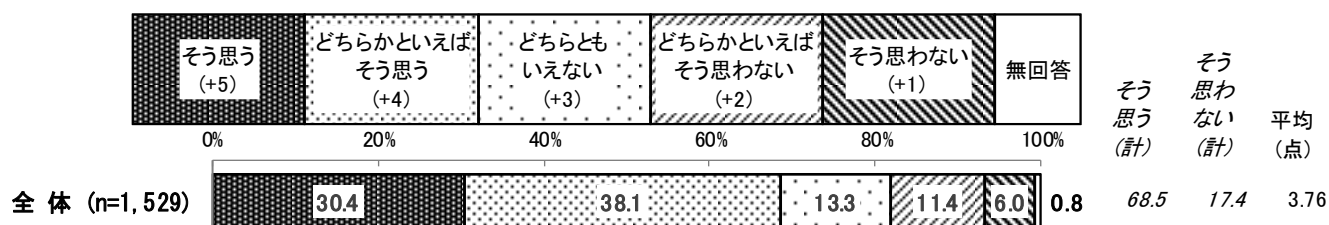


(6) 市内の移動の円滑さ

問 21:あなたは、自宅などから目的地(三鷹市内)まで円滑に移動できる交通手段が確保されていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」が 30.4%、「そう思う(計)」「(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」が 68.5%、「そう思わない(計)」「(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)」が 17.4%である。

図IV-6-6-1 市内の移動の円滑さ

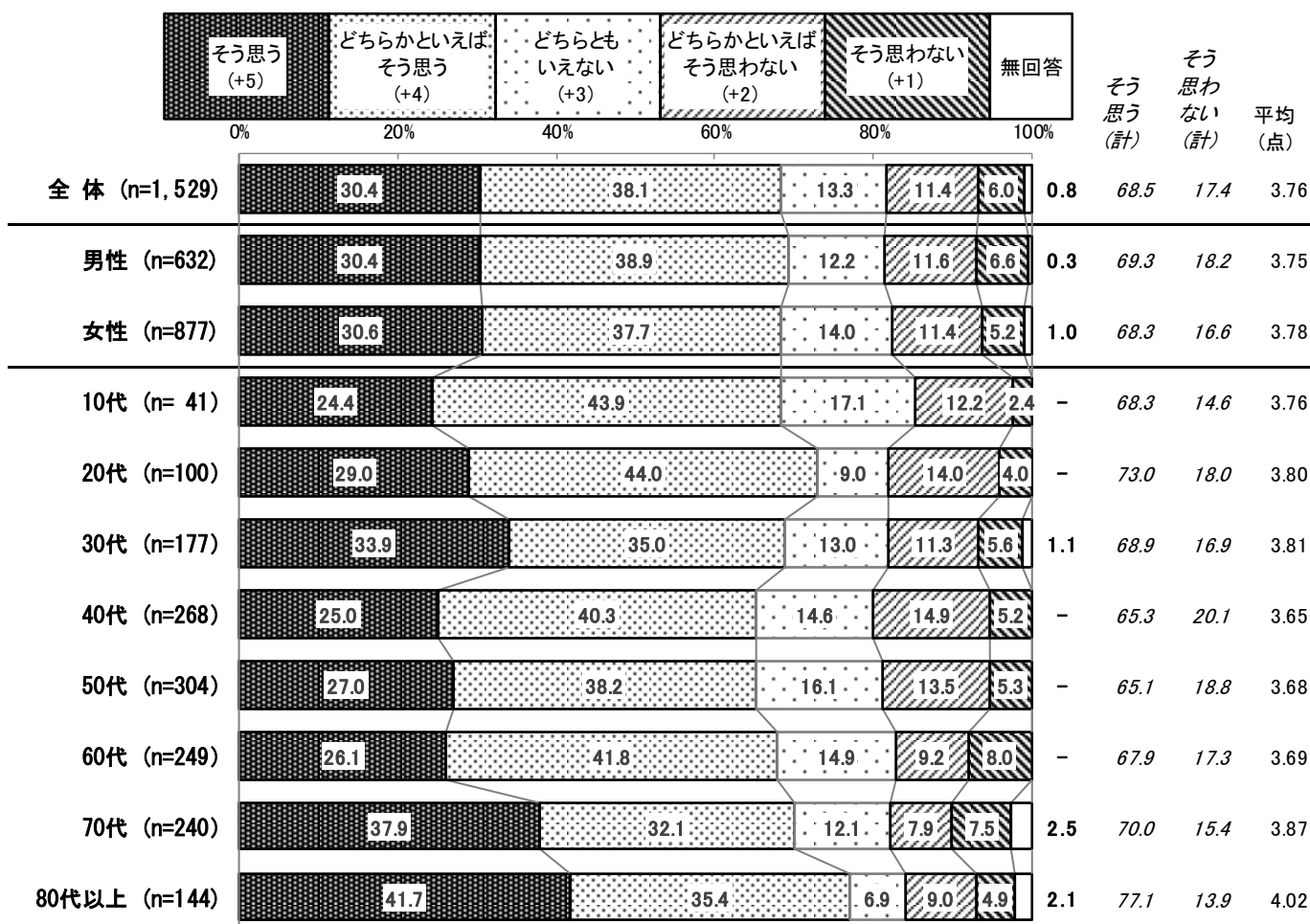


① 性・年齢別

性別では大差がなく、男女共に「そう思う(計)」が 70%弱である。

年齢別でみると、70代(37.9%)、80代以上(41.7%)で「そう思う」が40%前後と高い。「そう思う(計)」が最も高いのは20代(73.0%)、最も低いのは50代(65.1%)である。

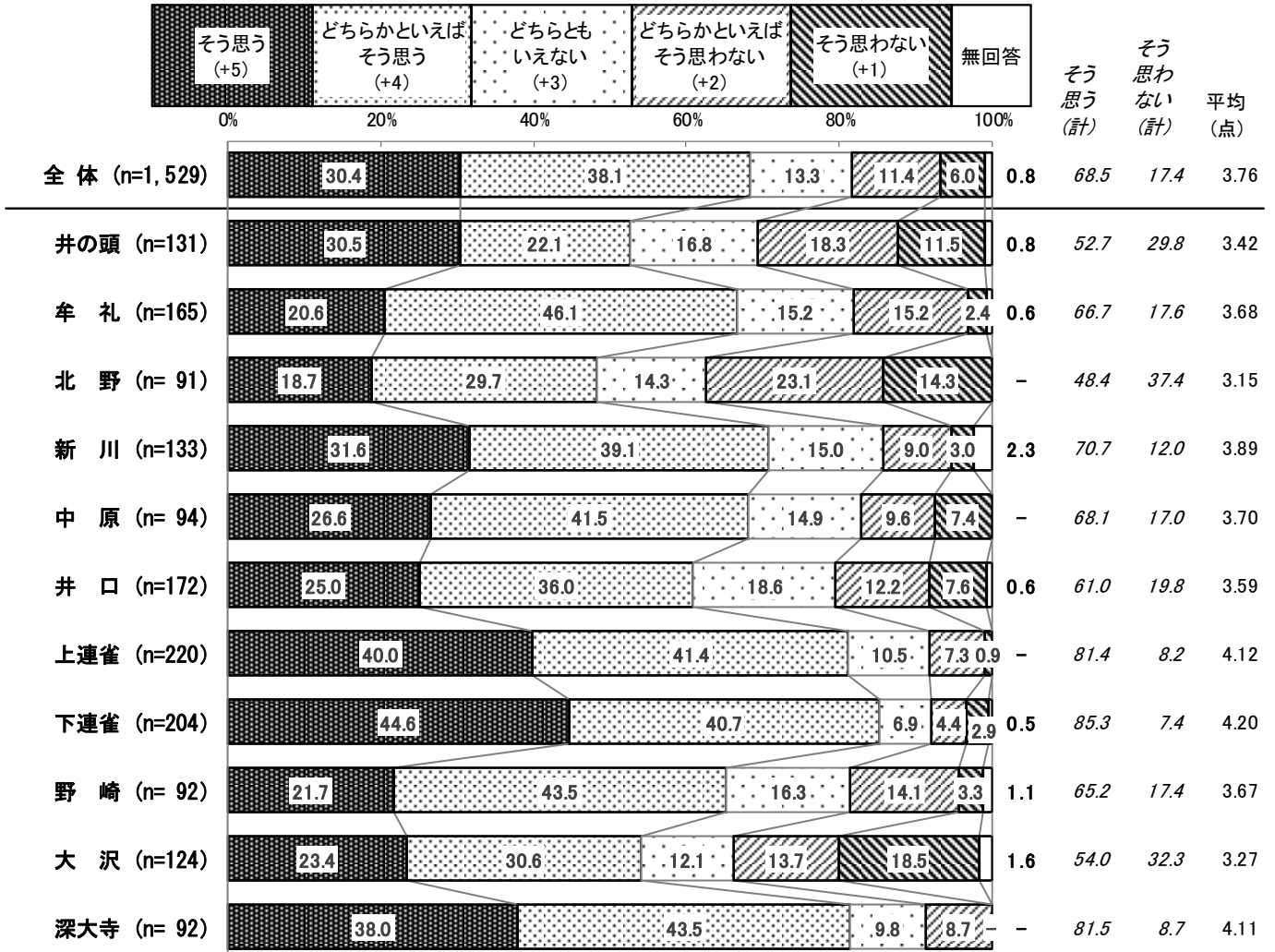
図IV-6-6-2 市内の移動の円滑さ(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、上連雀・下連雀では「そう思う」が40%以上、「そう思う(計)」は80%以上と高い。逆に、北野・大沢では「そう思う(計)」が50%前後、「そう思わない(計)」は35%前後で低い。

図IV-6-6-3 市内の移動の円滑さ(地区別)

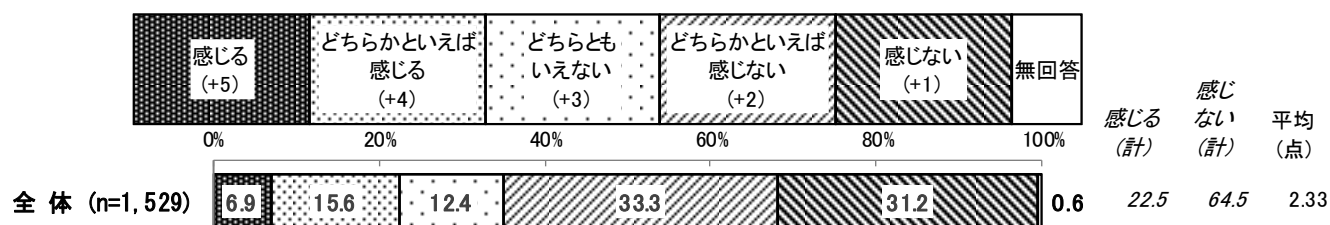


(7) 豪雨時の浸水被害などへの不安感

問 22: あなたは、豪雨時に浸水被害などの不安を感じますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「感じる」が 6.9%、「感じる (計) (「感じる」+「どちらかといえば感じる)」が 22.5%、「感じない (計) (「どちらかといえば感じない」+「感じない)」が 64.5%である。

図IV-6-7-1 豪雨時の浸水被害などへの不安感

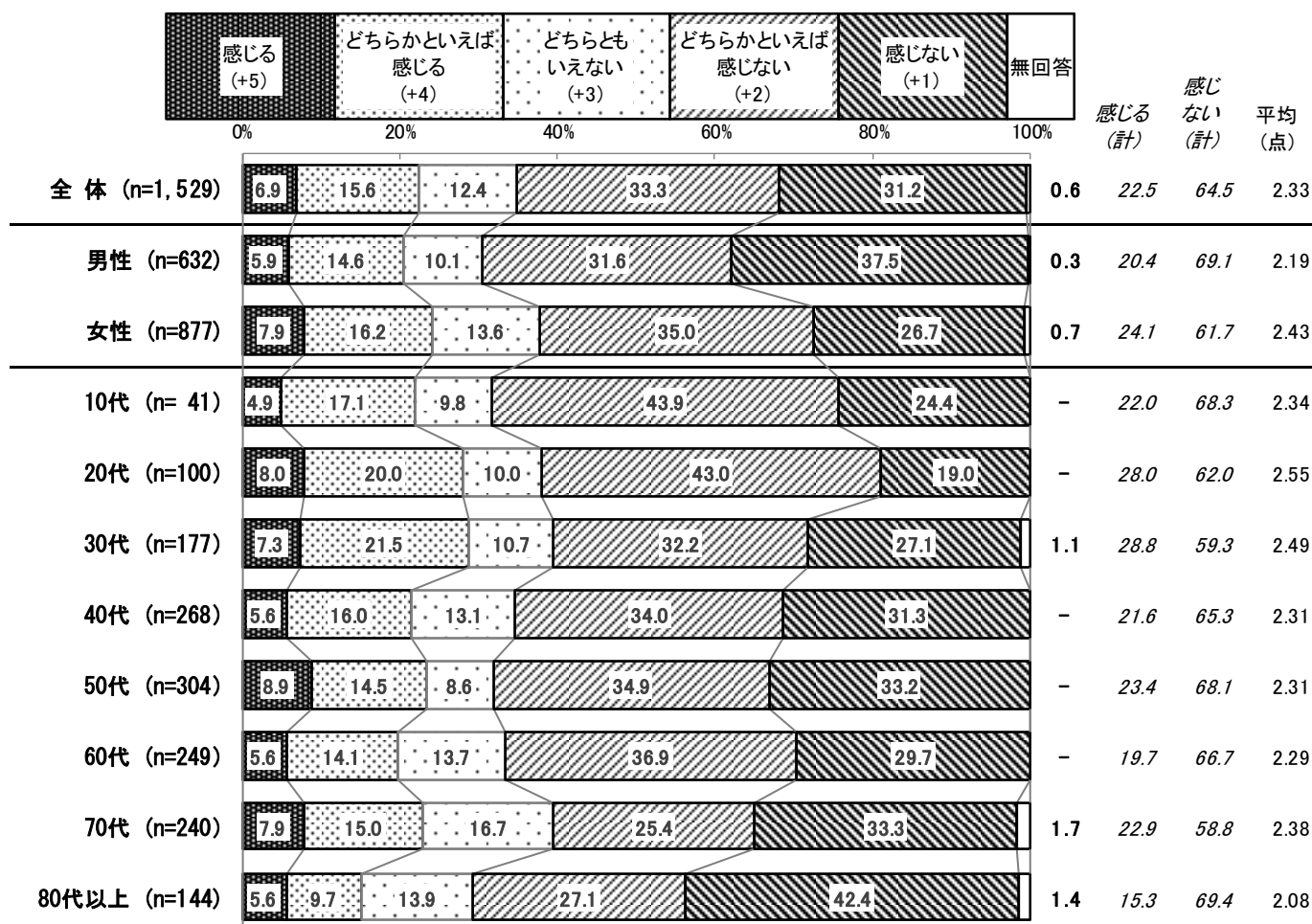


① 性・年齢別

性別でみると、男性より女性の方が若干高く、「感じる (計)」は男性が 20.4%に対し、女性は 24.1%である。

年齢別でみると、20代・30代で「感じる」が若干高く 28%以上である。

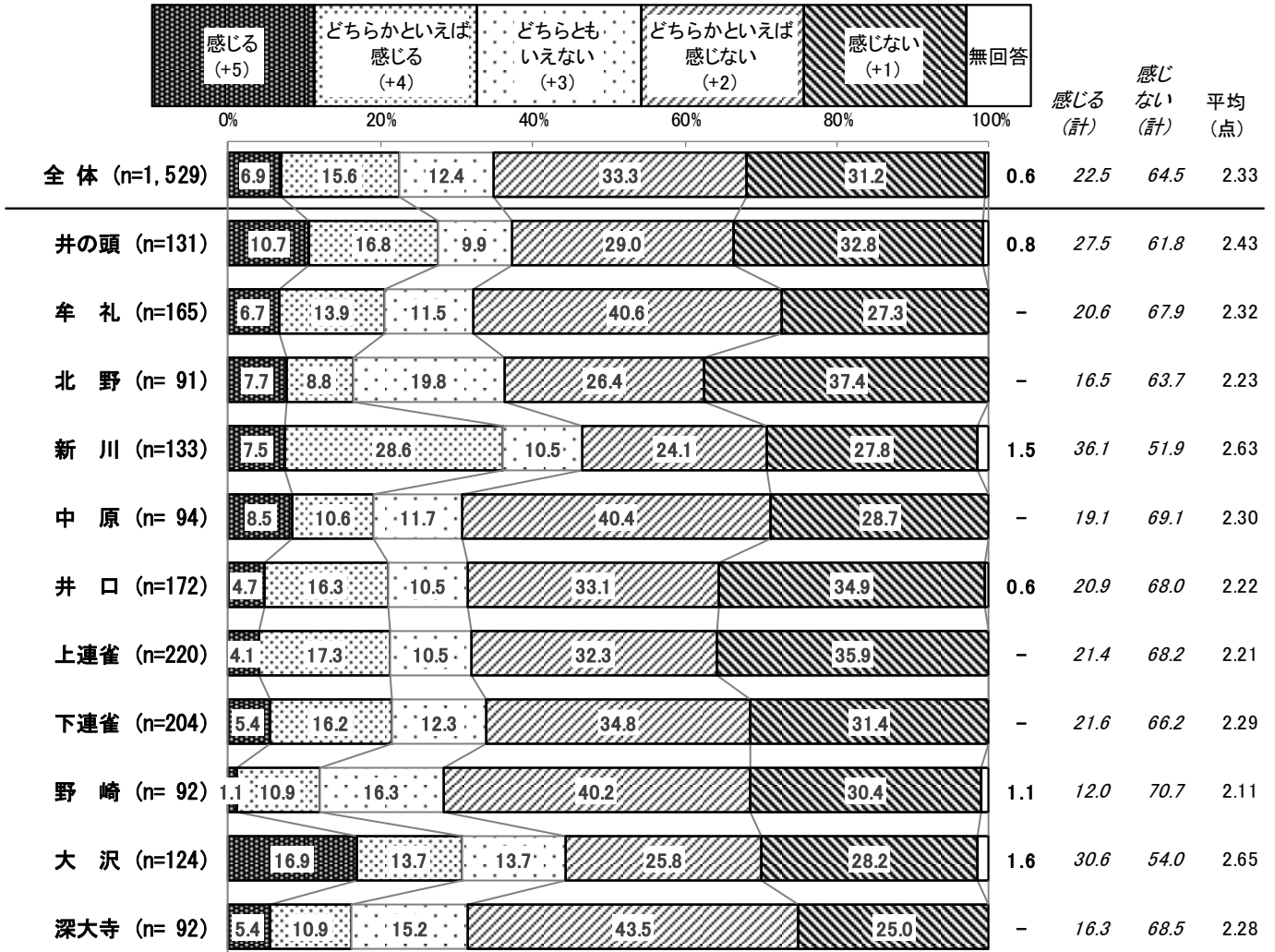
図IV-6-7-2 豪雨時の浸水被害などへの不安感(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「感じる」が最も高いのは大沢の 16.9%である。「感じる(計)」は、新川(36.1%)、大沢(30.6%)が高く、この2地区は「感じない(計)」も50%台にとどまり、他地区より低い。

図IV-6-7-3 豪雨時の浸水被害などへの不安感(地区別)



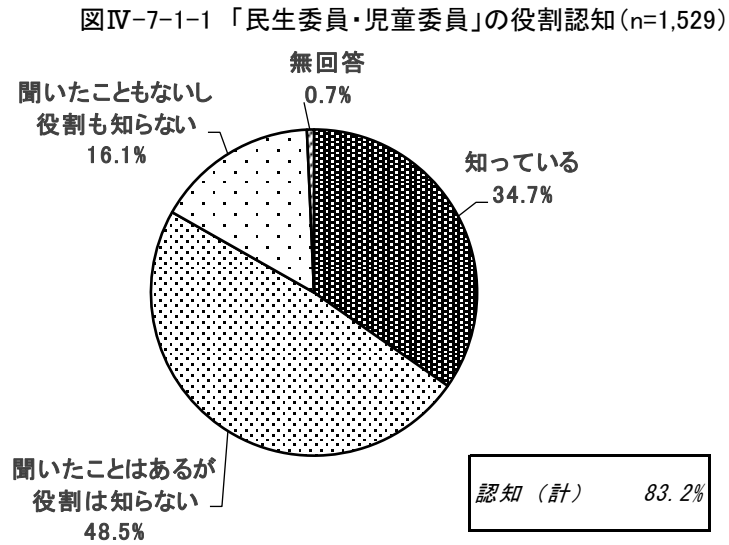


## 7 健康・福祉

### (1) 「民生委員・児童委員」の役割認知

問 23: あなたは、「民生委員・児童委員」の役割を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「知っている」が 34.7%、「聞いたことはあるが役割は知らない(48.5%)」も含めると「認知(計)」は 83.2%である。

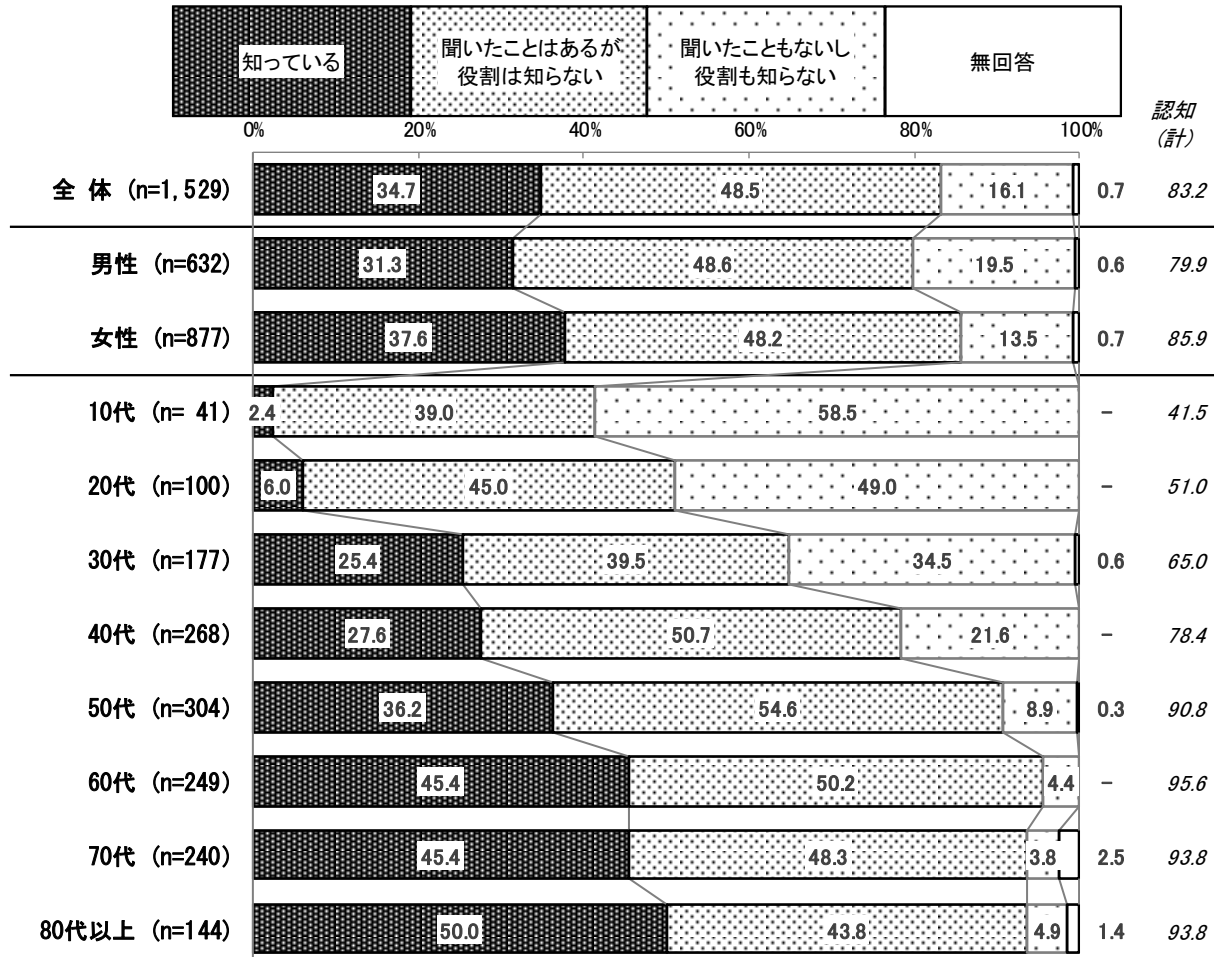


① 性・年齢別

性別で、「認知(計)」は男性(79.9%)より女性(85.9%)の方が6.0ポイント高い。

年齢別でみると、「知っている」は年代が上がるに連れ増加し、80代以上では50.0%に達する。「認知(計)」は50代以上の計4層で90%以上である。

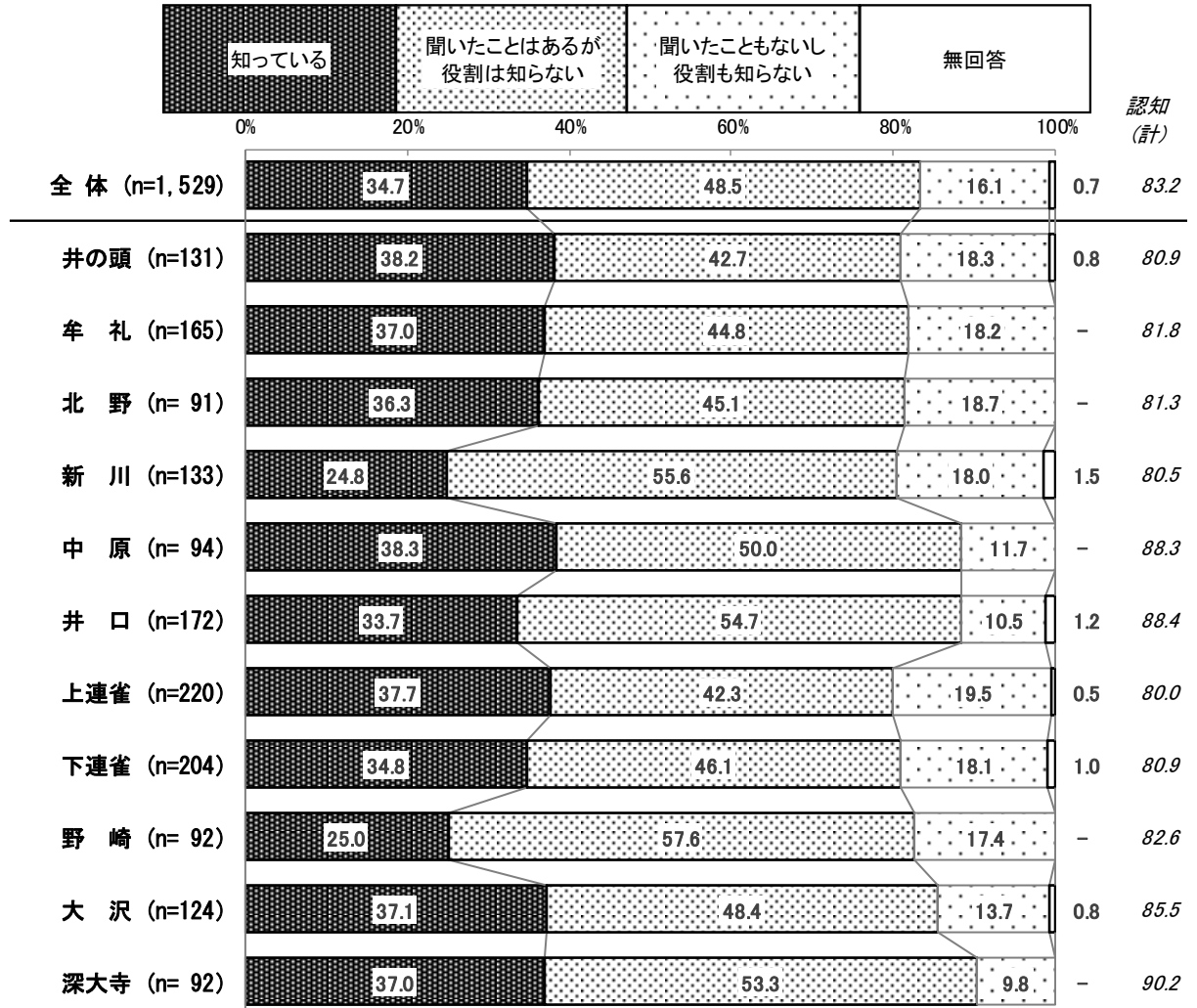
図IV-7-1-2 「民生委員・児童委員」の役割認知(性・年齢別)



② 地区別

地区別で「認知(計)」が最も高いのは深大寺の 90.2%である。他地区も 80%以上である。「知っている」は新川(24.8%)、野崎(25.0%)が 25%前後にとどまっている。

図IV-7-1-3 「民生委員・児童委員」の役割認知(地区別)

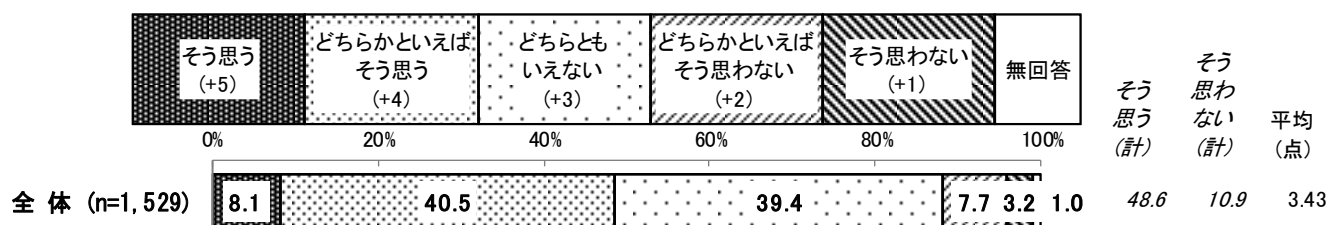


## (2) 高齢者の暮らしやすさ

問 24: あなたは、三鷹市は高齢者が暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う」が8.1%、「そう思う(計)」「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」が48.6%、「そう思わない(計)」「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」が10.9%である。

図IV-7-2-1 高齢者の暮らしやすさ

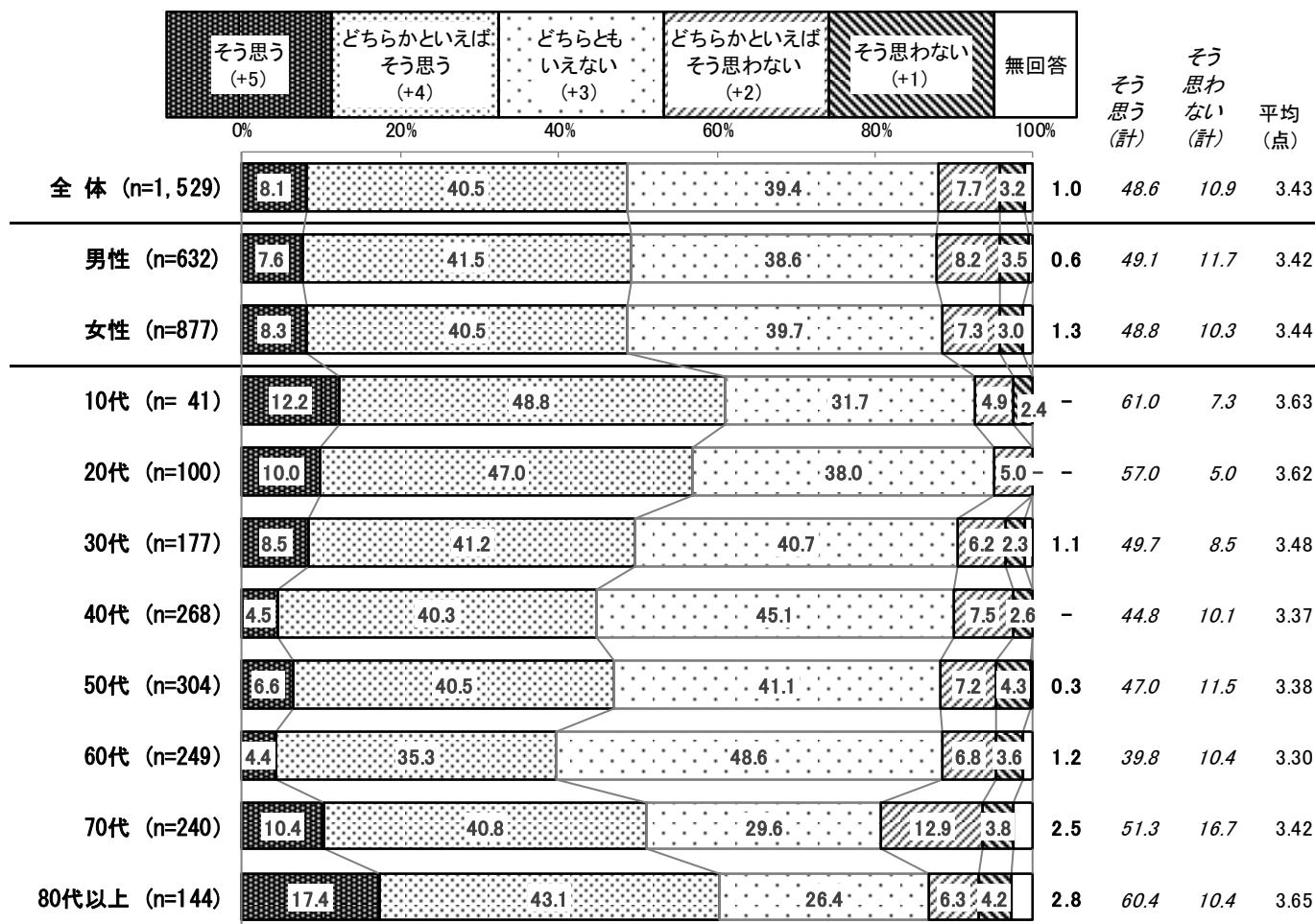


### ① 性・年齢別

性別では大差がなく、「そう思う(計)」は男性 49.1%、女性 48.8%である。

年齢別でみると、相対的に 40 代から 60 代の計3層が低い。特に 60 代は「そう思う」が 4.4%、「そう思う(計)」は 39.8%で最も低い。

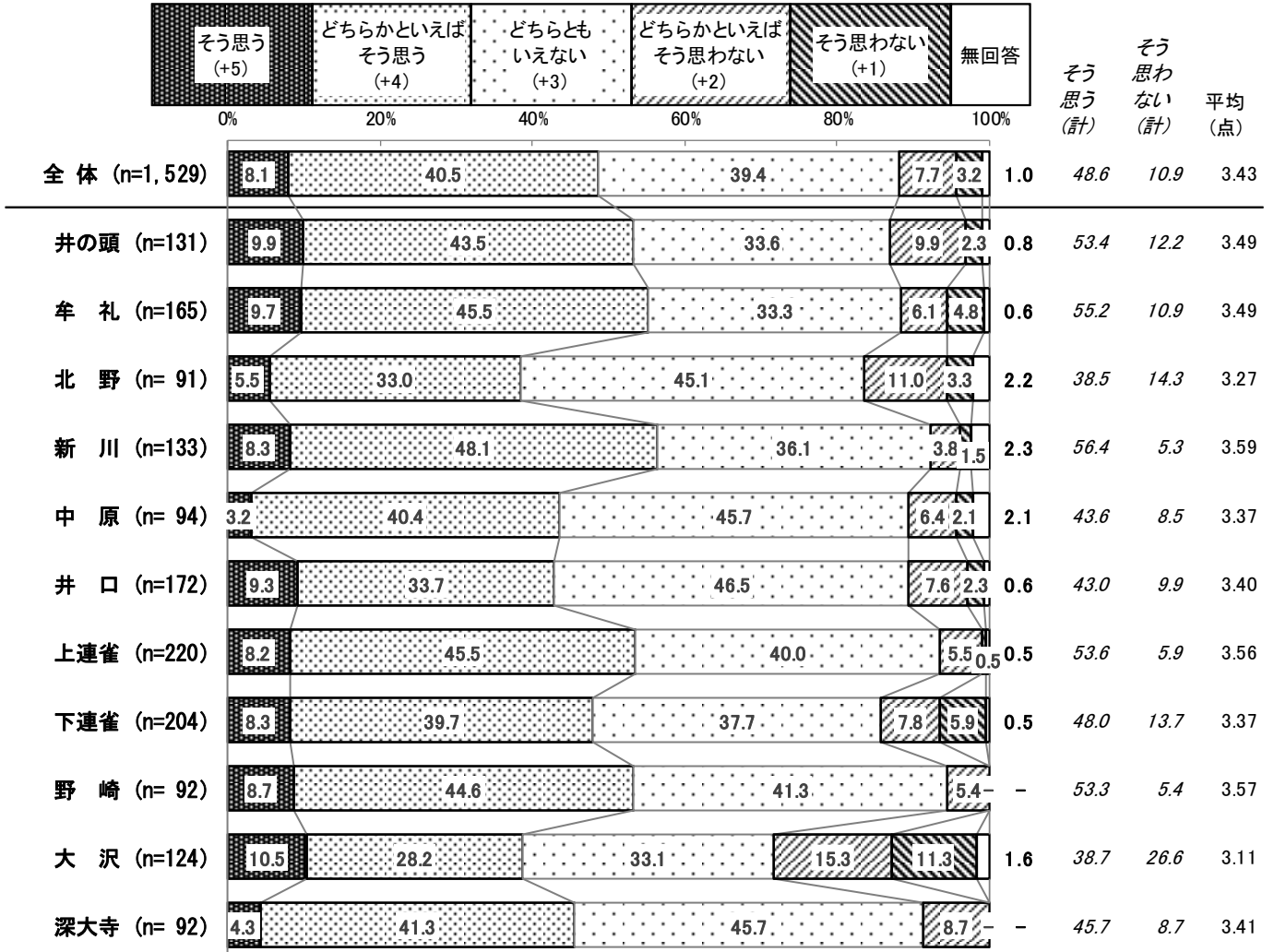
図IV-7-2-2 高齢者の暮らしやすさ(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは新川の 56.4%である。逆に、「そう思う(計)」が低いのは北野(38.5%)、大沢(38.7%)で 30%台となっている。また、大沢は「そう思わない(計)」も 26.6%で最も高い。

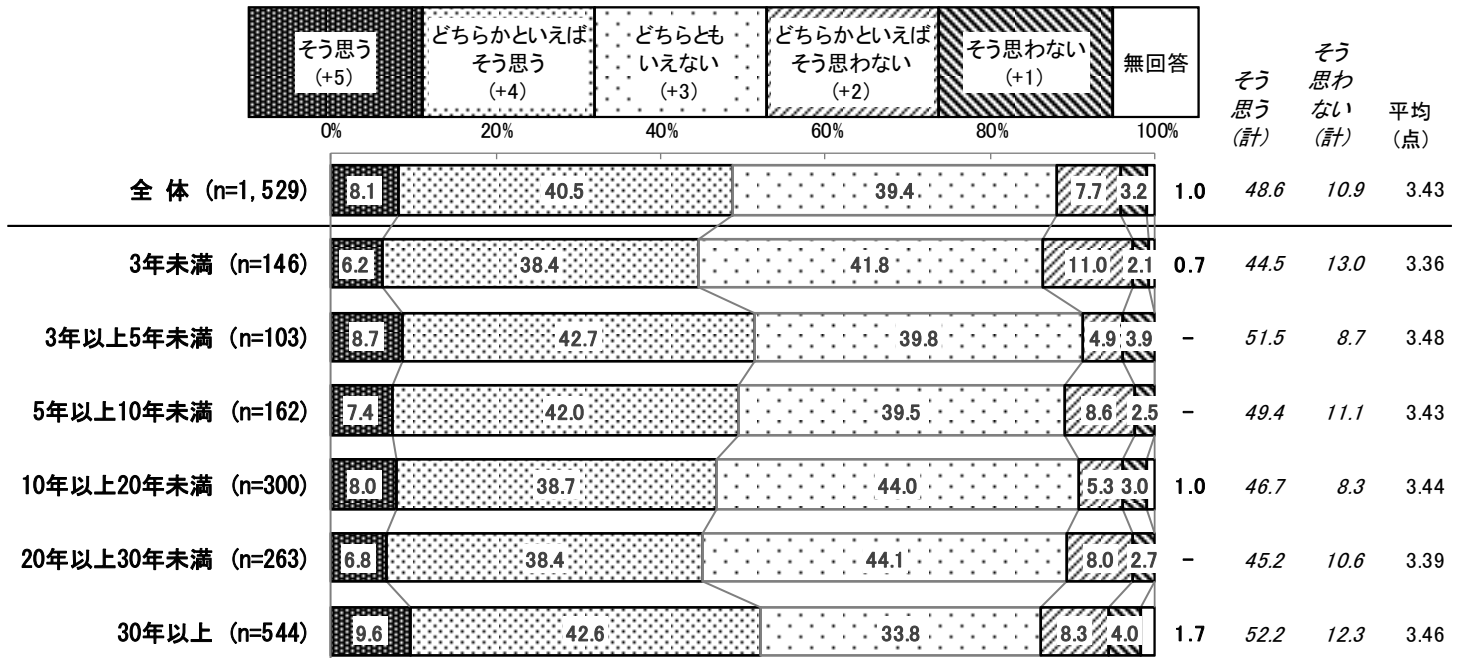
図IV-7-2-3 高齢者の暮らしやすさ(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、30年以上層の「そう思う(計)」は52.2%で最も高いが、「そう思わない(計)」も12.3%存在し、3年未満層の13.0%に次ぐ数値である。

図IV-7-2-4 高齢者の暮らしやすさ(居住年数別)

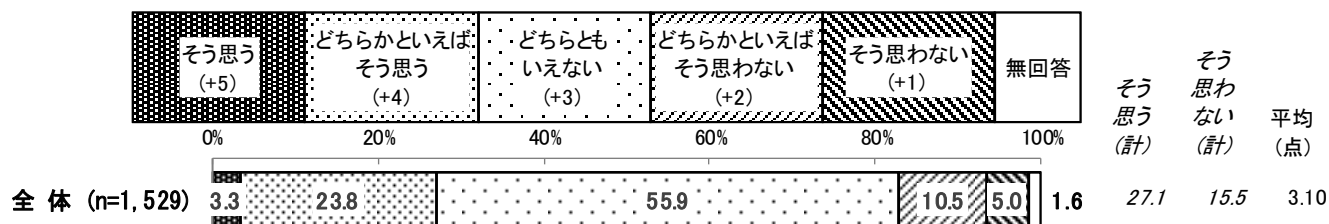


### (3) 障がいのある人の暮らしやすさ

問 25: あなたは、三鷹市は障がいのある人が暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらともいえない」が 55.9%を占める。「そう思う」は 3.3%、「そう思う(計)」「(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」も 27.1%にとどまる。「そう思わない(計)」「(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)」は 15.5%である。

図IV-7-3-1 障がいのある人の暮らしやすさ

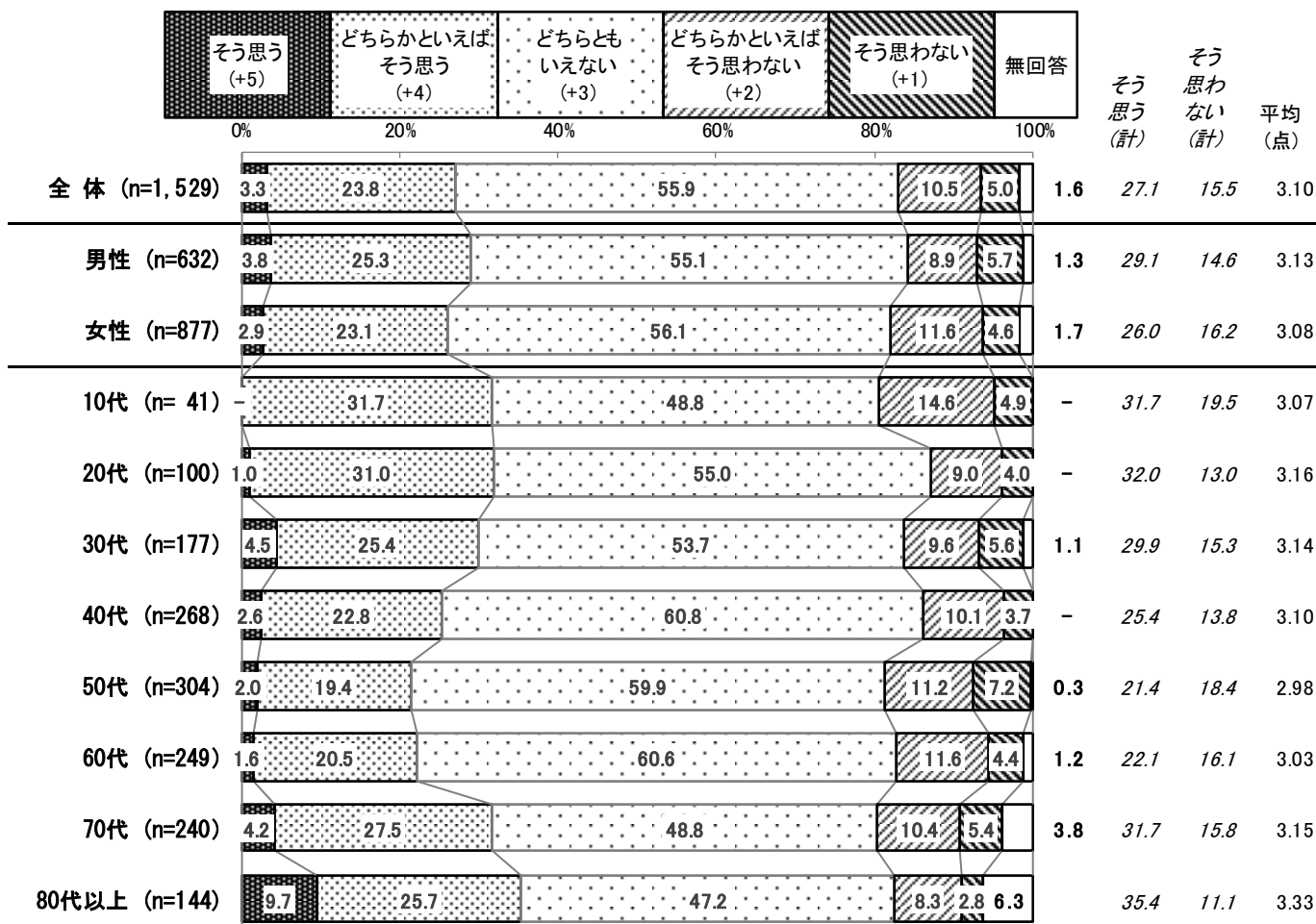


#### ① 性・年齢別

性別では大差はない。「そう思う(計)」は男性 29.1%、女性 26.0%である。

年齢別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは 80 代以上の 35.4%である。10 代(31.7%)、20 代(32.0%)も 30%以上だが、「そう思う」が低く、80 代以上(9.7%)とは差がある。「そう思う(計)」で最も低いのは 50 代の 21.4%である。

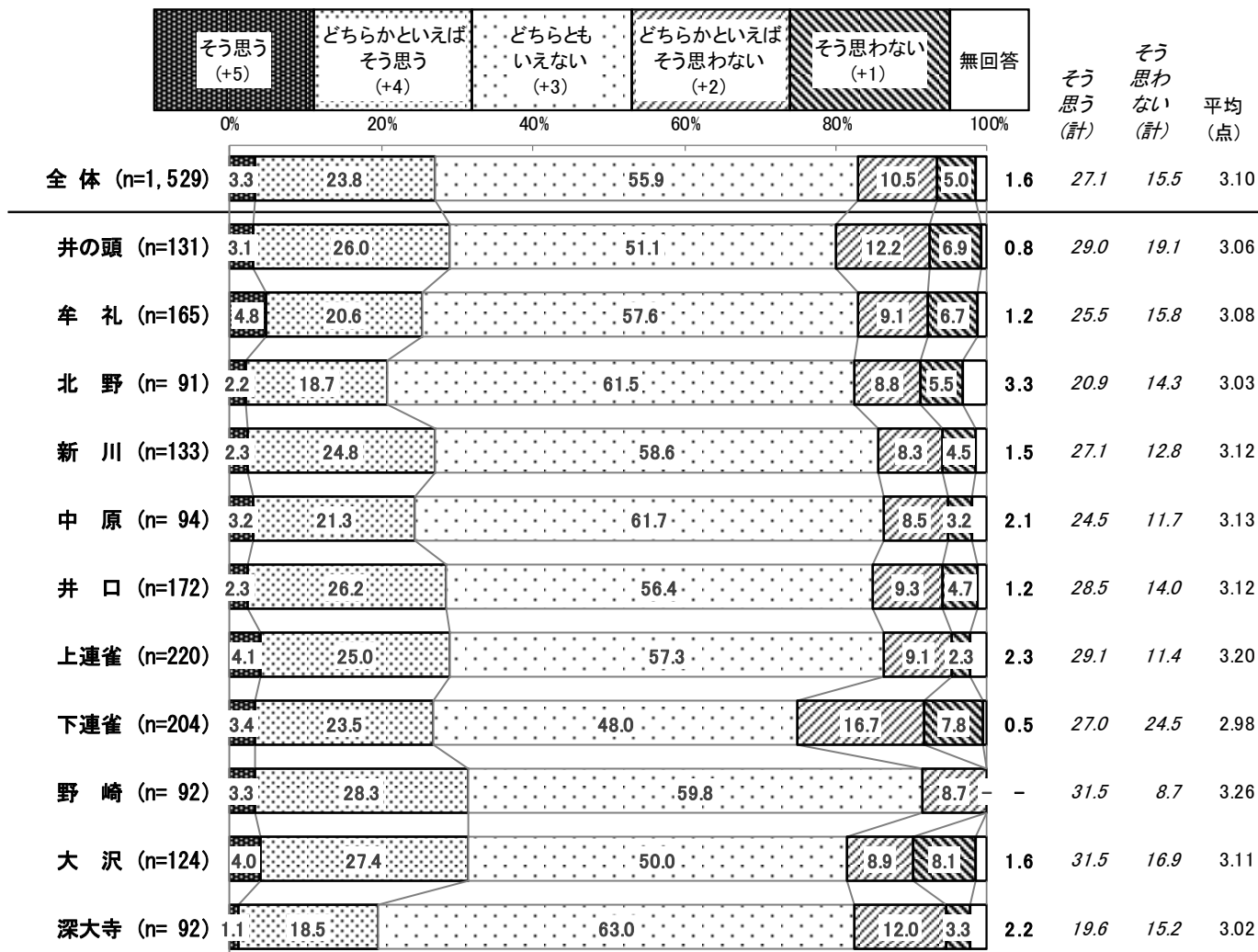
図IV-7-3-2 障がいのある人の暮らしやすさ(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは野崎(31.5%)、大沢(31.5%)である。最も低いのは深大寺の19.6%である。下連雀の「そう思わない(計)」は24.5%で、唯一20%以上で高い。

図IV-7-3-3 障がいのある人の暮らしやすさ(地区別)

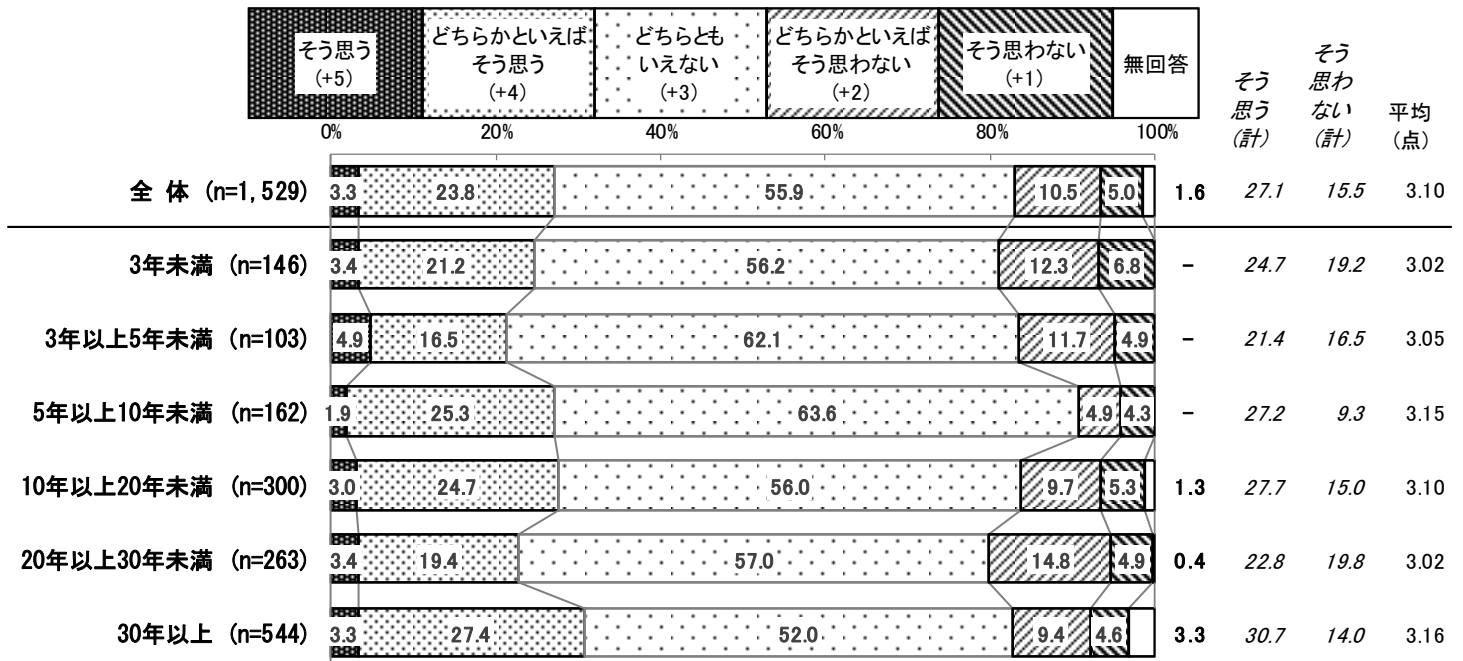




### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは30年以上層の30.7%である。最も低いのは3年以上5年未満層の21.4%である。5年以上10年未満層の「そう思わない(計)」は9.3%にとどまっている。

図IV-7-3-4 障がいのある人の暮らしやすさ(居住年数別)

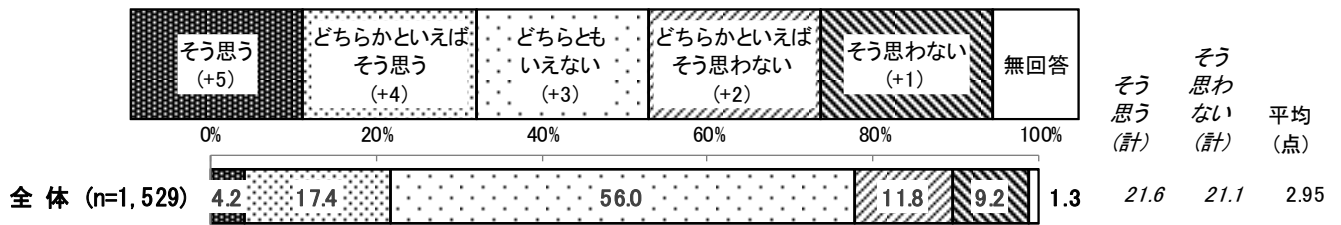


(4) 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ

問 26: あなたは、経済的な困窮状態に陥ったとしても、三鷹市は安心して暮らせるまちだと思いますか。  
 あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらともいえない」が56.0%を占める。「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」は21.6%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)」は21.1%で拮抗する。

図IV-7-4-1 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ

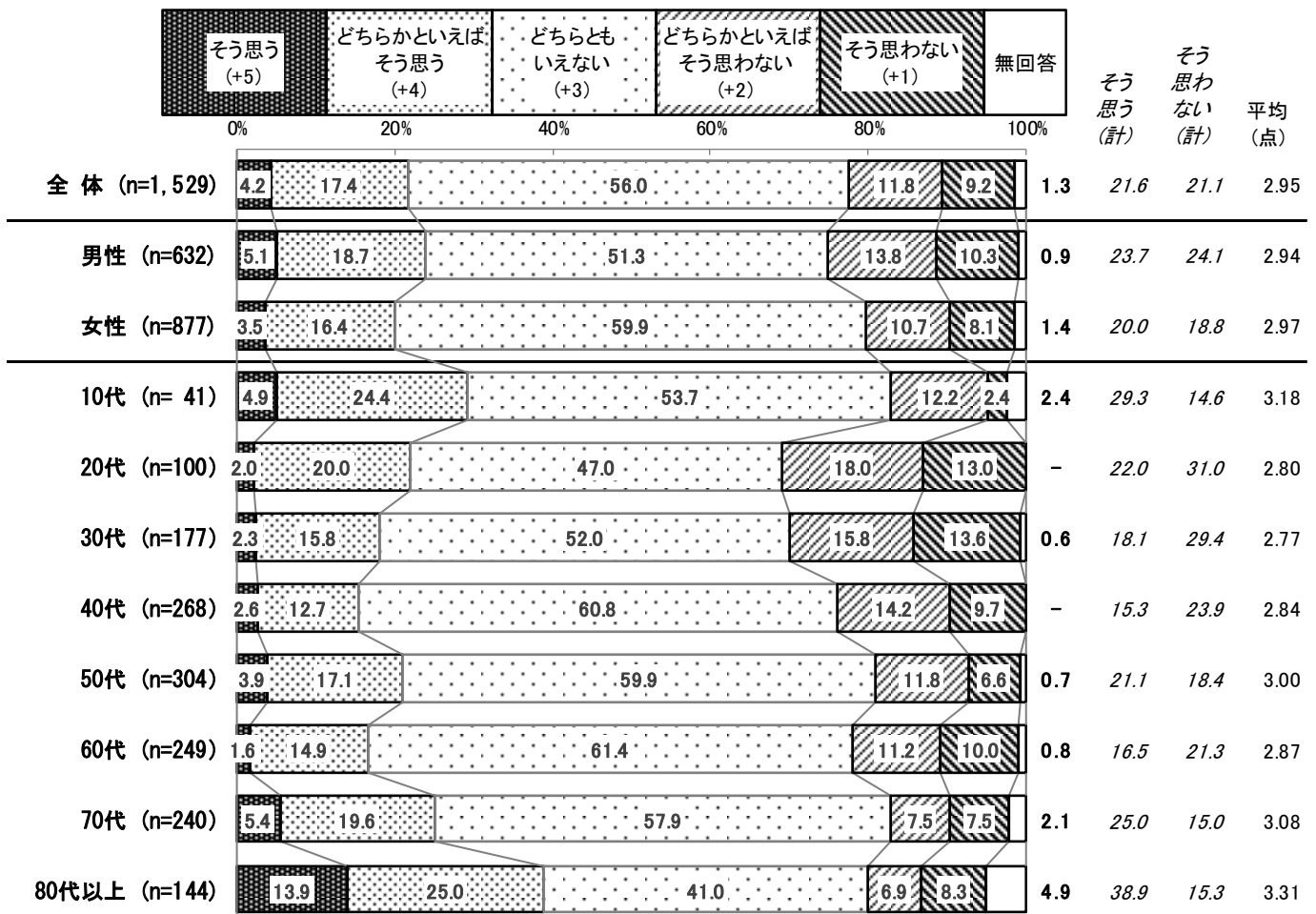


① 性・年齢別

性別でみると、「どちらともいえない」が男性(51.3%)より女性(59.9%)の方が8.6ポイント高い。しかし、「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」が拮抗している状況は同様である。

年齢別で「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」の差をみると、「そう思う(計)」が10ポイント以上高いのは10代(14.7ポイント差)、80代以上(23.6ポイント差)である。「そう思わない(計)」の方が10ポイント以上高いのは30代(11.3ポイント差)である。

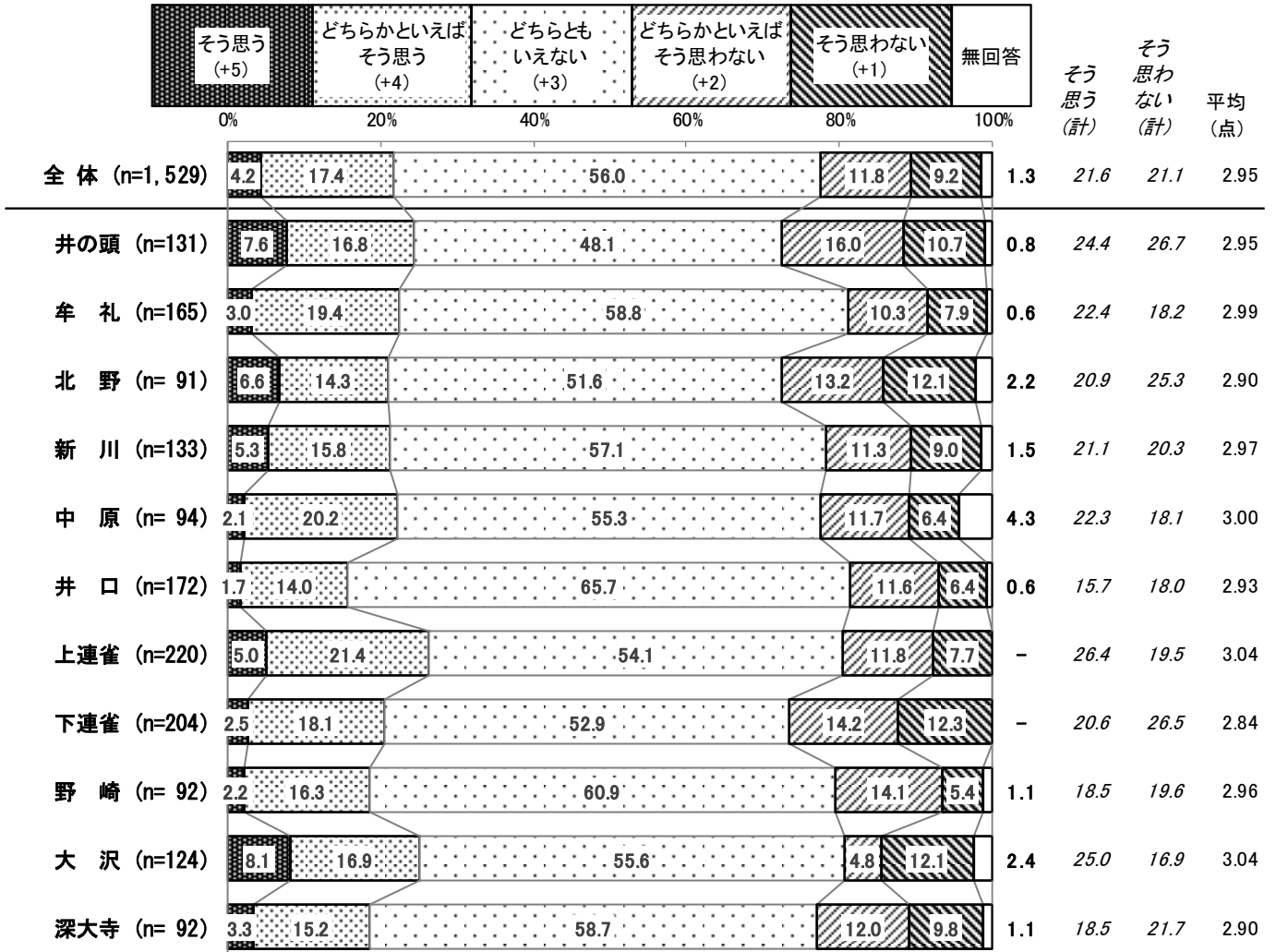
図IV-7-4-2 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ(性・年齢別)



② 地区別

地区別で「そう思う(計)」が最も高いのは上連雀(26.4%)である。「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」で最も差があるのは、大沢で8.1ポイント「そう思う(計)」の方が高い。

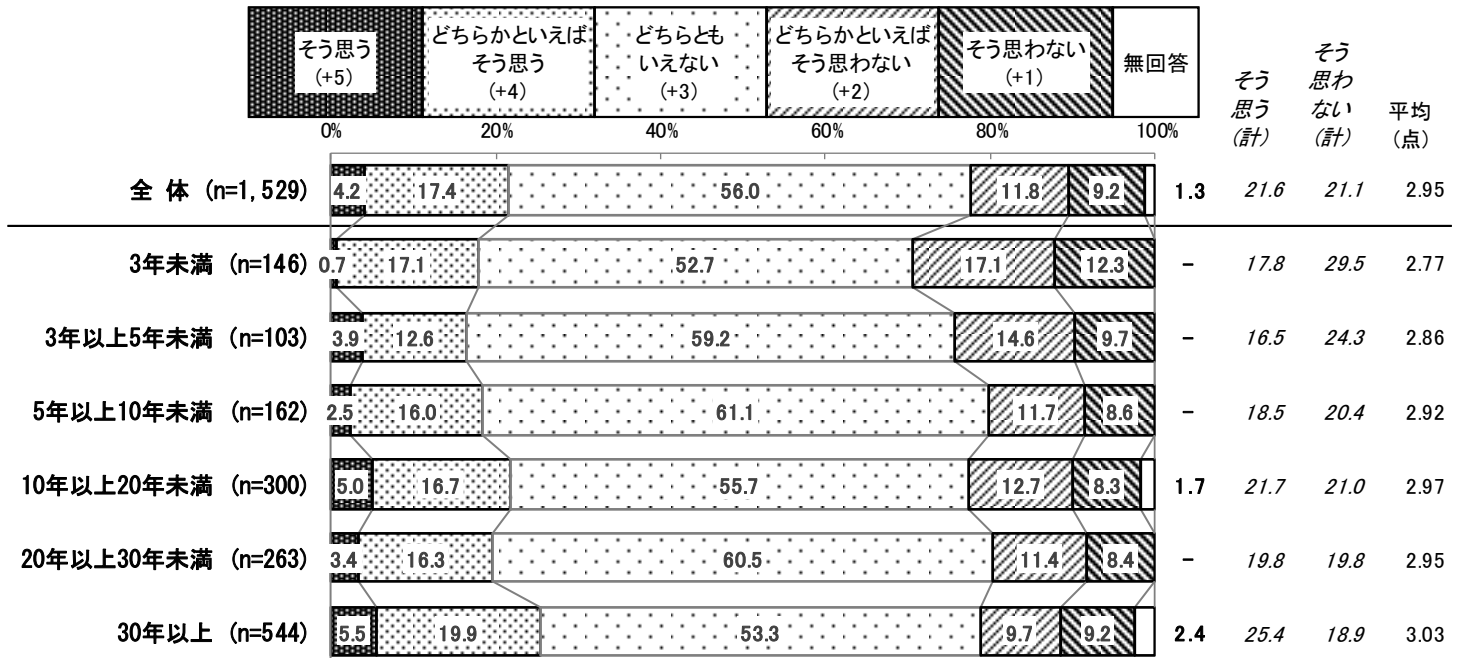
図IV-7-4-3 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ(地区別)



### ③ 居住年数別

居住年数別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは30年以上層で25.4%である。「そう思う(計)」と「そう思わない(計)」で最も差があるのは、3年未満層で11.7ポイント「そう思わない(計)」の方が高い。

図IV-7-4-4 経済的な困窮状態下での暮らしやすさ(居住年数別)

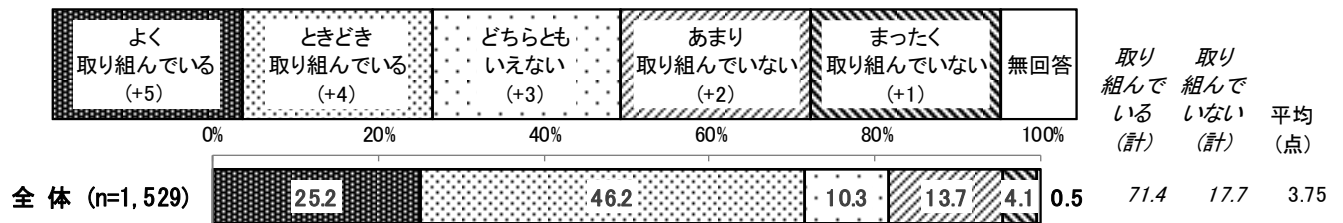


(5) 日ごろの健康の維持・増進への取り組み

問 27: あなたは、日ごろから健康の維持・増進のため何かに取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「取り組んでいる(計) (「よく取り組んでいる」+「ときどき取り組んでいる」)」が 71.4%、「取り組んでいない(計) (「あまり取り組んでいない」+「まったく取り組んでいない」)」は 17.7%である。

図IV-7-5-1 日ごろの健康の維持・増進への取り組み

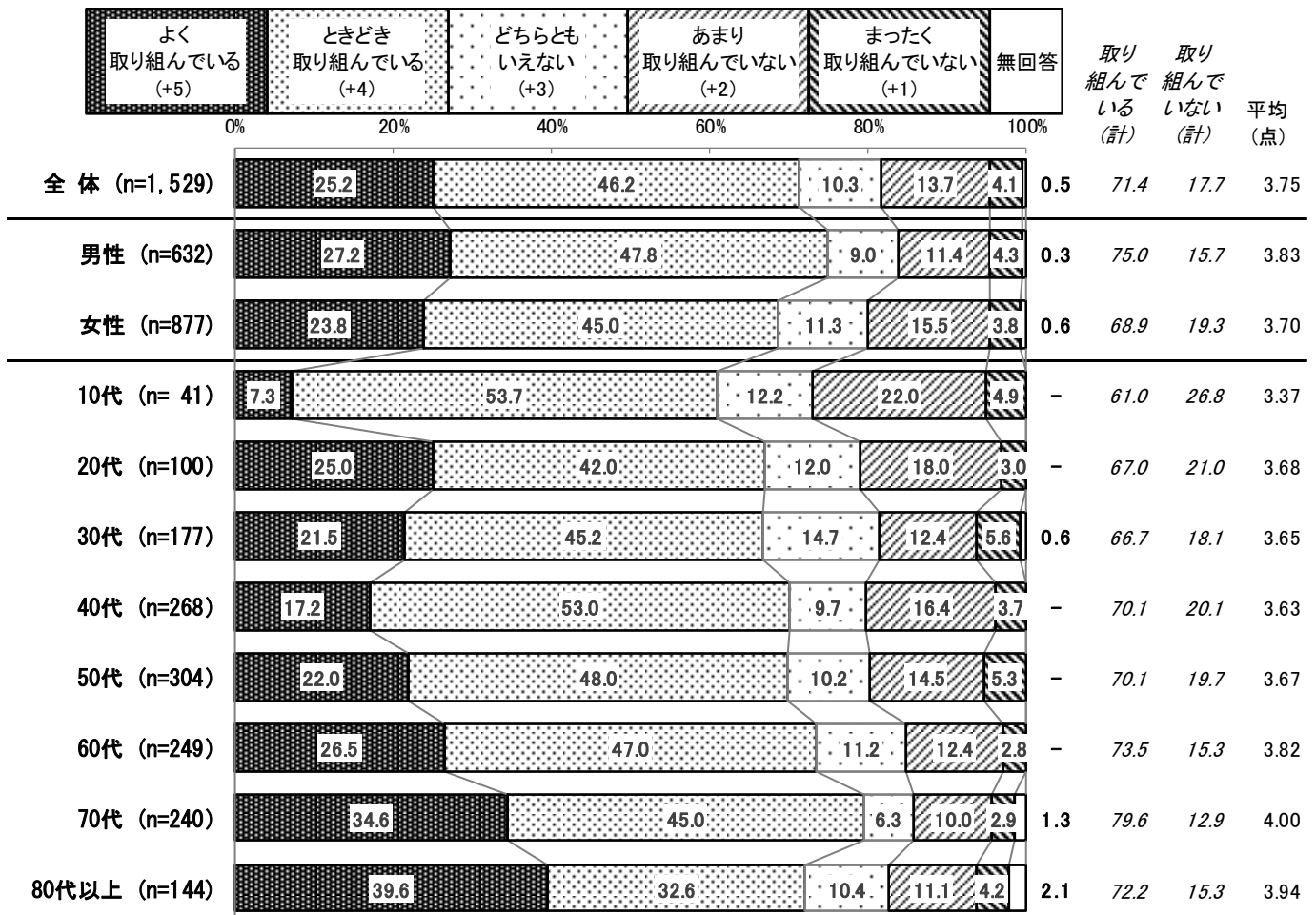


① 性・年齢別

性別では、「取り組んでいる(計)」は男性 75.0%、女性は 68.9%で、男性の方が 6.1 ポイント高い。

年齢別でみると、「取り組んでいる(計)」が最も高いのは 70 代の 79.6%である。30 代以下の計 3 層では 60% 台にとどまり、そのうち 10 代・20 代は「取り組んでいない(計)」が 20% 以上である。

図IV-7-5-2 日ごろの健康の維持・増進への取り組み(性・年齢別)



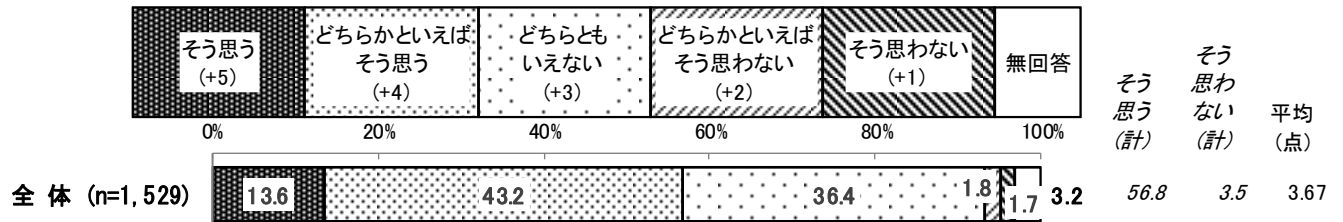
## 8 子ども・教育

### (1) 子どもの人権尊重

問 28: あなたは、三鷹市の子どもは人権が守られていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」は 56.8%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」は 3.5%である。

図IV-8-1-1 子どもの人権尊重

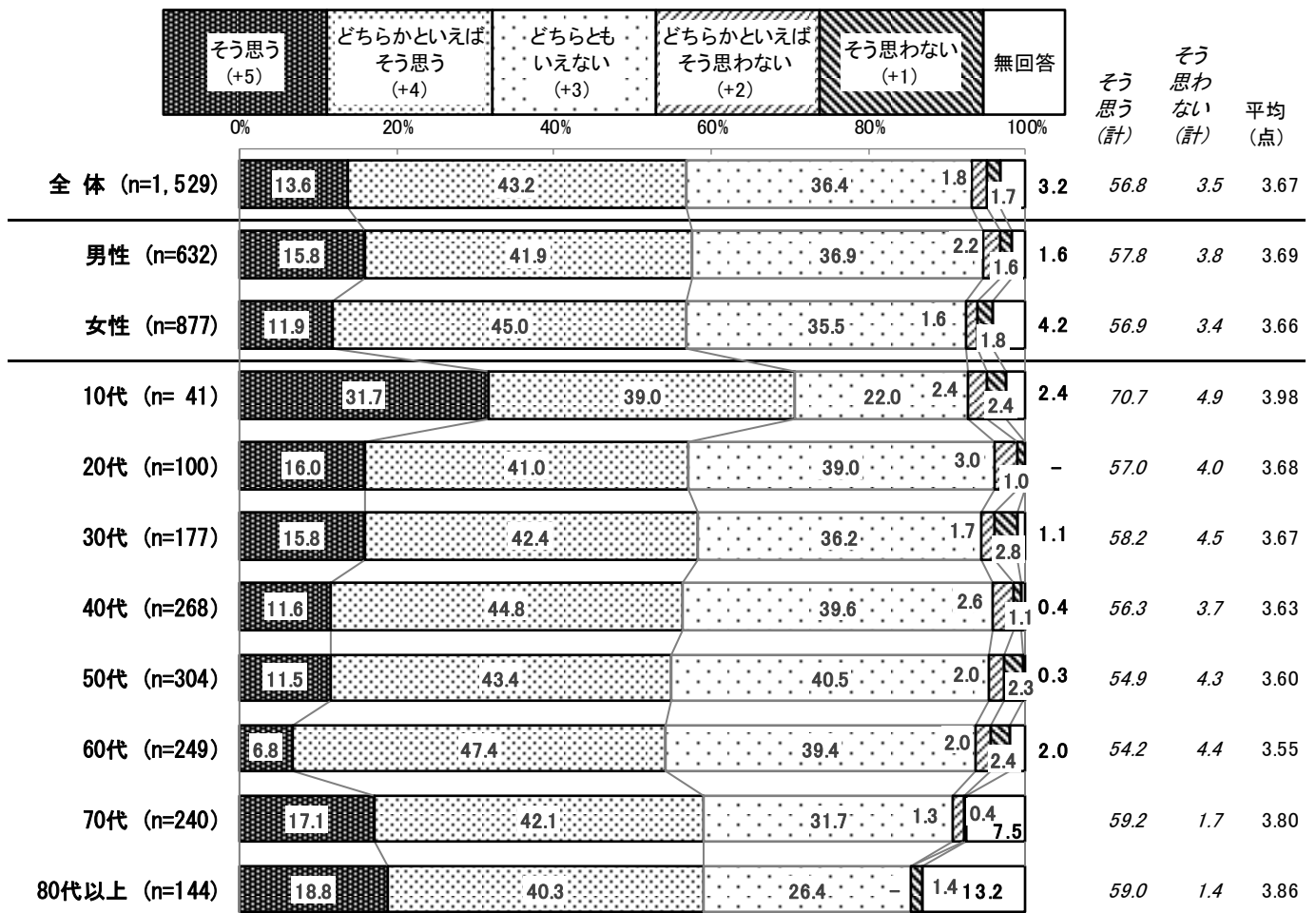


#### ① 性・年齢別

性別でみると、「そう思う」は女性(11.9%)より男性(15.8%)の方が若干高いが、「そう思う(計)」では差がない。

年齢別でみると、10代の「そう思う」が31.7%で高い。「そう思う(計)」も他層は50%台だが、10代は70.7%に達する。

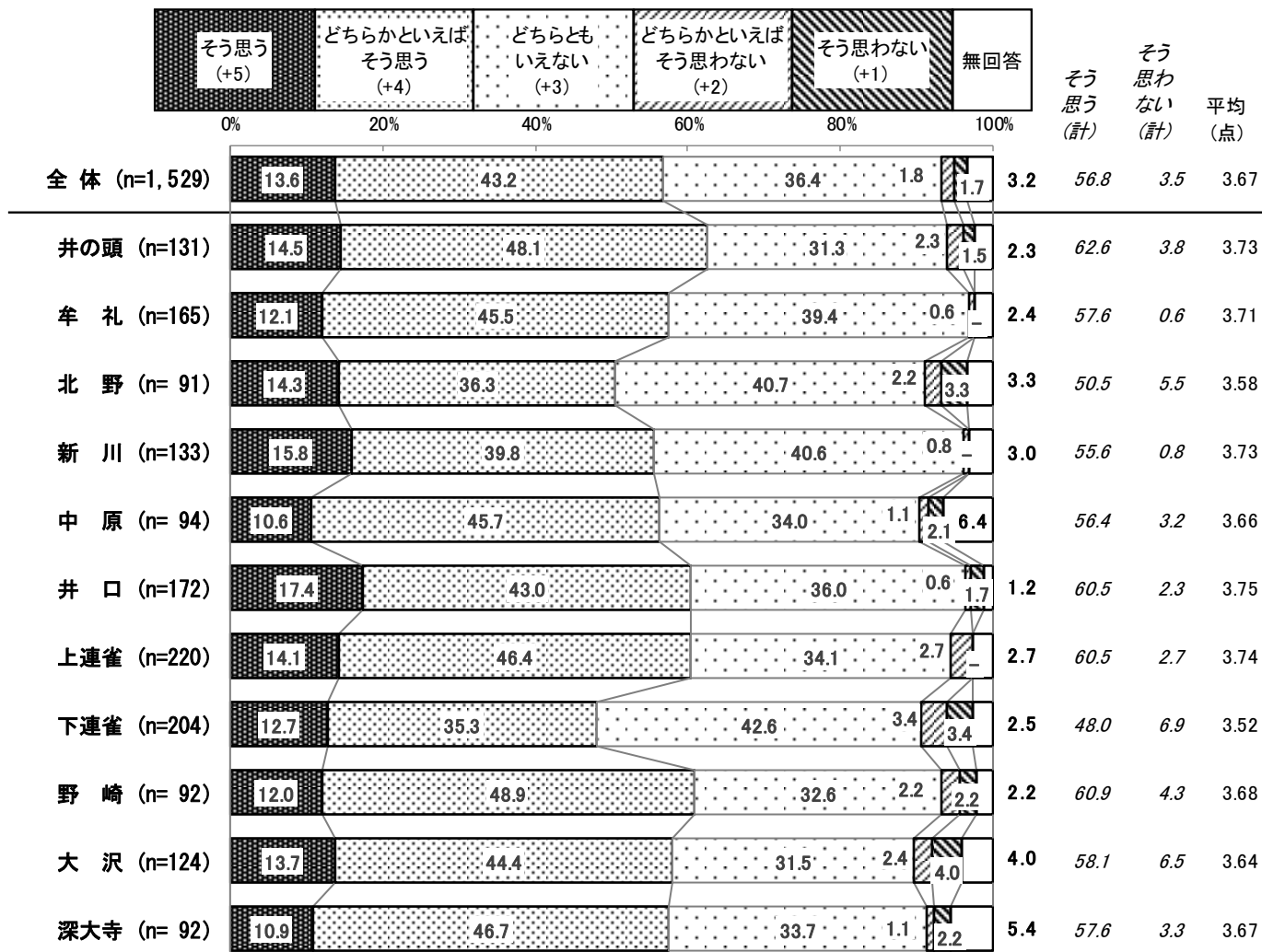
図IV-8-1-2 子どもの人権尊重(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別で「そう思う(計)」が最も高いのは井の頭の62.6%である。最も低いのは下連雀の48.0%である。下連雀は唯一40%台で、井の頭より14.6ポイント低い。

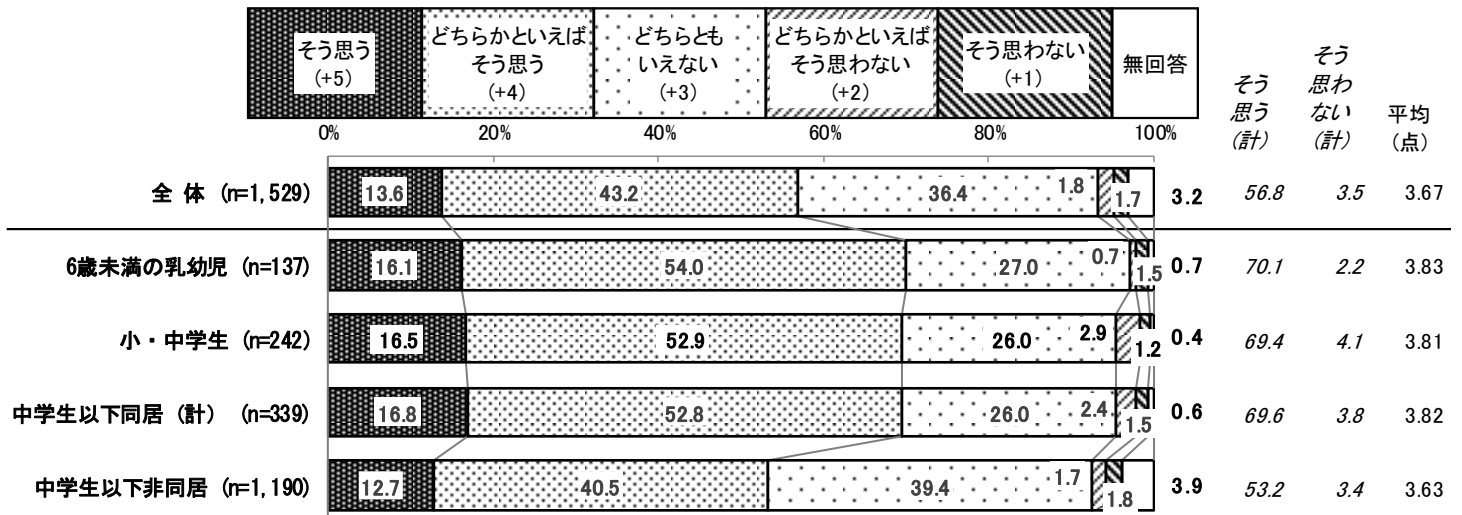
図IV-8-1-3 子どもの人権尊重(地区別)



### ③ 中学生以下同居別

中学生以下同居(計)層では、「そう思う(計)」が69.6%で、中学生以下非同居層は53.2%である。中学生以下同居(計)層の方が、16.4ポイント高い。

図IV-8-1-4 子どもの人権尊重(中学生以下同居別)



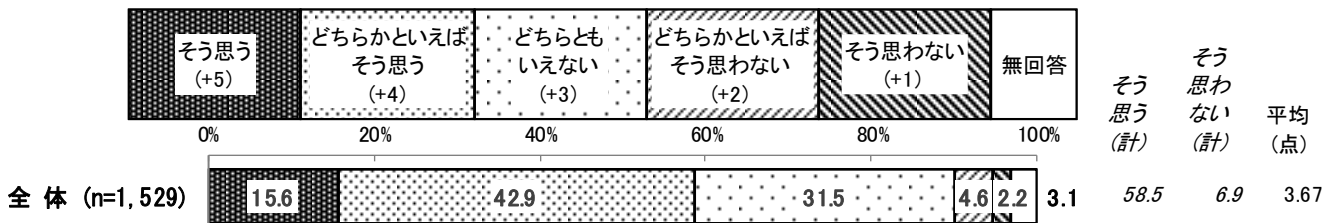


(2) 子育て世帯の暮らしやすさ

問 29: あなたは、三鷹市は子育て世帯が暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」は 58.5%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」は 6.9%である。

図IV-8-2-1 子育て世帯の暮らしやすさ

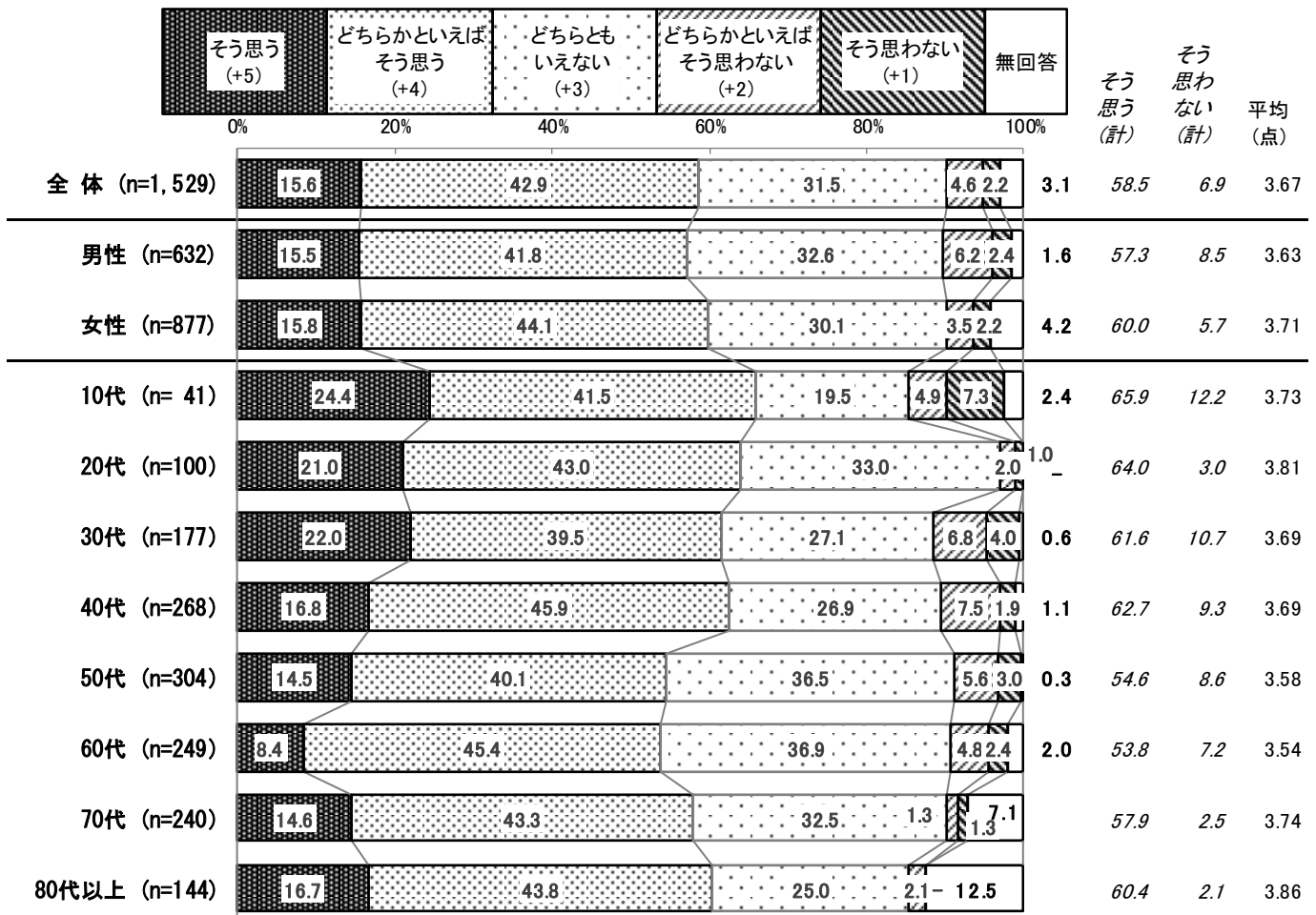


① 性・年齢別

性別では大差がなく、「そう思う(計)」は男性 57.3%、女性 60.0%である。

年齢別でみると、30代以下の計3層で「そう思う」が20%以上を占める。「そう思う(計)」で最も高いのは10代で65.9%、最も低いのは60代で53.8%である。

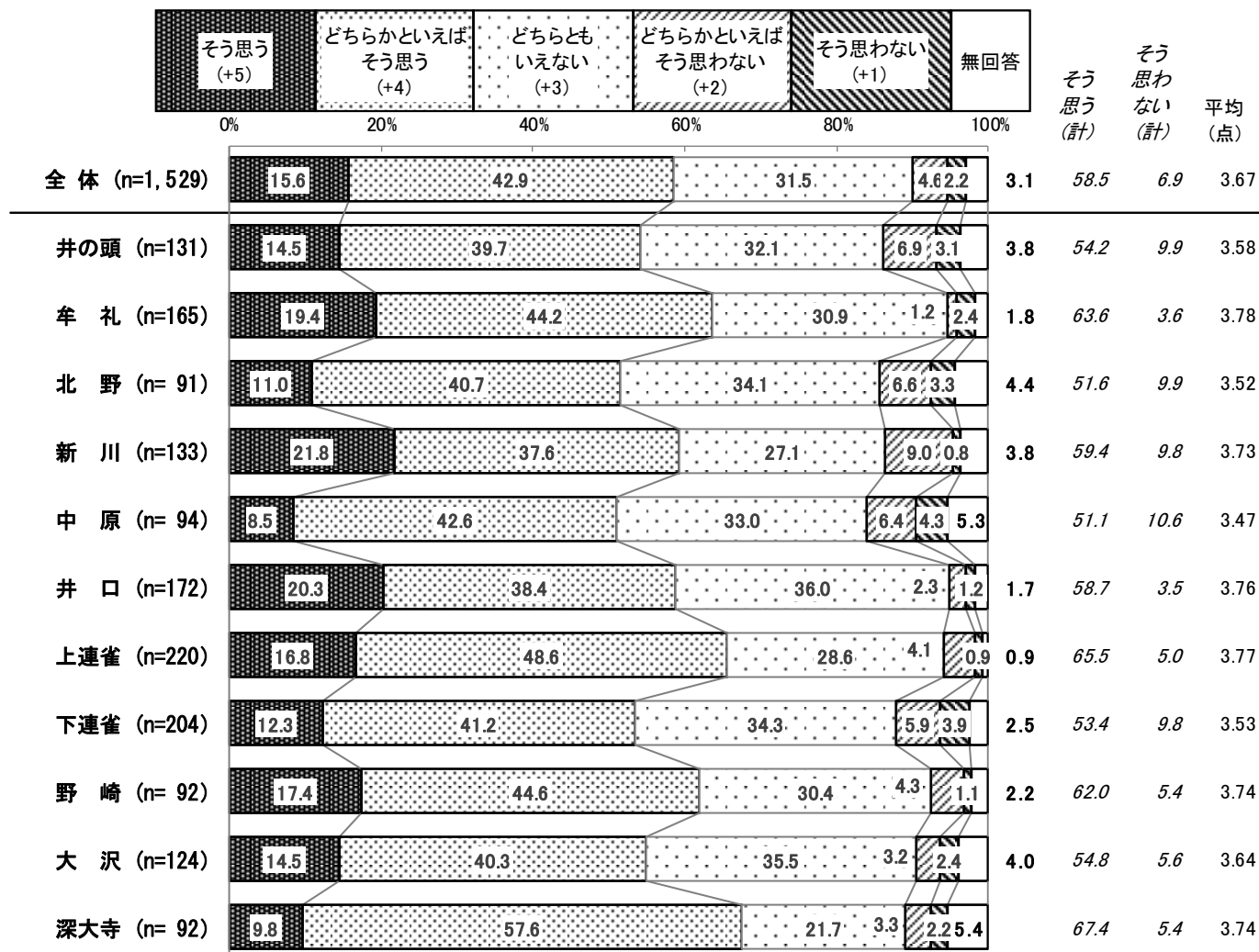
図IV-8-2-2 子育て世帯の暮らしやすさ(性・年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「そう思う」が新川(21.8%)、井口(20.3%)は20%以上で高いが、「そう思う(計)」は60%未満である。「そう思う(計)」で最も高いのは深大寺の67.4%、最も低いのは中原の51.1%である。中原は「そう思う(8.5%)」も最も低く、かつ、「そう思わない(計)(10.6%)」は最も高い。

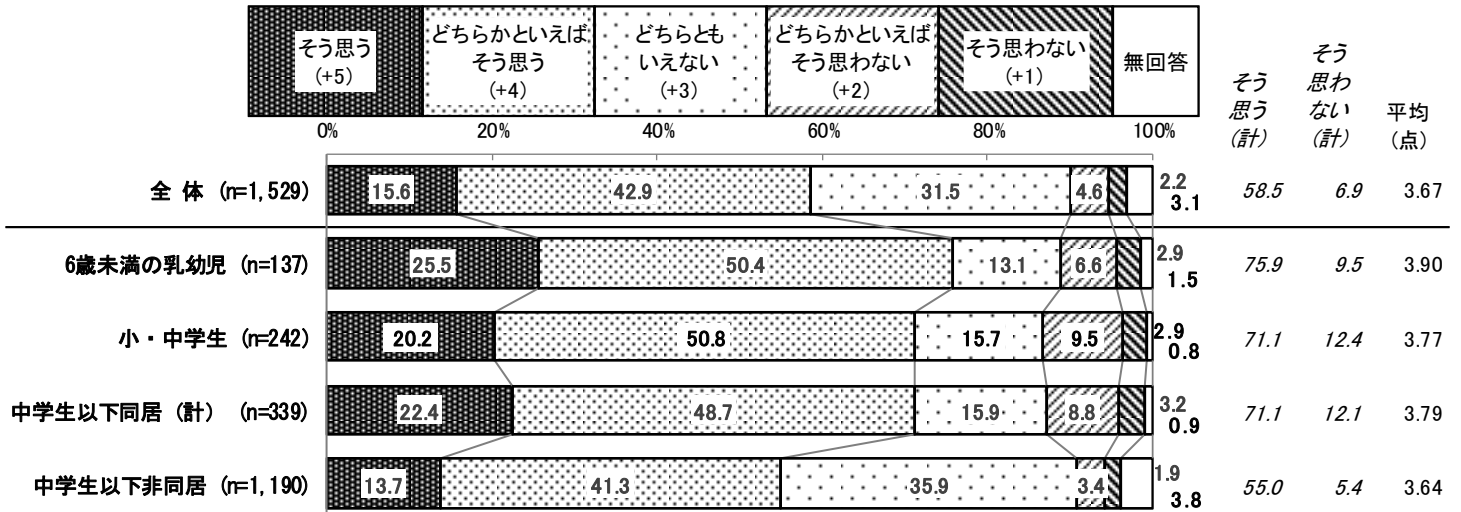
図IV-8-2-3 子育て世帯の暮らしやすさ(地区別)



### ③ 中学生以下同居別

中学生以下同居(計)層では、「そう思う(計)」が71.1%で、中学生以下非同居層は55.0%である。中学生以下同居(計)層の方が、16.1ポイント高い。しかし、中学生以下同居(計)層の「そう思わない(計)」は12.1%であり、中学生以下非同居層(5.4%)より6.7ポイント高い。

図IV-8-2-4 子育て世帯の暮らしやすさ(中学生以下同居別)

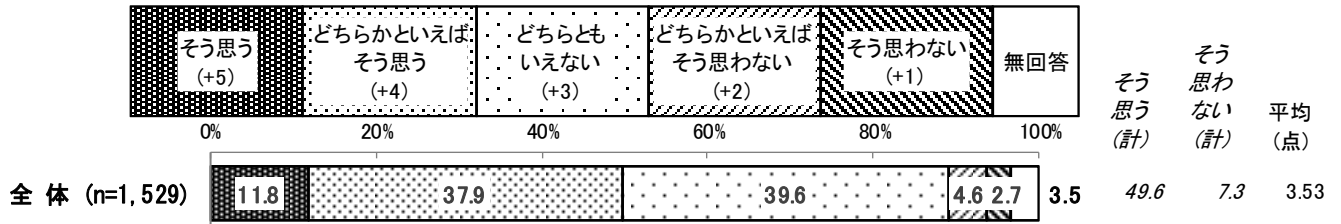


(3) 小学校・中学校の教育の充実

問 30: あなたは、三鷹市は小学校・中学校の教育が充実していると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」は 49.6%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」は 7.3%である。

図IV-8-3-1 小学校・中学校の教育の充実

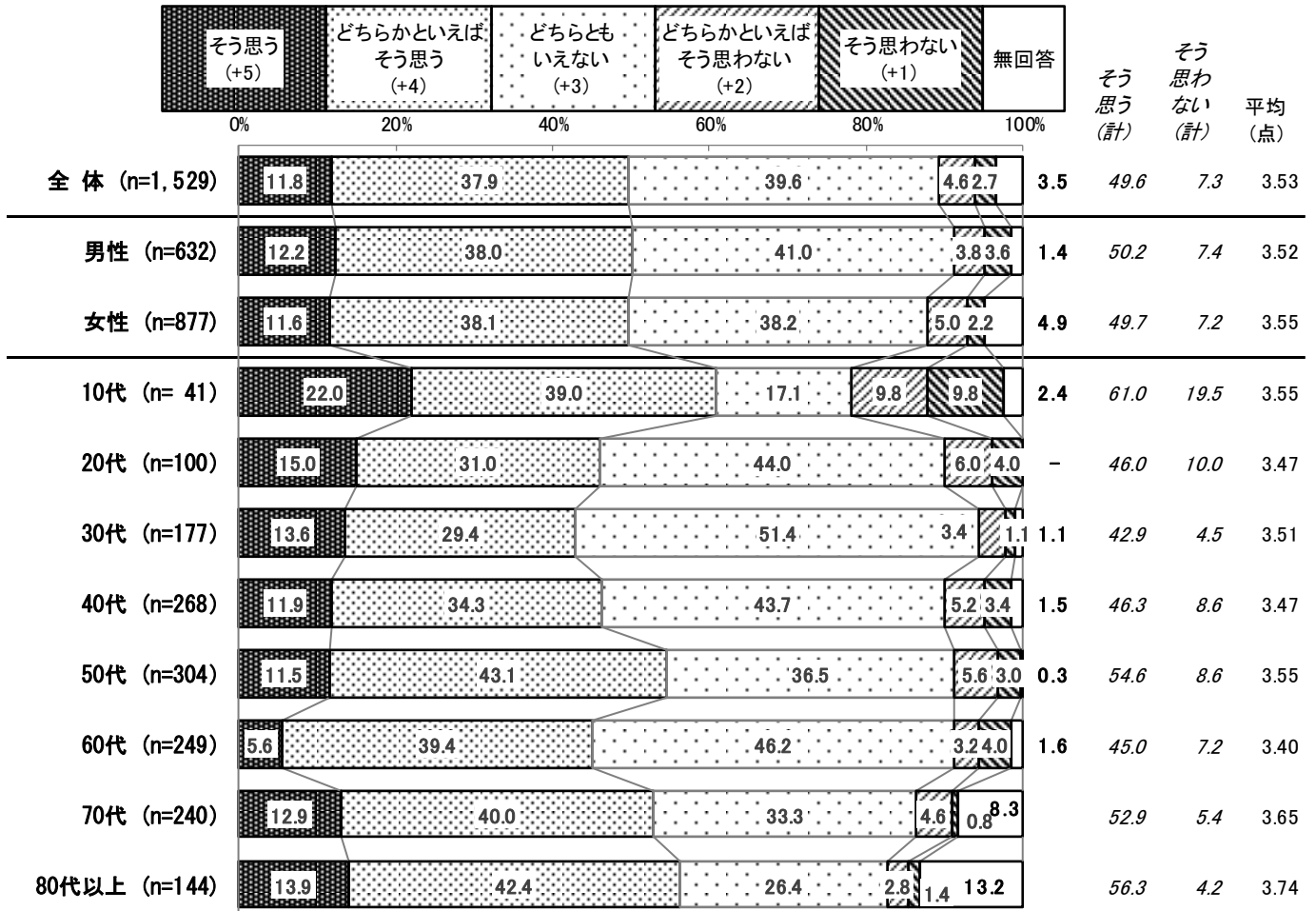


① 性・年齢別

性別では大差がなく、「そう思う(計)」は男性 50.2%、女性 49.7%である。

年齢別でみると、10代は「そう思う(22.0%)」、「そう思う(計)(61.0%)」共に最も高いが、同時に「そう思わない(計)」も 19.5%で最も高い。

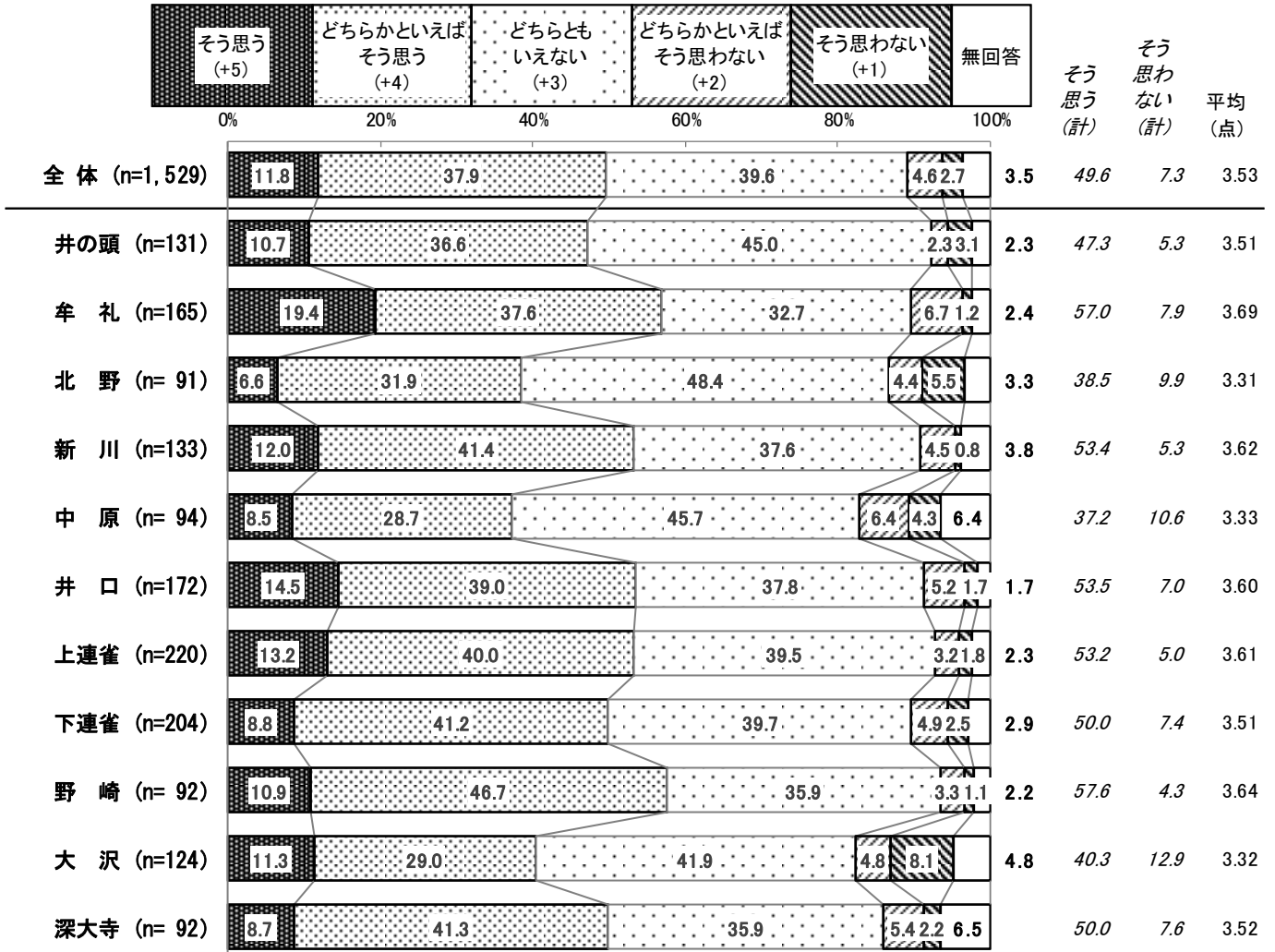
図IV-8-3-2 小学校・中学校の教育の充実(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは野崎の 57.6%、最も低いのは中原の 37.2%である。  
 「そう思わない(計)」が最も高いのは大沢の 12.9%である。

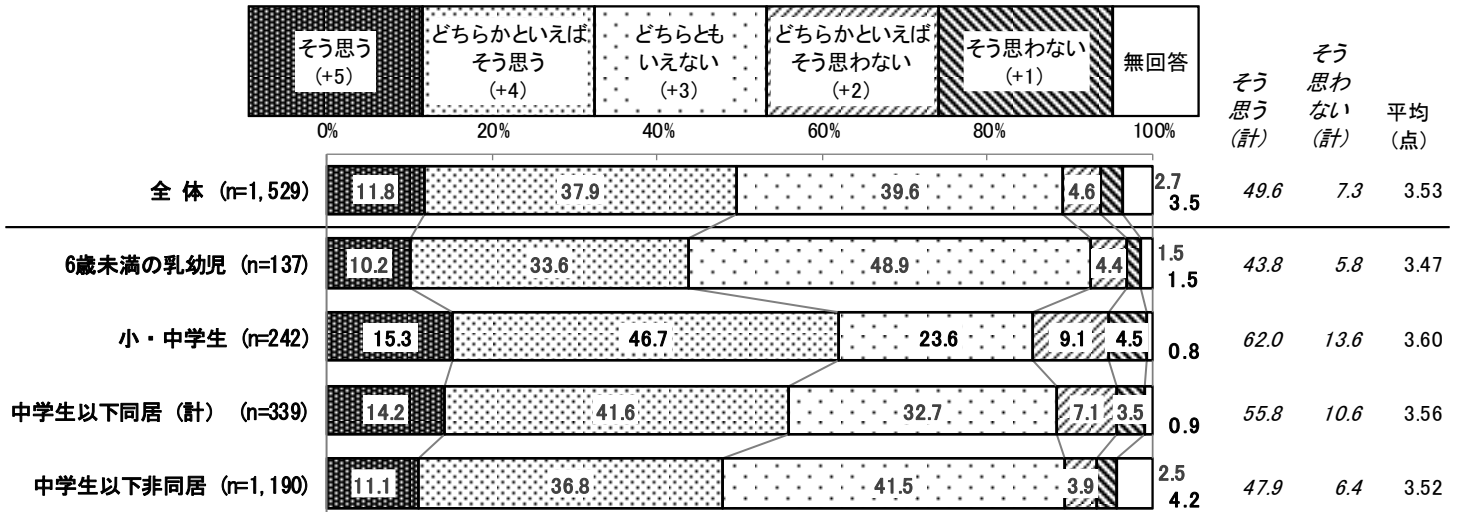
図IV-8-3-3 小学校・中学校の教育の充実(地区別)



### ③ 中学生以下同居別

中学生以下同居別でみると、6歳未満の乳幼児層は「どちらともいえない」が48.9%で他層より高く、「そう思う(計)」は43.8%にとどまる。一方、小・中学生層は「どちらともいえない」が23.6%であり、「そう思う(計)」は62.0%と高い。ただし、「そう思わない(計)」も13.6%で、他層より高い。

図IV-8-3-4 小学校・中学校の教育の充実(中学生以下同居別)

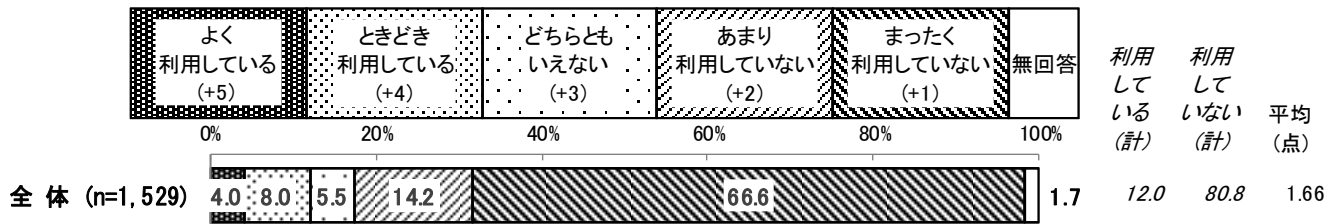


(4) 市立学校施設の利用状況

問 31: あなたは、何らかの活動を通して三鷹市立の学校施設を利用していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「まったく利用していない」が 66.6%を占める。「利用している(計) (「よく利用している」+「ときどき利用している)」は 12.0%にとどまり、「利用していない(計) (「あまり利用していない」+「まったく利用していない)」は 80.8%に達する。

図IV-8-4-1 市立学校施設の利用状況

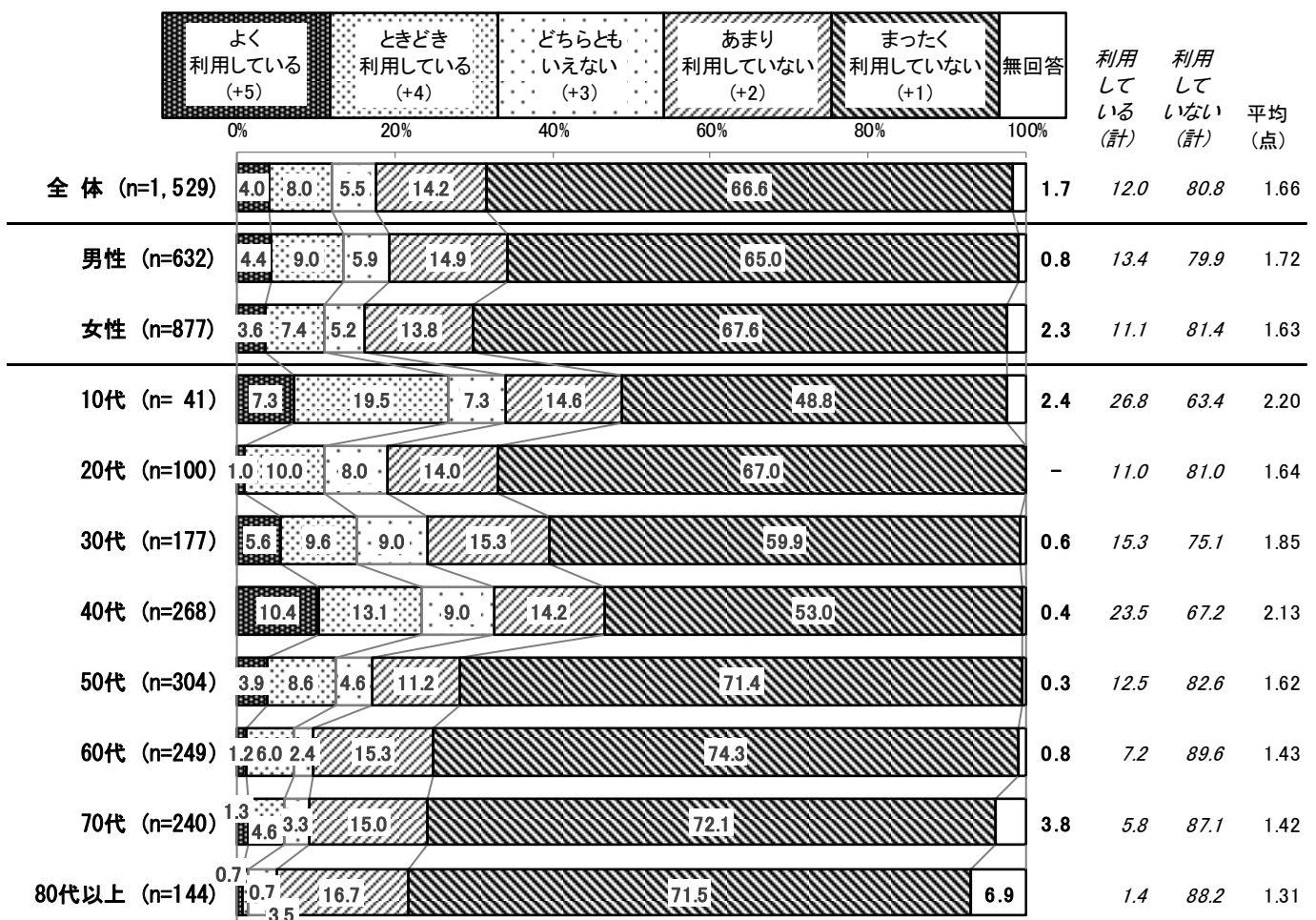


① 性・年齢別

性別でみると、「利用している(計)」は男性 13.4%、女性 11.1%で差がない。

年齢別では、「利用している(計)」が最も高いのは 10 代の 26.8%である。次いで、40 代が 23.5%と続く。60 代以上の計3層は 10%未満である。

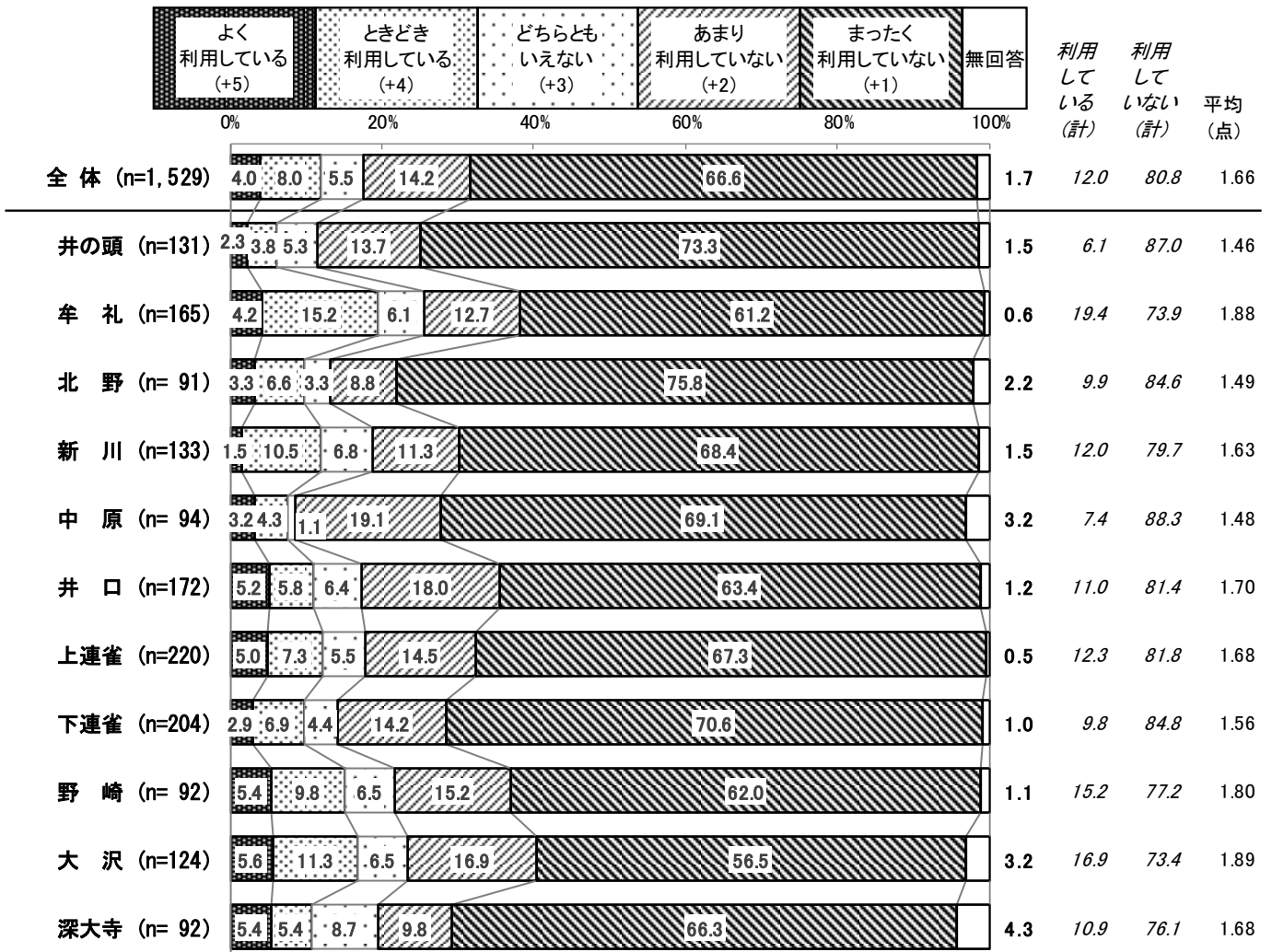
図IV-8-4-2 市立学校施設の利用状況(性・年齢別)



② 地区別

地区別では「利用している(計)」が最も高いのは牟礼の 19.4%で、大沢(16.9%)、野崎(15.2%)が続く。最も低いのは井の頭の 6.1%である。

図IV-8-4-3 市立学校施設の利用状況(地区別)

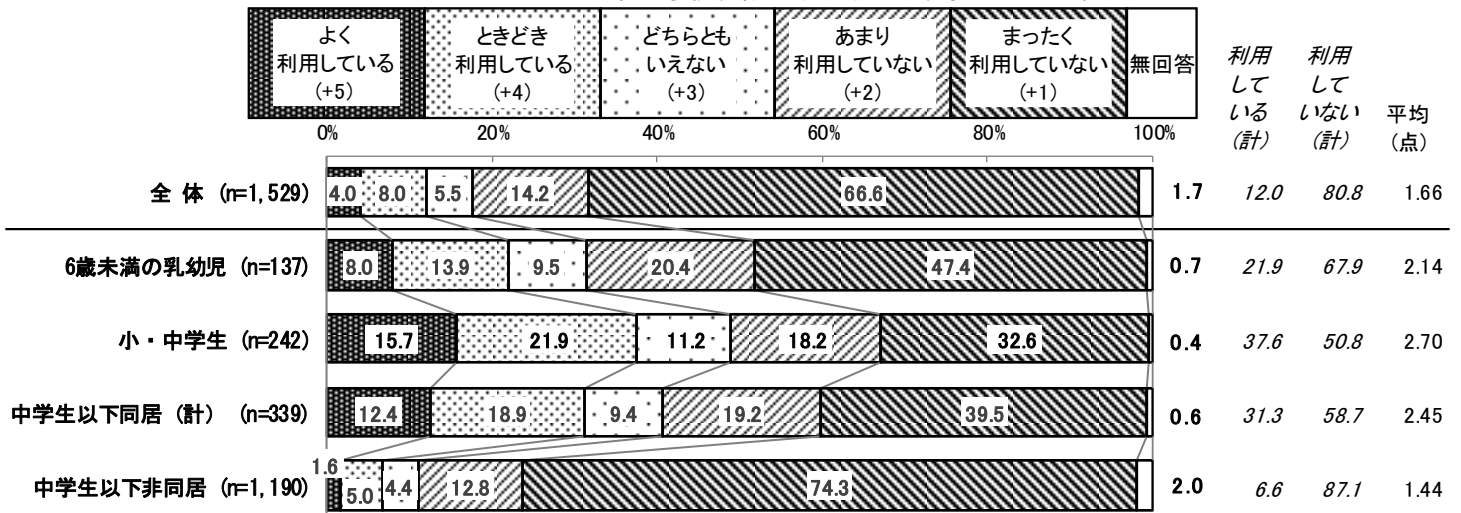




### ③ 中学生以下同居別

中学生以下同居別でみると、「利用している(計)」は6歳未満の乳幼児層 21.9%に対し、小・中学生層は 37.6%で、小・中学生層の方が 15.7 ポイント高い。中学生以下同居(計)層では「利用している(計)」が 31.3%で、対する中学生以下非同居層は 6.6%にとどまる。

図IV-8-4-4 市立学校施設の利用状況(中学生以下同居別)



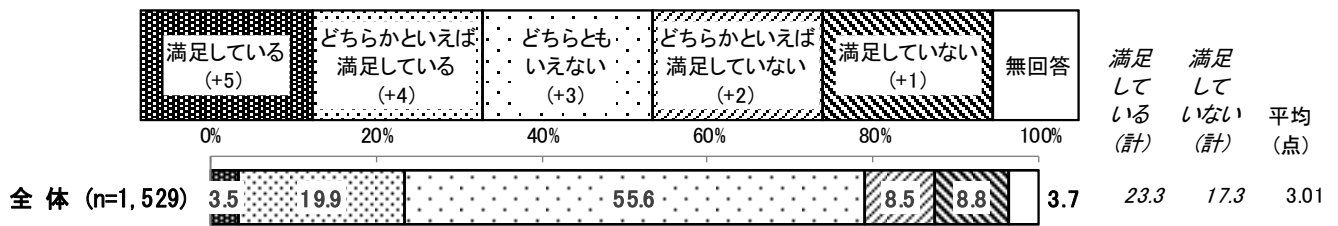
## 9 市(市役所)

### (1) デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度

問 32: あなたは、オンラインサービス等のデジタル技術を活用した行政サービスの提供について満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらともいえない」が 55.6%を占める。「満足している(計) (「満足している」+「どちらかといえば満足している」)」は 23.3%、「満足していない(計) (「どちらかといえば満足していない」+「満足していない」)」は 17.3%である。

図IV-9-1-1 デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度

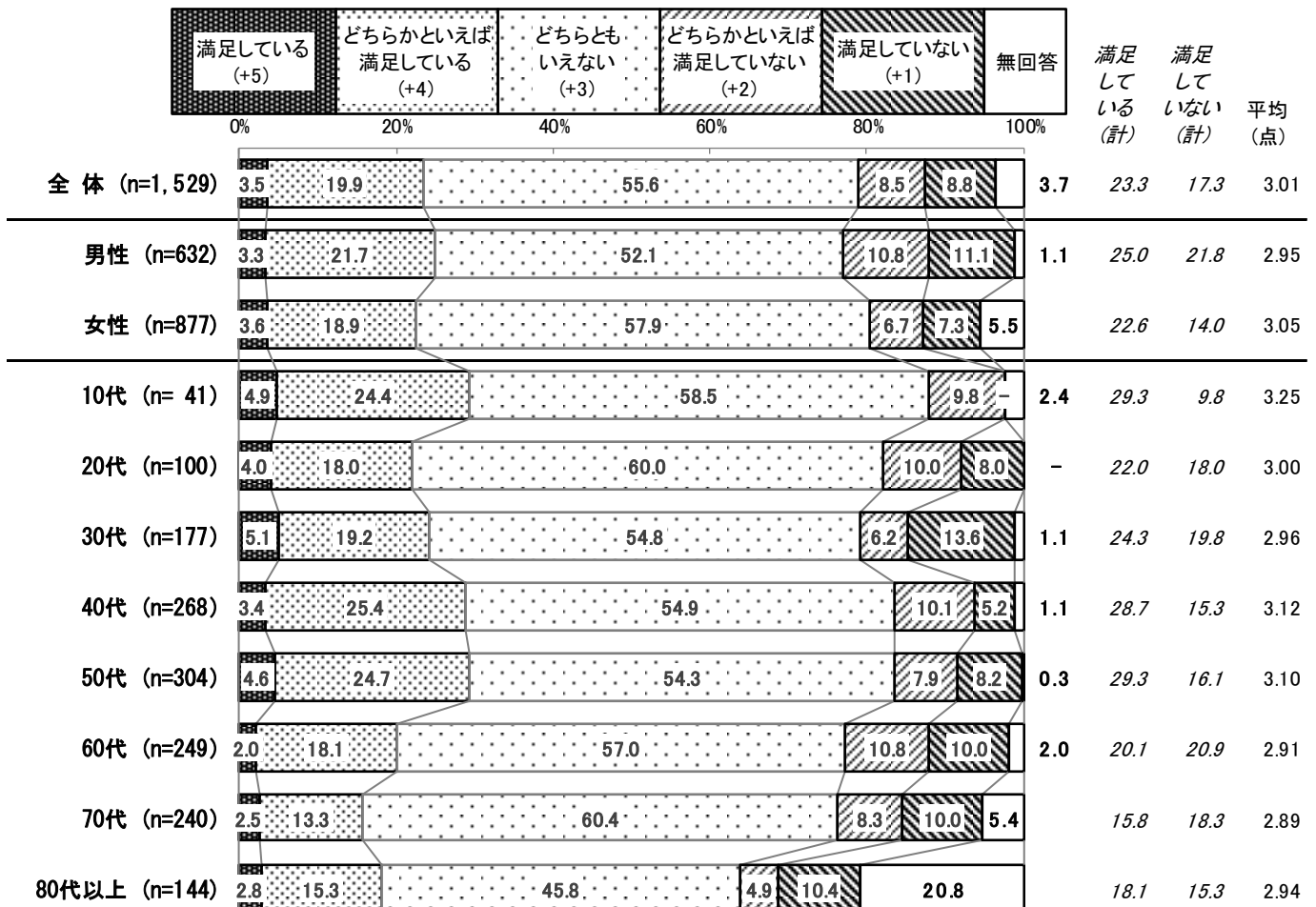


#### ① 性・年齢別

性別でみると、「満足している(計)」は大差ないが、「満足していない(計)」は男性 21.8%に対し、女性は 14.0%で、男性の方が 7.8 ポイント高い。

年齢別でみると、「満足している(計)」が最も高いのは 10 代と 50 代で共に 29.3%である。10 代は「満足していない(計)」も 9.8%で最も低い。「満足している(計)」が最も低いのは 70 代の 15.8%である。

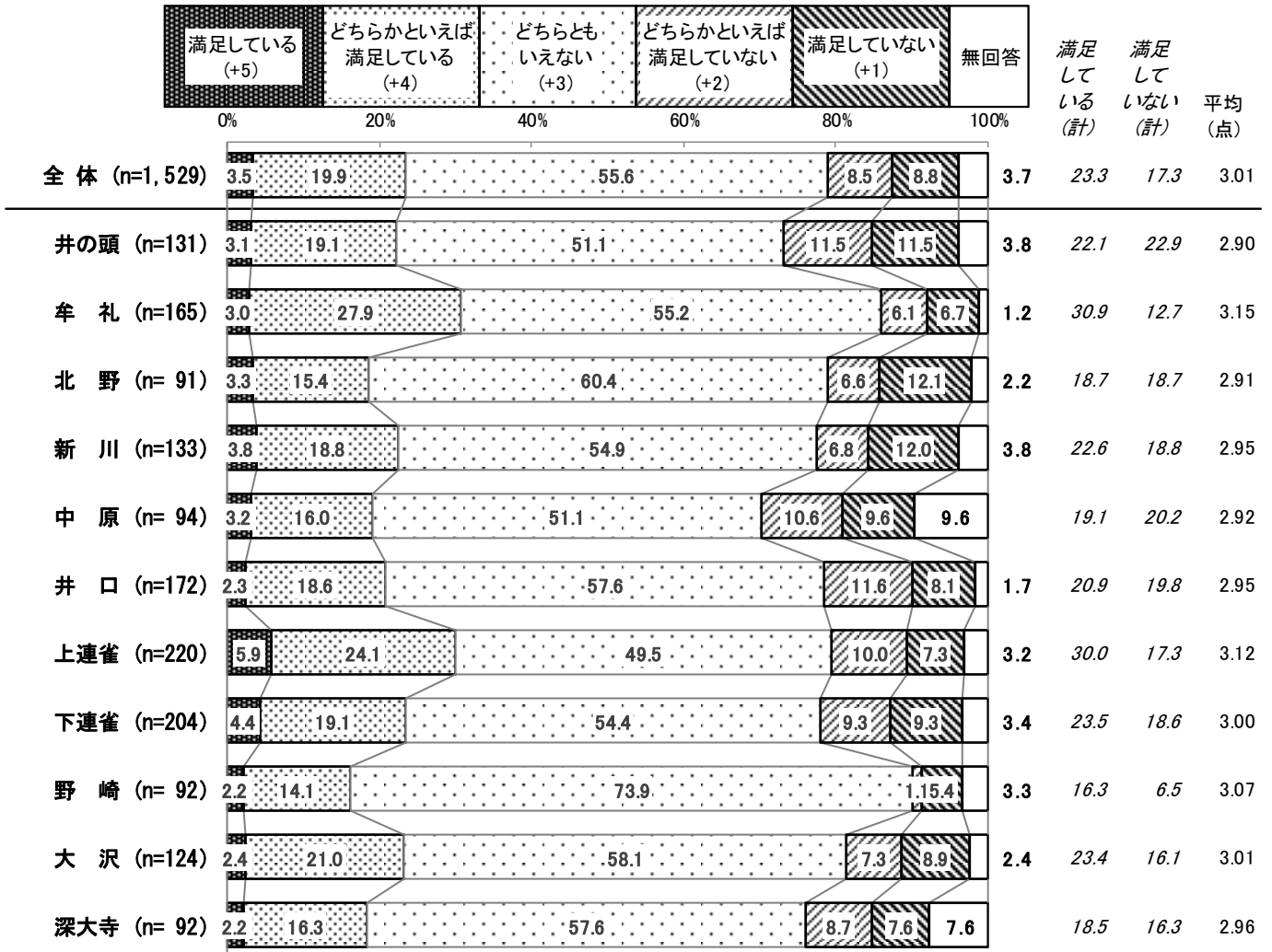
図IV-9-1-2 デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「満足している(計)」が最も高いのは牟礼の 30.9%で、上連雀が 30.0%で続く。最も低いのは野崎の 16.3%である。野崎は「どちらともいえない」が 73.9%を占め、「満足していない(計)」も 6.5%で最も低い。

図IV-9-1-3 デジタル技術を活用した行政サービスへの満足度(地区別)

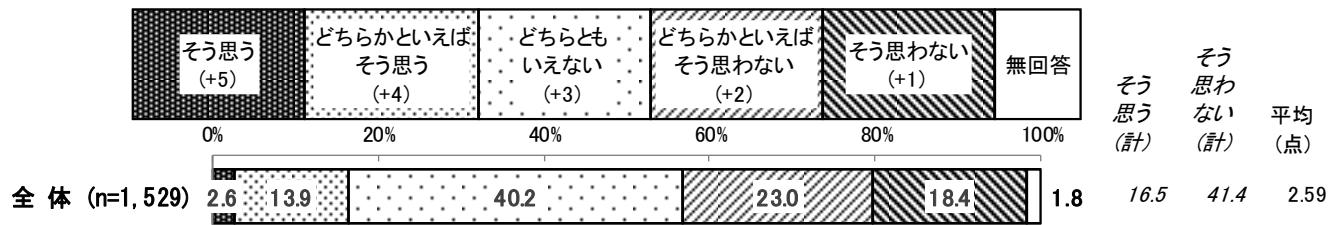


(2) 三鷹の魅力のPRの十分さ

問 33:あなたは、テレビや新聞、Web メディア、SNS などにより、三鷹の魅力の PR が十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う)」は 16.5%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない)」は 41.4%である。

図IV-9-2-1 三鷹の魅力のPRの十分さ

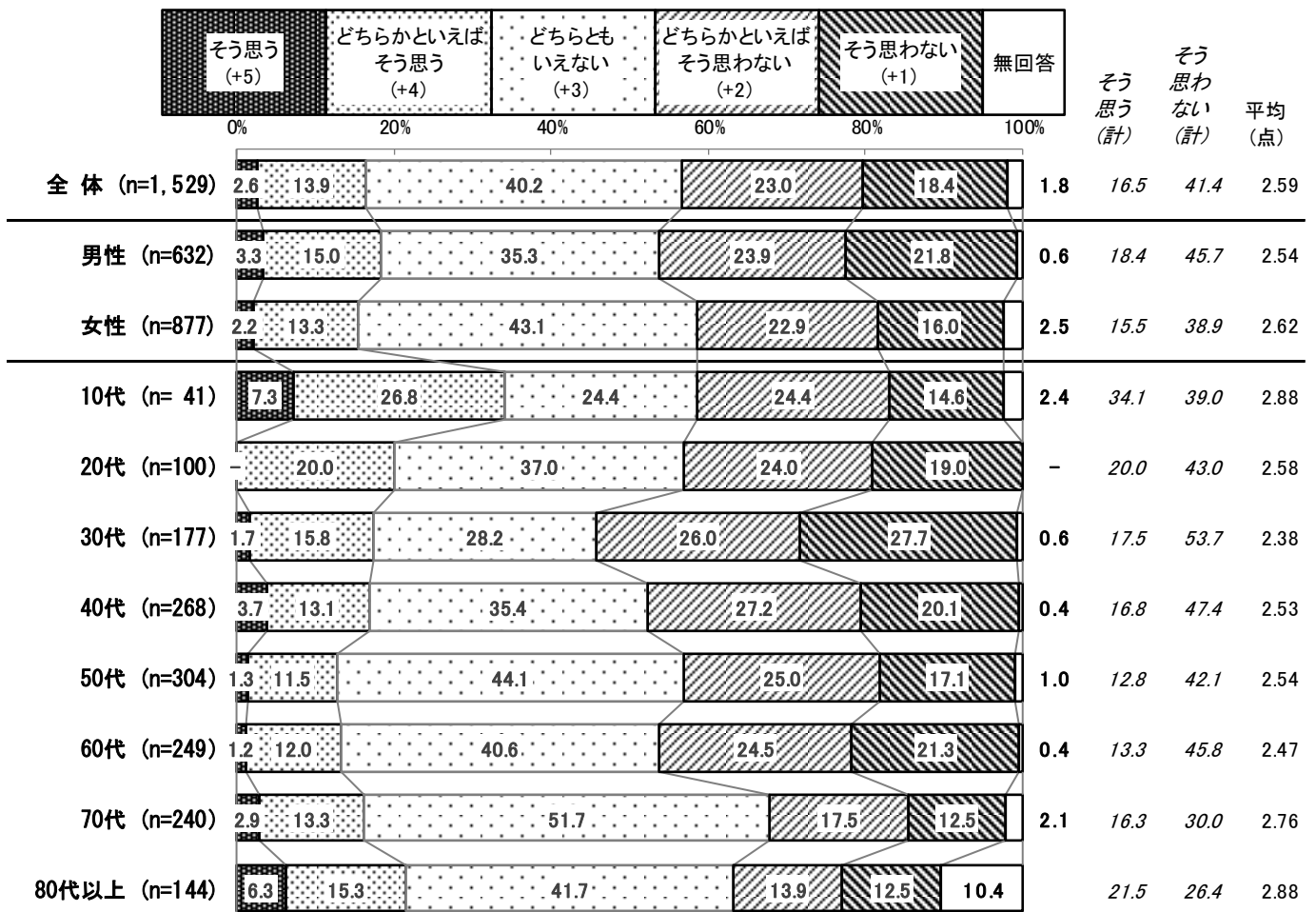


① 性・年齢別

性別では「そう思う(計)」は大差がなく 15%強である。「そう思わない(計)」は男性 45.7%に対し、女性 38.9%であり、男性の方が 6.8 ポイント高い。

年齢別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは 10 代の 34.1%で、最も低いのは 50 代の 12.8%である。「そう思わない(計)」が最も高いのは 30 代の 53.7%である。

図IV-9-2-2 三鷹の魅力のPRの十分さ(性・年齢別)

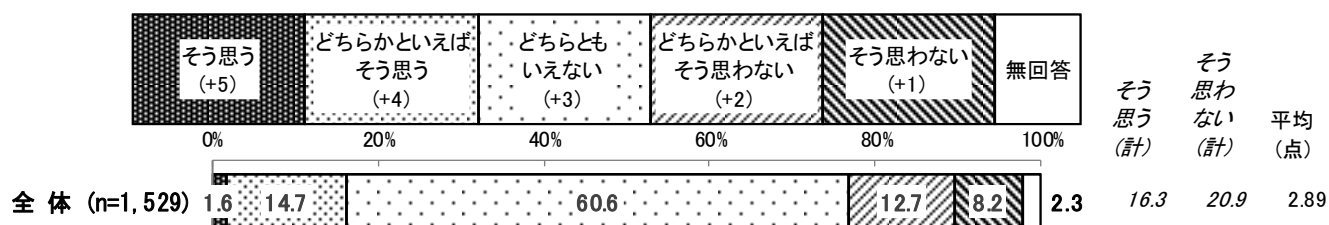


### (3) 市民の意見の市政への反映

問 34: あなたは、市民の意見が市政に反映されていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「どちらともいえない」が60.6%を占める。「そう思う(計) (「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)」は16.3%、「そう思わない(計) (「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)」は20.9%である。

図IV-9-3-1 市民の意見の市政への反映

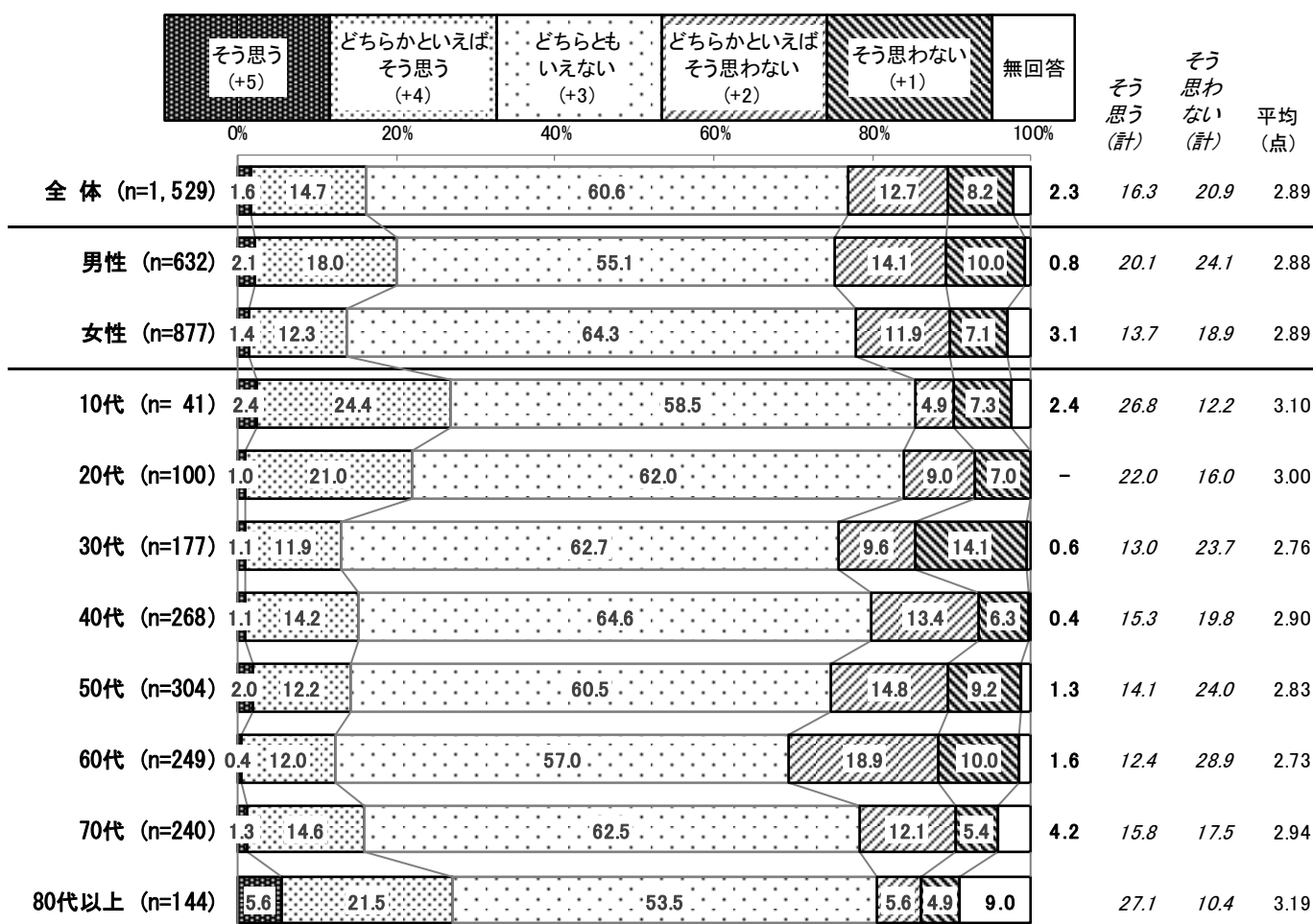


#### ① 性・年齢別

性別では「どちらともいえない」が男性(55.1%)より女性(64.3%)の方が 9.2 ポイント高く、「そう思う(計)」、「そう思わない(計)」共に男性の方が高い。平均では大差がない。

年齢別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは 80 代以上の 27.1%、最も低いのは 60 代の 12.4% である。60 代は「そう思わない(計)」も最も高く 28.9% である。

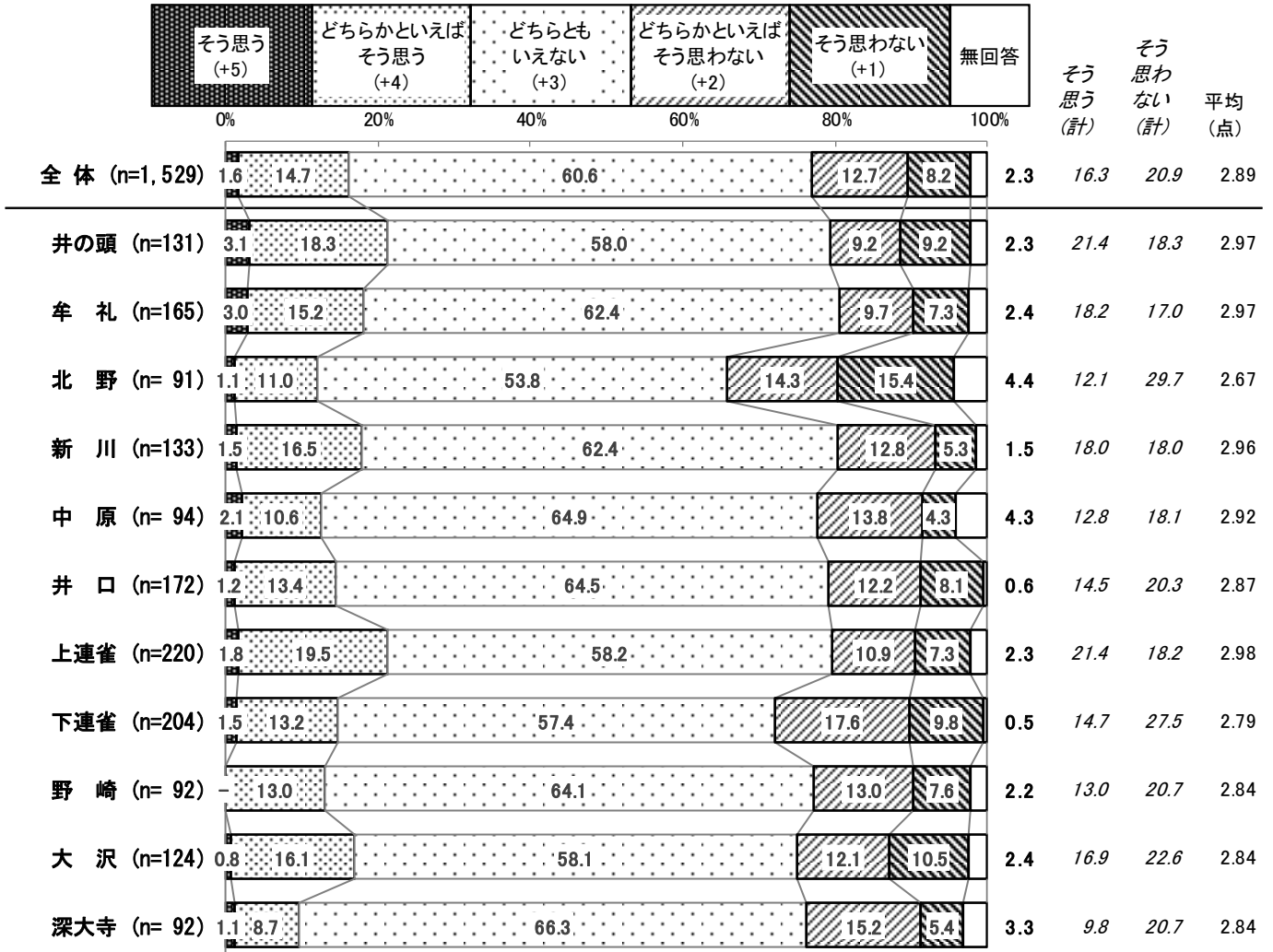
図IV-9-3-2 市民の意見の市政への反映(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「そう思う(計)」が最も高いのは井の頭と上連雀で、共に 21.4%である。最も低いのは深大寺の 9.8%である。「そう思わない(計)」が最も高いのは北野の 29.7%である。

図IV-9-3-3 市民の意見の市政への反映(地区別)

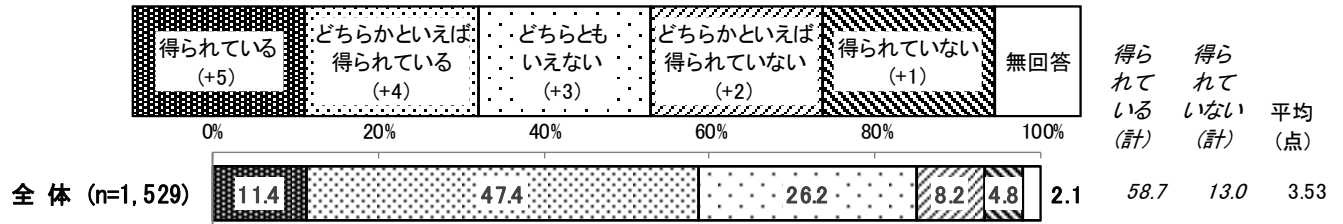


(4) 必要な市の情報取得

問 35: あなたは、あなたが必要なときに必要な市の情報が得られていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「得られている(計)」「得られている」「どちらかといえば得られている」は58.7%、「得られていない(計)」「どちらかといえば得られていない」「得られていない」は13.0%である。

図IV-9-4-1 必要な市の情報取得

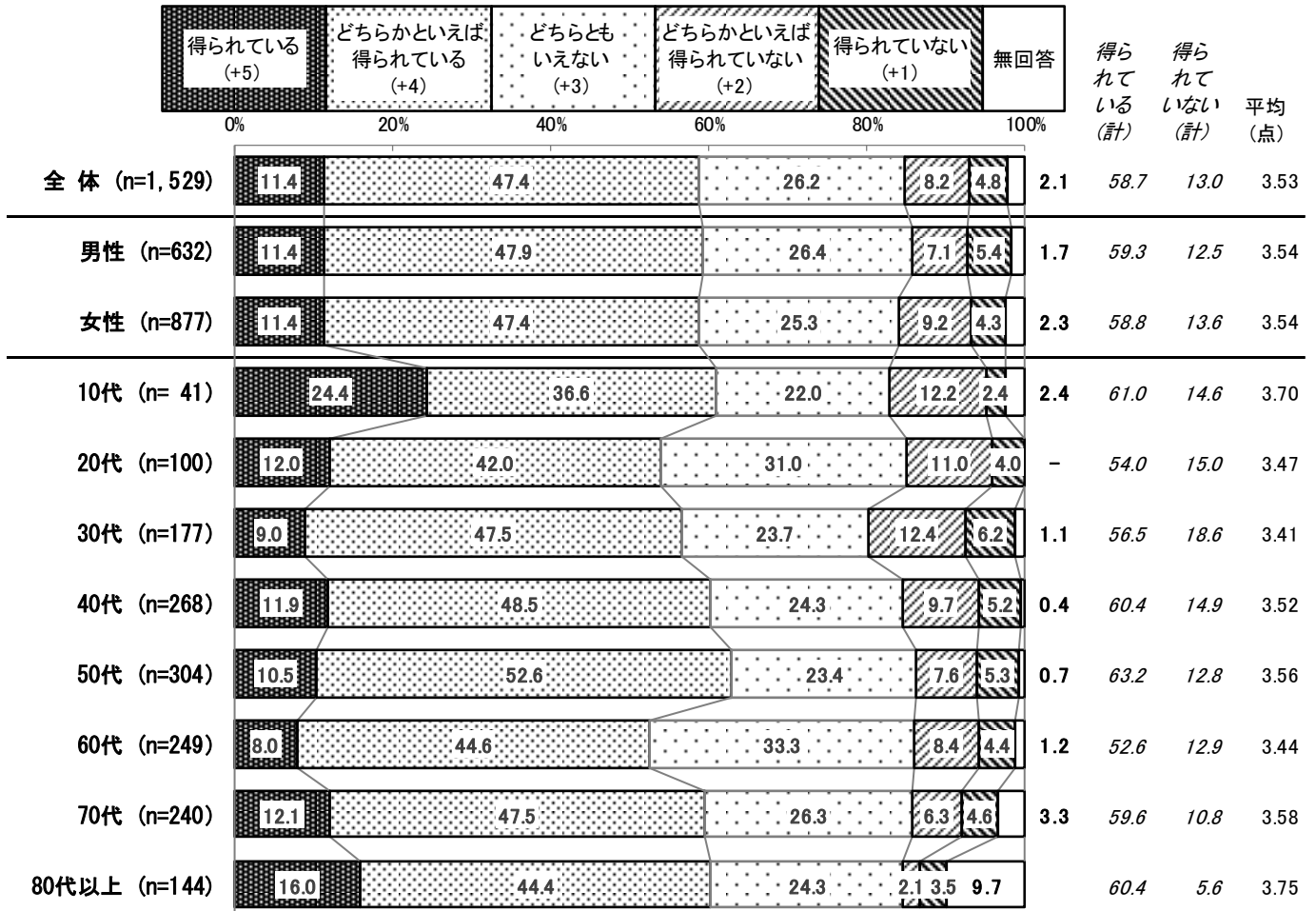


① 性・年齢別

性別では大差がなく、「得られている(計)」は男性 59.3%、女性 58.8%である。

年齢別でみると、「得られている(計)」が最も高いのは50代の63.2%、最も低いのは60代の52.6%である。80代以上では「得られていない(計)」が5.6%にとどまり、最も低い。

図IV-9-4-2 必要な市の情報取得(性・年齢別)



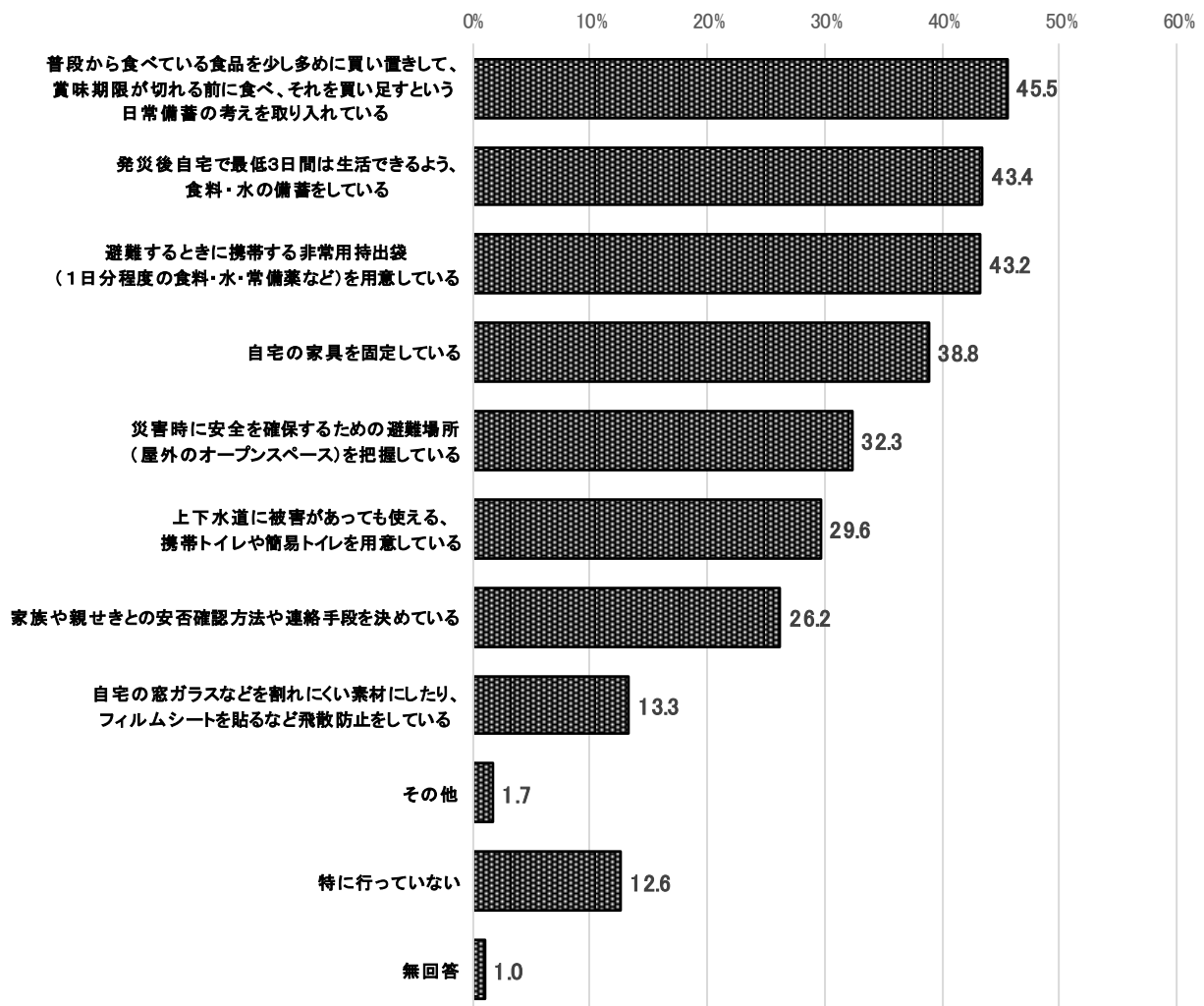
## 10 日頃の防災意識や行動

### (1) 日頃の地震対策

問 36: あなたは日頃から地震など災害に対してどのような対策を行っていますか。あてはまるものをすべて 選び、番号に○印をつけてください。

上位3項目は「普段から食べている食品を少し多めに買い置きして、賞味期限が切れる前に食べ、それを買い足すという日常備蓄の考えを取り入れている(45.5%)」、「発災後自宅で最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている(43.4%)」、「避難するときに携帯する非常用持出袋(1日分程度の食料・水・常備薬など)を用意している(43.2%)」で 40%以上を占める。「特に行っていない」は 12.6%である。

図IV-10-1-1 日頃の地震対策(n=1,529)



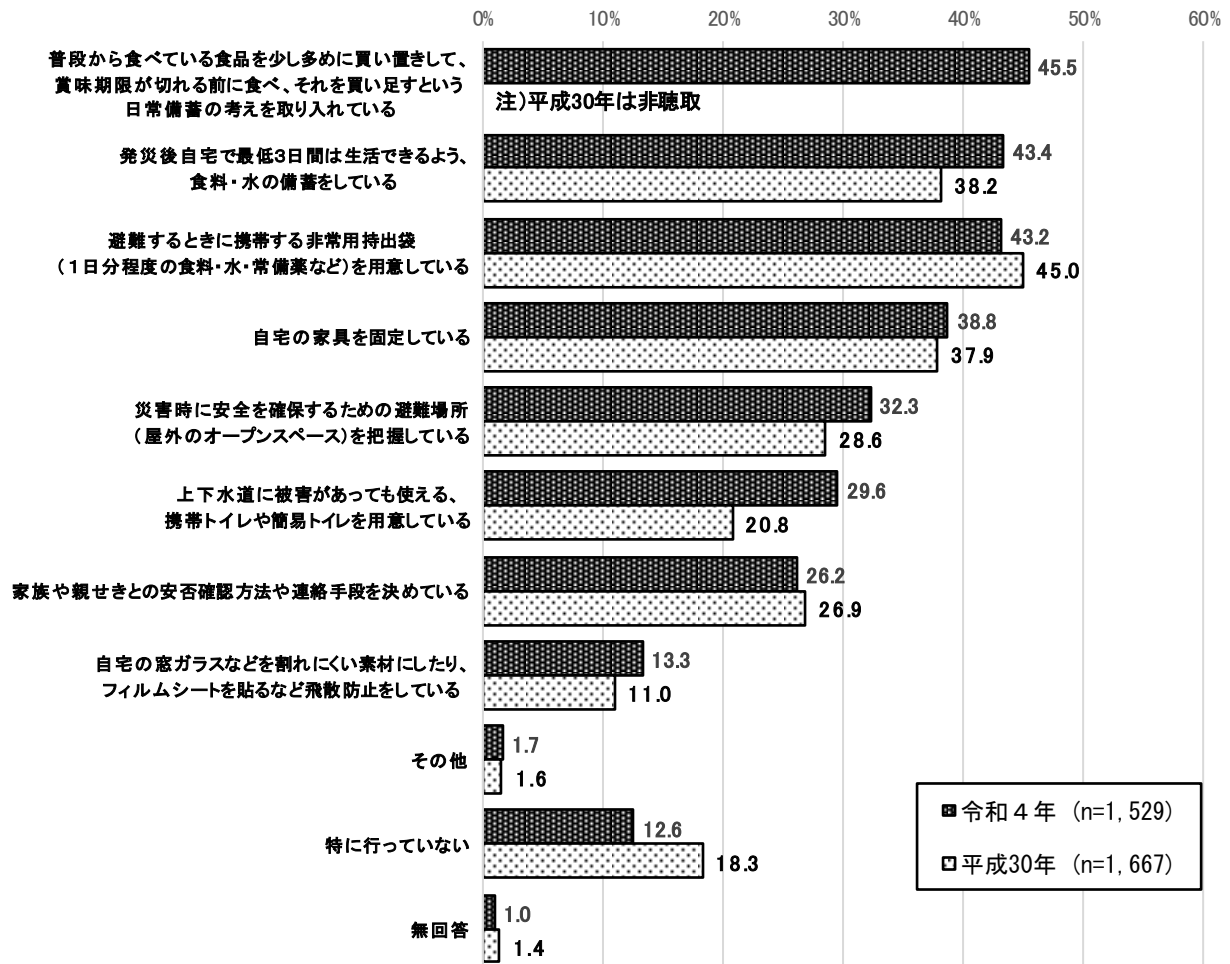
#### 【その他の回答】

「アウトドア用品を使えるようにしている」、「防災用アプリを入れている」、「防災グッズの用意」、「食料・水の備蓄」、「ハイブリッド車にしている」、「ソーラーパネルの設置」、「近隣住民とのコミュニケーション」、「居間、寝室に家具を置かない」など



平成 30 年の調査から新規項目が増えているため直接的な比較は難しいが、「上下水道に被害があっても使える、携帯トイレや簡易トイレを用意している」、「発災後自宅で最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている」が5ポイント以上伸長している。「特に行っていない」は 5.7 ポイント減少している。

図IV-10-1-2 日頃の地震対策(過去調査比較)

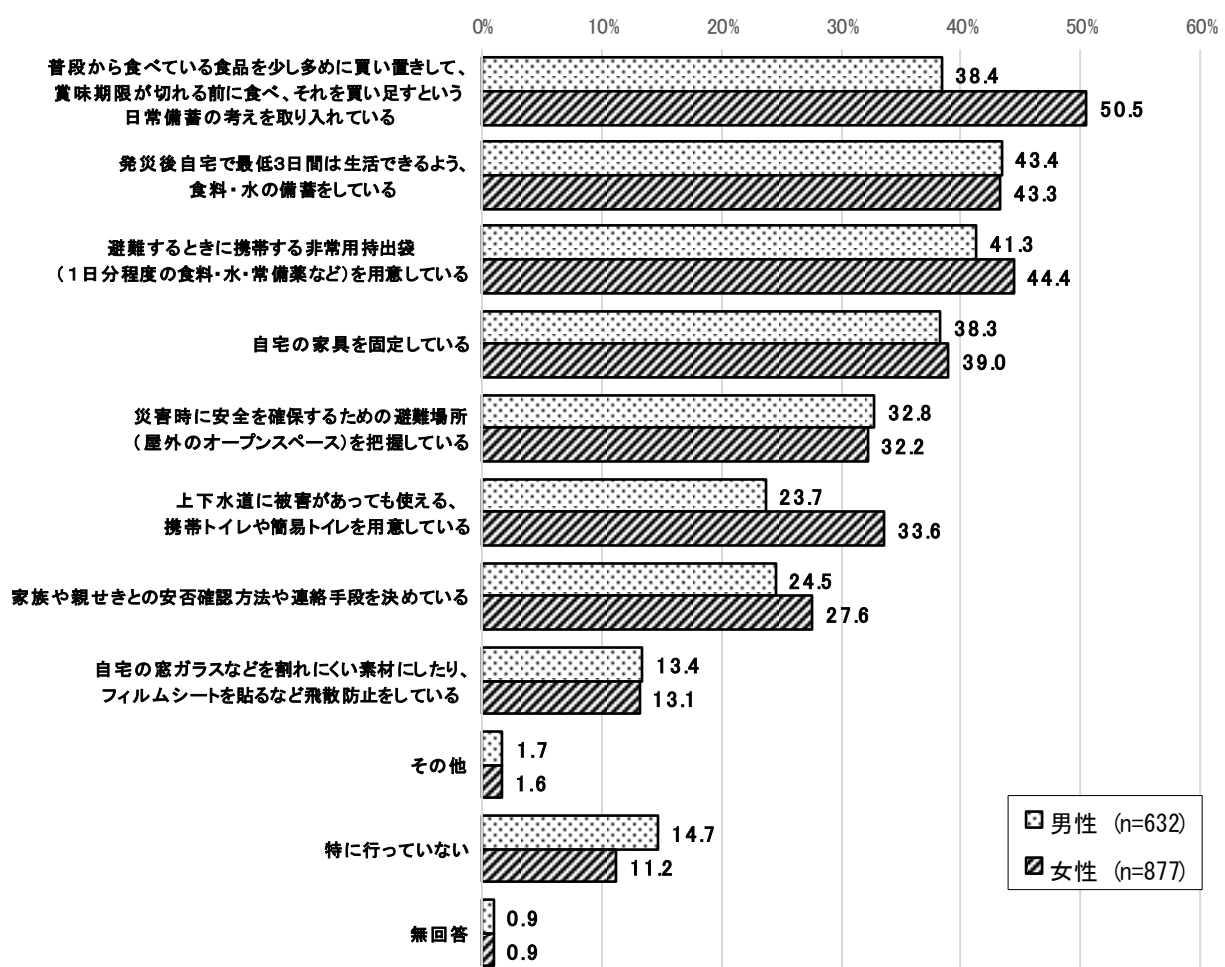


### ① 性・年齢別

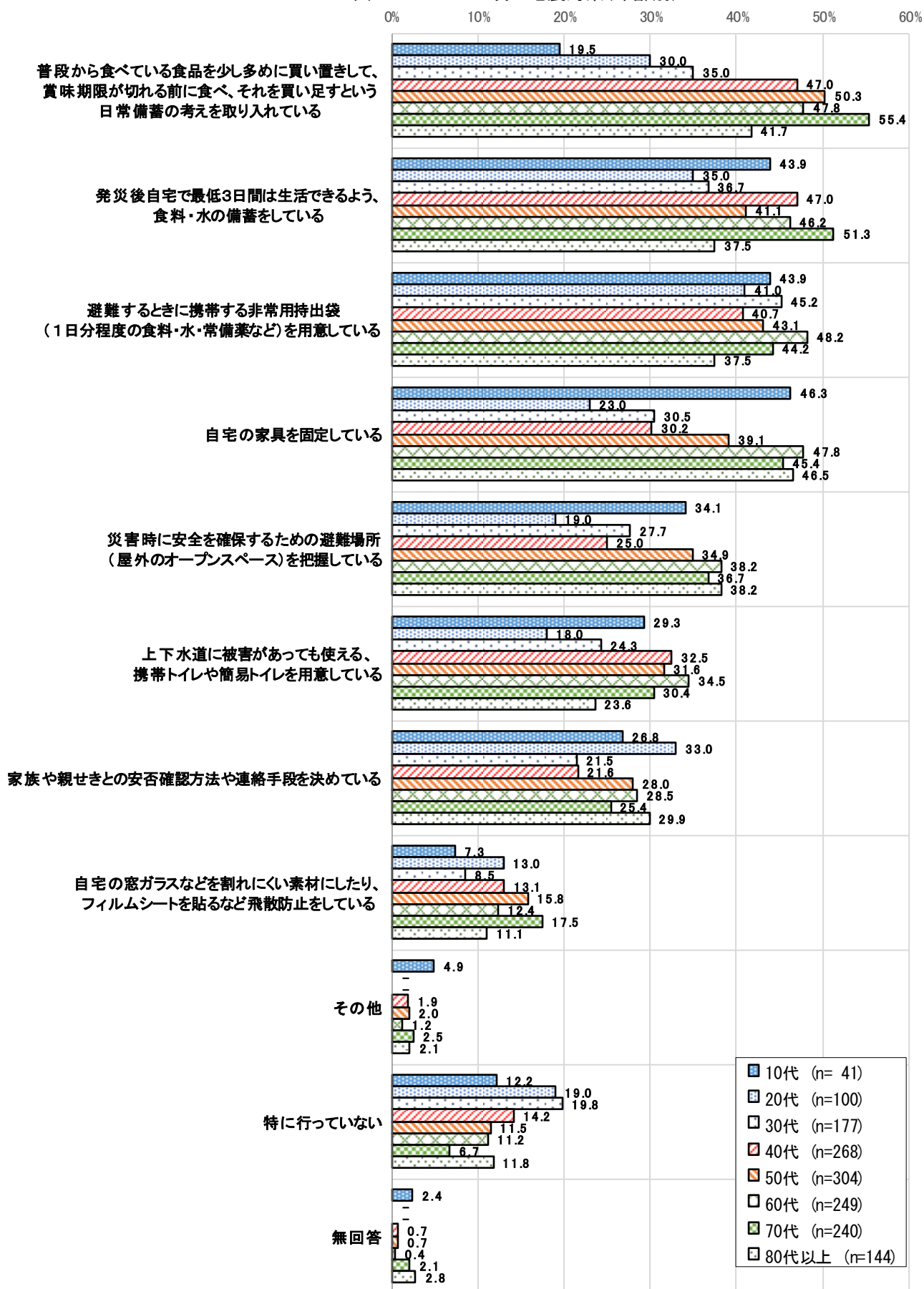
性別でみると、「普段から食べている食品を少し多めに買い置きして、賞味期限が切れる前に食べ、それを買いたすという日常備蓄の考えを取り入れている」、「上下水道に被害があっても使える、携帯トイレや簡易トイレを用意している」は男性より女性の方が10ポイント前後高い。

年齢別でみると、「普段から食べている食品を少し多めに買い置きして、賞味期限が切れる前に食べ、それを買いたすという日常備蓄の考えを取り入れている」は70代55.4%に対し、10代は19.5%にとどまり、35.9ポイント乖離している。また、「自宅の家具を固定している」も60代(47.8%)と20代(23.0%)で、24.8ポイント乖離。「特に行っていない」は、20代(19.0%)、30代(19.8%)が他層比較で高い。

図IV-10-1-3 日頃の地震対策(性別)



図IV-10-1-4 日頃の地震対策(年齢別)



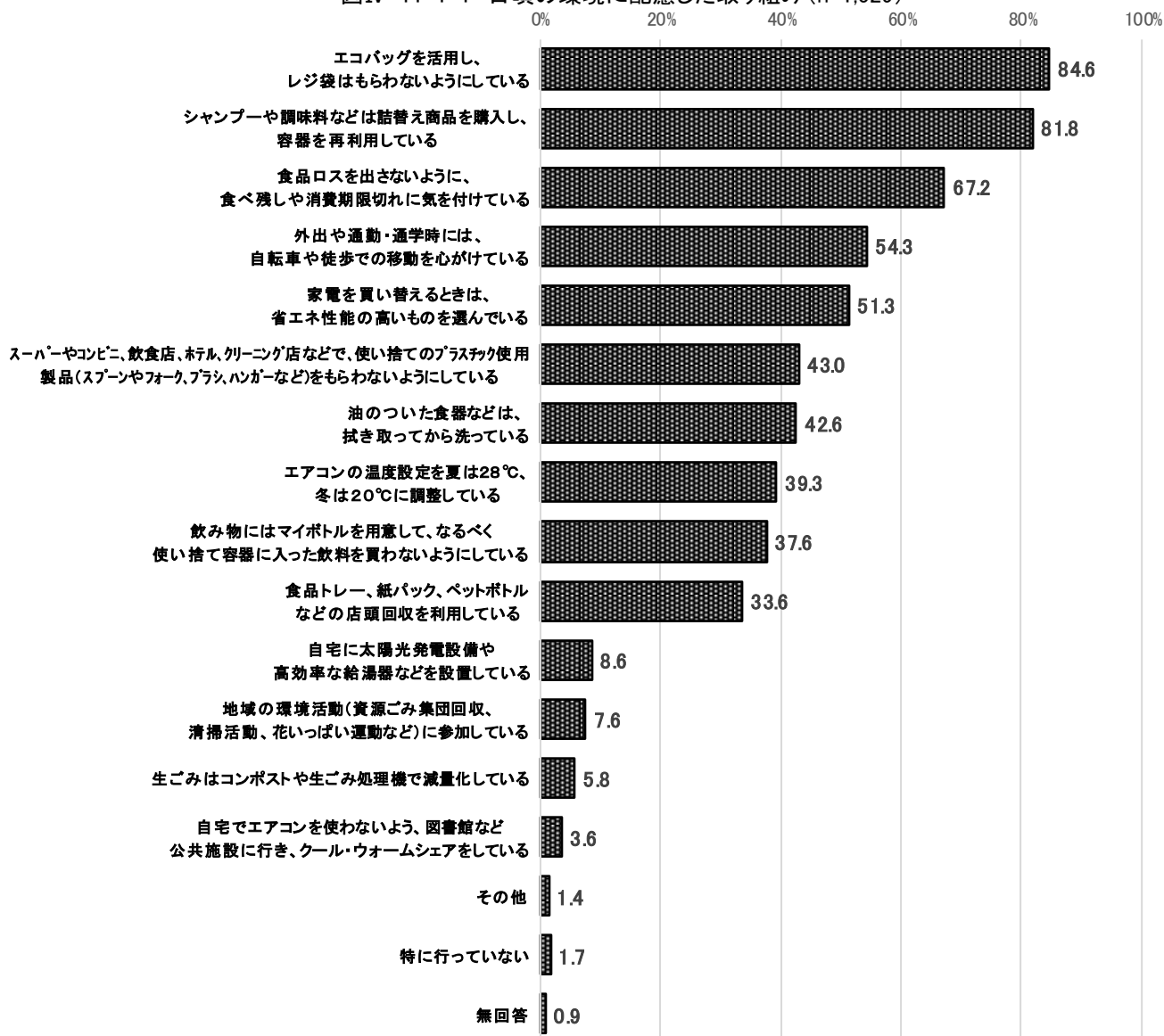
## 11 環境に対する意識や行動

### (1) 日頃の環境に配慮した取り組み

問 37: あなたは日頃からどのような環境に配慮した取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている(84.6%)」、「シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している(81.8%)」が80%以上を占める。「特に行っていない」は1.7%にとどまる。

図IV-11-1-1 日頃の環境に配慮した取り組み(n=1,529)

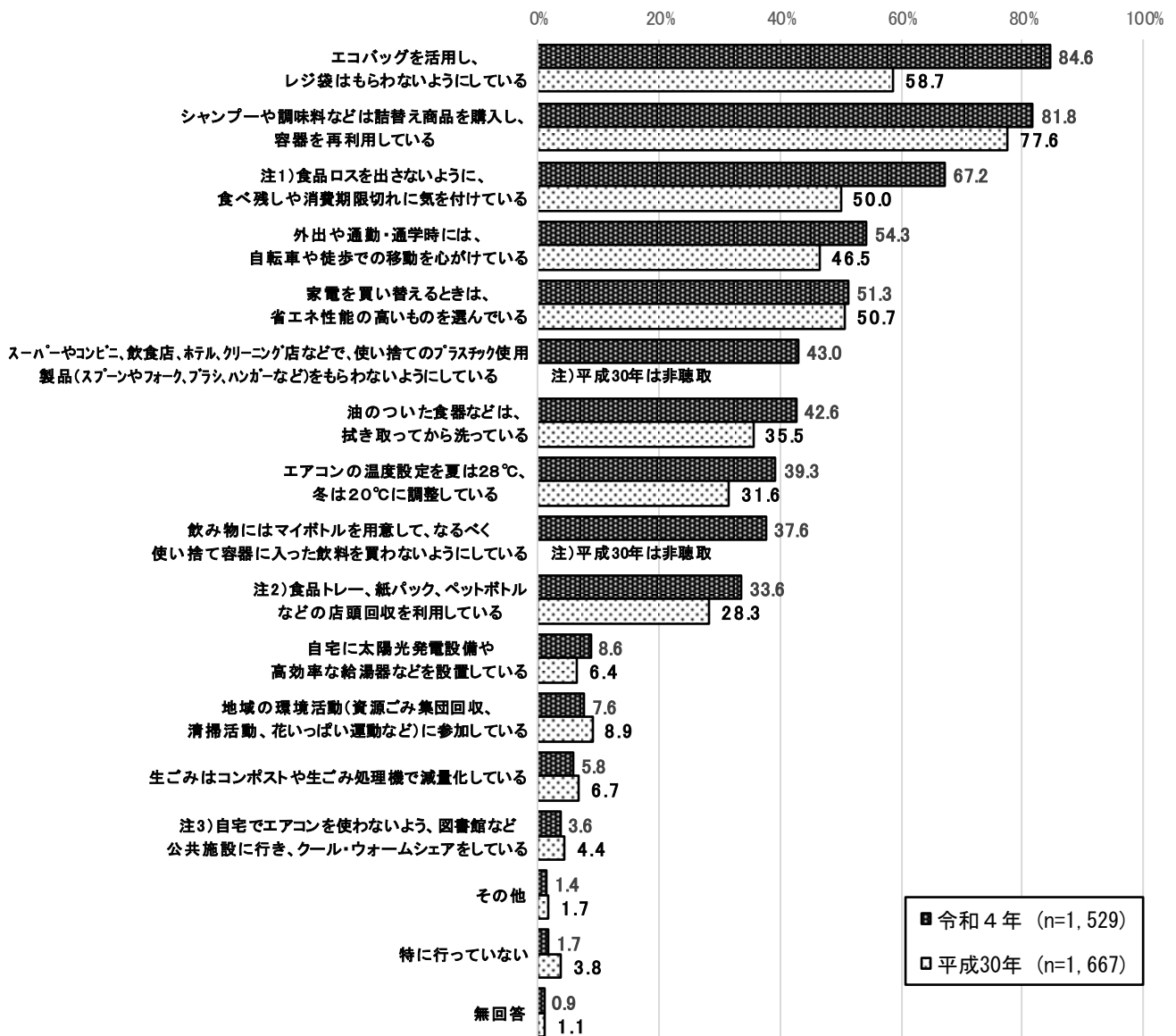


#### 【その他の回答】

「資源ごみの分類」、「生ゴミ等は土に埋める」、「惣菜はできるだけ買わない」、「環境にやさしい洗剤を使う」、「電球をLEDに入れ替える」、「庭に木を植える」など

平成 30 年の調査結果との比較は、項目の追加や文言変更があり単純比較はできない。しかし、「エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている」は 25.9 ポイント伸長した。また、「特に行っていない」も平成 30 年の 3.8%から更なる改善がみられる。

図IV-11-1-2 日頃の環境に配慮した取り組み(過去調査比較)



【表中の注1～3は、平成30年は以下の文言で聴取していた。】

注1) 食べ残しや消費期限切れなどによるごみ(フードロス)を出さないようにしている

注2) 食品トレーや紙パックなどの店頭回収を利用している

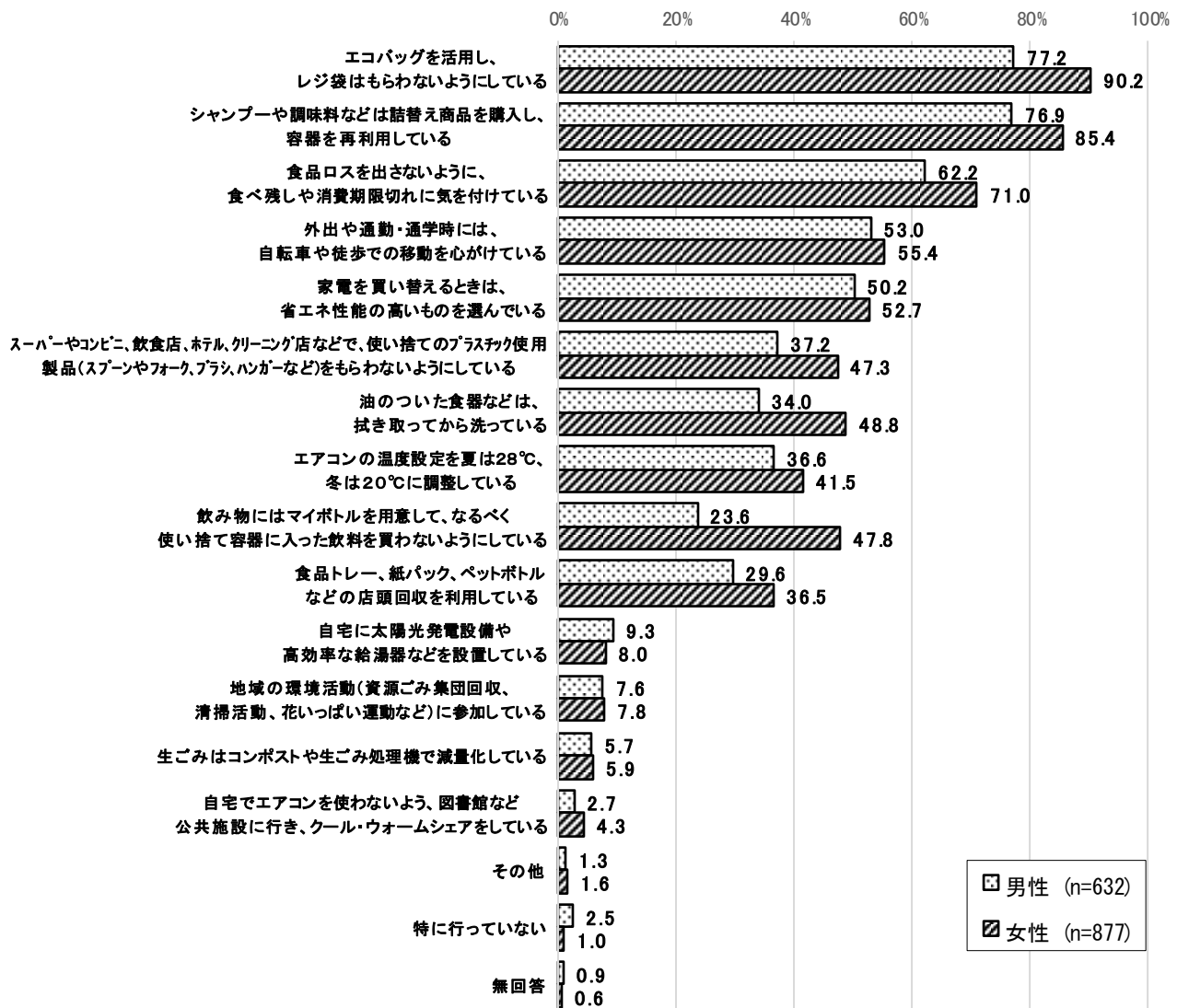
注3) 自宅でエアコンを使わないよう、図書館などに行き、クール・ウォームシェアをしている

### ① 性・年齢別

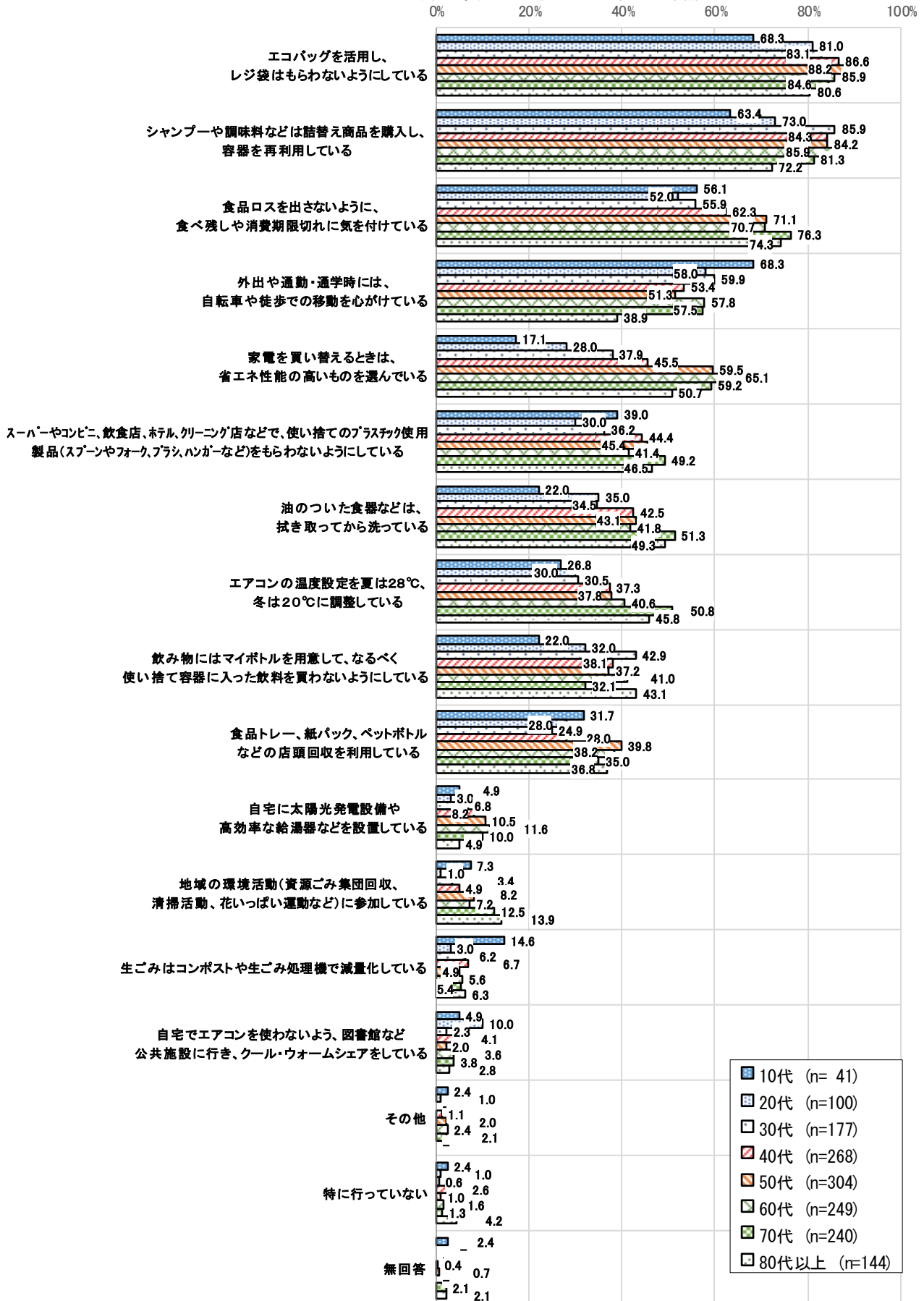
性別でみると、全体で 30%以上の 10 項目については、すべて男性より女性の方が高い。特に「飲み物にはマイボトルを用意して、なるべく使い捨て容器に入った飲料を買わないようにしている」は、男性(23.6%)より女性(47.8%)の方が 24.2 ポイント高い。

年齢別でみると、概ねの項目で 10 代・20 代が低い傾向がある。特に、「家電を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選んでいる」は、60 代の 65.1%に対し 10 代は 17.1%であり、10 代の方が 48.0 ポイント低い。

図IV-11-1-3 日頃の環境に配慮した取り組み(性別)



図IV-11-1-4 日頃の環境に配慮した取り組み(年齢別)



## 12 ライフ・ワーク・バランス

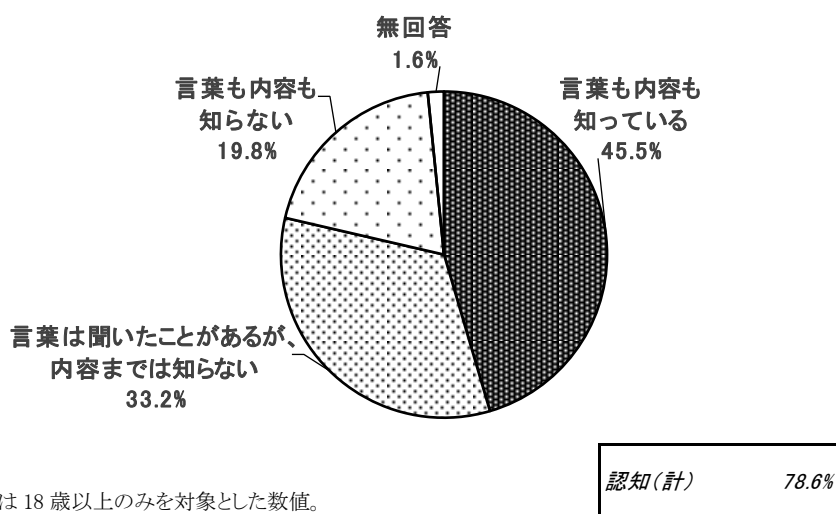
### (1) 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知

問 38:あなたは、「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

18歳以上を対象に再集計した。「言葉も内容も知っている」が45.5%、「認知(計) (「言葉も内容も知っている」+「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」)」は78.6%である。

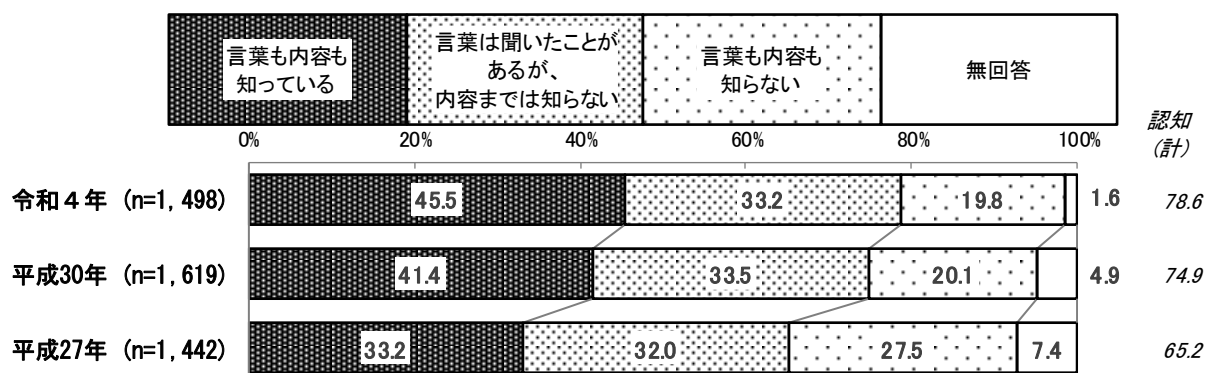
過去の調査結果と比較すると、「言葉も内容も知っている」が伸長し、「言葉も内容も知らない」が低下傾向である。「認知(計)」は、平成27年(65.2%)から13.4ポイント伸長している。

図IV-12-1-1 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(n=1,498)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

図IV-12-1-2 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(過去調査比較)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

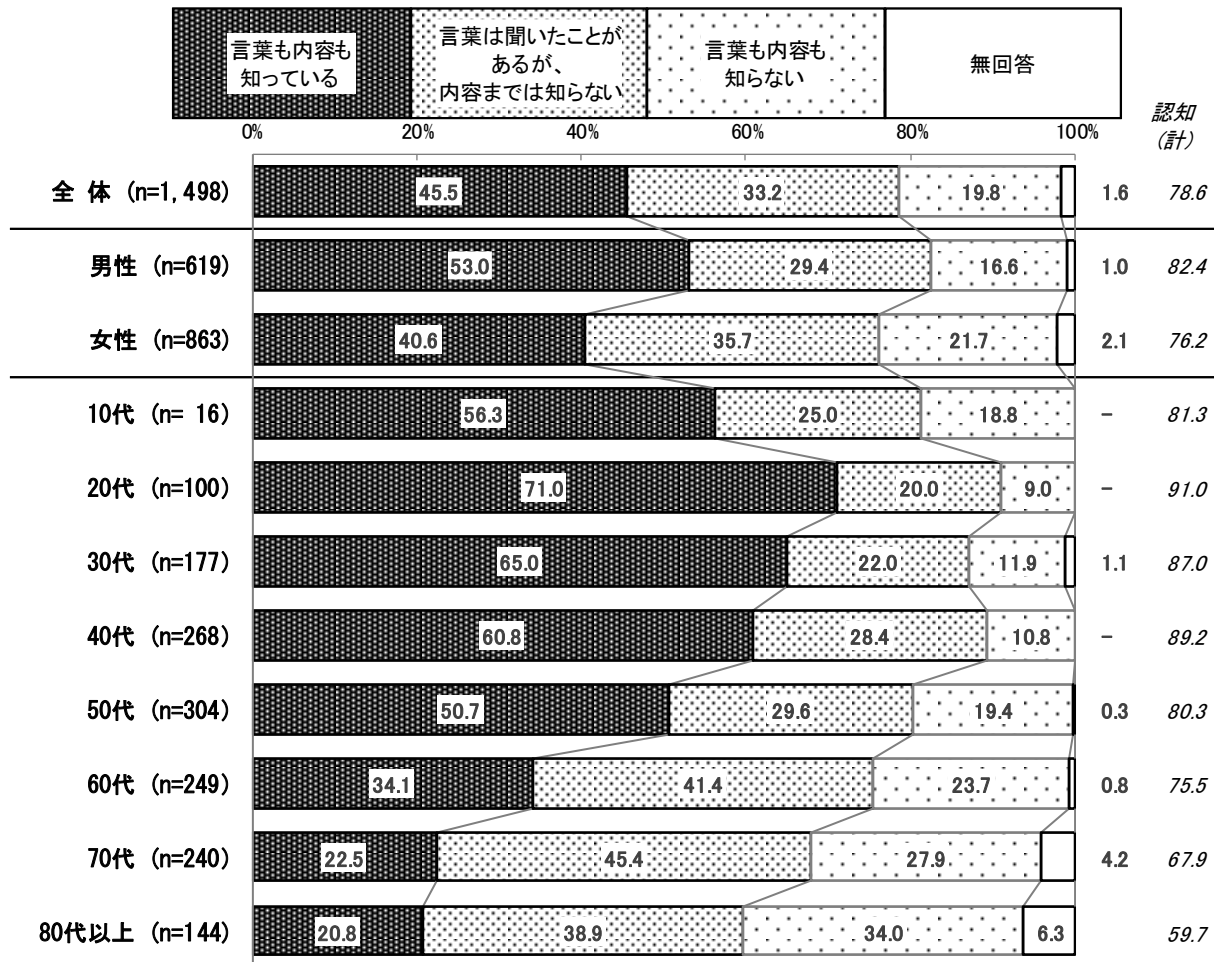


① 性・年齢別

性別でみると、「言葉も内容も知っている」は男性が53.0%であるのに対し、女性は40.6%であり、男性の方が12.4ポイント高い。「認知(計)」は男性82.4%、女性76.2%である。

年齢別でみると、回答数の少ない10代を除くと、「言葉も内容も知っている」が20代(71.0%)を筆頭にして年代が上がるに連れ低下する。「認知(計)」は20代から50代の計4層では80%以上。最も低いのは80代以上の59.7%である。

図IV-12-1-3 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知(性・年齢別)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

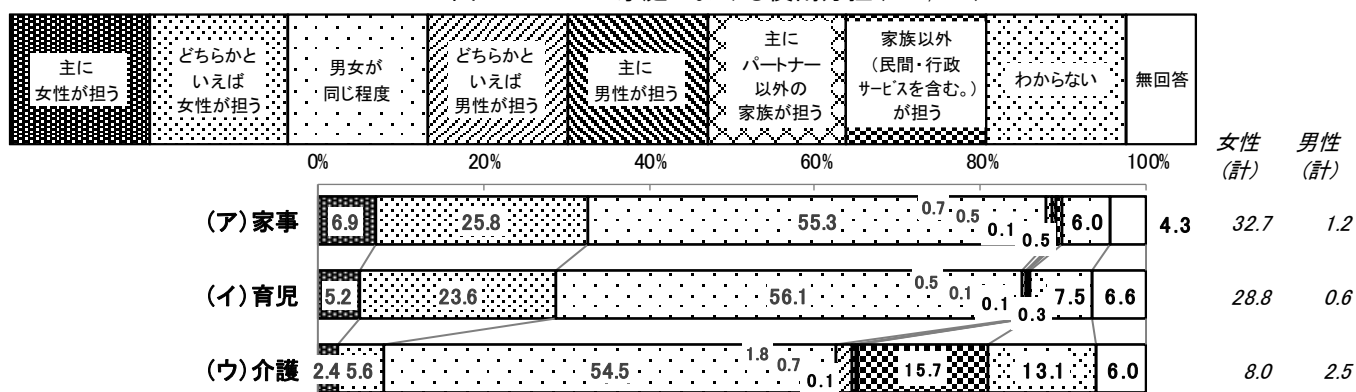
### 13 男女平等に関する考え

#### (1) 家庭における役割分担

問 39: あなたは、家庭における役割のうち、家事、育児、介護について、パートナーとの間でどのように分担することが望ましいと思いますか。それぞれの項目ではまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

3項目共に「男女が同じ程度」が過半数であるが、残り半数弱の構成比は、【(ア)家事】、【(イ)育児】については「女性(計) (「主に女性が担う」+「どちらかといえば女性が担う」)」の方が高い。この2項目については「男性(計) (「どちらかといえば男性が担う」+「主に男性が担う」)」は1%前後にとどまる。【(ウ)介護】についても若干「女性(計)」の方が高いが、「女性(計)」も8.0%である。代わりに「家族以外(民間・行政サービスを含む。)が担う」が15.7%に高まっている。また「わからない」も13.1%まで増加している。

図IV-13-1-1 家庭における役割分担 (n=1,529)



① 性・年齢別

性別・年齢別でも、3項目共に「男性(計)」の構成比が上昇することはない。

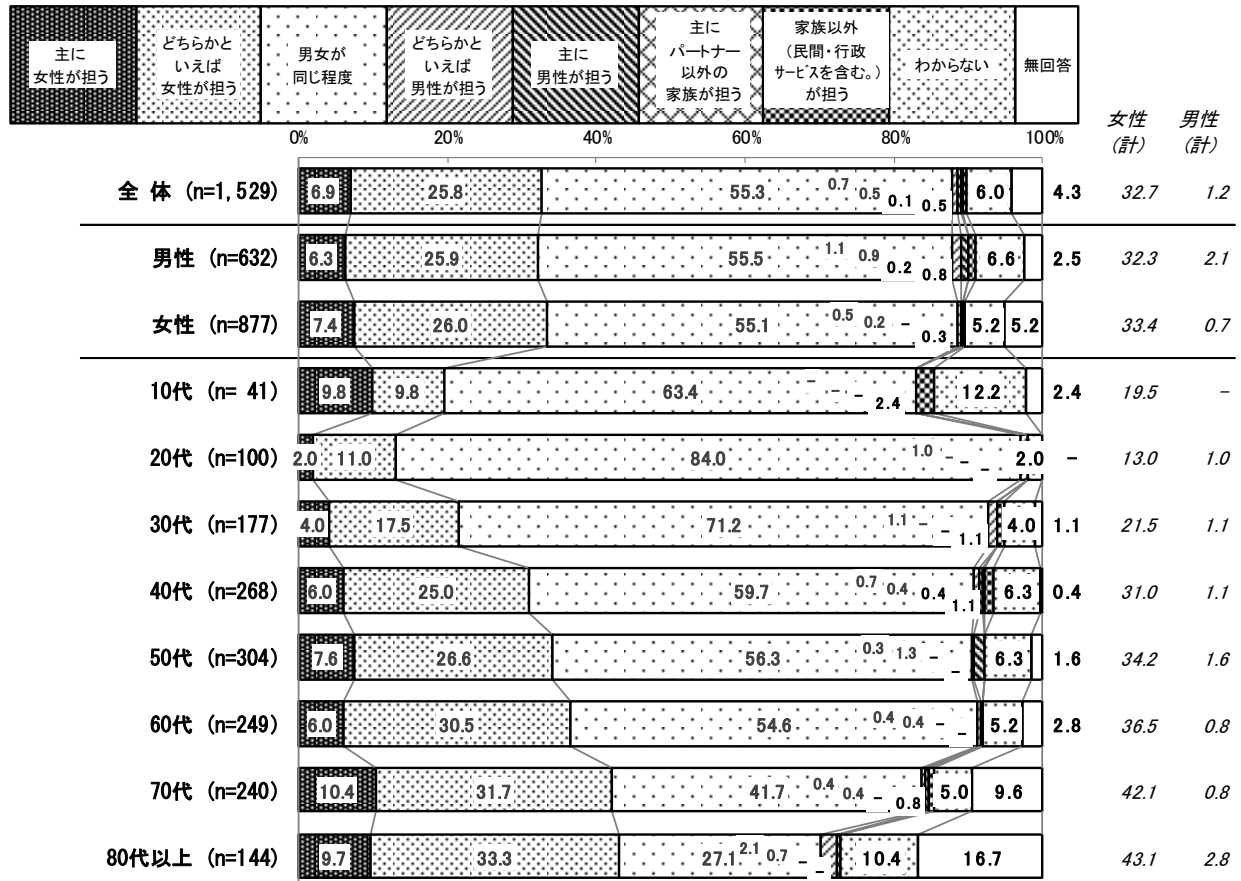
性別では、3項目共に大差はなく、概ね全体と同様の傾向である。唯一、【(ウ)介護】における「家族以外(民間・行政サービスを含む。)が担う」は、男性が 12.5%に対し、女性は 17.6%であり、女性の方が 5.1 ポイント高い。

年齢別では、【(ア)家事】の「男女が同じ程度」は 20 代(84.0%)から年代が上がるに連れ低下する。代わりに伸長するのが「女性(計)」で、20 代は 13.0%であるが 80 代以上では 43.1%に達する。ただし、80 代以上は「わからない(10.4%)」、「無回答(16.7%)」も高い。

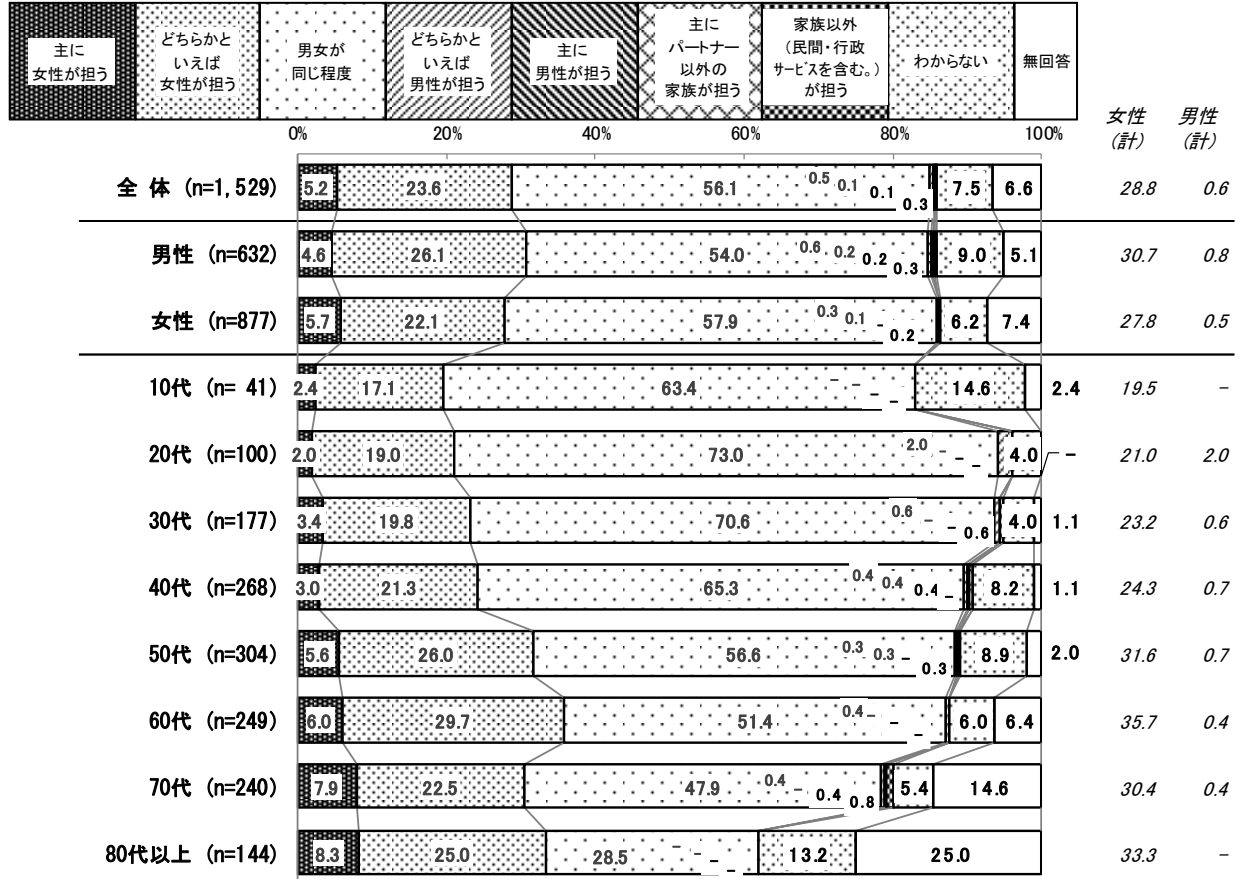
【(イ)育児】は【(ア)家事】ほど明瞭ではないが、傾向としては同様であり、10 代の「女性(計)」は 19.5%であるが 80 代以上では 33.3%である。

【(ウ)介護】でも高年代層の方が「女性(計)」が高い傾向はあるが、80 代以上でも 11.1%である。20 代から 70 代の計6層で「家族以外(民間・行政サービスを含む。)が担う」が 15%前後存在する。

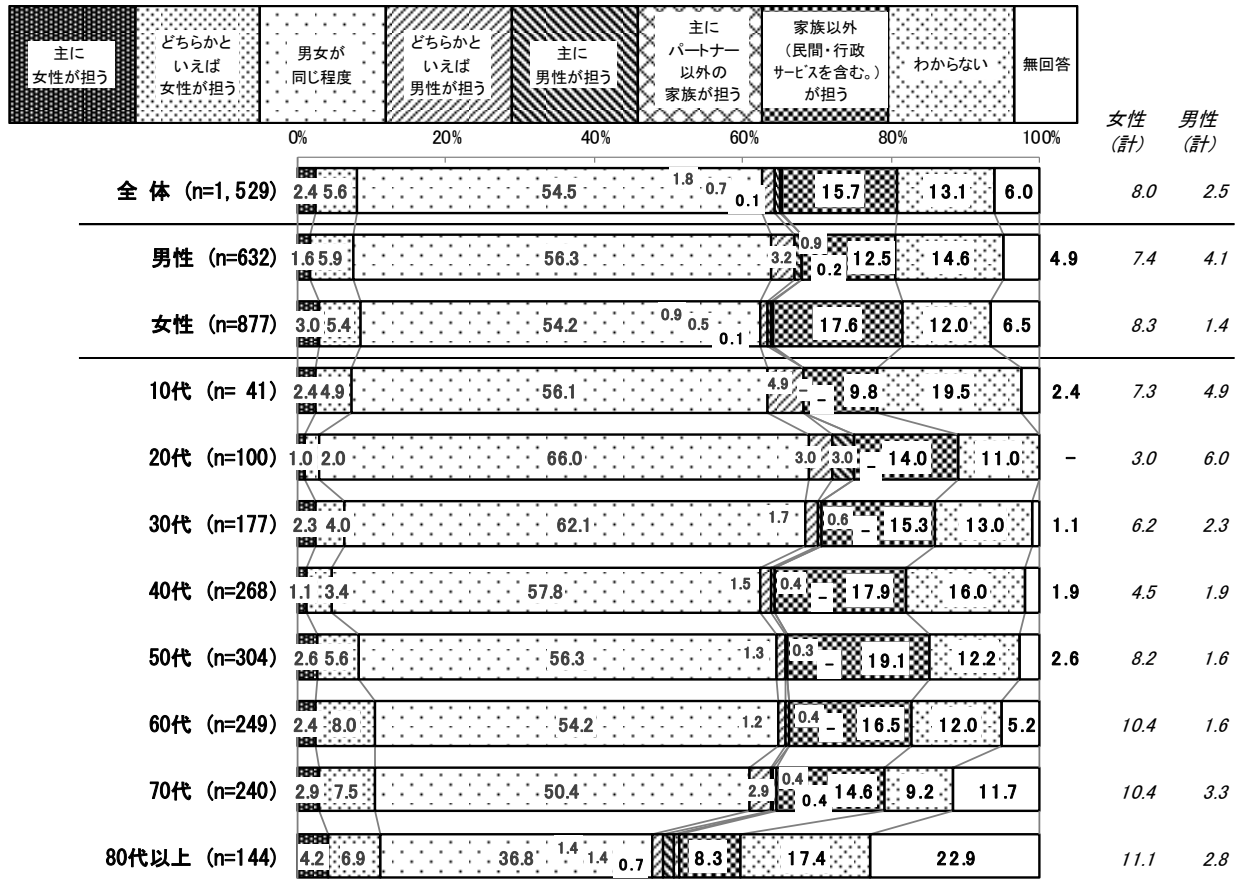
図IV-13-1-2 家庭における役割分担－(ア)家事(性・年齢別)



図IV-13-1-3 家庭における役割分担－(イ)育児(性・年齢別)



図IV-13-1-4 家庭における役割分担－(ウ)介護(性・年齢別)



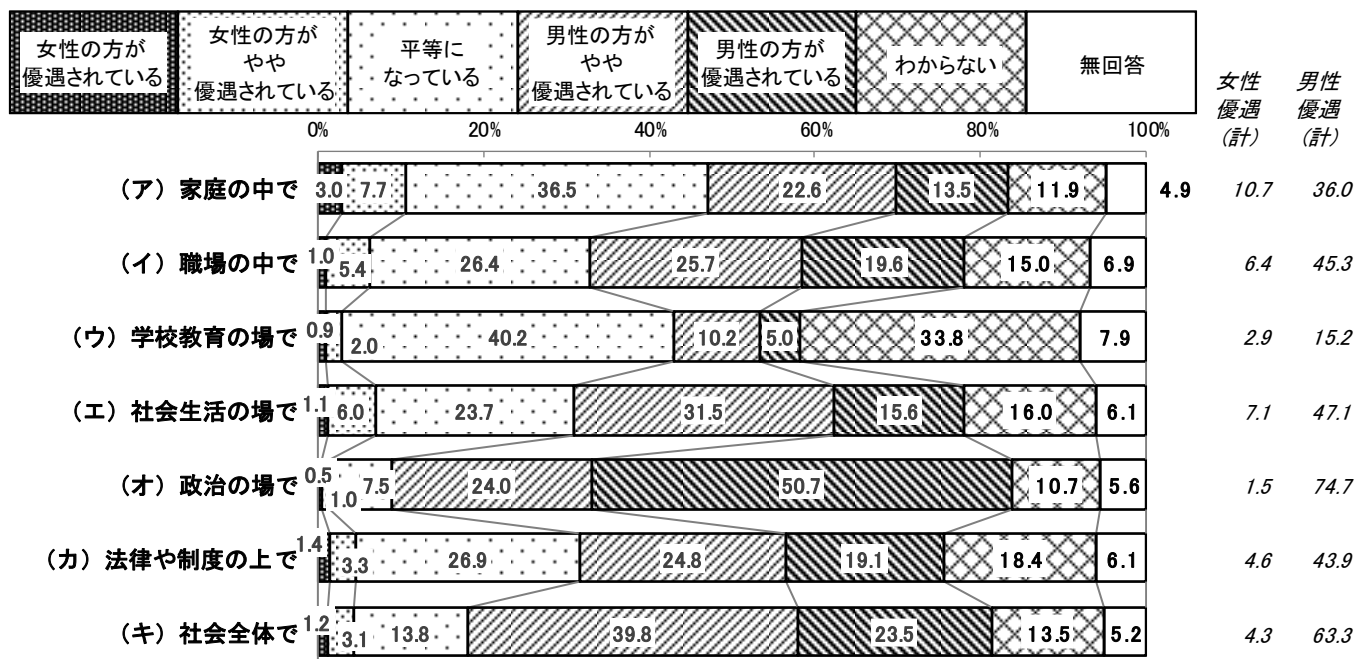
## (2) 男女平等に関する意識

問 40: あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

「平等になっている」が高いのは、【(ウ) 学校教育の場で(40.2%)】と【(ア) 家庭の中で(36.5%)】である。「男性優遇(計)」「男性の方がやや優遇されている」「男性の方が優遇されている」が高いのは、【(オ) 政治の場で(74.7%)】、【(キ) 社会全体で(63.3%)】で過半数である。すべての項目で「女性優遇(計)」より「男性優遇(計)」の方が高い。

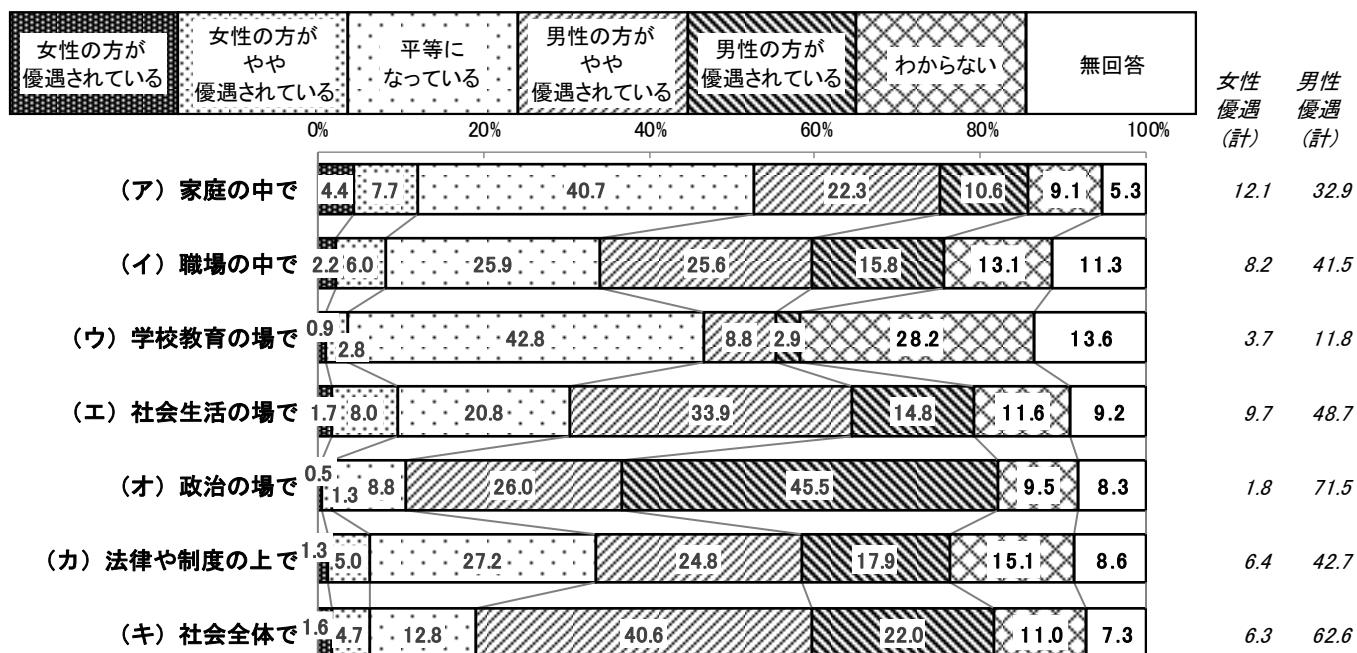
過去の調査結果と比較すると、概ねの傾向は変わらない。

図IV-13-2-1 男女平等に関する意識(n=1,529)

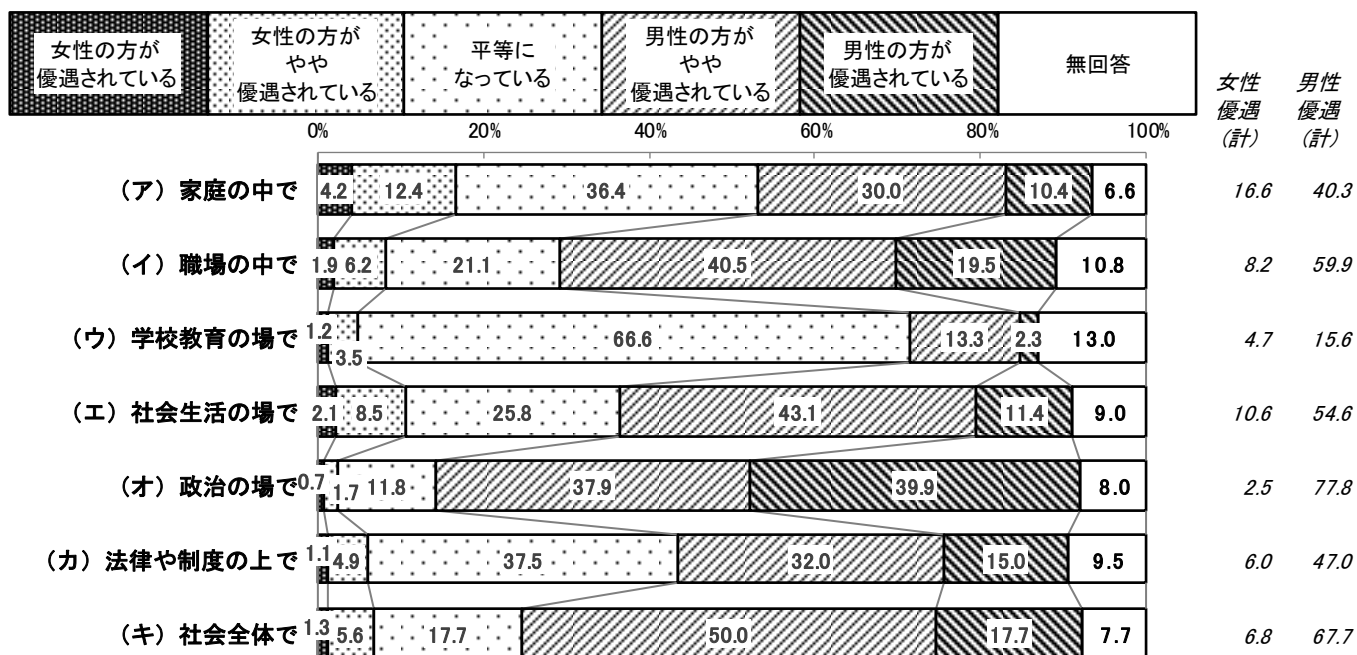


【参考資料】

男女平等に関する意識(平成 30 年 n=1,667)



男女平等に関する意識(平成 27 年 n=1,505)



① 性・年齢別

性別でみると、全項目で女性の方が男性より「男性優遇(計)」が高いが、特に【(ア)家庭の中で(男性 24.7%、女性 44.4%)】、【(エ)社会生活の場で(男性 37.3%、女性 54.0%)】、【(カ)法律や制度の上で(男性 34.7%、女性 50.5%)】は 15 ポイント以上高い。

年齢別でみると、【(ア)家庭の中で】で、「男性優遇(計)」が最も高いのは 20 代(43.0%)で、唯一 40%以上である。

【(イ)職場の中で】は、「平等になっている」が 20 代から年代が上がるに連れ低下する。20 代は 33.0%だが、80 代以上では 9.0%である。「男性優遇(計)」が最も高いのは 60 代(53.0%)で、唯一 50%以上である。

【(ウ)学校教育の場で】は、「わからない」、「無回答」が最も多い項目であり、数値としては最も穏やかにみえる。「男性優遇(計)」が最も高いのは 20 代(22.0%)で、唯一 20%以上を占める。

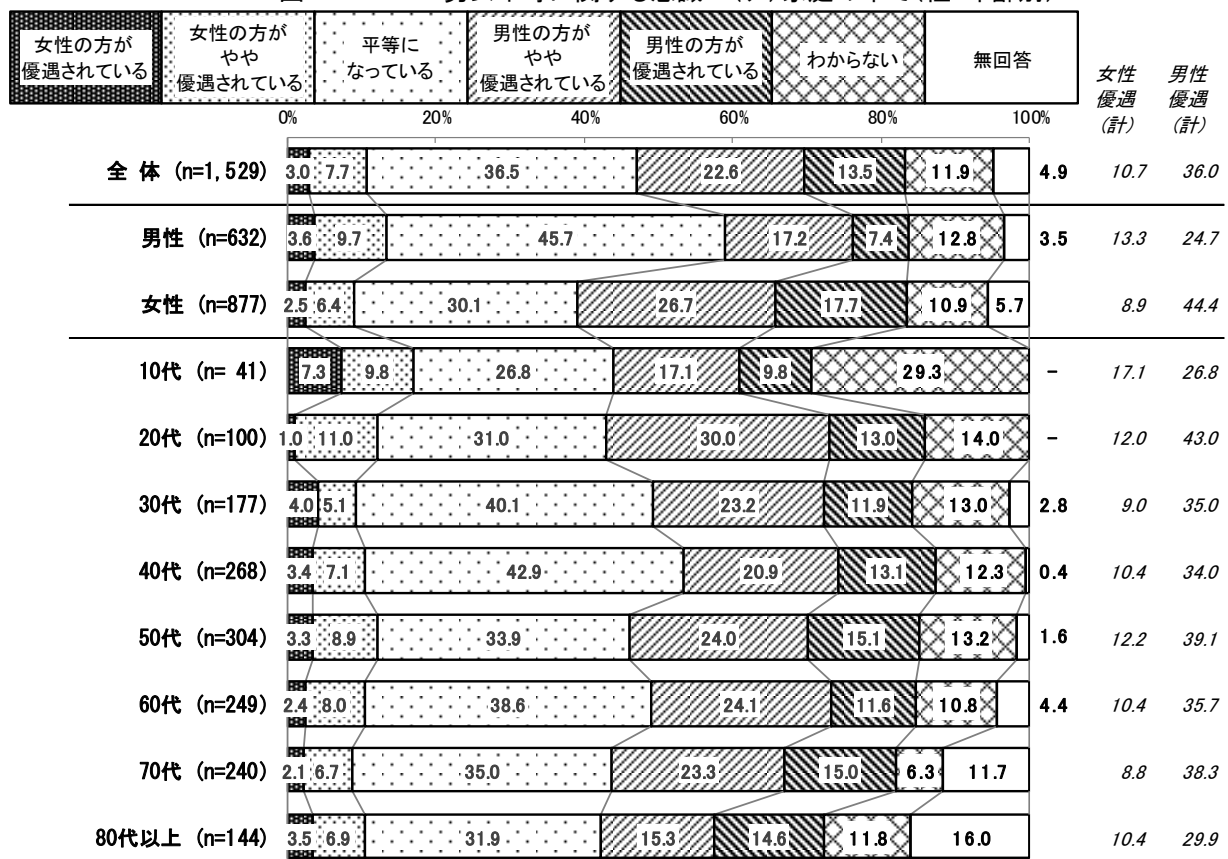
【(エ)社会生活の場で】は、「平等になっている」が 20 代から年代が上がるに連れ低下する。20 代は 33.0%だが、70 代では 17.5%である。「男性優遇(計)」が最も高いのは 60 代(58.2%)である。

【(オ)政治の場で】は、「平等になっている」が最も低い項目であり、「男性優遇(計)」が最も高いのは 50 代(81.6%)である。

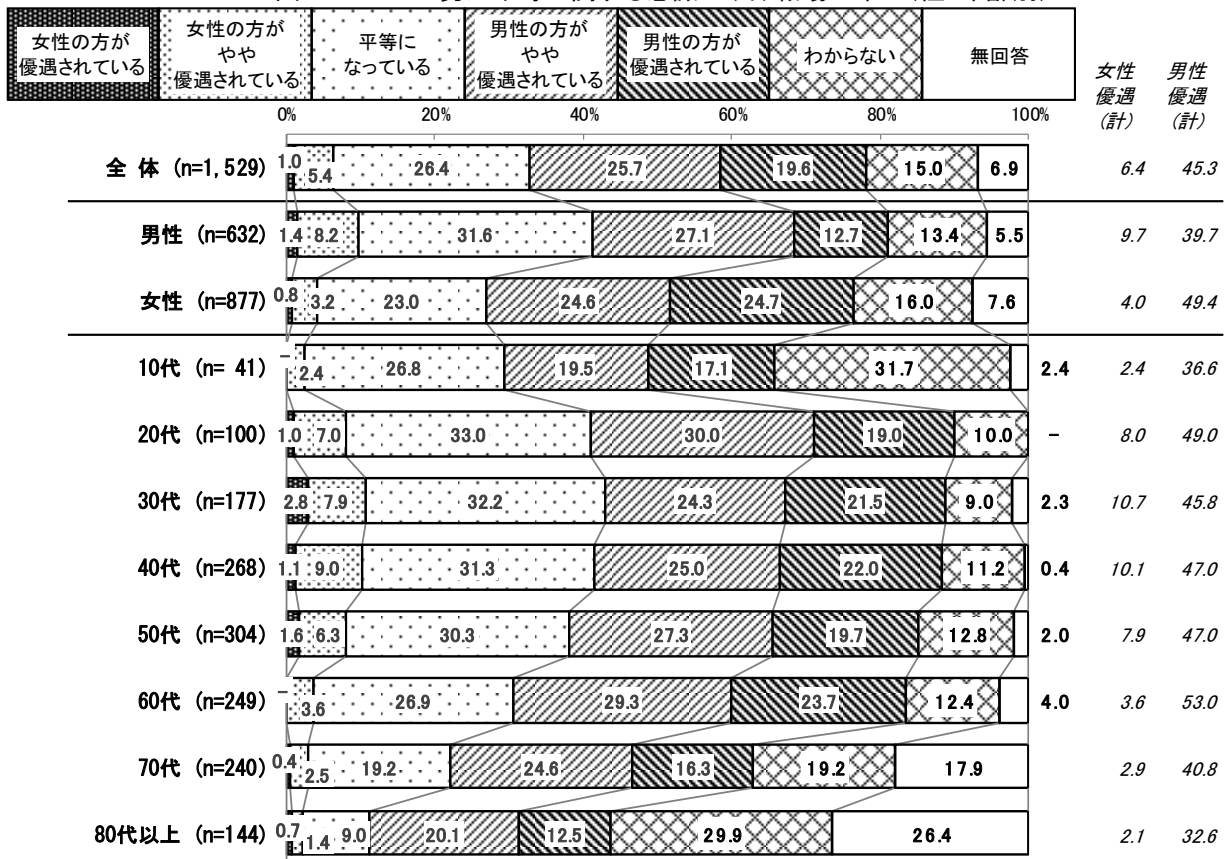
【(カ)法律や制度の上で】で、「男性優遇(計)」が最も高いのは 60 代(52.2%)で、唯一 50%以上である。

【(キ)社会全体でも】「平等になっている」が低く、「男性優遇(計)」が最も高いのは 60 代(73.5%)で、唯一 70%以上である。

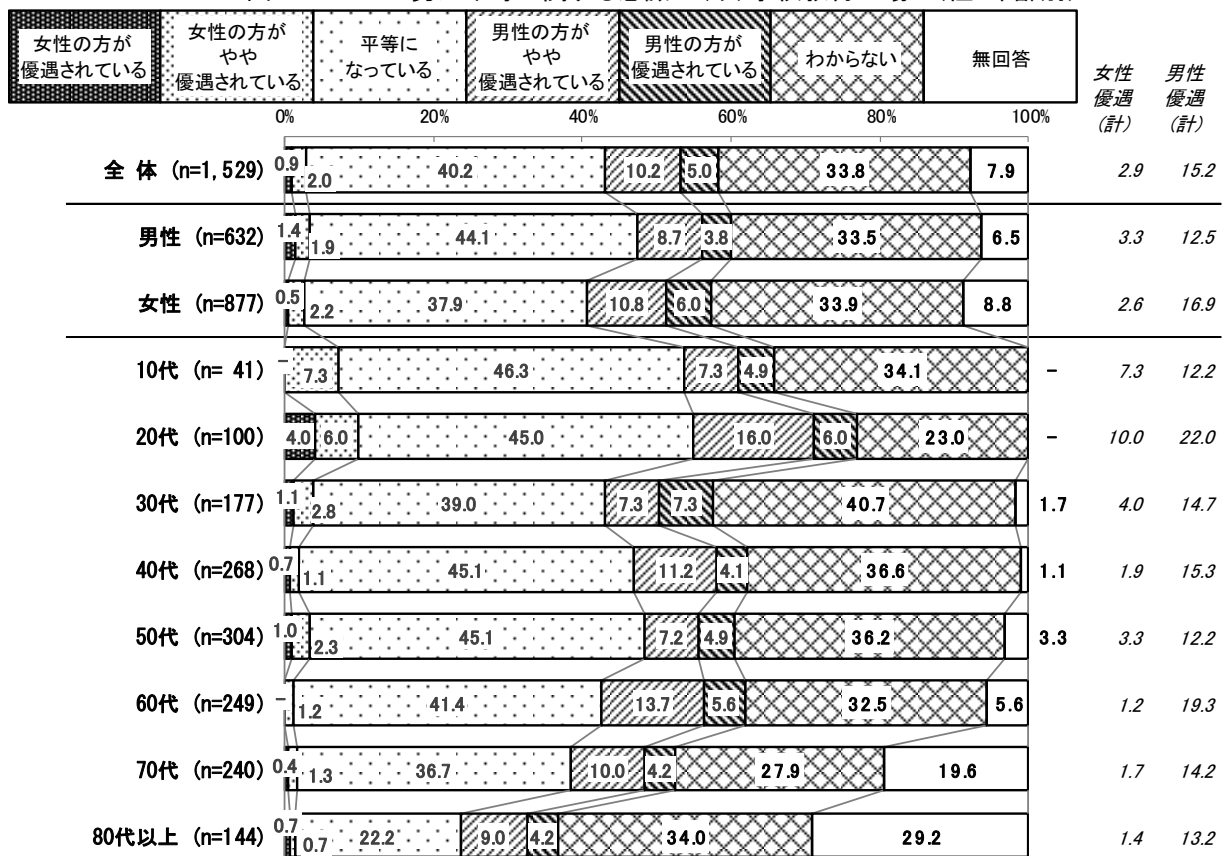
図IV-13-2-2 男女平等に関する意識－(ア)家庭の中で(性・年齢別)



図IV-13-2-3 男女平等に関する意識-(イ)職場の中で(性・年齢別)

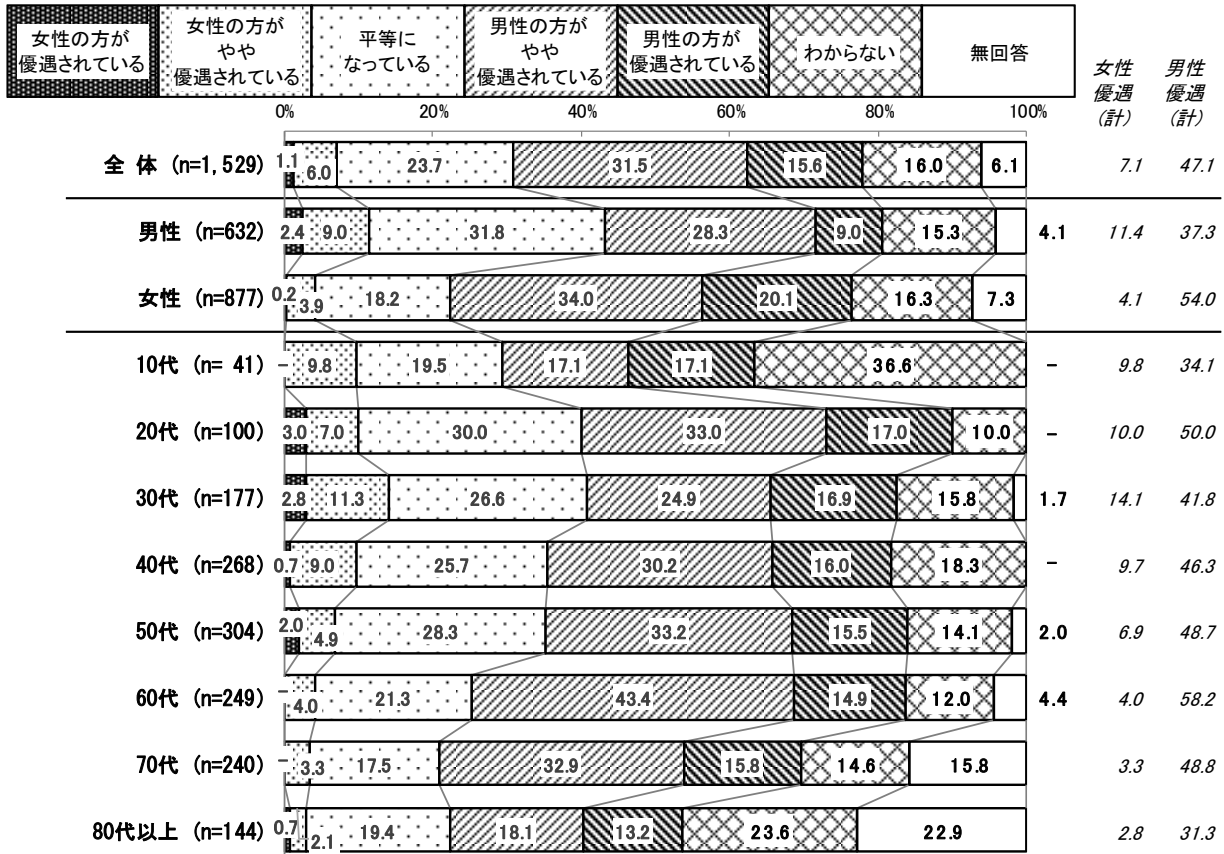


図IV-13-2-4 男女平等に関する意識-(ウ)学校教育の場で(性・年齢別)

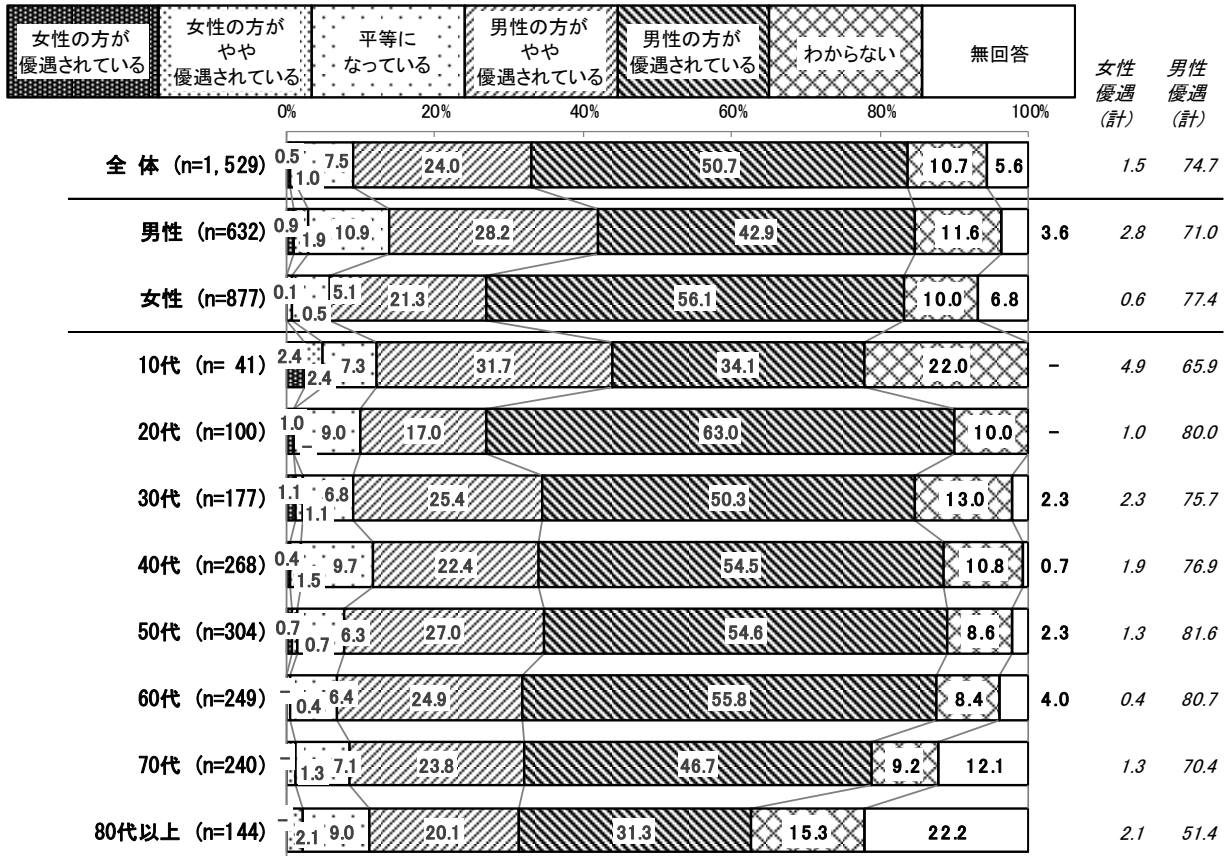




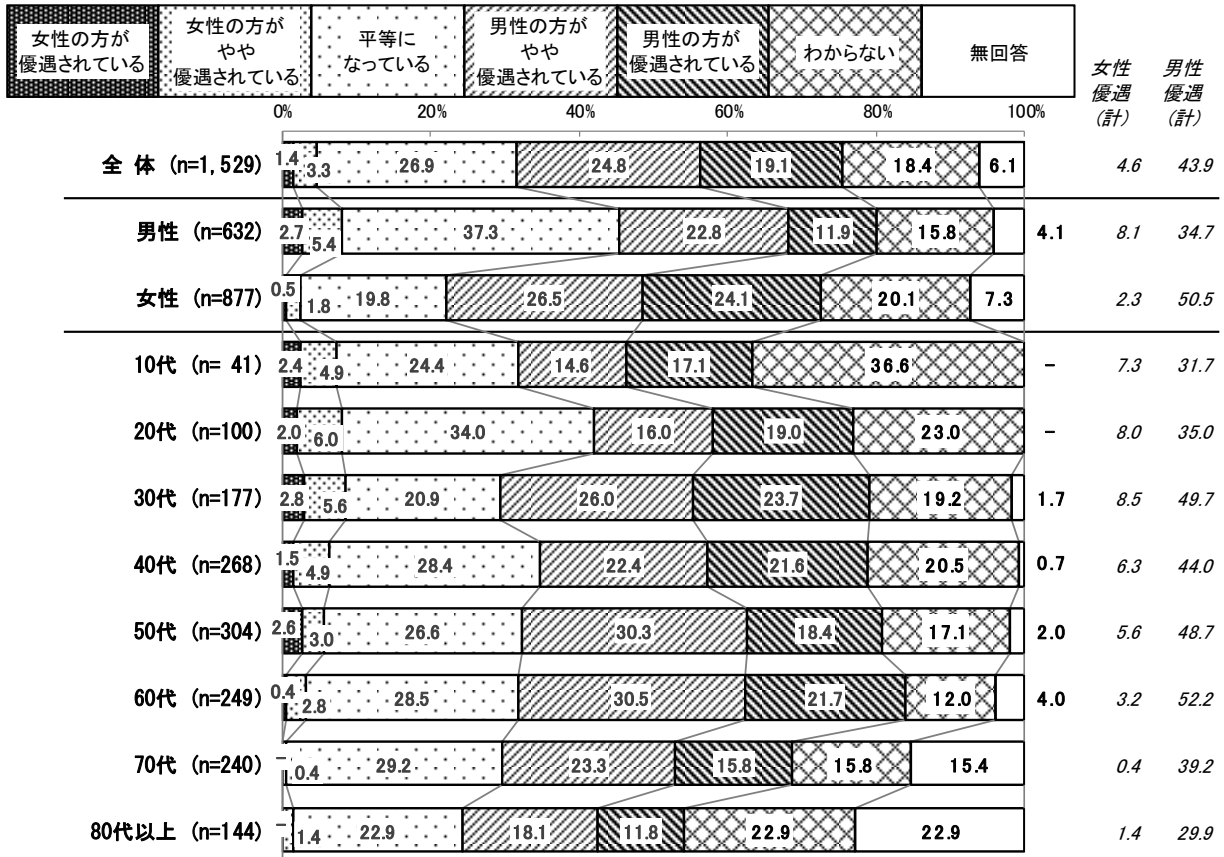
図IV-13-2-5 男女平等に関する意識-(エ)社会生活の場で(性・年齢別)



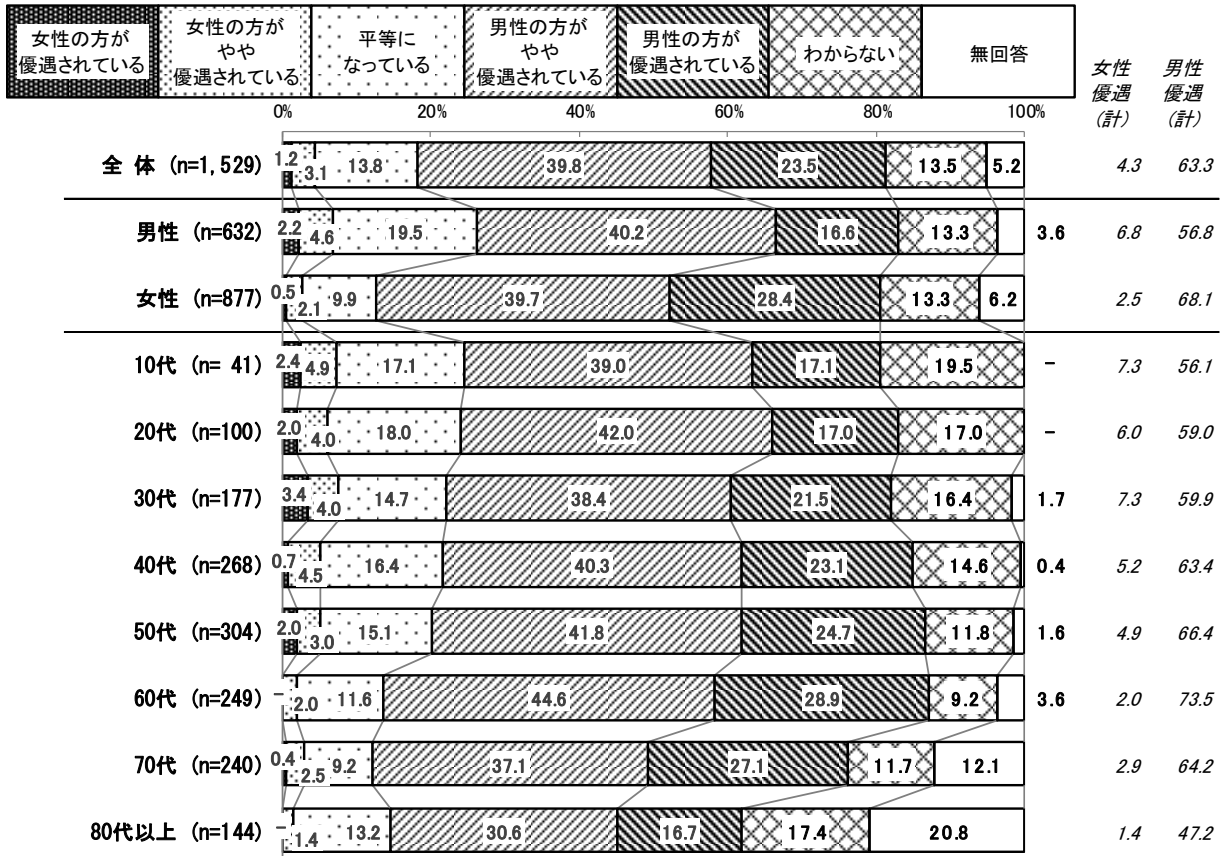
図IV-13-2-6 男女平等に関する意識-(オ)政治の場で(性・年齢別)



図IV-13-2-7 男女平等に関する意識-(力)法律や制度の上で(性・年齢別)



図IV-13-2-8 男女平等に関する意識-(キ)社会全体で(性・年齢別)



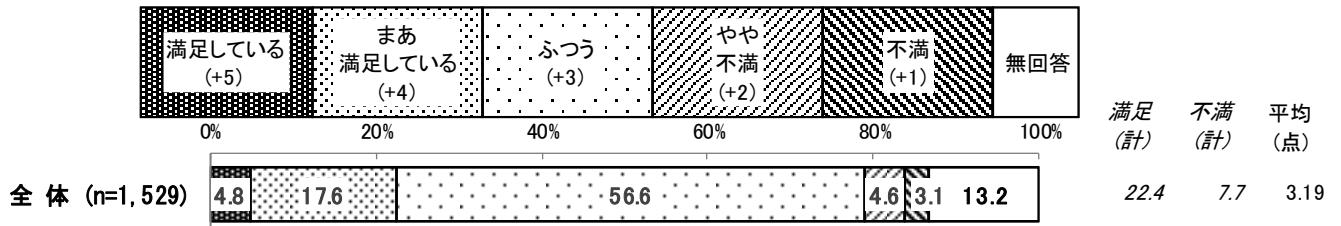
## 14 子育て支援施策に対する意識

### (1) 子ども・子育て施策への満足度

問 41: あなたは、三鷹市の子ども・子育て施策に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

「ふつう」が 56.6%を占める。「満足(計)」「満足している」「まあ満足している」は 22.4%、「不満(計)」「やや不満」「不満」は 7.7%である。「無回答」も 13.2%存在する。

図IV-14-1-1 子ども・子育て施策への満足度

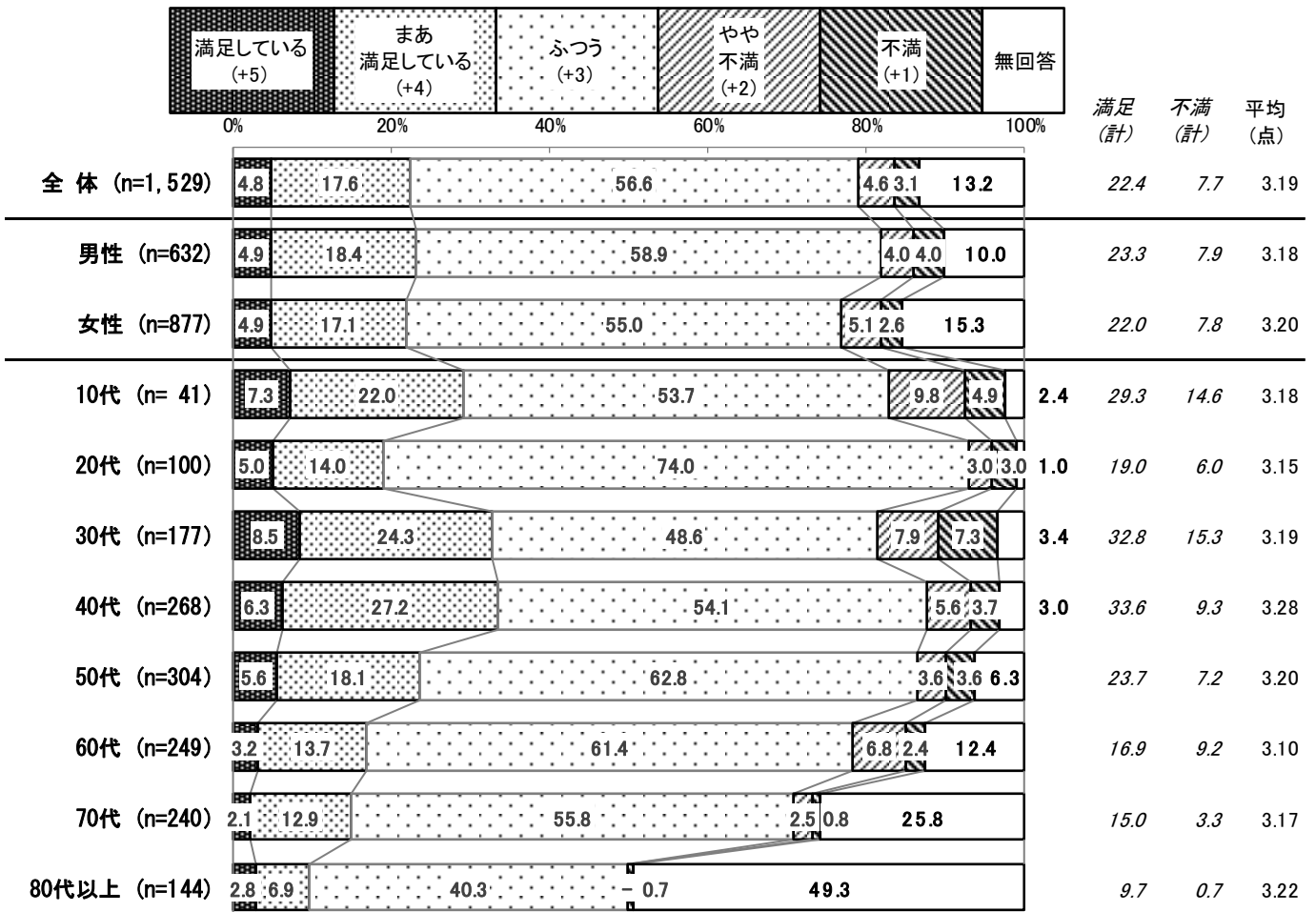


#### ① 性・年齢別

性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向だが、女性の方が「無回答」が高い。

年齢別でみると、「満足(計)」は 30代(32.8%)、40代(33.6%)で 30%以上である。一方、30代は「不満(計)」も最も高く 15.3%。「無回答」は 60代から年代が上がるに連れ増加し、80代以上では 49.3%に達する。

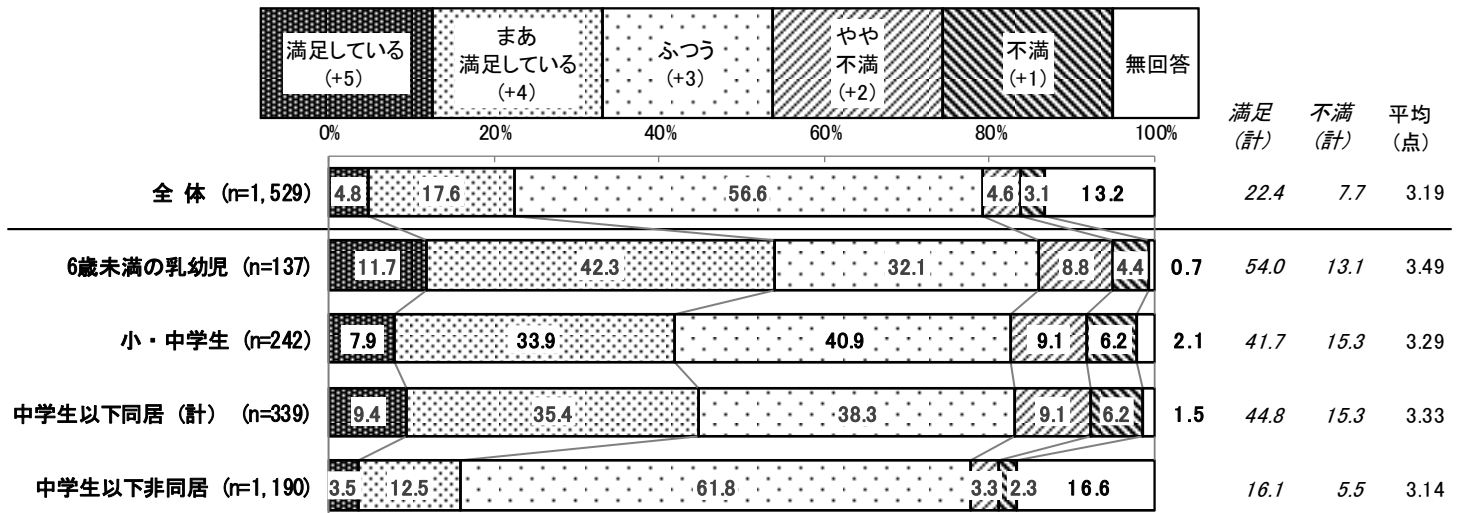
図IV-14-1-2 子ども・子育て施策への満足度(性・年齢別)



② 中学生以下同居別

中学生以下同居別でみると、「満足（計）」は中学生以下同居（計）層では 44.8%である。対する中学生以下非同居層は 16.1%にとどまる。

図IV-14-1-3 子ども・子育て施策への満足度(中学生以下同居別)

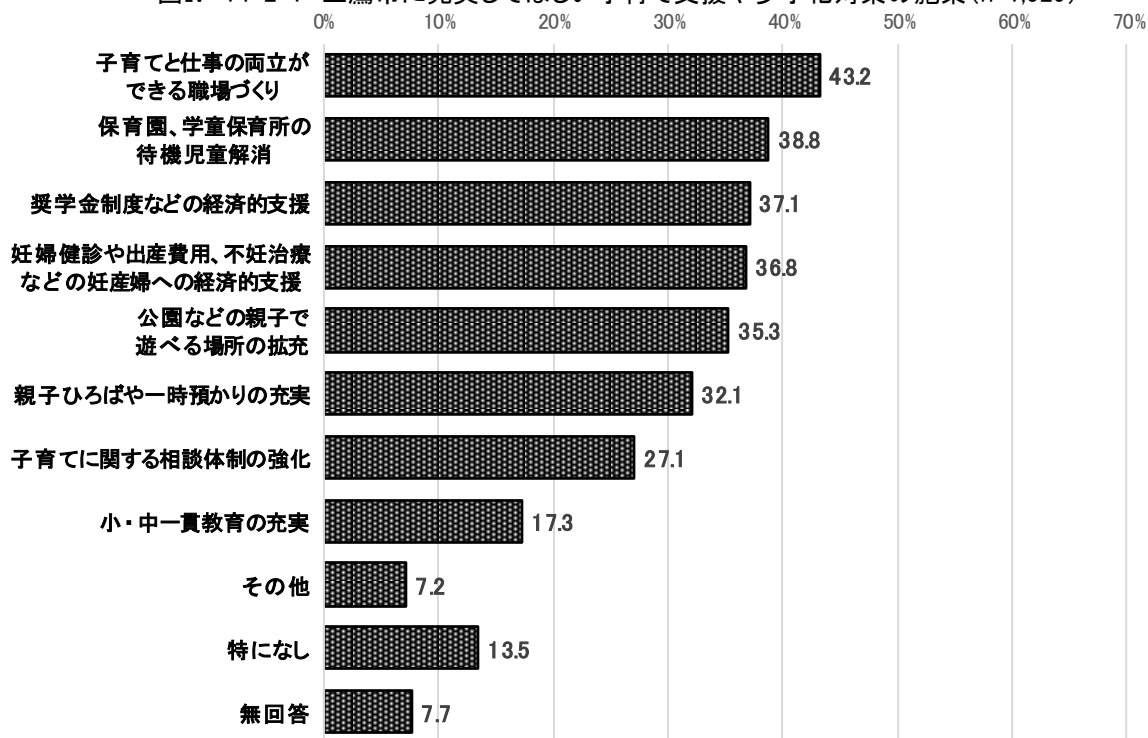


(2) 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策

問 42: 今後、充実してほしい施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

上位6項目が 30%以上を占める。「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」が 43.2%で最も高く、「保育園、学童保育所の待機児童解消(38.8%)」、「奨学金制度などの経済的支援(37.1%)」等が続く。

図IV-14-2-1 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策 (n=1,529)

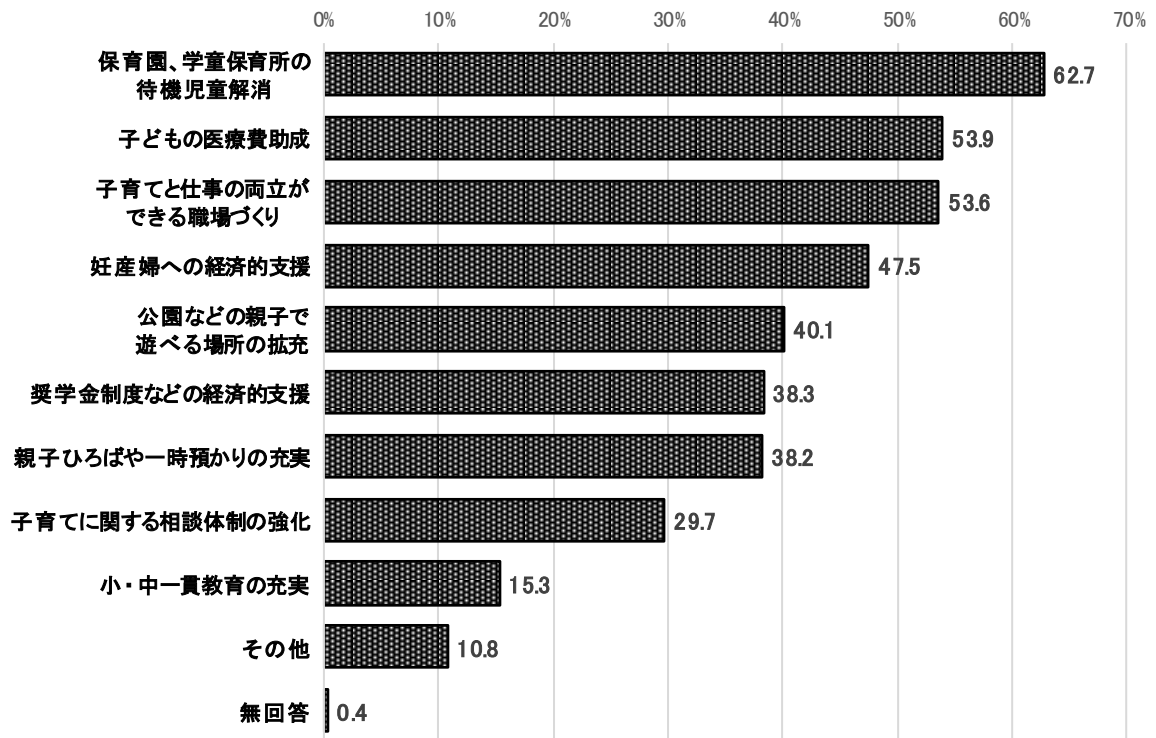


【その他の回答】

「障がい児へのサポート」、「医療費補助拡充」、「公園やスポーツ施設の設置」、「教育費・学校給食費無償化」、「図書館等の文化施設の拡充」、「医療費含め妊婦へのケア」、「保育園スタッフの給与上昇と人材確保」、「交通ルールの周知・安全の確保」など

【参考資料】

三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(平成30年 n=815)

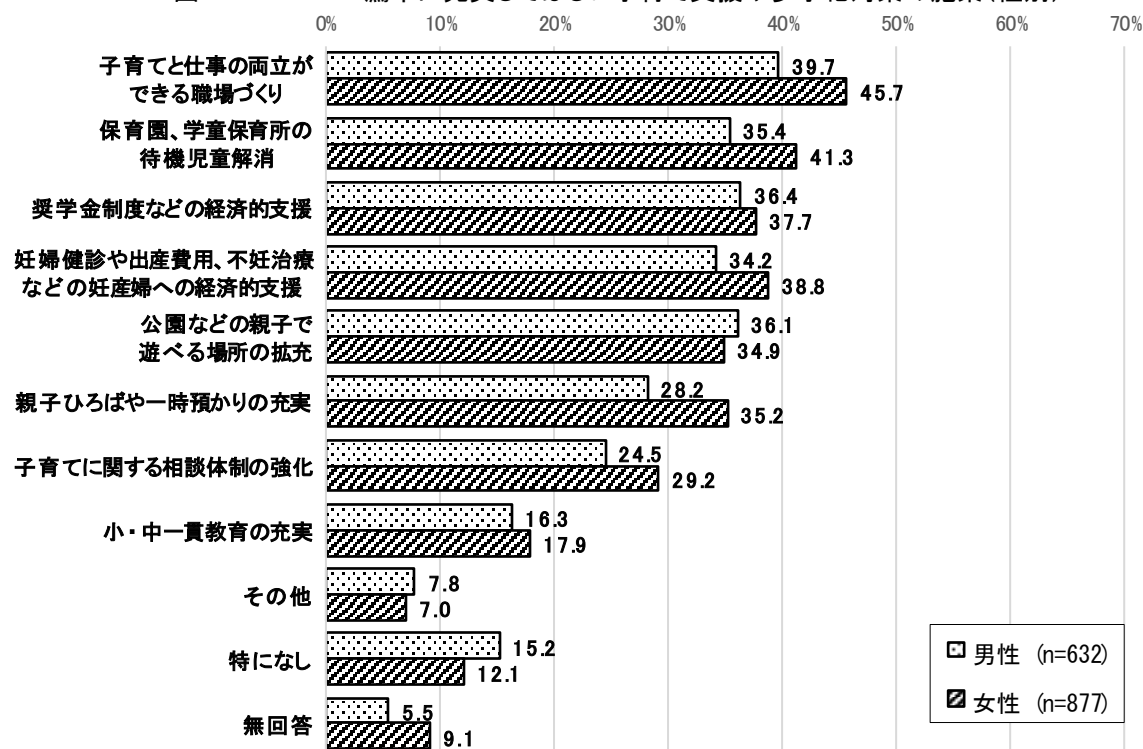


### ① 性・年齢別

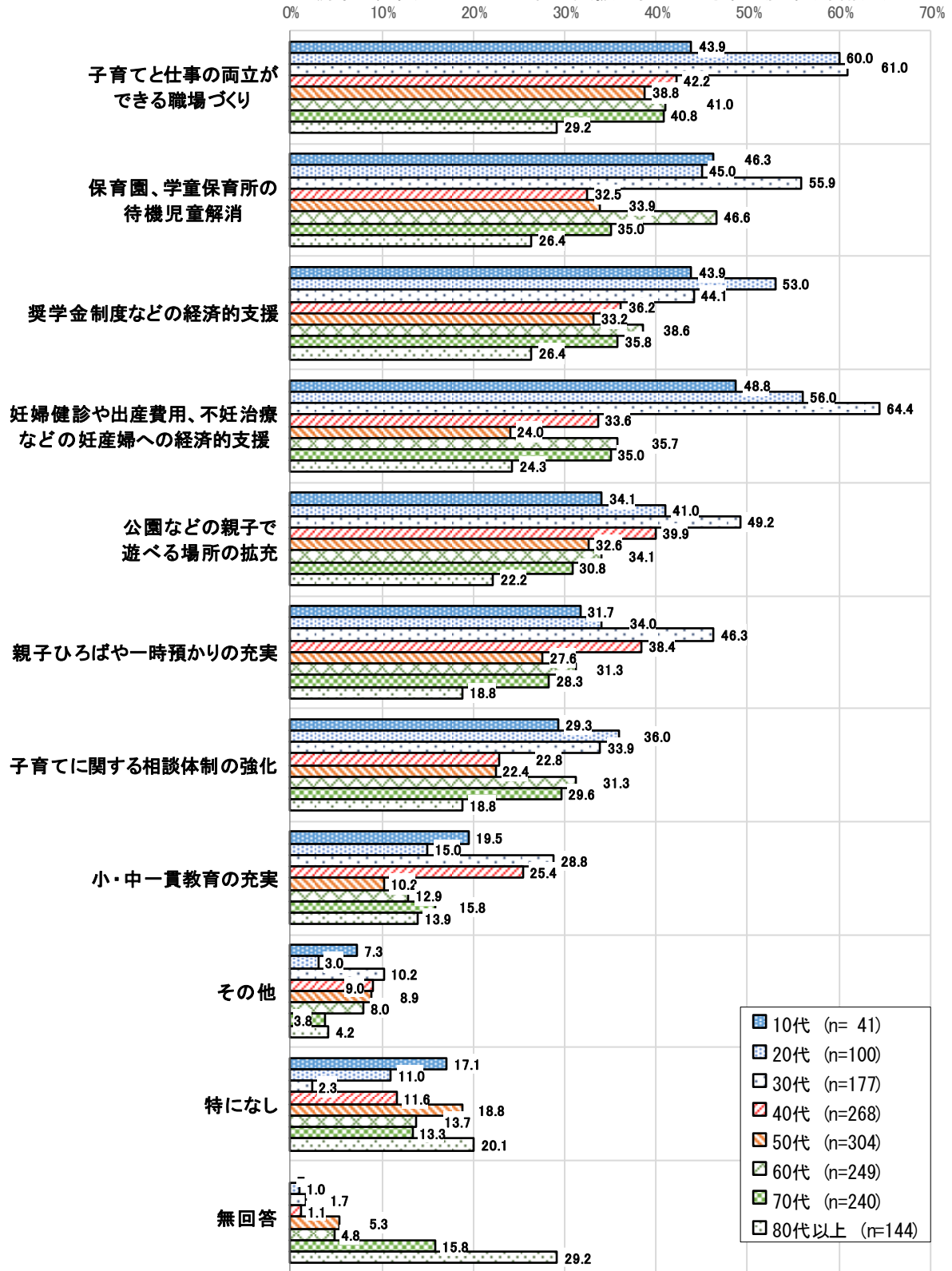
性別でみると、「公園などの親子で遊べる場所の拡充」以外の項目で女性の方が高い。女性では、上位2項目の「子育てと仕事の両立ができる職場づくり(45.7%)」、「保育園、学童保育所の待機児童解消(41.3%)」は40%以上であり、男性より約6ポイント高い。「親子ひろばや一時預かりの充実」は、女性の方が7.0ポイント高く、最も差がある。

年齢別でみると、概ねの項目で20代・30代が高い傾向がある。特に「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」は、20代は60.0%、30代は61.0%、「妊婦健診や出産費用、不妊治療などの妊産婦への経済的支援」は30代で64.4%と高い。また、この2項目は、20代・30代と他層との乖離が最も顕著である。

図IV-14-2-2 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(性別)



図IV-14-2-3 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(年齢別)

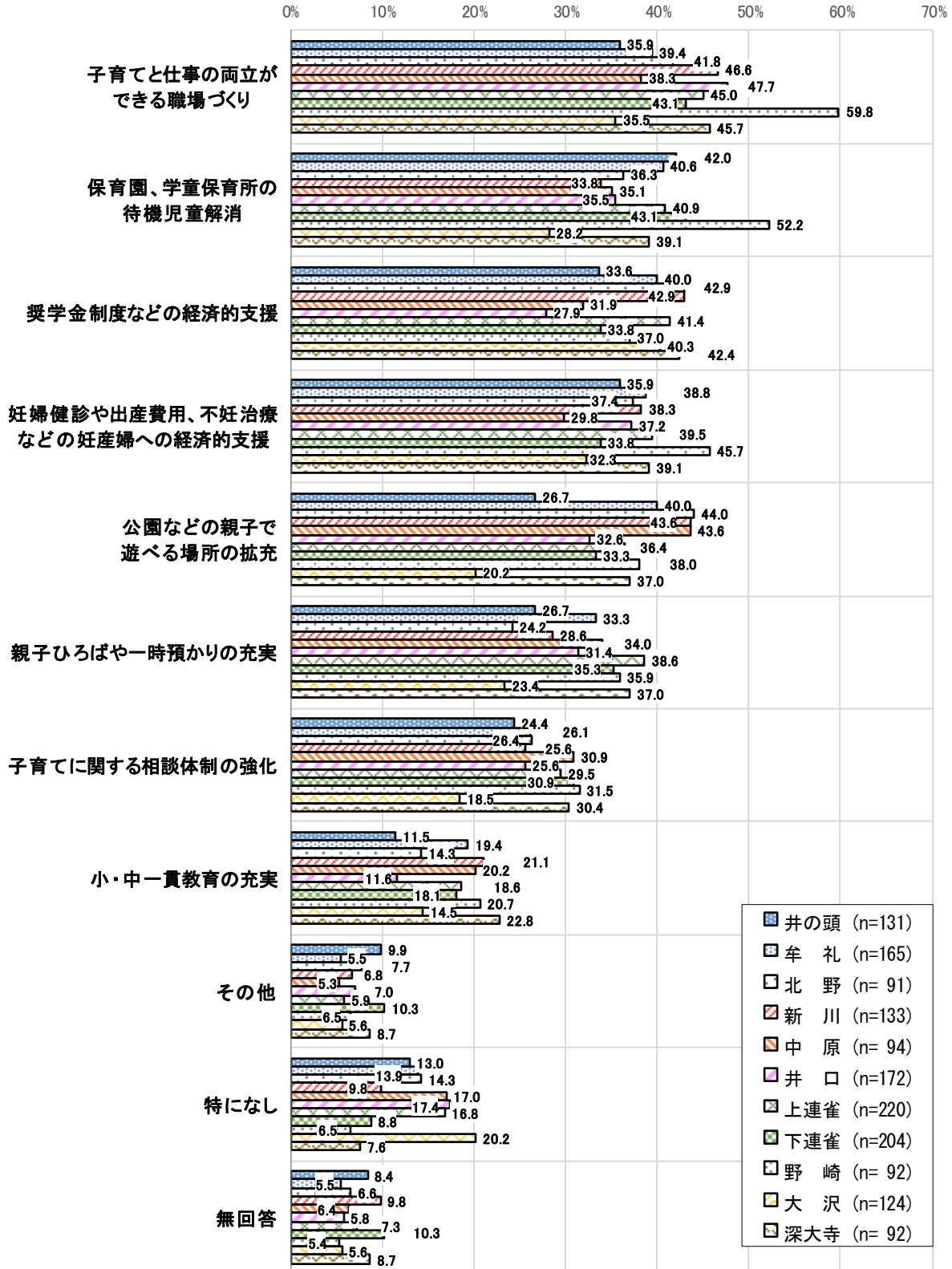




② 地区別

地区別でみると、野崎の「子育てと仕事の両立ができる職場づくり(59.8%)」、「保育園、学童保育所の待機児童解消(52.2%)」が50%以上である。

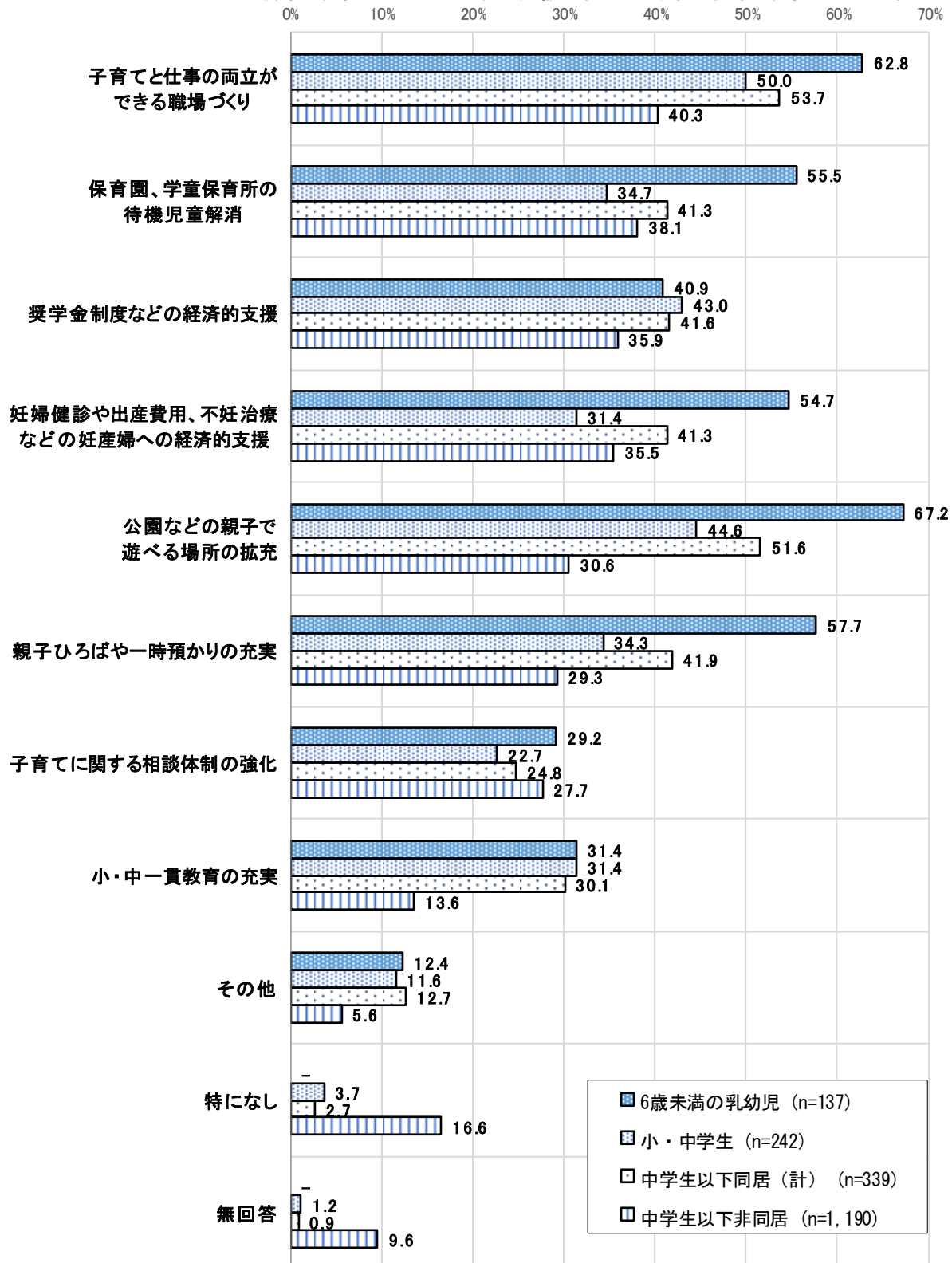
図IV-14-2-4 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(地区別)



### ③ 中学生以下同居別

中学生以下同居別でみると、「奨学金制度などの経済的支援」以外の項目で、小・中学生層より6歳未満の乳幼児層の方が高い。「親子ひろばや一時預かりの充実」を筆頭に、計4項目において20ポイント以上乖離している。また、「子育てに関する相談体制の強化」以外の項目は、中学生以下非同居層より中学生以下同居(計)層の方が高い。

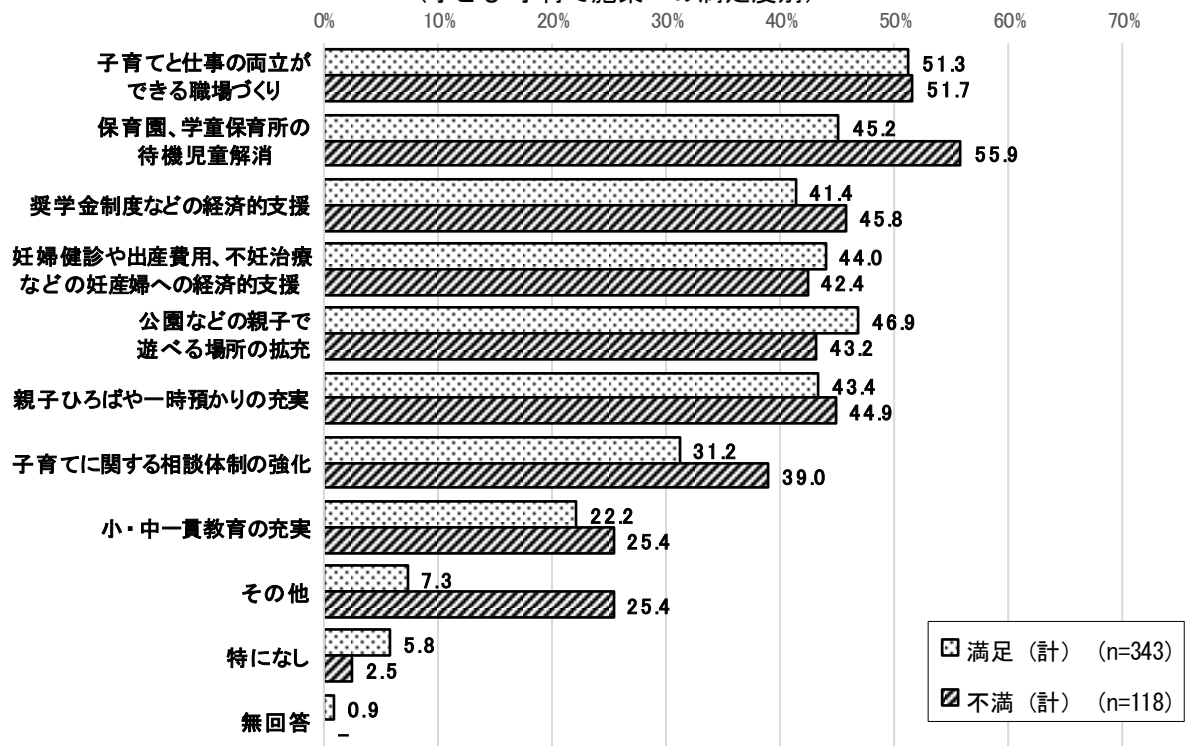
図IV-14-2-5 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策(中学生以下同居別)



#### ④ 子ども・子育て施策への満足度別

子ども・子育て施策への満足度別でみると、「子育てと仕事の両立ができる職場づくり」は、満足(計)層(51.3%)、不満(計)層(51.7%)共に50%以上である。不満(計)層で最も高いのは「保育園、学童保育所の待機児童解消(55.9%)」である。満足(計)層は45.2%であり、不満(計)層の方が10.7ポイント高い。

図IV-14-2-6 三鷹市に充実してほしい子育て支援や少子化対策の施策  
(子ども・子育て施策への満足度別)



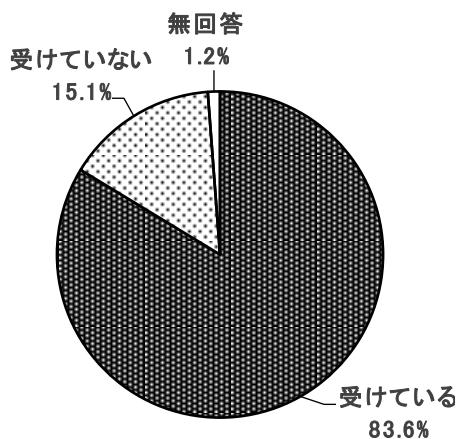
## 15 健康に対する意識や行動

### (1) 健康診断の受診有無

問 43: あなたはご自身の健康管理のために、年に1回は健康診断を受けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

健康診断を「受けている」が83.6%、「受けていない」が15.1%である。

図IV-15-1-1 健康診断の受診有無 (n=1,529)

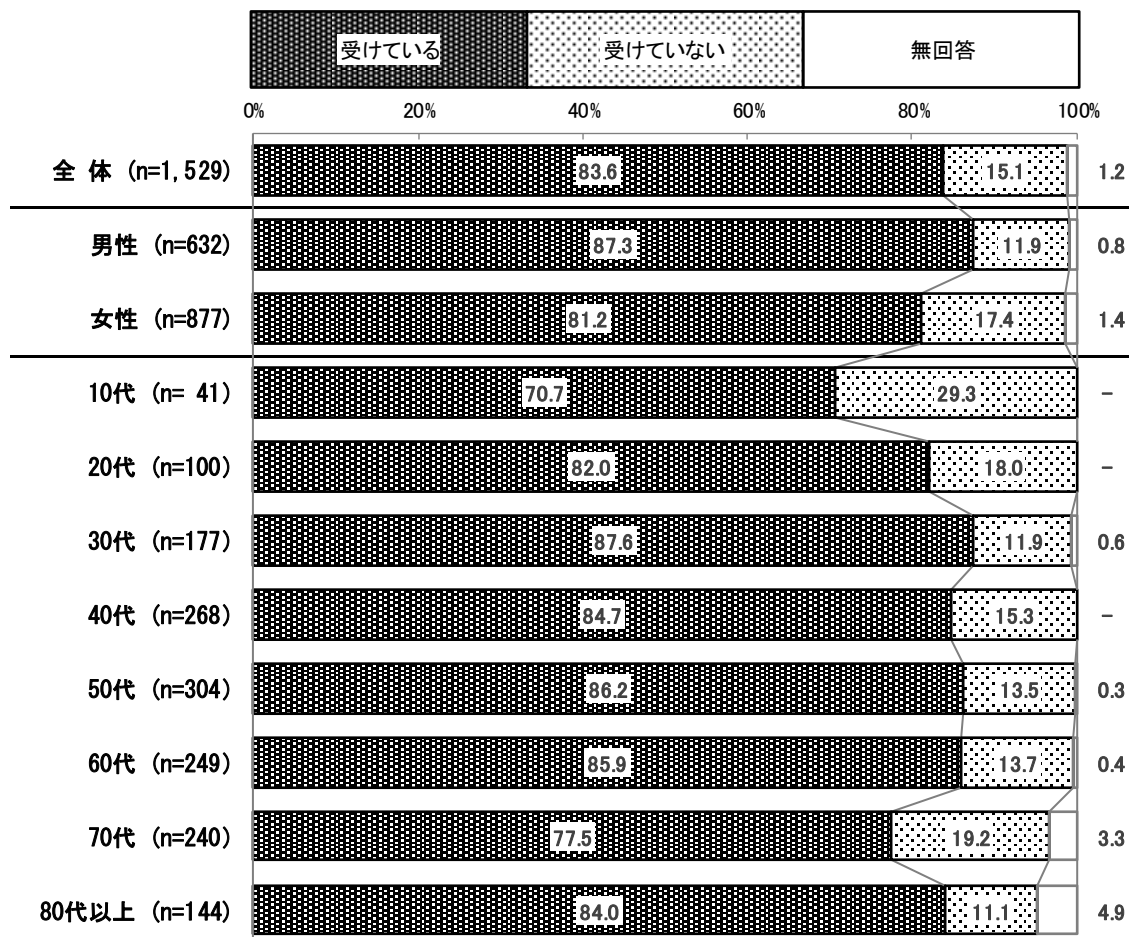


#### ① 性・年齢別

性別でみると、受診率は男性(87.3%)の方が女性(81.2%)より高い。

年齢別では、概ねの年代で80%以上だが、10代(70.7%)、70代(77.5%)は70%台である。

図IV-15-1-2 健康診断の受診有無(性・年齢別)

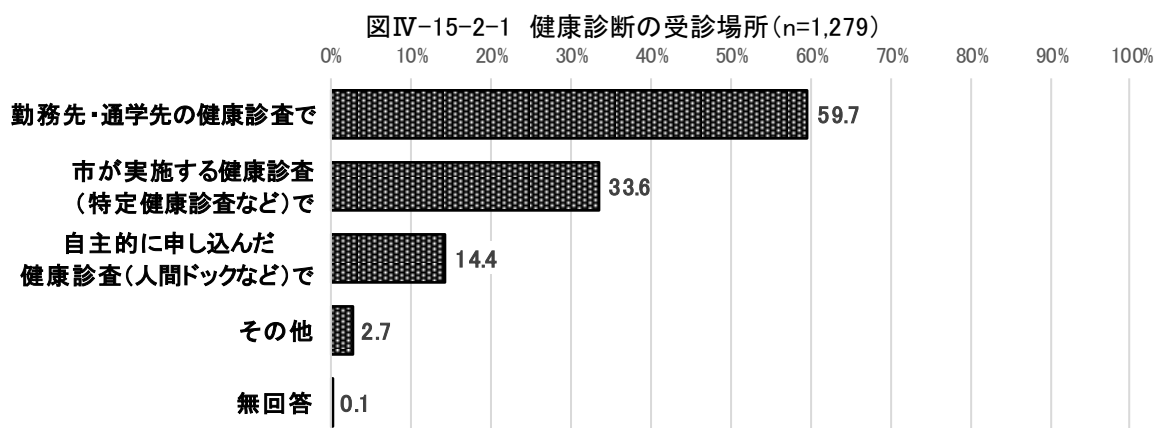


## (2) 健康診断の受診場所

問 43-1:どこで健康診断を受診していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。  
[問 43 で「受けている」と回答した方対象]

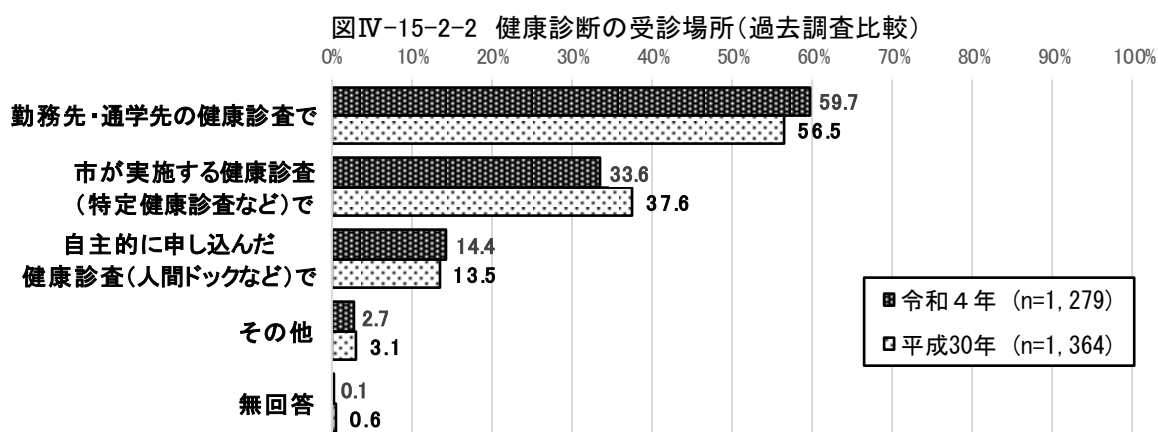
「勤務先・通学先の健康診査で」が 59.7%で最も高い。次いで「市が実施する健康診査(特定健康診査など)」で(33.6%)が高い。

平成 30 年の調査結果と同様の傾向である。



【その他の回答】

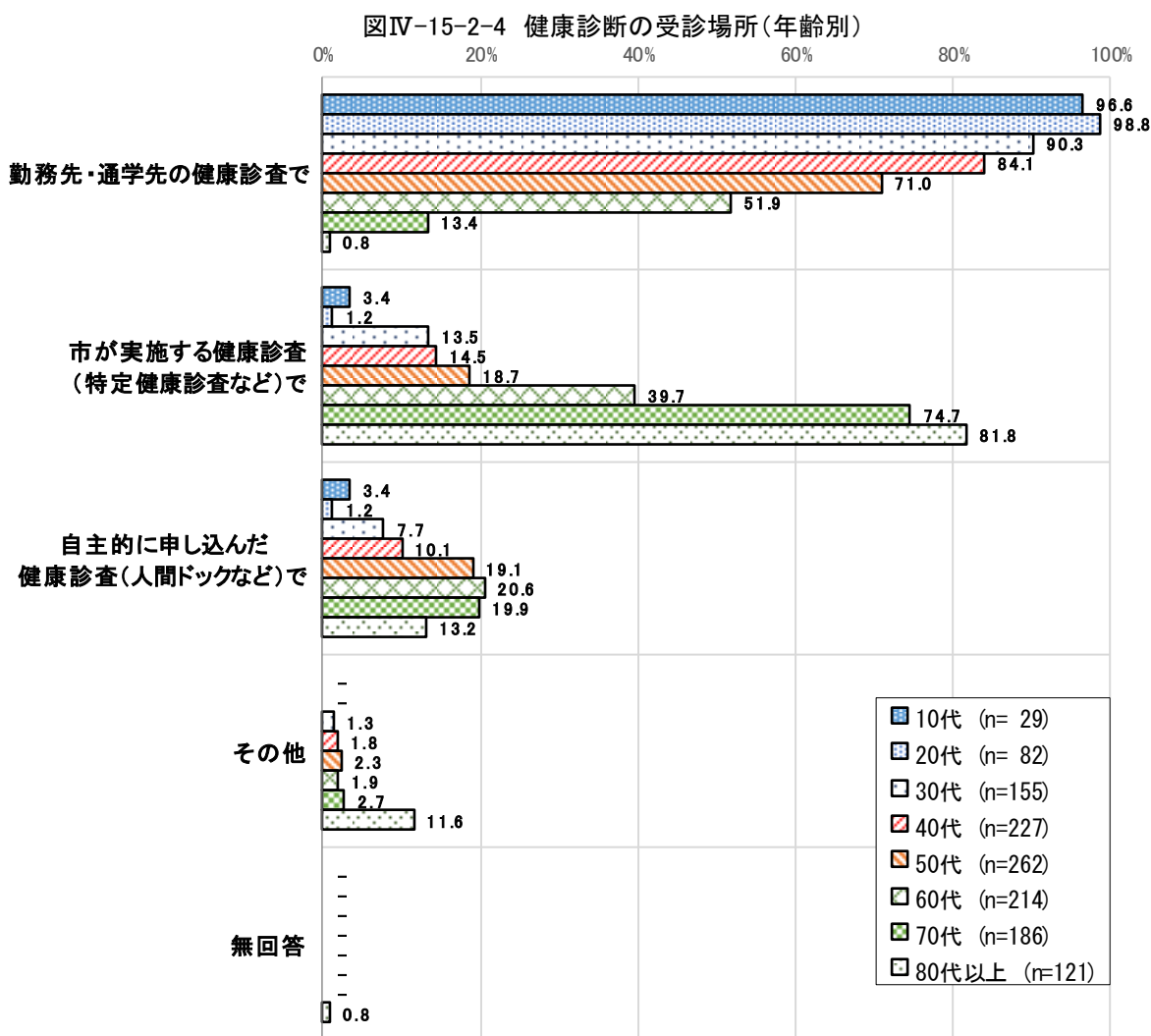
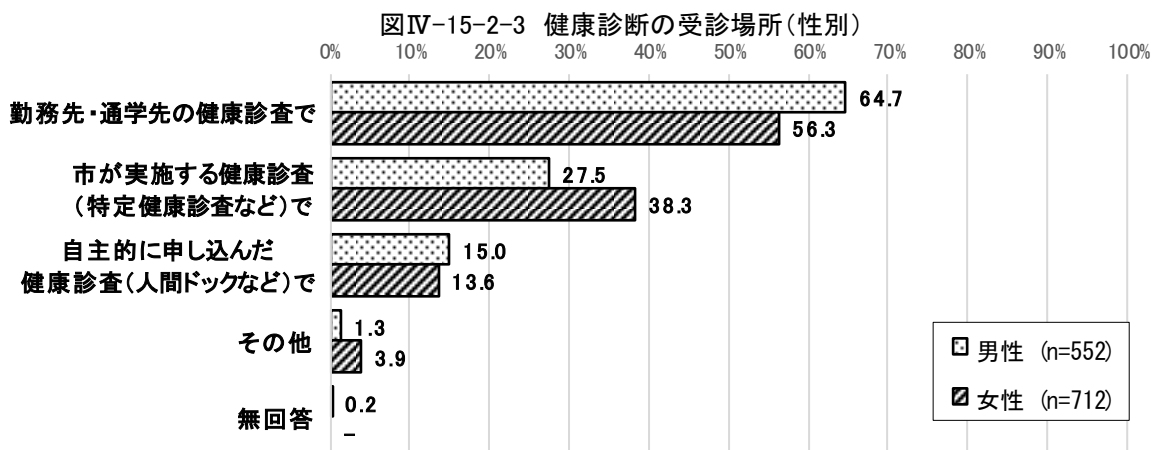
「かかりつけの病院・通院先」、「配偶者の勤務先・組合の制度利用」、「老人ホーム」、「訪問介護の訪問医」など



① 性・年齢別

性別でみると、男性は「勤務先・通学先の健康診査で」が 64.7%で最も高い。女性(56.3%)も同様に最も高いが、「市が実施する健康診査(特定健康診査など)で(38.3%)」も 30%以上である。

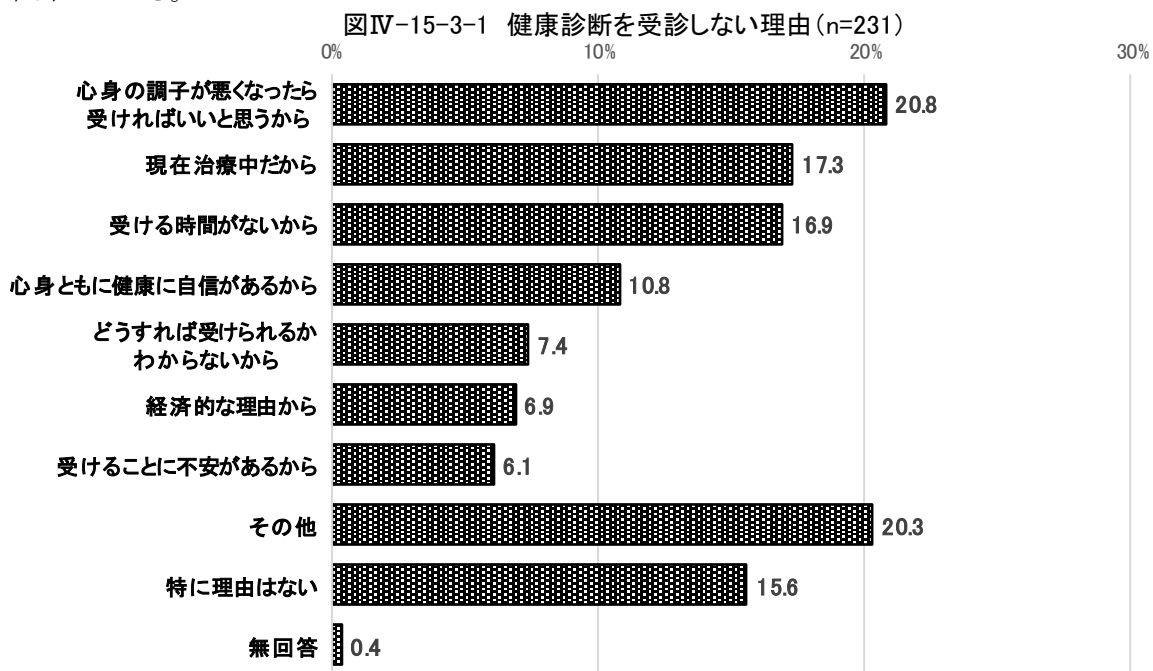
年齢別でみると、回答数の少ない 10 代を除くと、20 代から 60 代の計 5 層は「勤務先・通学先の健康診査で」が最も高い。70 代・80 代以上は「市が実施する健康診査(特定健康診査など)で」が最も高い。



### (3) 健康診断を受診しない理由

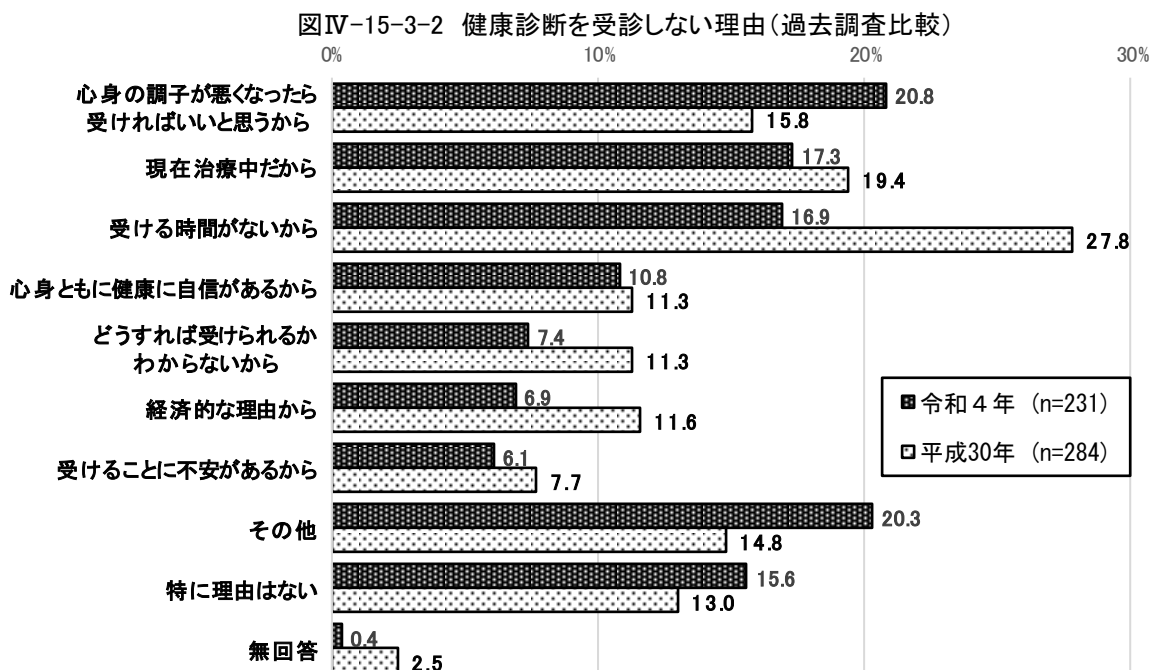
問 43-2: あなたが健康診断を受けないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 43 で「受けていない」と回答した方対象]

「心身の調子が悪くなったら受ければ良いと思うから」が 20.8%で最上位である。「その他(20.3%)」が続くが、コロナ禍の影響や通院している等の理由が大半である。「特に理由はない」は 15.6%である。平成 30 年の調査結果と比較すると、「受ける時間がないから」が平成 30 年(27.8%)より 10.9 ポイント低下している。



#### 【その他の回答】

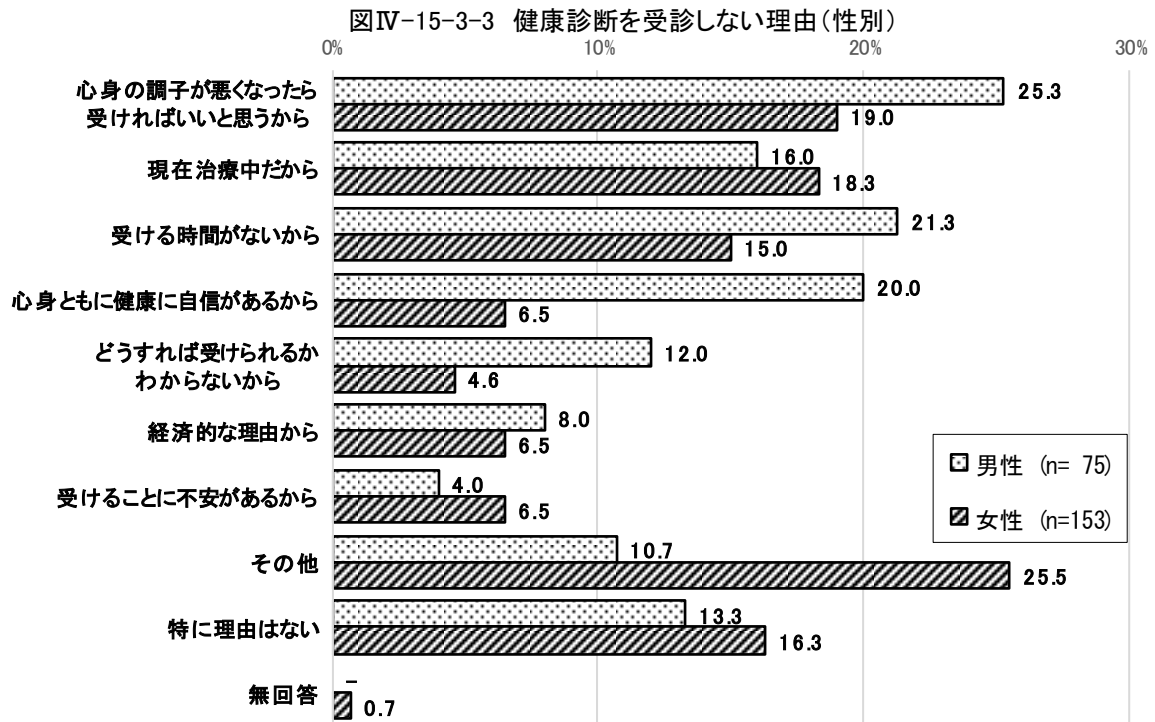
「コロナ禍の影響で」、「1年半から2年に1回受診」、「定期通院しているので」、「看護・育児のため」、「つい後回しになる・忘れてしまう」、「若いので」、「受けたくない」、「健診で病気が見つかると思えない」、「指定病院が遠い」など



① 性・年齢別

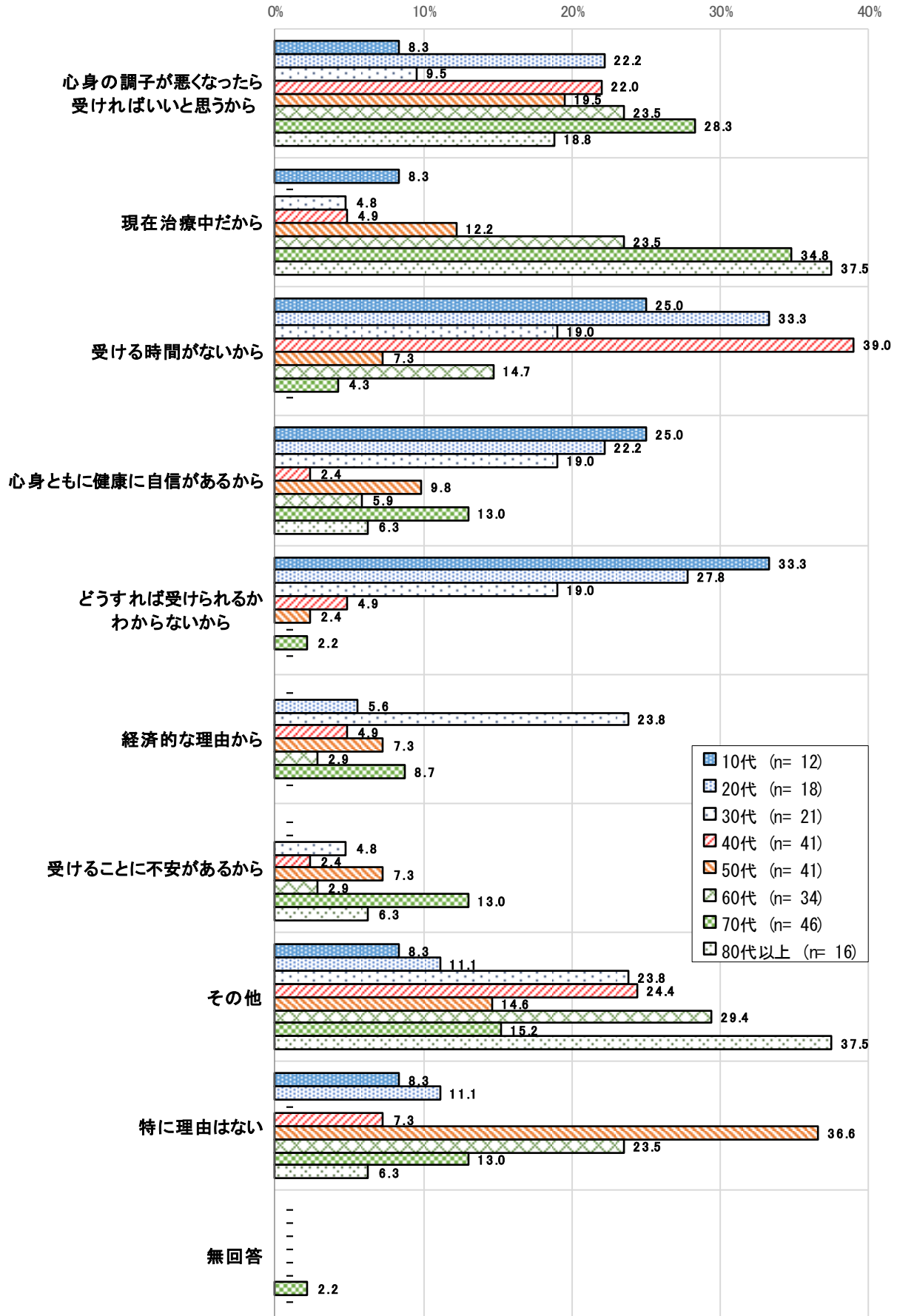
性別でみると、男性は「心身の調子が悪くなったら受ければ良いと思うから(25.3%)」、「受ける時間がないから(21.3%)」、「心身ともに健康に自信があるから(20.0%)」が20%以上である。女性で最上位項目は「その他(25.5%)」である。

年齢別は、回答数の少ない年代が多く参考程度となる。





図IV-15-3-4 健康診断を受診しない理由(年齢別)



## 16 スポーツに対する意識や活動

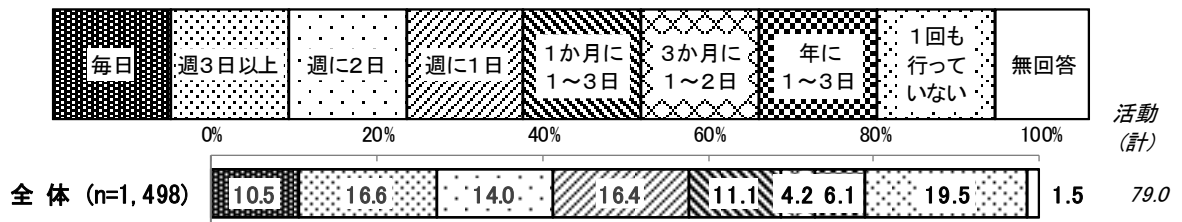
### (1) スポーツを行う頻度

問 44: あなたは、この1年間でスポーツをどのくらい行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

18歳以上を対象に再集計した。「1回も行っていない」が19.5%で最も高い。「週3日以上」～「週に1日」はそれぞれ15%前後である。

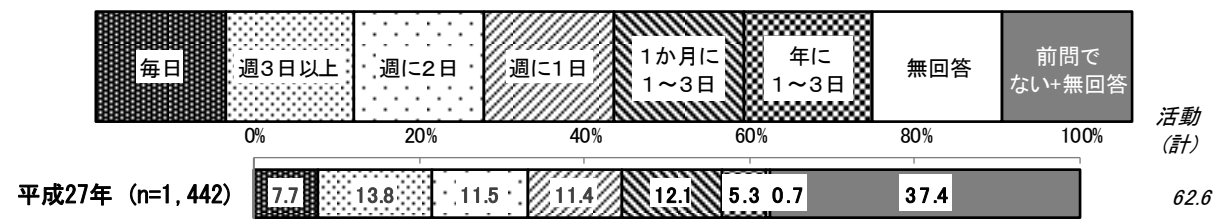
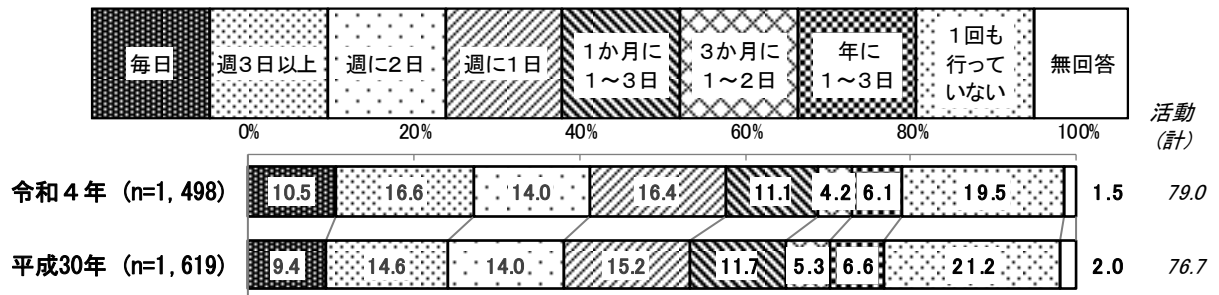
平成30年の調査結果と比較すると、傾向はほぼ同様だが、「週に1日」以上が伸長している。

図IV-16-1-1 スポーツを行う頻度



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

図IV-16-1-2 スポーツを行う頻度(過去調査比較)



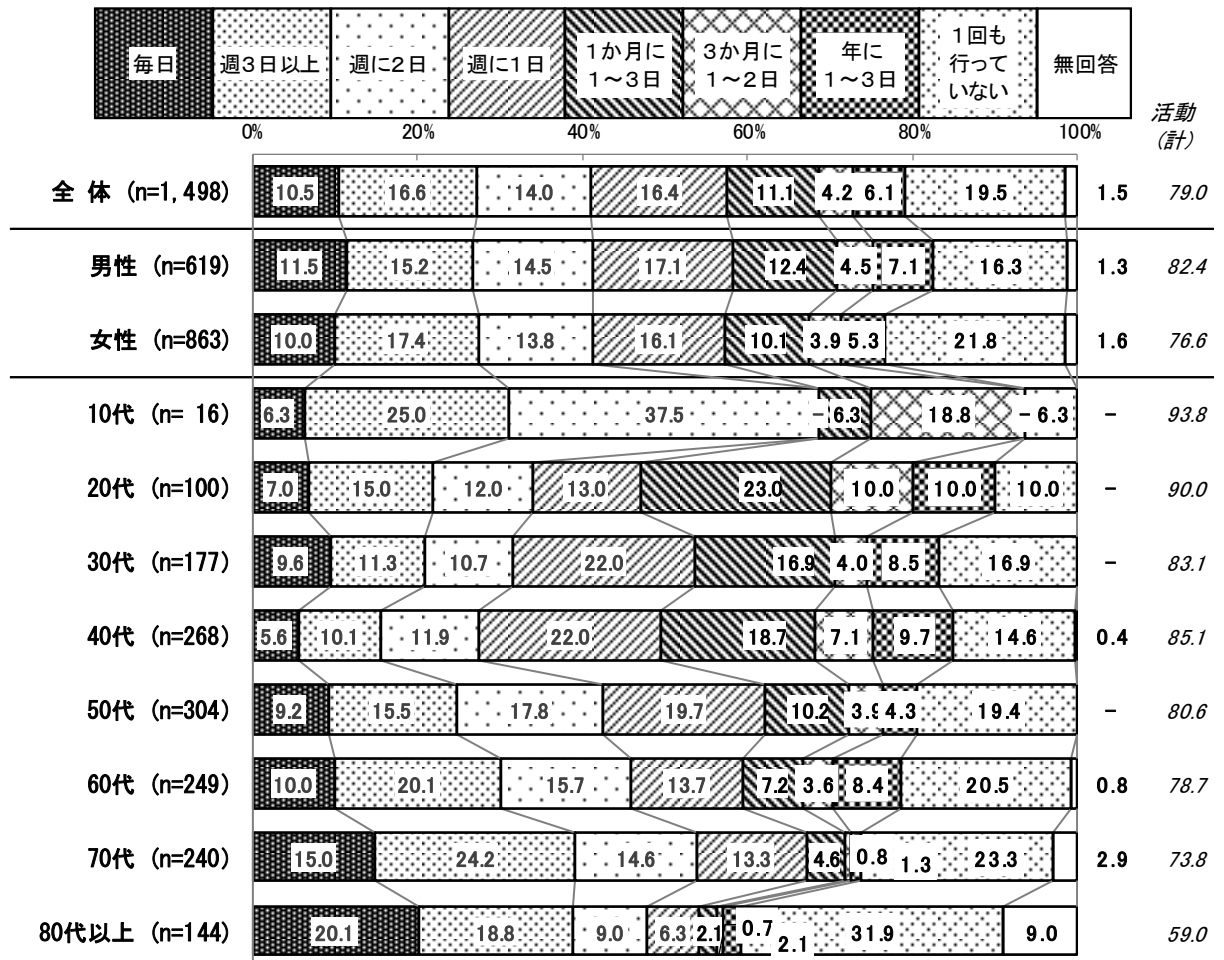
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

① 性・年齢別

性別で見ると、「週に1日」～「年に1～3日」が女性より男性の方が各々少しずつ高い。「活動(計)」は男性が82.4%、女性が76.6%である。

年齢別で見ると、回答数の少ない10代を除くと、40代から80代以上までは年代が上がるに連れ「毎日」、「週3日以上」が伸長している。一方、「1回も行っていない」も20代から80代以上で年代が上がるに連れ伸長している。80代以上では31.9%と高い。

図IV-16-1-3 スポーツを行う頻度(性・年齢別)

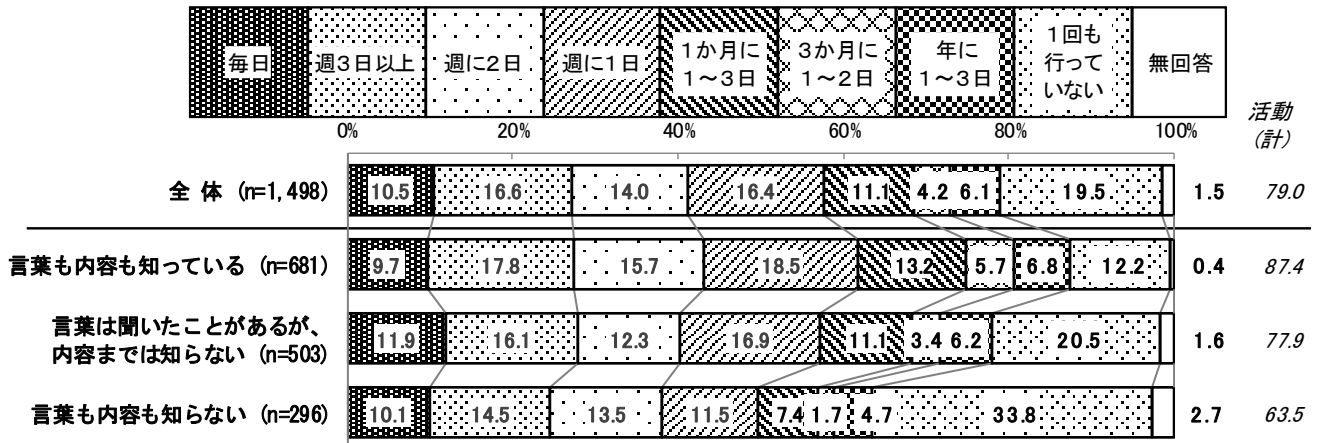


注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

② 「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別

「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別でみると、「1回も行っていない」は認知の程度が低くなるに連れ伸長している。「言葉も内容も知らない」層では33.8%を占める。

図IV-16-1-4 スポーツを行う頻度(「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」の認知別)



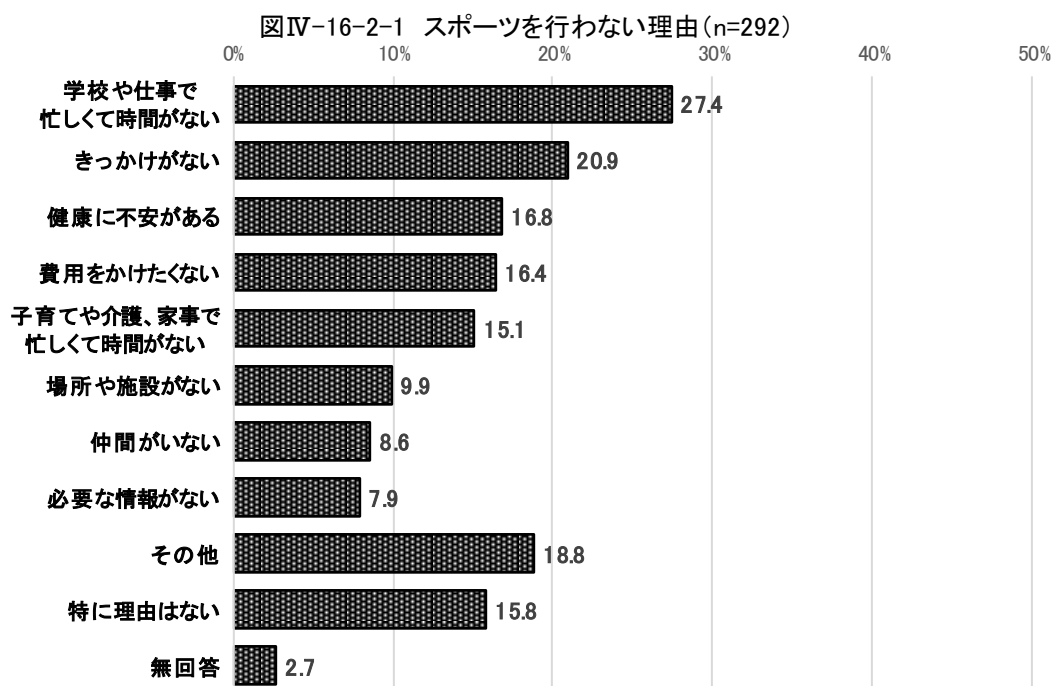
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

## (2) スポーツを行わない理由

問 44-1:あなたがスポーツを行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 44 で「1回も行っていない」と回答した方対象]

18 歳以上を対象に再集計した。「学校や仕事で忙しくて時間がない(27.4%)」、「きっかけがない(20.9%)」が 20%以上で、「特に理由はない」は 15.8%である。

平成 30 年の調査結果との比較は、文言変更や非聴取項目もあり、単純比較はできない。平成 30 年の「忙しくて時間がない」の 42.2%が目を惹くが、今回は「学校や仕事で忙しくて時間がない(27.4%)」、「子育てや介護で忙しくて時間がない(15.1%)」に分割されている。また、「その他」においても「時間がない」旨の記述があった。

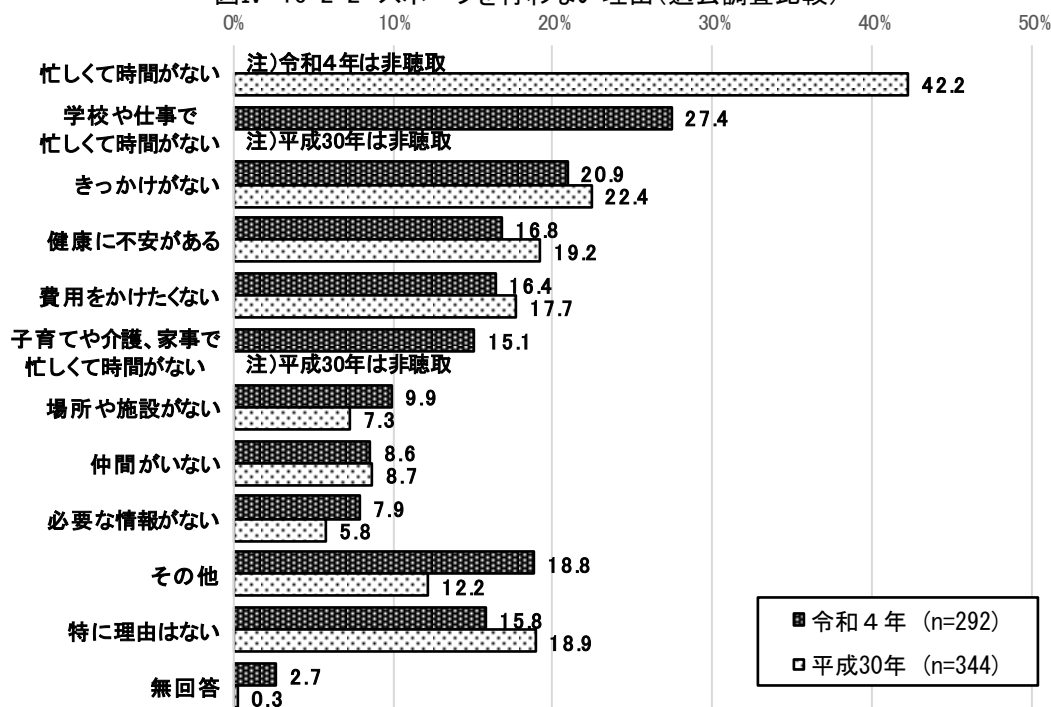


### 【その他の回答】

「コロナ禍の影響」、「高齢なので」、「体調不良」、「スポーツが苦手・嫌い」、「障がいがある・介護者がいない」、「妊娠中のため」、「仕事で動いているから」、「仕事で疲れている」、「時間がない」など

注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-16-2-2 スポーツを行わない理由(過去調査比較)



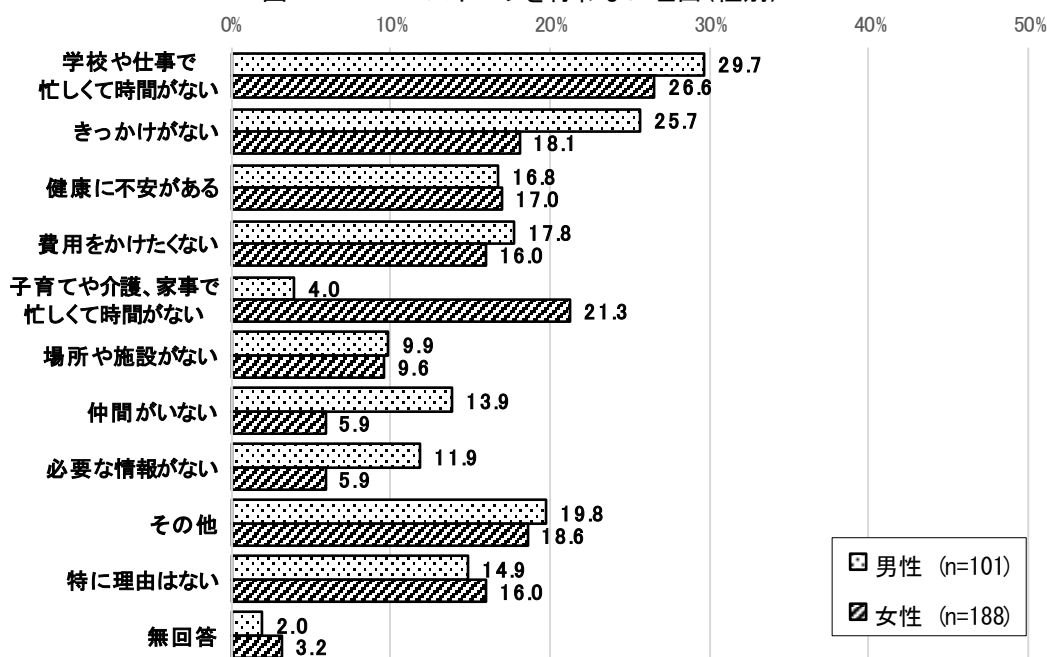
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

① 性・年齢別

性別では、「きっかけがない」、「仲間がない」、「必要な情報がない」は女性より男性の方が5ポイント以上高い。女性では「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」が男性より17.3ポイント高い。

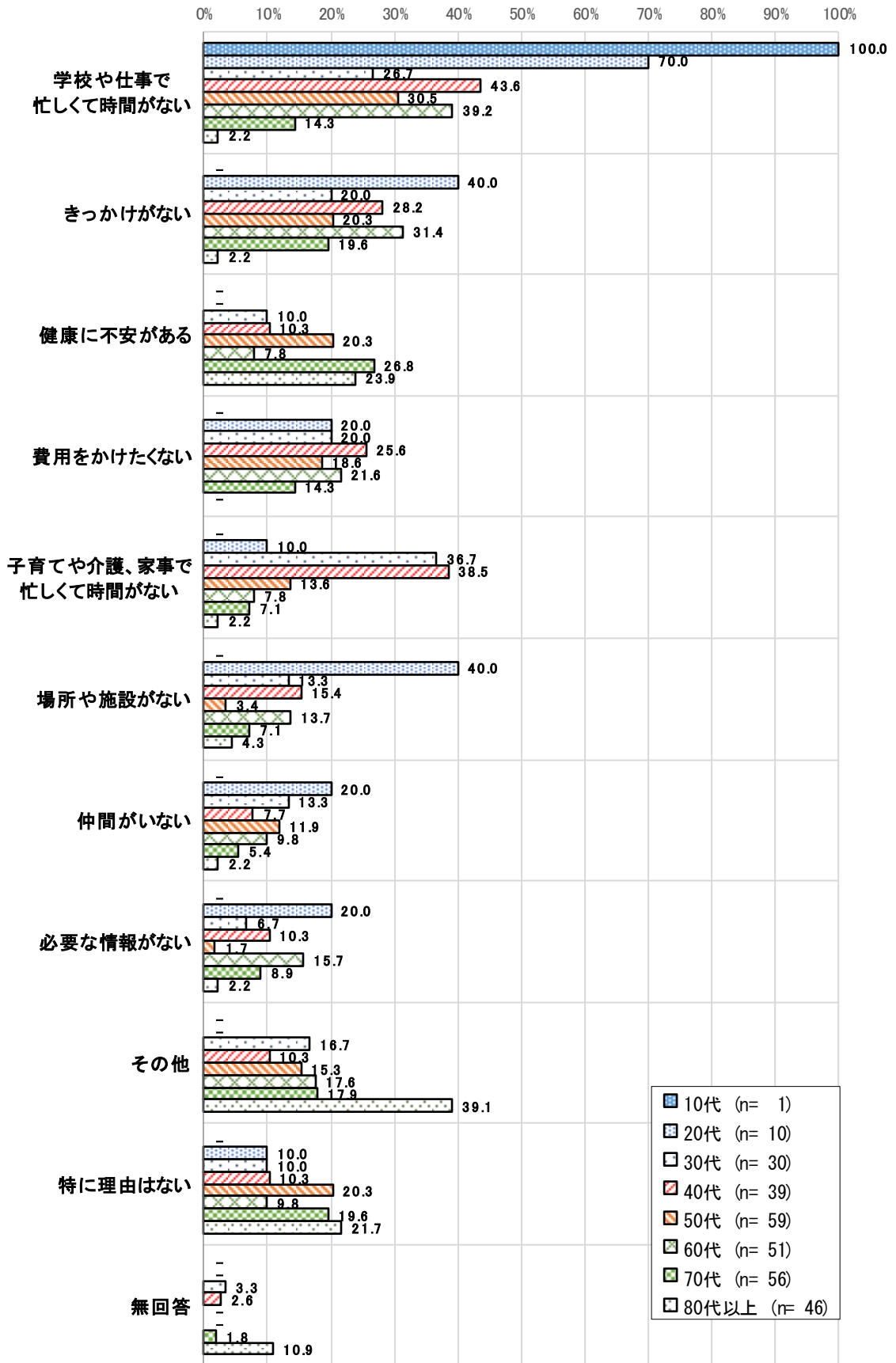
年齢別でみると、回答数の少ない 10 代・20 代を除くと、「学校や仕事で忙しくて時間がない」は 40 代から 60 代の計3層が 30%以上で高い。「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」は、30 代・40 代が 30%以上で高い。

図IV-16-2-3 スポーツを行わない理由(性別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-16-2-4 スポーツを行わない理由(年齢別)

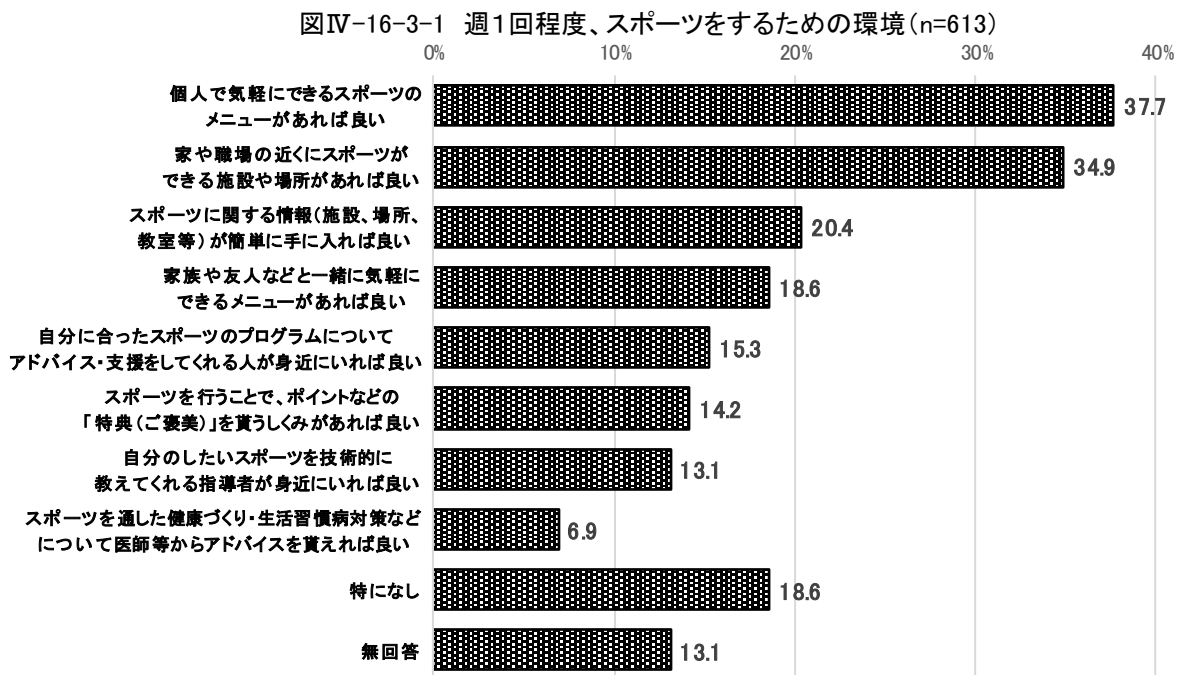


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### (3) 週1回程度、スポーツをするための環境

問 44-2:あなたは、どのような環境が整えば、週1回程度、スポーツをすると思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 44 で「週に1日未満」と回答した方対象]

18 歳以上を対象に再集計した。「個人で気軽にできるスポーツのメニューがあれば良い」が 37.7%で最も高い。次いで「家や職場の近くにスポーツができる施設や場所があれば良い」が 34.9%で、この2項目のみ 30%以上である。「特になし」は 18.6%である。



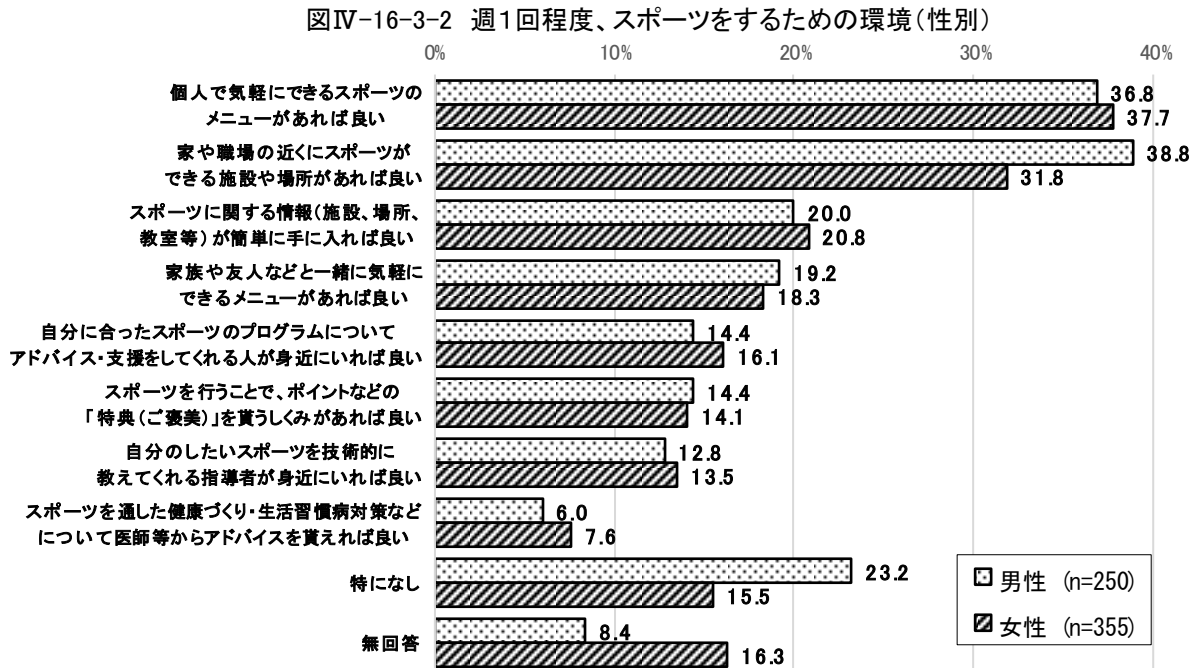
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。



① 性・年齢別

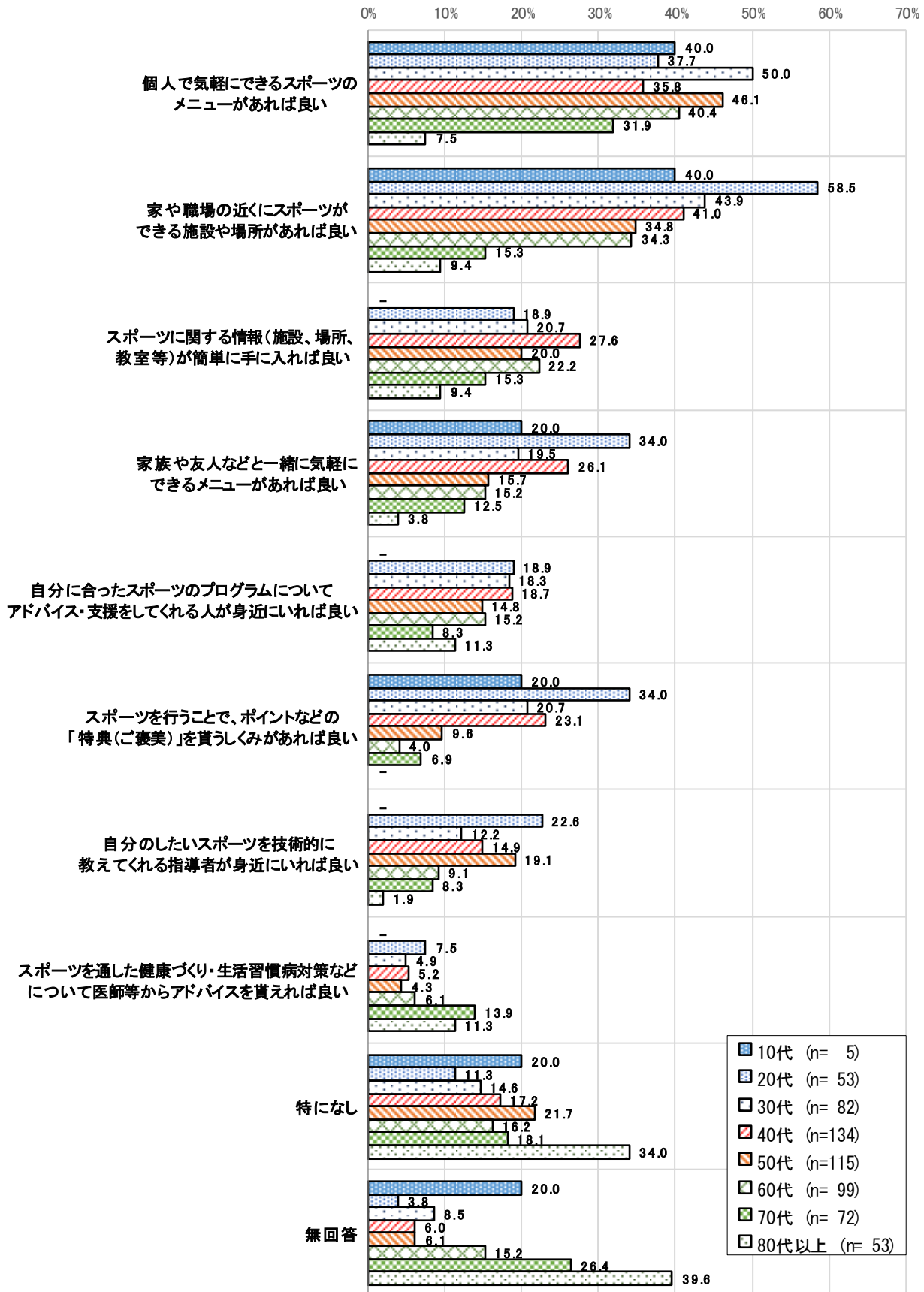
性別でみると、「家や職場の近くにスポーツができる施設や場所があれば良い」は、男性 38.8%に対し女性は 31.8%であり、男性の方が 7.0 ポイント高く、男性での最上位項目である。また、「特になし」も男性の方が 7.7 ポイント高い。

年齢別でみると、回答数の少ない 10 代を除くと、「家や職場の近くにスポーツができる施設や場所があれば良い」、「家族や友人などと一緒に気軽にできるメニューがあれば良い」、「スポーツを行うことで、ポイントなどの「特典(ご褒美)」を貰うしくみがあれば良い」は、20 代が他層より5ポイント以上高い。



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-16-3-3 週1回程度、スポーツをするための環境(年齢別)



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

## 17 芸術・文化や生涯学習に対する意識や活動

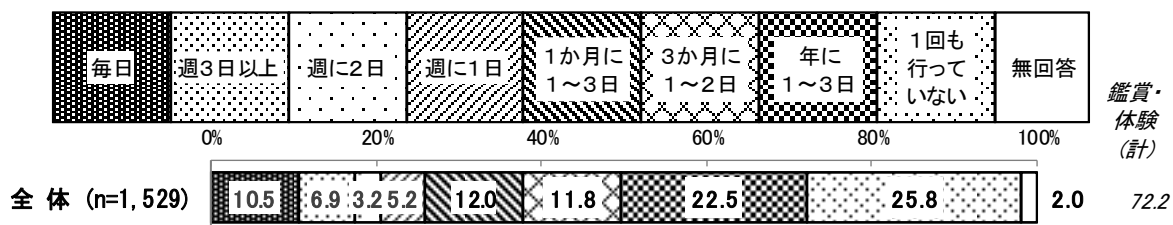
### (1) 芸術・文化の鑑賞・体験頻度

問 45: あなたは、市内外を問わずこの1年間で、芸術・文化の鑑賞・体験をどのくらい行っていますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

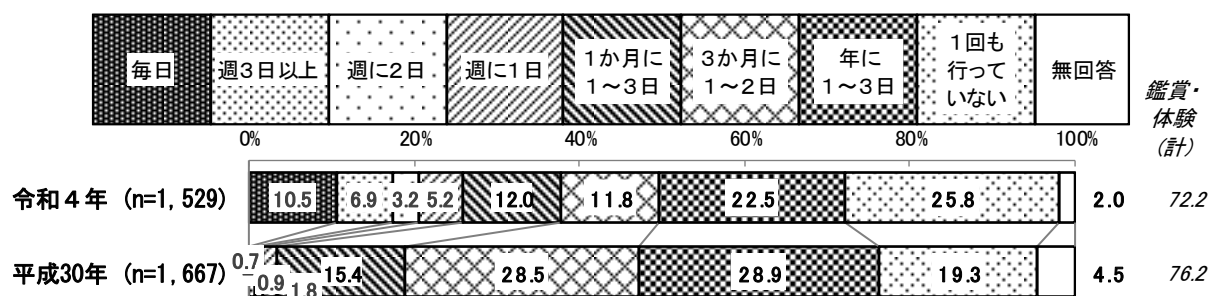
鑑賞・体験頻度は「1回も行っていない」が 25.8%で最も高い。次に「年に1～3日(22.5%)」が続き、「鑑賞・体験(計)」は 72.2%である。

平成 30 年の調査結果との比較は、非聴取項目もあり、単純比較はできない。しかし、「週に1日」以上は伸長している。しかし、「1回も行っていない」も 6.5 ポイント伸長しているため、「鑑賞・体験(計)」は 4.0 ポイント低下している。

図IV-17-1-1 芸術・文化の鑑賞・体験頻度



図IV-17-1-2 芸術・文化の鑑賞・体験頻度(過去調査比較)



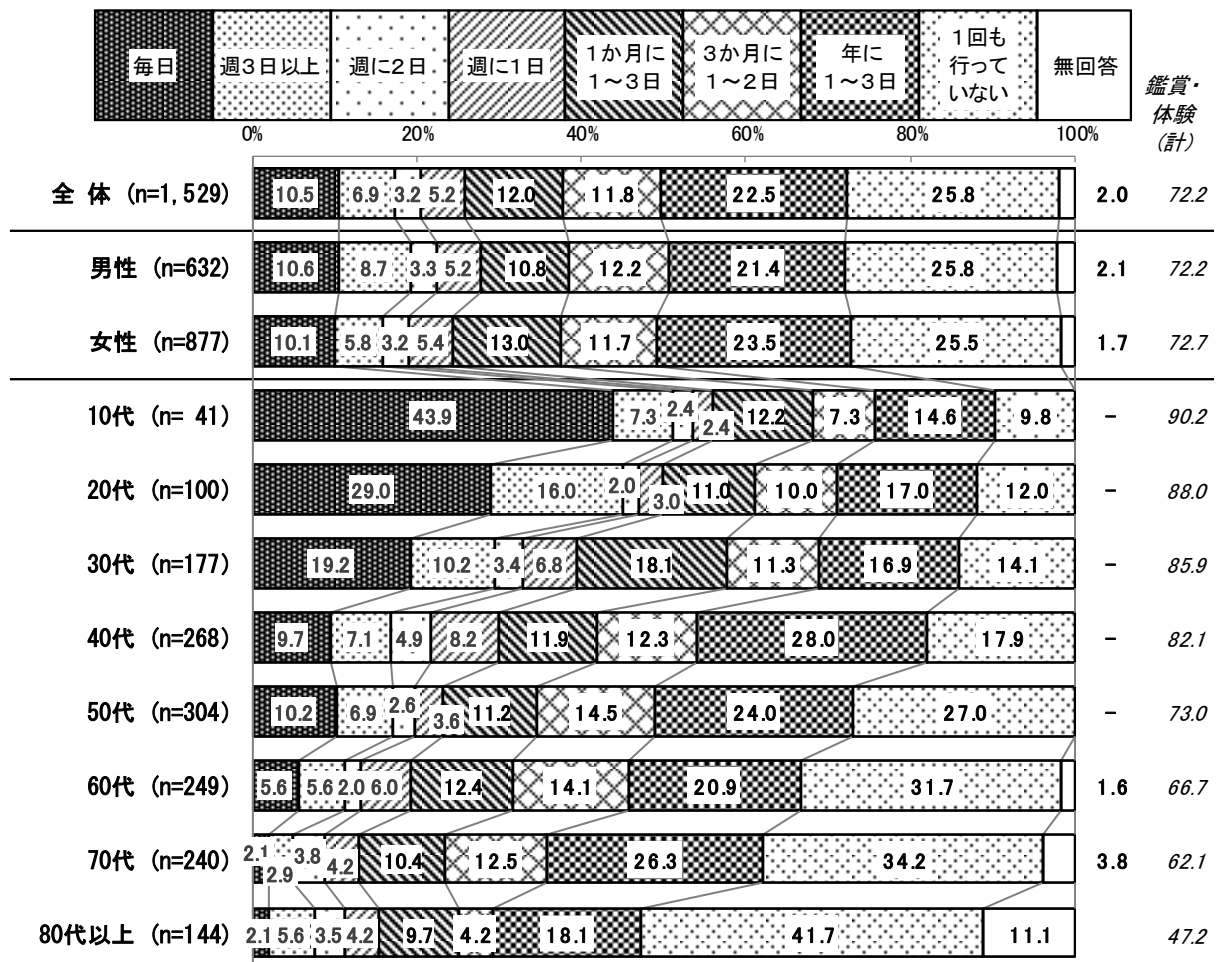
注)平成 30 年は「毎日」は非聴取

① 性・年齢別

性別でみると、「毎日」、「週3日以上」、「週に2日」は若干男性の方が高いものの、傾向としては男女ほぼ同様である。

年齢別でみると、「毎日」は年代が上がるに連れ低下し、「1回も行っていない」は年代が上がるに連れ伸長している。「鑑賞・体験(計)」では、10代が90.2%であるのに対し、80代以上では47.2%まで低下している。

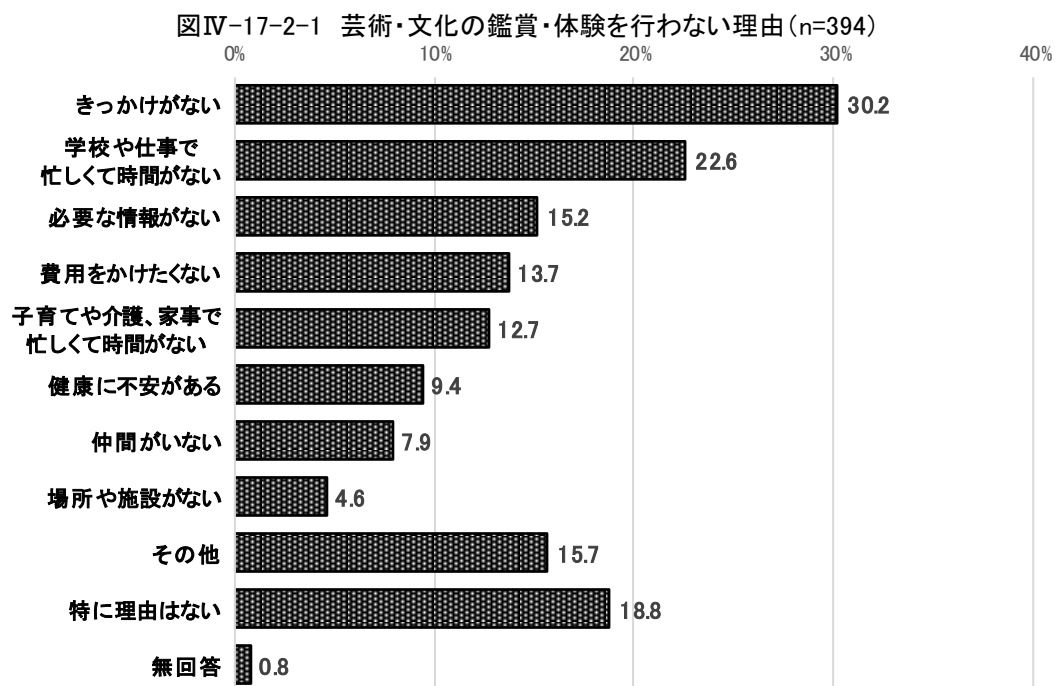
図IV-17-1-3 芸術・文化の鑑賞・体験頻度(性・年齢別)



## (2) 芸術・文化の鑑賞・体験を行わない理由

問 45-1:あなたが芸術・文化の鑑賞・体験を行わないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 45 で「1回も行っていない」と回答した方対象]

最上位項目は「きっかけがない(30.2%)」。「学校や仕事で忙しくて時間がない」が 22.6%で続いている。「特に理由はない」も 18.8%存在する。



### 【その他の回答】

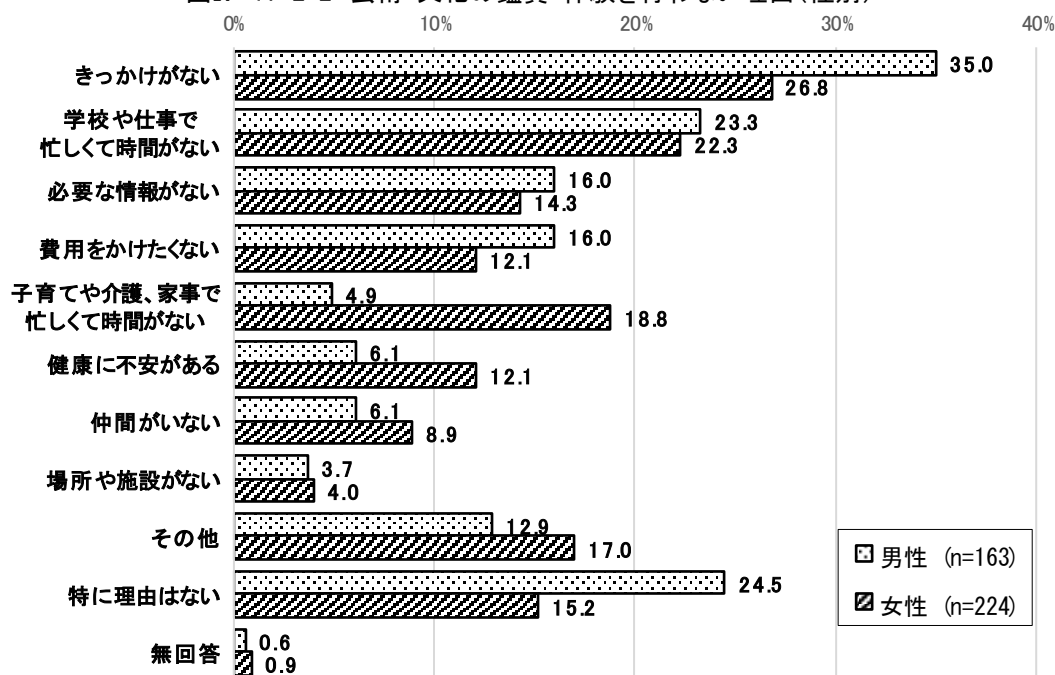
「コロナ禍の影響」、「高齢のため」、「障がいがあるため」、「看護・介護のため」、「興味がない・他に好きなことがある・興味あるものがない」、「お金がない」、「疲れている」など

### ① 性・年齢別

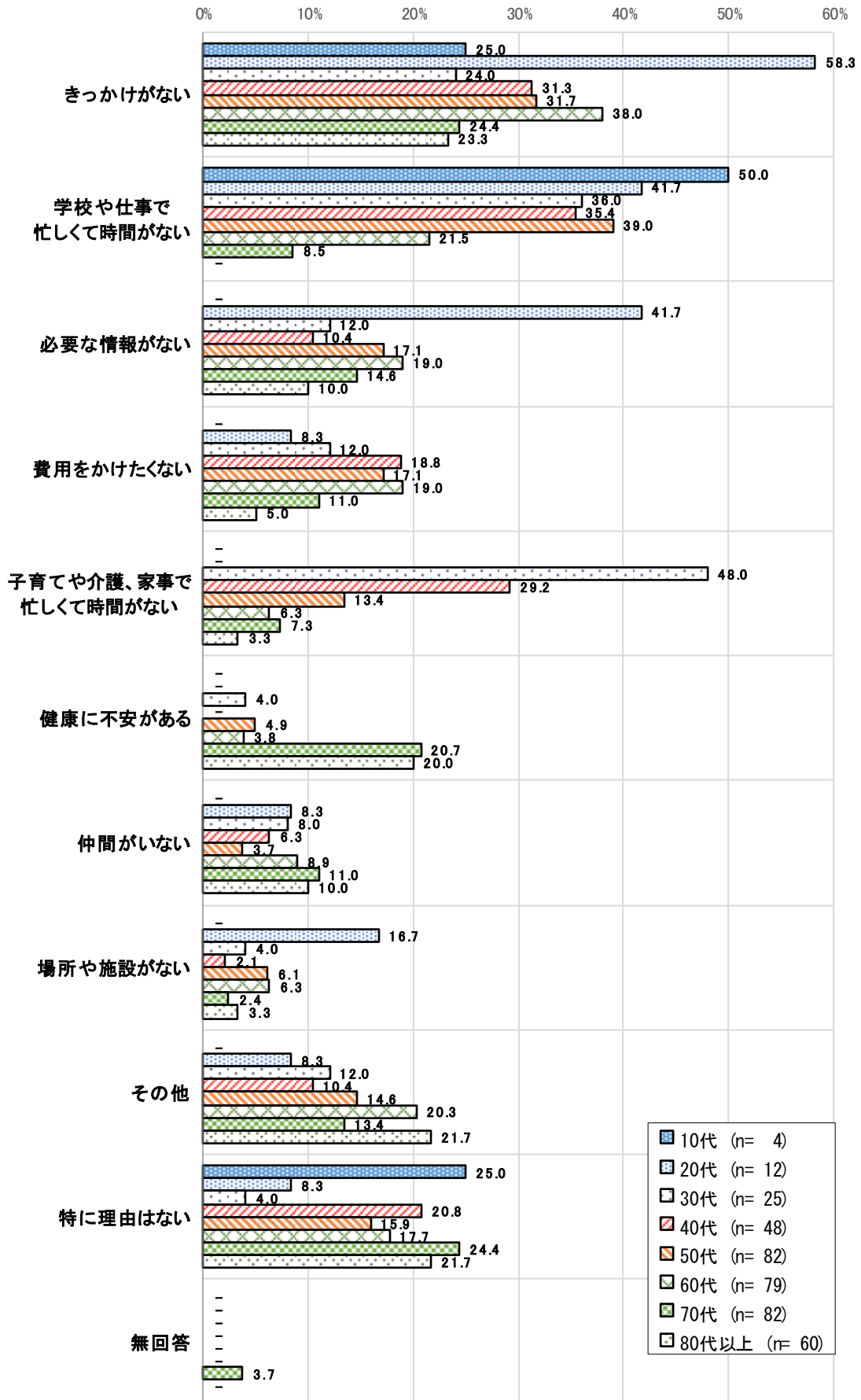
性別でみると、「きっかけがない」は男性の方が 8.2 ポイント高く 35.0%である。「特に理由はない」も同様に男性の方が 9.3 ポイント高く 24.5%である。逆に、「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」は女性の方が 13.9 ポイント高く 18.8%である。

年齢別でみると、回答数が少ない 10代・20代・30代を除くと、「きっかけがない」は、40代(31.3%)、50代(31.7%)、60代(38.0%)が 30%以上で高い。「学校や仕事で忙しくて時間がない」は、40代(35.4%)、50代(39.0%)が 30%以上で高い。「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」は 40代が 29.2%である。

図IV-17-2-2 芸術・文化の鑑賞・体験を行わない理由(性別)



図IV-17-2-3 芸術・文化の鑑賞・体験を行わない理由(年齢別)



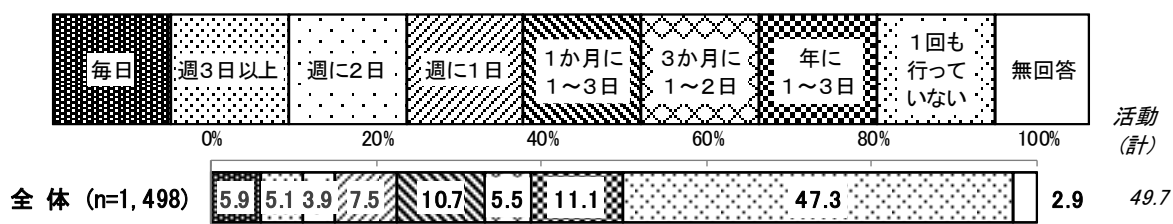
### (3) 生涯学習活動を行う頻度

問 46: あなたは、この1年間で何らかの生涯学習活動(スポーツを除く)をどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

18歳以上を対象に再集計した。「1回も行っていない」が47.3%である。活動を行っている中では、「年に1~3日(11.1%)」、「1か月に1~3日(10.7%)」が10%を超える程度で、「活動(計)」は49.7%である。

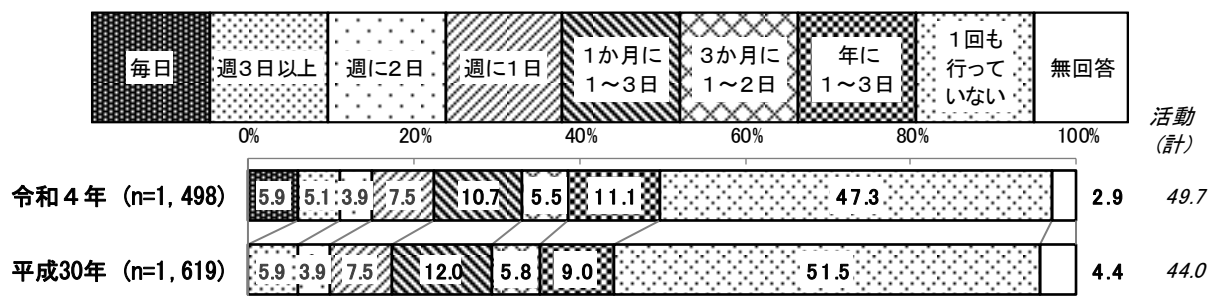
平成30年の調査結果と比較すると、「活動(計)」が5.7ポイント伸長している。

図IV-17-3-1 生涯学習活動を行う頻度

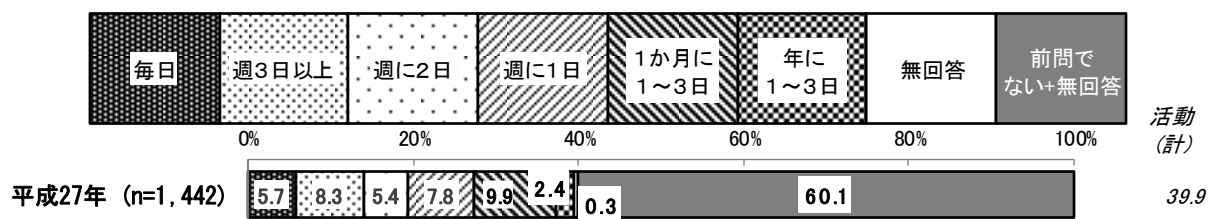


注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

図IV-17-3-2 生涯学習活動を行う頻度(過去調査比較)



注)平成30年は「毎日」は非聴取



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

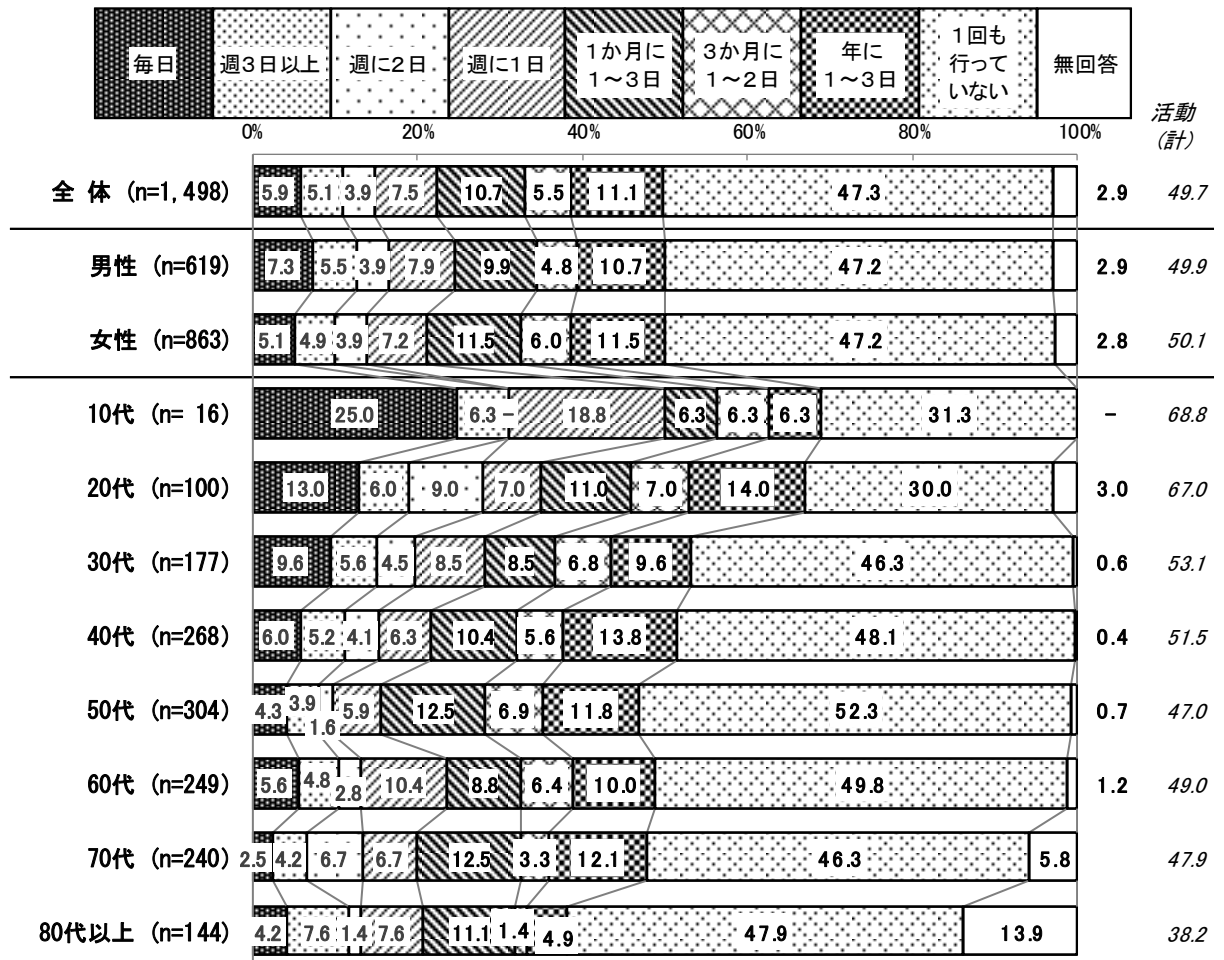


① 性・年齢別

性別でみると、「週に1日」以上は男性の方が高いが、「活動(計)」では差がなく、男性 49.9%、女性 50.1%である。

年齢別でみると、回答数が少ない10代を除くと、概ねの傾向として、頻度が多い項目は年代が上がるに連れ低下し、「1回も行っていない」は伸長する。「活動(計)」では20代が67.0%で最も高く、唯一60%以上である。

図IV-17-3-3 生涯学習活動を行う頻度(性・年齢別)



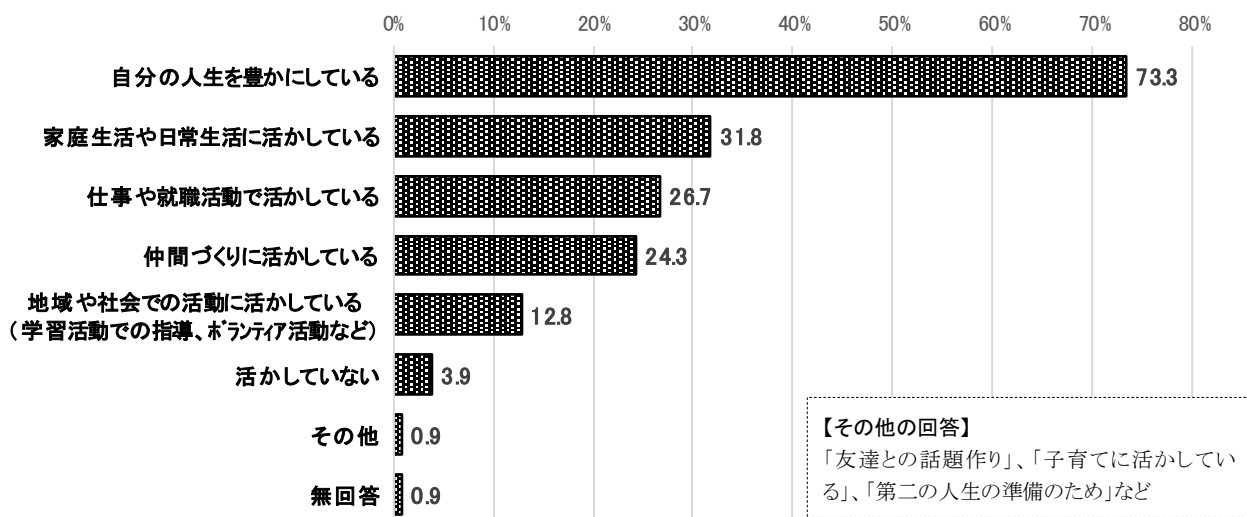
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

#### (4) 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無

問 46-1: あなたは生涯学習(スポーツを除く)の成果をどのように活かしていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。[問 46 で「年1回は生涯学習を行った」を回答した方対象]

18 歳以上を対象に再集計した。生涯学習の成果の活かし方として「自分の人生を豊かにしている」が 73.3%である。続く「家庭生活や日常生活に活かしている(31.8%)」も 30%以上である。

図IV-17-4-1 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無(n=745)



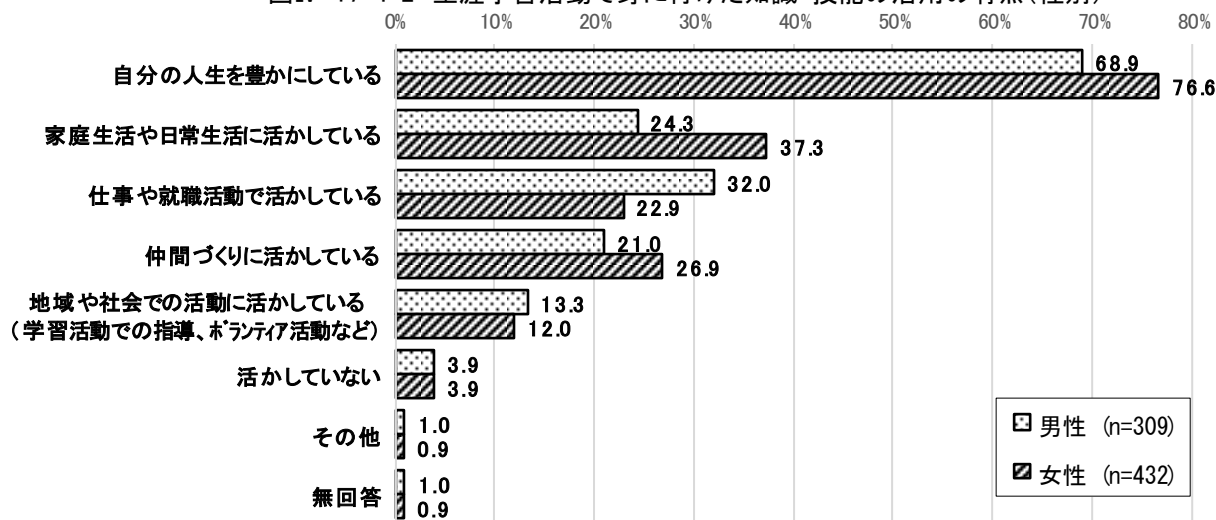
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

#### ① 性・年齢別

性別でみると、「自分の人生を豊かにしている(7.7 ポイント差)」、「家庭生活や日常生活に活かしている(13.0 ポイント差)」、「仲間づくりに活かしている(5.9 ポイント差)」で女性の方が5ポイント以上高い。「仕事や就職活動で活かしている」は男性の方が 9.1 ポイント高い。

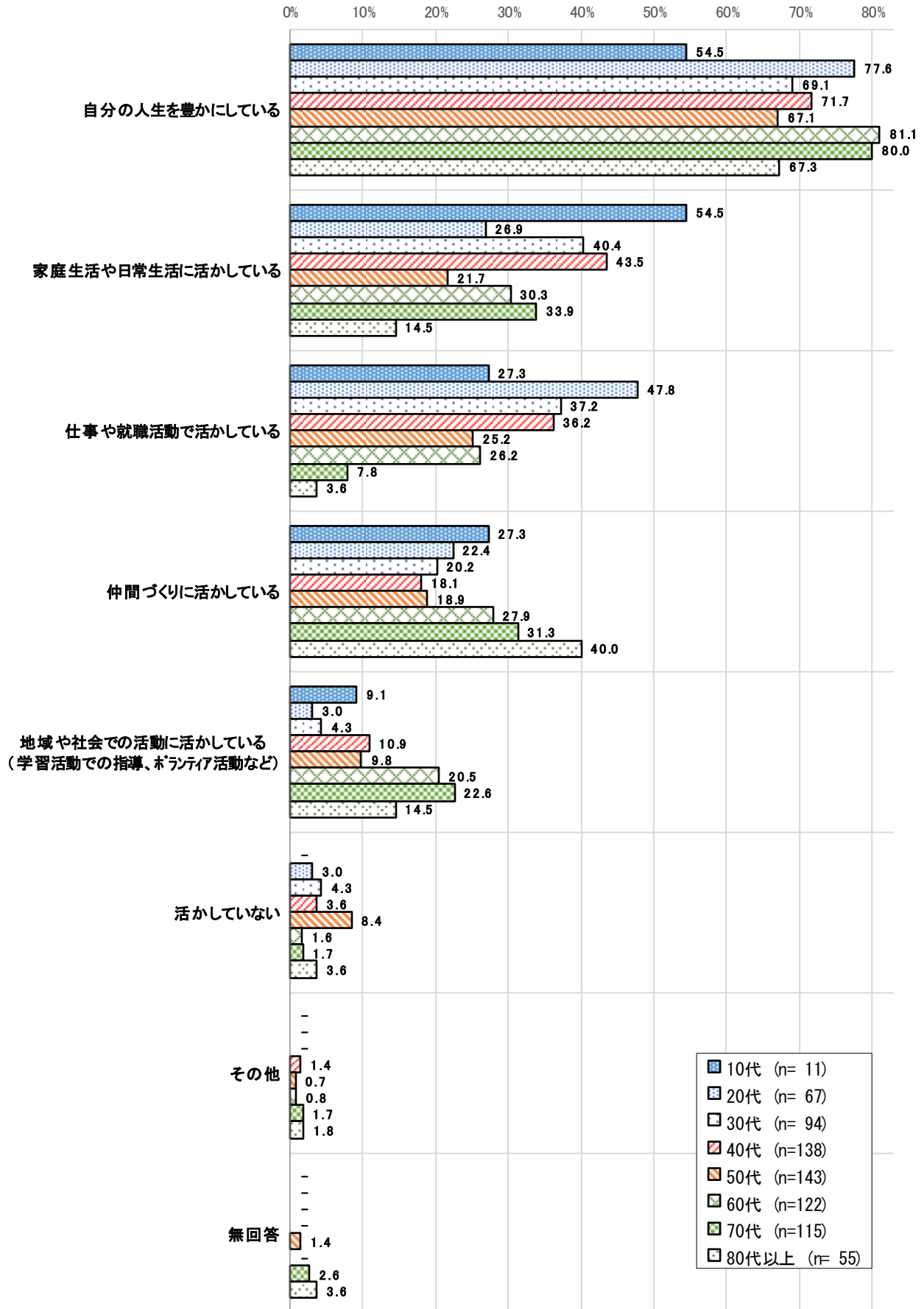
年齢別でみると、回答数が少ない 10 代を除くと、「自分の人生を豊かにしている」は 60 代(81.1%)、70 代(80.0%)が 80%以上で高い。「仕事や就職活動で活かしている」は 20 代(47.8%)と 80 代以上(3.6%)では 44.2 ポイントもの差がある。

図IV-17-4-2 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無(性別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-17-4-3 生涯学習活動で身に付けた知識・技能の活用の有無(年齢別)



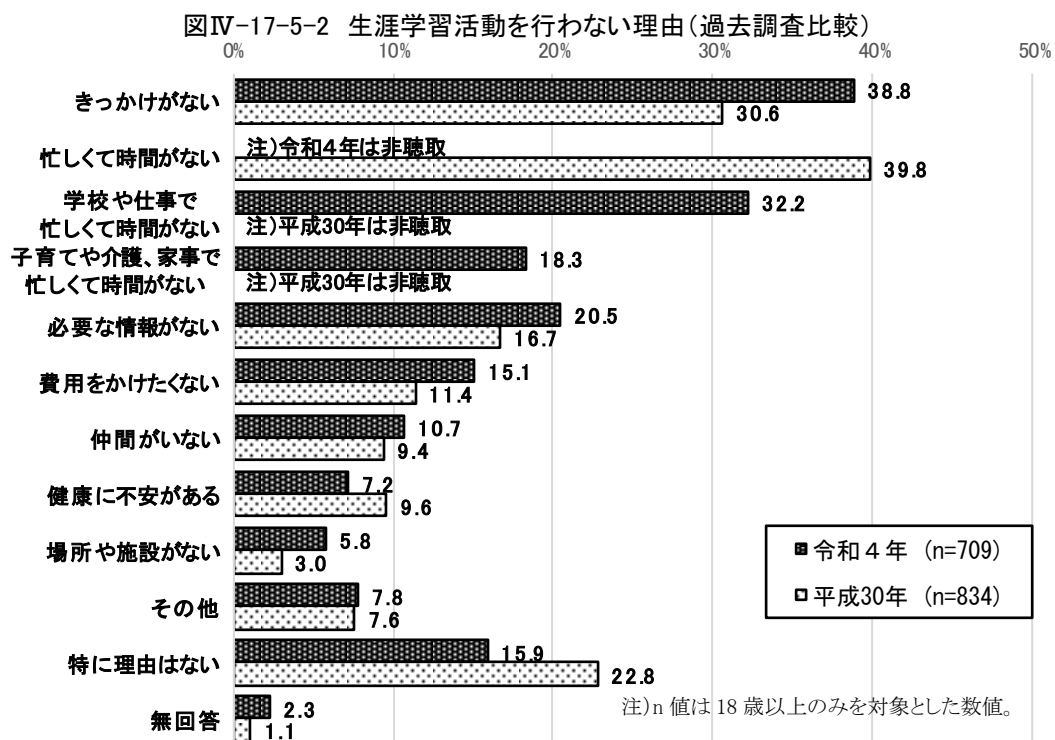
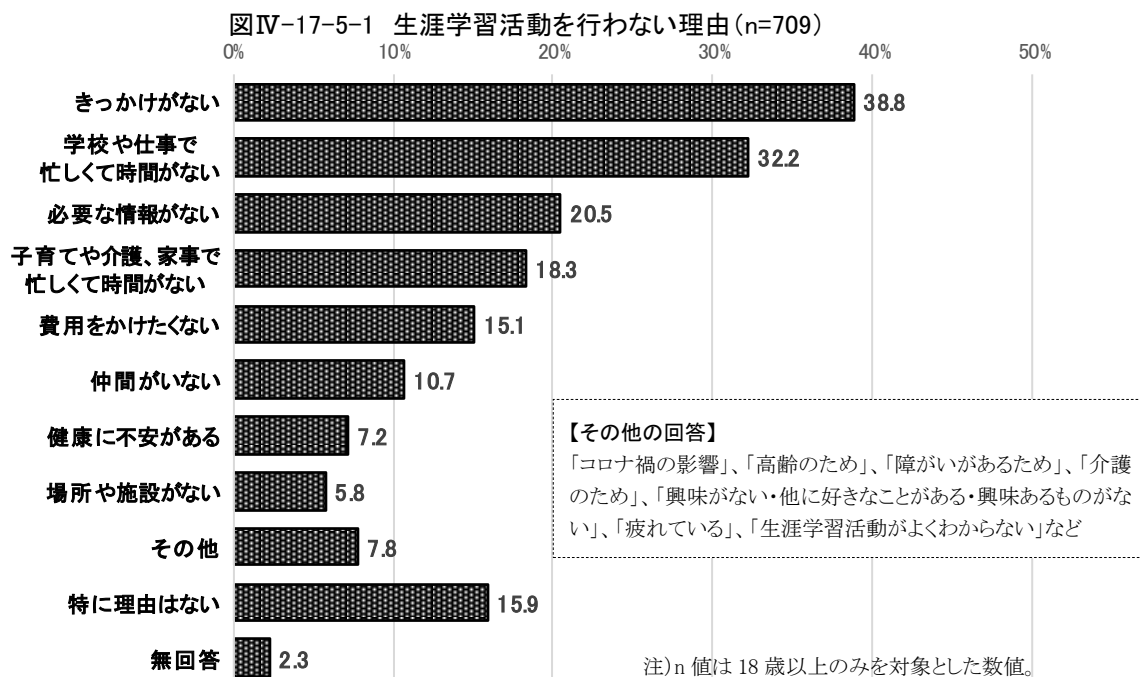
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

(5) 生涯学習活動を行わない理由

問 46-2:あなたが生涯学習活動(スポーツを除く)を行わないのはどのような理由からですか。**あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。**[問 46 で「1回も行っていない」と回答した方対象]

18歳以上を対象に再集計した。「きっかけがない(38.8%)」が最上位項目である。

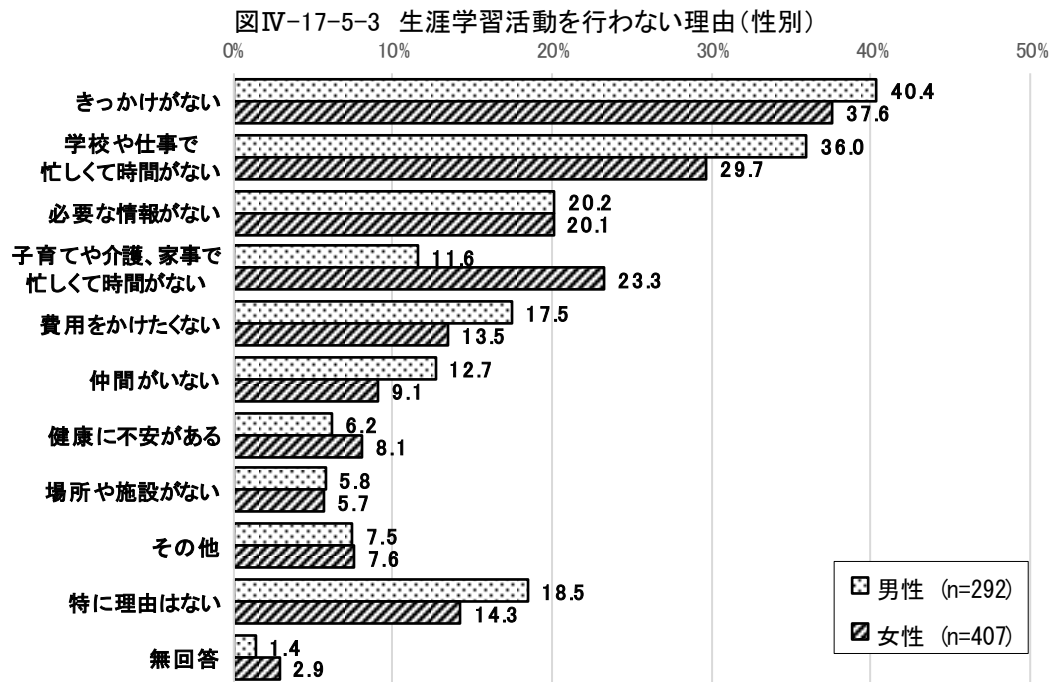
平成30年の調査結果との比較は、非聴取項目もあり、単純比較はできない。平成30年の「忙しくて時間がない」の39.8%が目を惹くが、今回は「学校や仕事で忙しくて時間がない(32.2%)」、「子育てや介護で忙しくて時間がない(18.3%)」に分割されている。



### ①性・年齢別

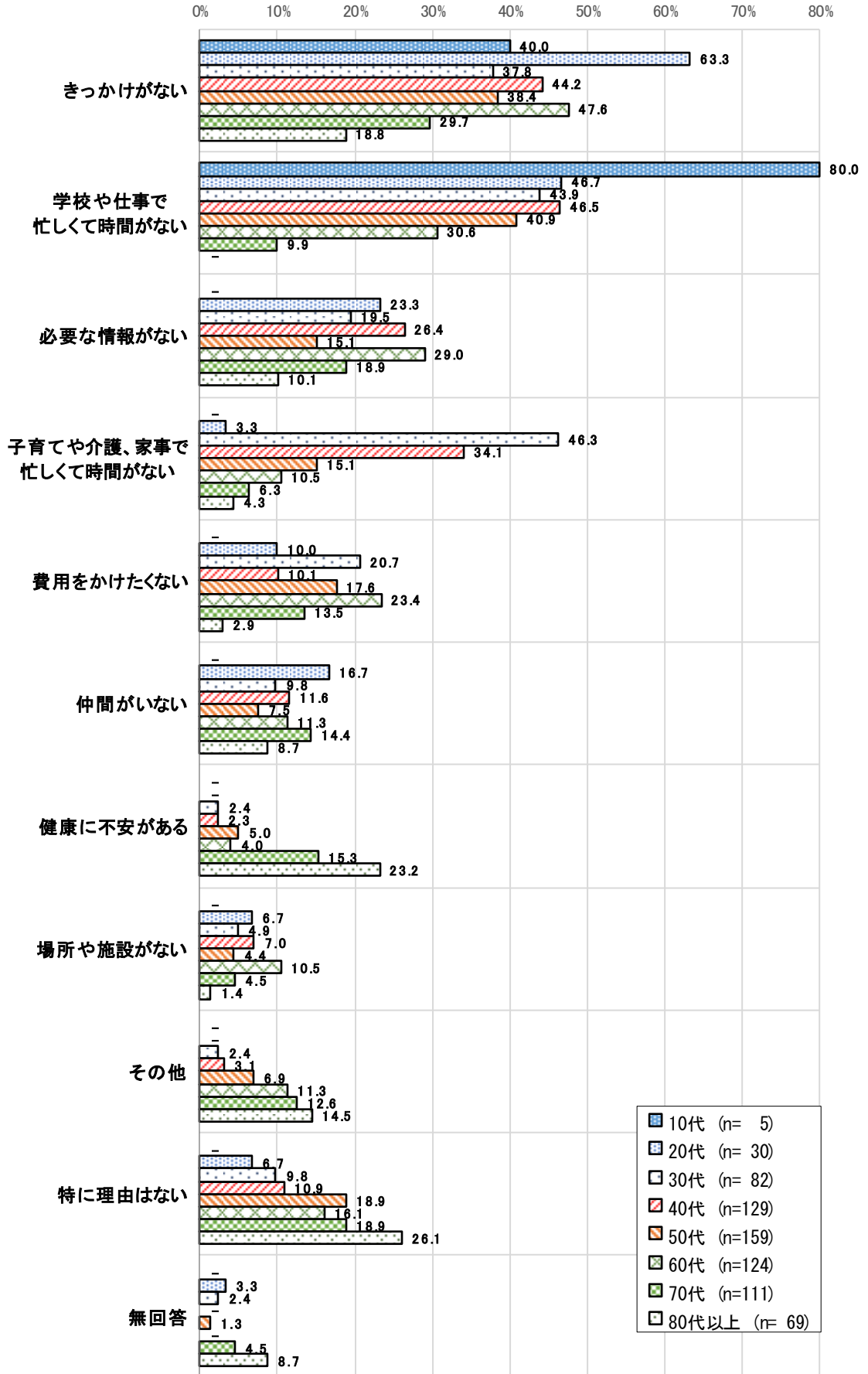
性別でみると、「学校や仕事で忙しくて時間がない」は男性の方が 6.3 ポイント高く、「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」は女性の方が 11.7 ポイント高い。

年齢別でみると、回答数が少ない 10 代を除くと、「きっかけがない」は 20 代(63.3%)と 80 代以上(18.8%)では 44.5 ポイントもの差がある。「子育てや介護、家事で忙しくて時間がない」は 30 代(46.3%)、40 代(34.1%)が他層比較で高い。「健康に不安がある」は、60 代以下は5%以下だが、70 代(15.3%)、80 代以上(23.2%)で伸長している。



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

図IV-17-5-4 生涯学習活動を行わない理由(年齢別)



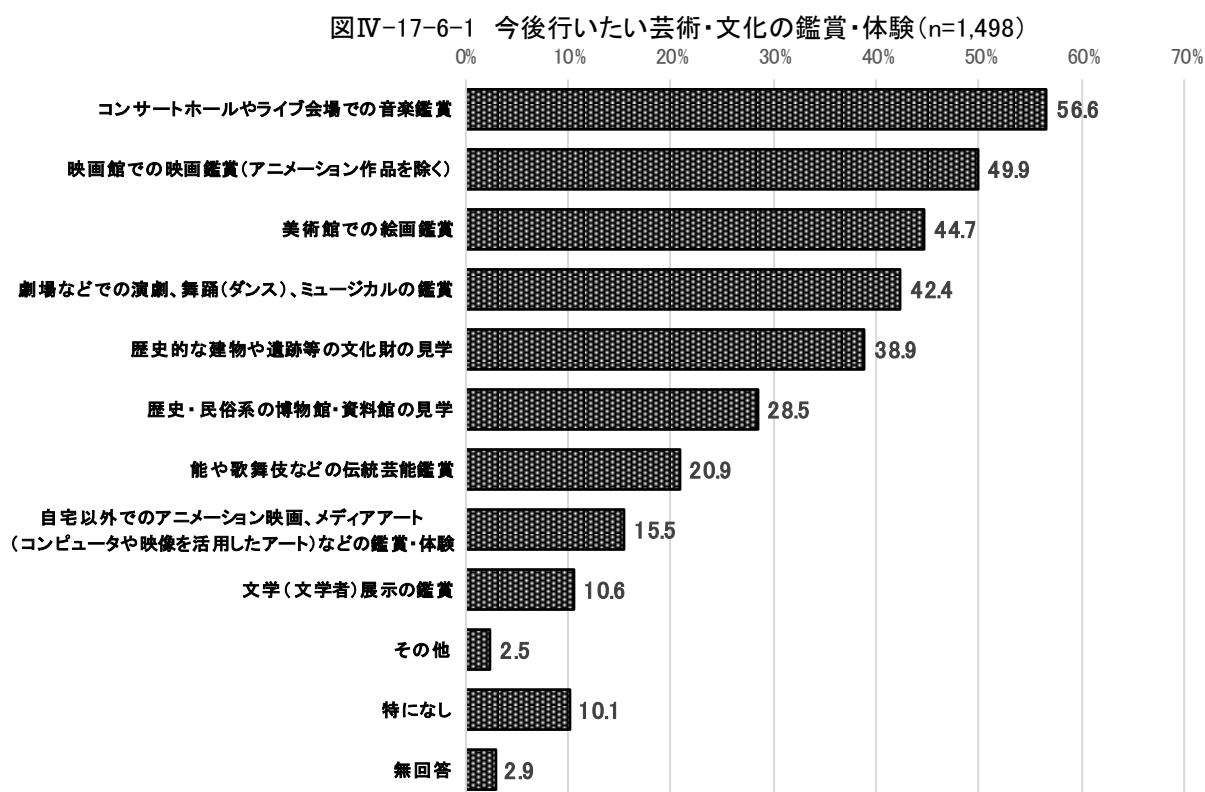
注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

## (6) 今後行いたい活動

問 47: 今後あなたが行いたい、①芸術・文化の鑑賞・体験、②生涯学習活動の内容はどのようなものですか。それぞれあてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

### 【芸術・文化の鑑賞・体験】

18歳以上を対象に再集計した。「コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞」が56.6%で最も高い。次いで「映画館での映画鑑賞(アニメーション作品を除く)(49.9%)」、「美術館での絵画鑑賞(44.7%)」、「劇場などでの演劇、舞踊(ダンス)、ミュージカルの鑑賞(42.4%)」などが高い。



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

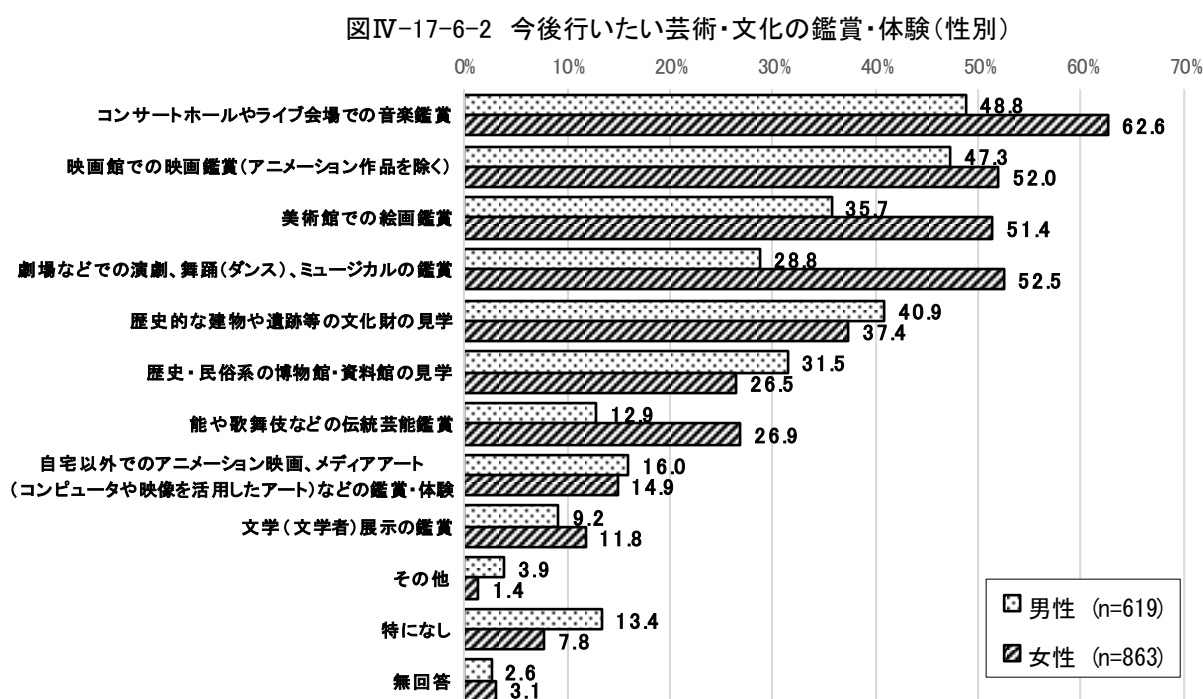
### 【その他の回答】

「コーラス・楽器演奏」、「写真展」、「寺社巡りなどの見学」、「読書」、「子供と一緒に学べる鑑賞会」など

### ① 性・年齢別

性別でみると、女性の方が高い項目が目立つ。「劇場などでの演劇、舞踊(ダンス)、ミュージカルの鑑賞」は、男性が 28.8%に対し、女性は 52.5%で 23.7 ポイントの差がある。それ以外では「美術館での絵画鑑賞(15.7 ポイント差)」、「能や歌舞伎などの伝統芸能鑑賞(14.0 ポイント差)」、「コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞(13.8 ポイント差)」が男性より女性の方が 10 ポイント以上高い。

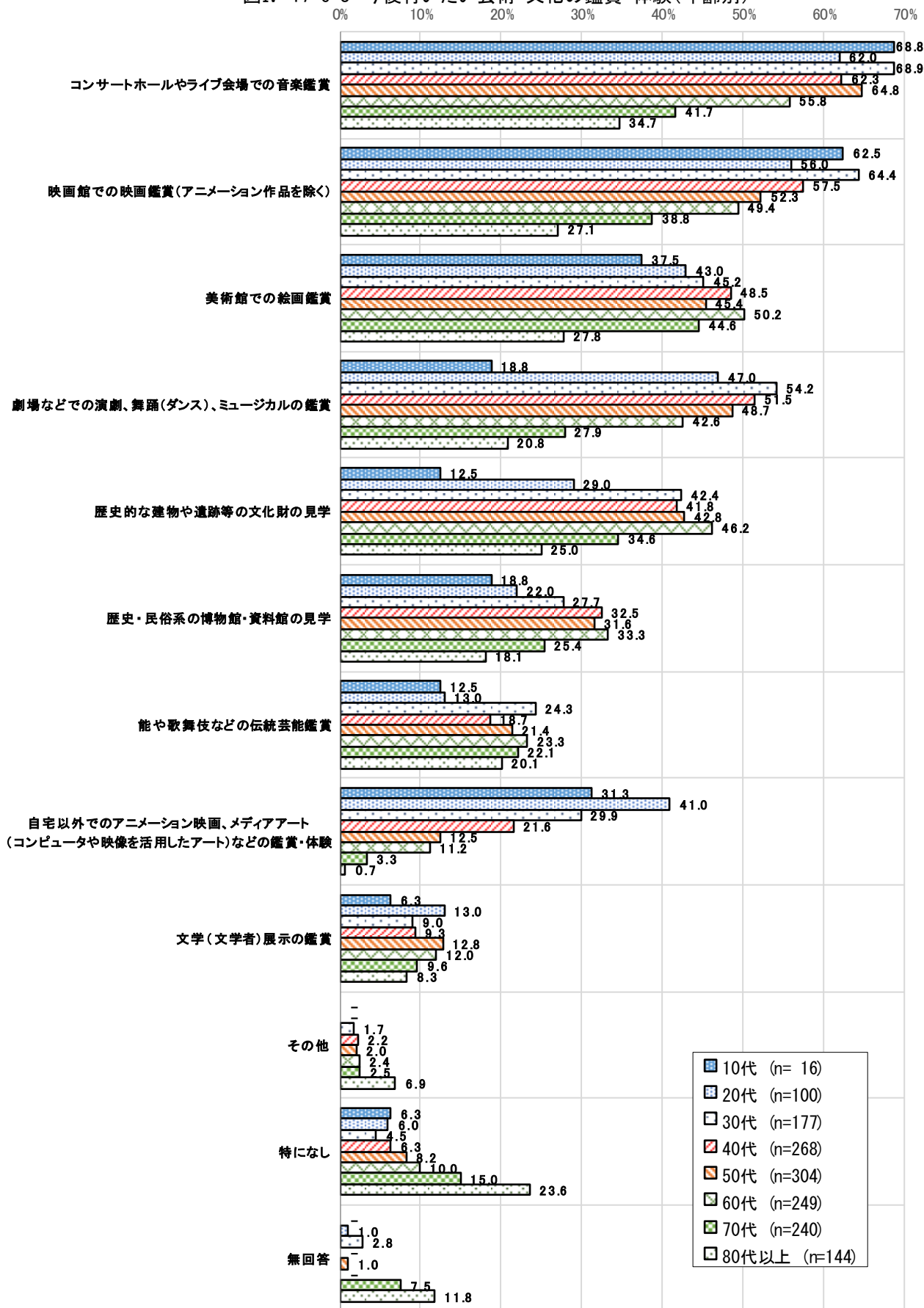
年齢別でみると、回答数が少ない 10 代を除くと、全体での上位4項目については 20 代から 60 代までの計5層は一樣に高い傾向がある。そのうち、20 代は「歴史的な建物や遺跡等の文化財の見学」、「歴史・民俗系の博物館・資料館の見学」、「能や歌舞伎などの伝統芸能鑑賞」の3項目では他層比較で低くなる。代わりに「自宅以外でのアニメーション映画、メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート)などの鑑賞・体験」は 20 代が 41.0%で最も高い。



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。



図IV-17-6-3 今後行いたい芸術・文化の鑑賞・体験(年齢別)

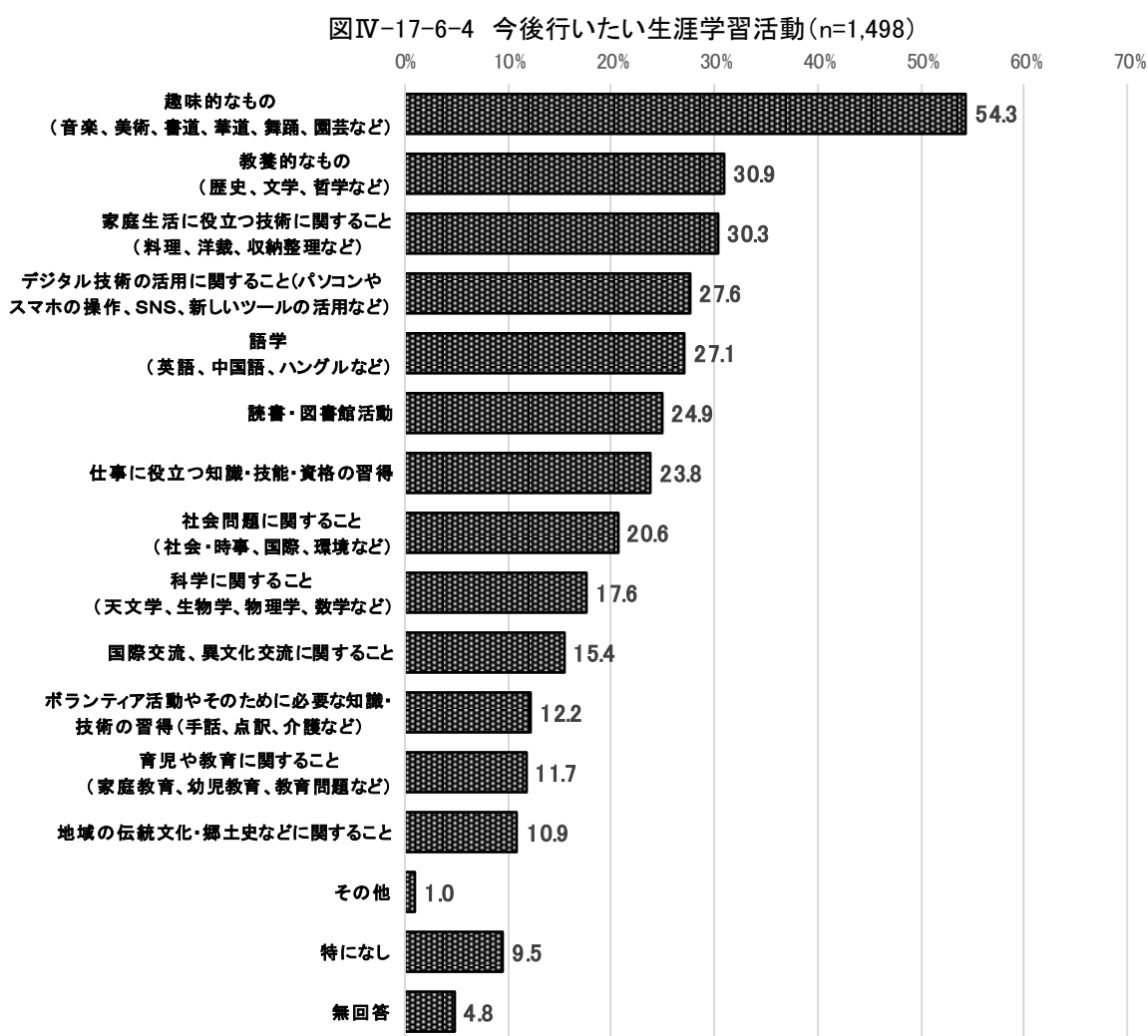


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

## 【生涯学習活動】

18歳以上を対象に再集計した。「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)(54.3%)」が過半数で最も高い。「教養的なもの(歴史、文学、哲学など)(30.9%)」、「家庭生活に役立つ技術に関すること(料理、洋裁、収納整理など)(30.3%)」が30%以上で続く。

過去の調査は選択肢が異なるため直接的な比較はできないが、「趣味的なもの」がダントツに高いことは共通している。



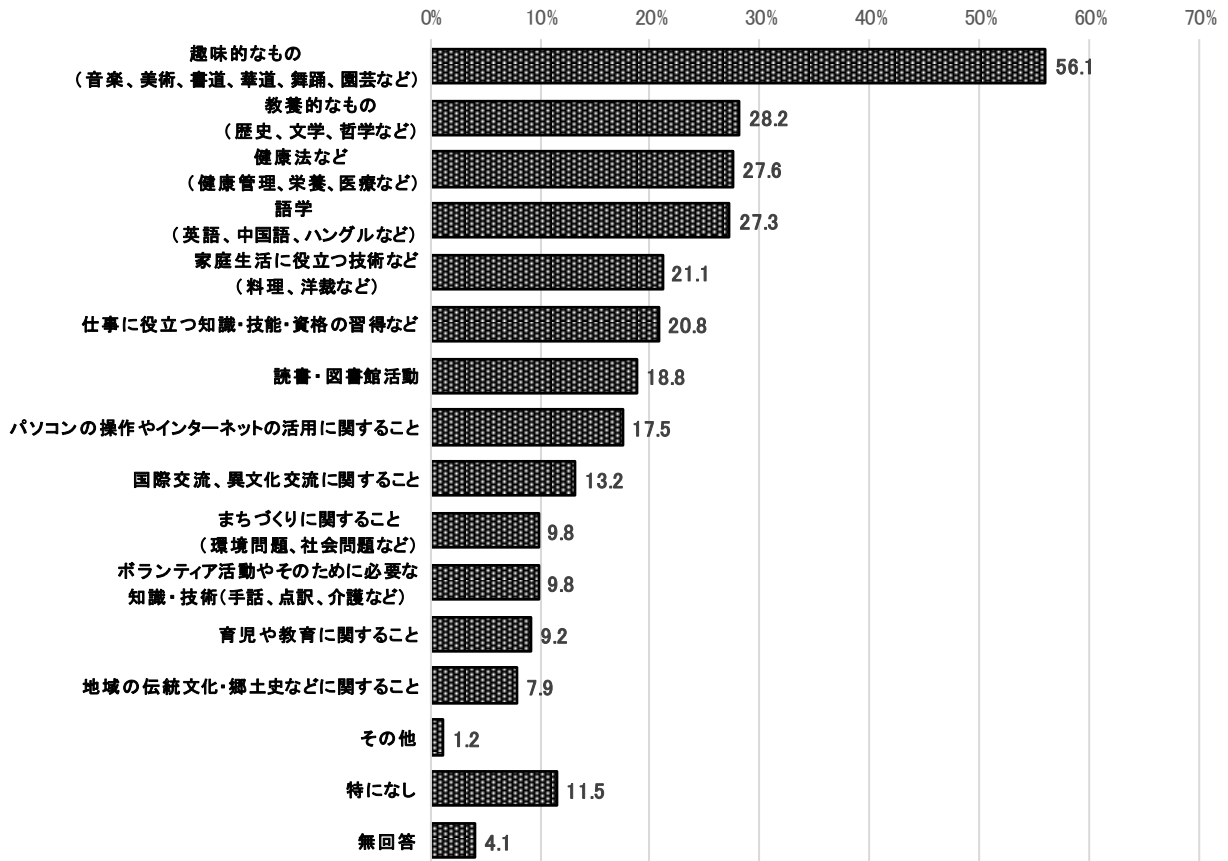
注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

### 【その他の回答】

「健康寿命の伸ばし方」、「投資」、「農業」、「神社、仏閣巡り」、「健康麻雀教室」、「陶芸」など

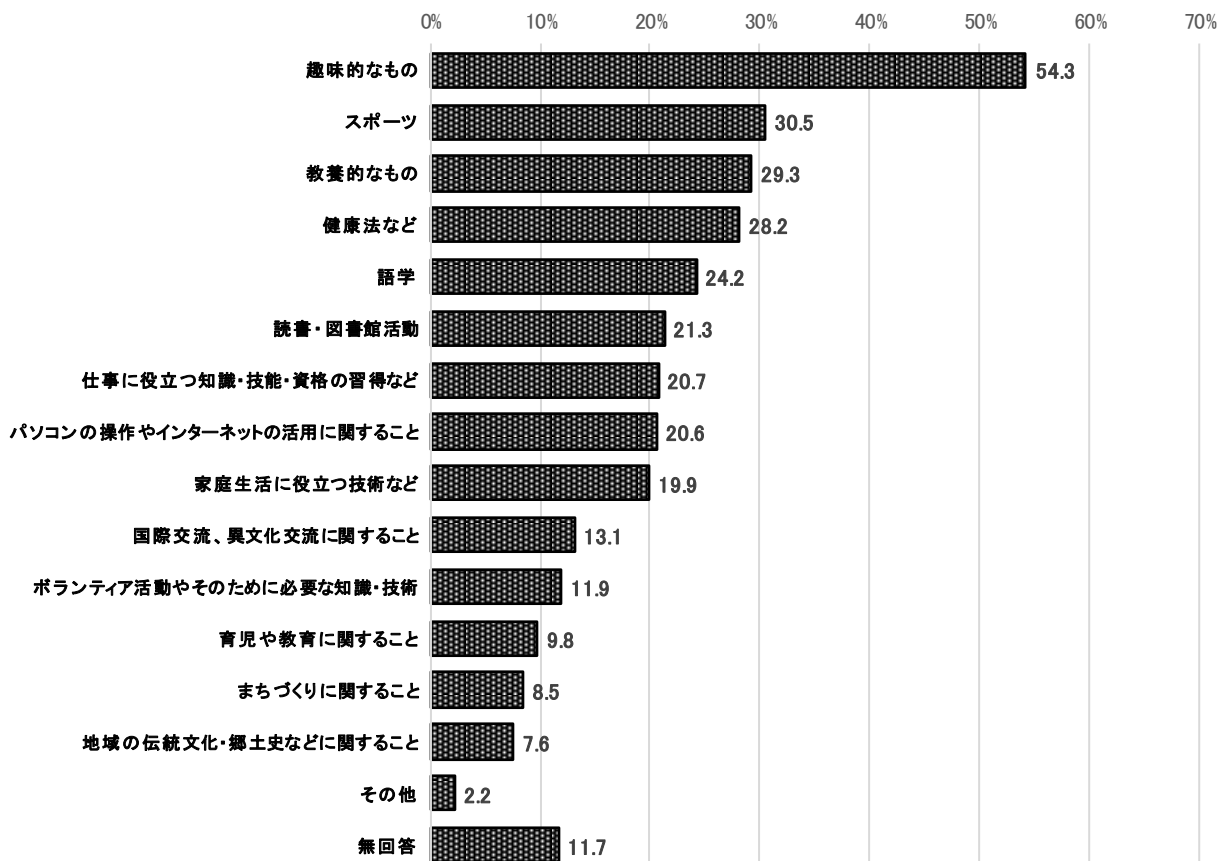
【参考資料】

今後行いたい生涯学習活動(平成 30 年 n=1,619)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

今後行いたい生涯学習活動(平成 27 年 n=1,442)

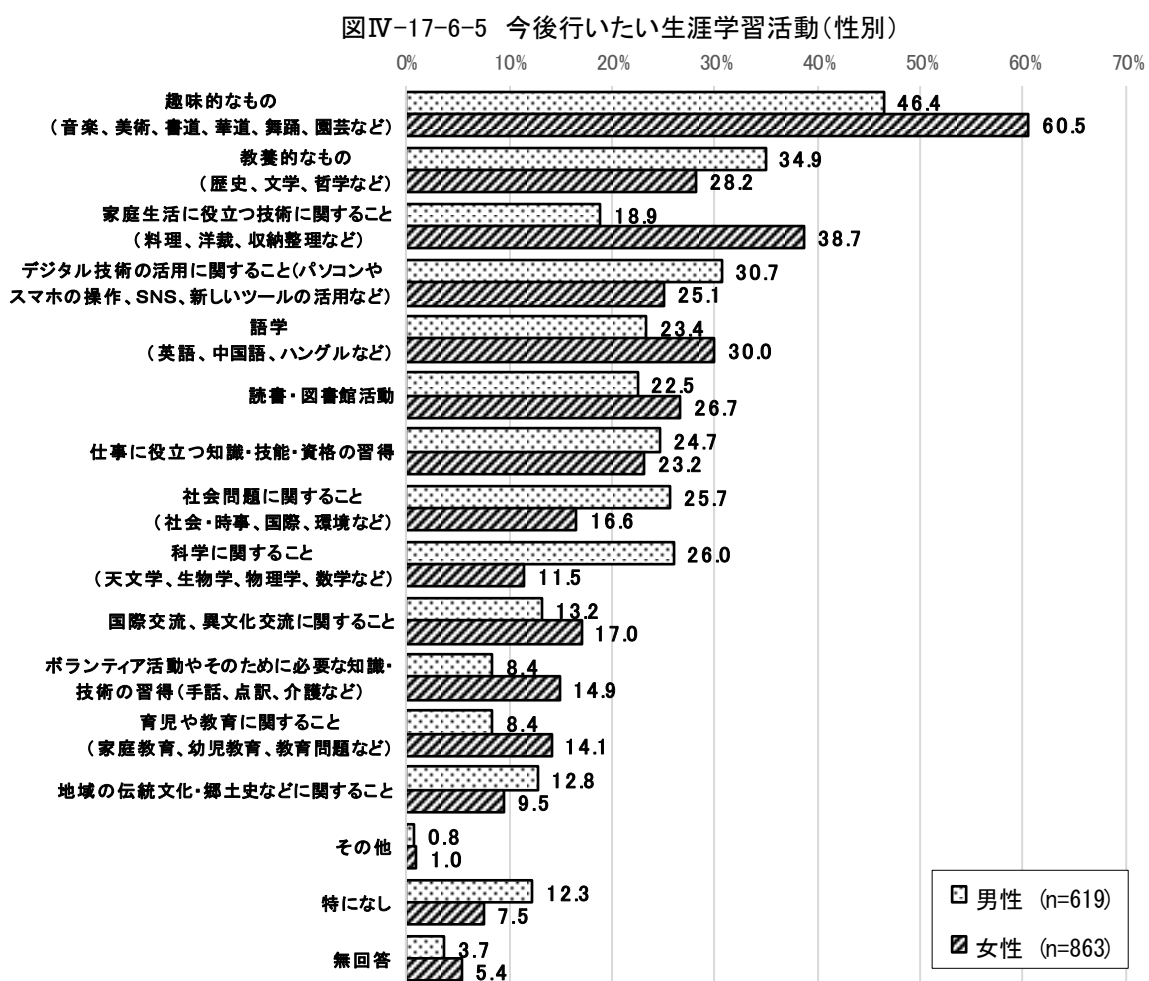


注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

### ① 性・年齢別

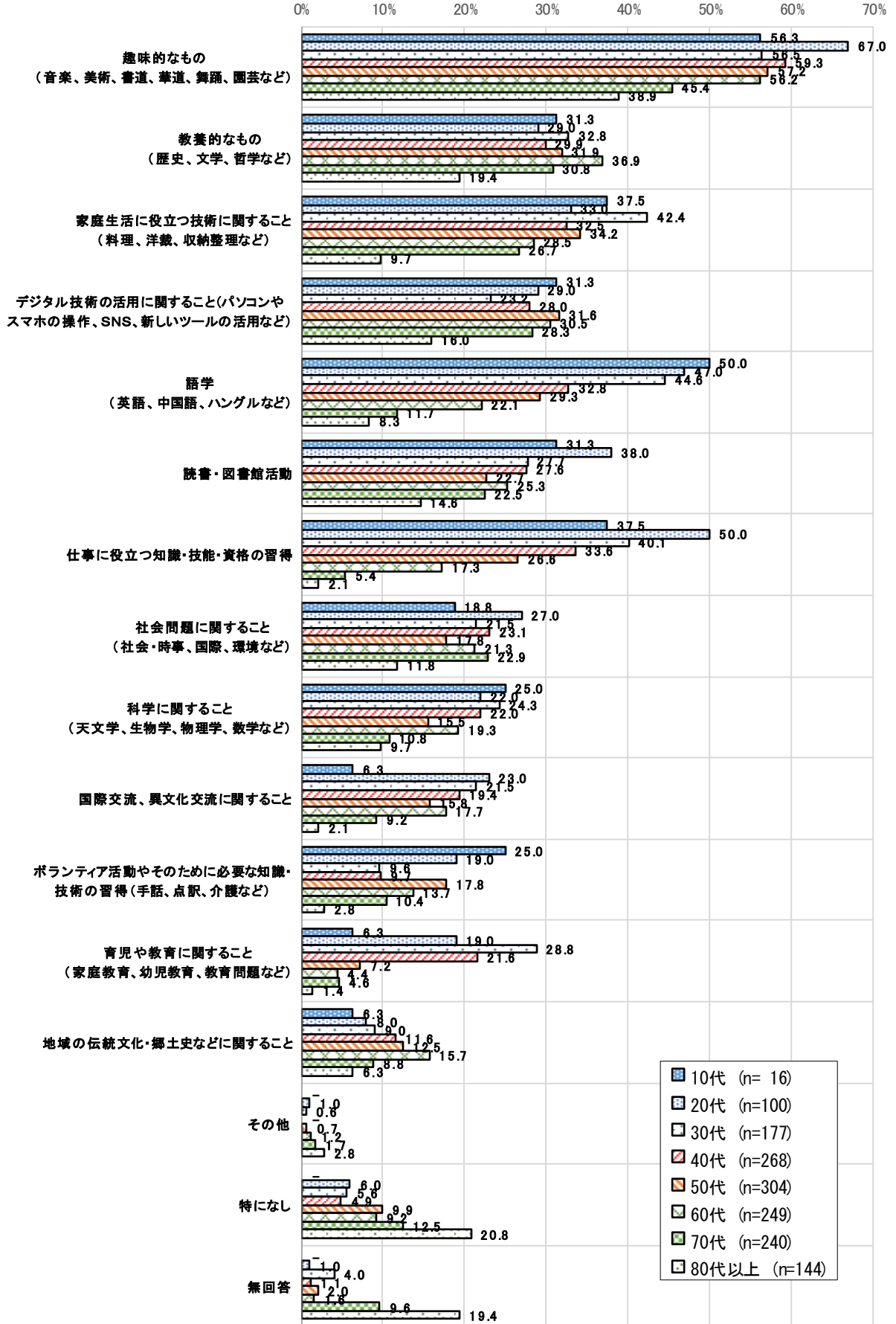
性別でみると、男女差が大きいものは「家庭生活に役立つ技術に関すること(料理、洋裁、収納整理など) (19.8 ポイント差で女性の方が高い)」、「科学に関すること(天文学、生物学、物理学、数学など) (14.5 ポイント差で男性の方が高い)」、「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など) (14.1 ポイント差で女性の方が高い)」である。

年齢別でみると、回答数が少ない10代を除くと、「趣味的なもの(音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など)」、「仕事に役立つ知識・技能・資格の習得」において20代が高い。そのうち、「仕事に役立つ知識・技能・資格の習得」は、20代が50.0%であるのに対し、80代以上は2.1%で47.9ポイントもの差がある。「語学(英語、中国語、ハングルなど)」、「仕事に役立つ知識・技能・資格の習得」は年代が上がるに連れ低下している。



注)n値は18歳以上のみを対象とした数値。

図IV-17-6-6 今後行いたい生涯学習活動(年齢別)



注)n 値は 18 歳以上のみを対象とした数値。

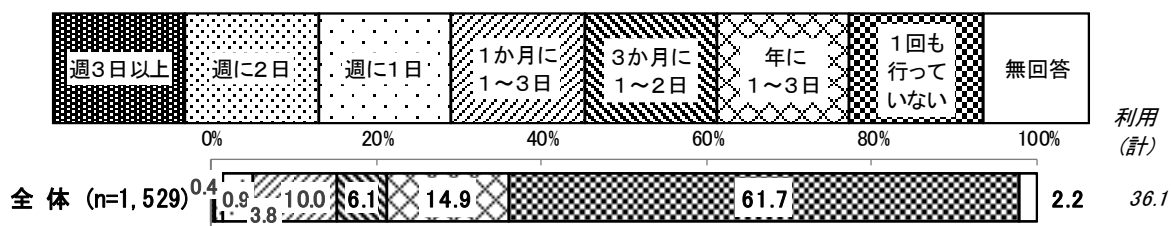
(7) 三鷹市立図書館利用頻度

問 48:あなたは、この1年間で三鷹市立図書館をどのくらいの頻度で利用しましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

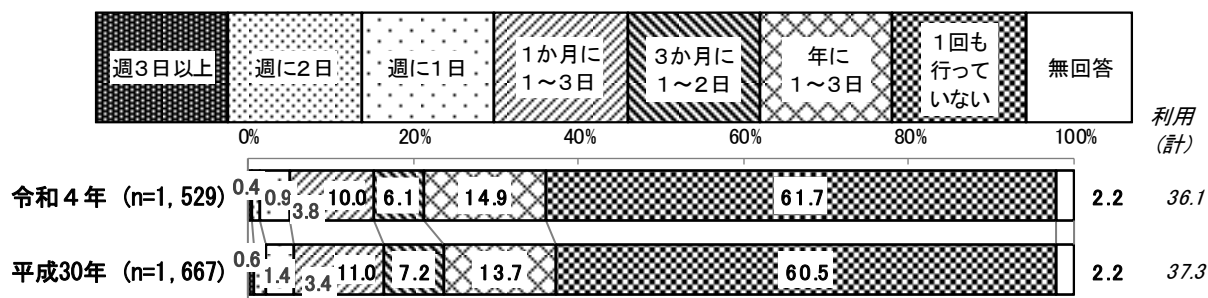
「1回も利用していない」が61.7%を占め、「利用(計)」は36.1%である。利用者の中では、「年に1～3日」が14.9%で最も高い。

平成30年の調査から大きな変化はない。

図IV-17-7-1 三鷹市立図書館利用頻度



図IV-17-7-2 三鷹市立図書館利用頻度(過去調査比較)

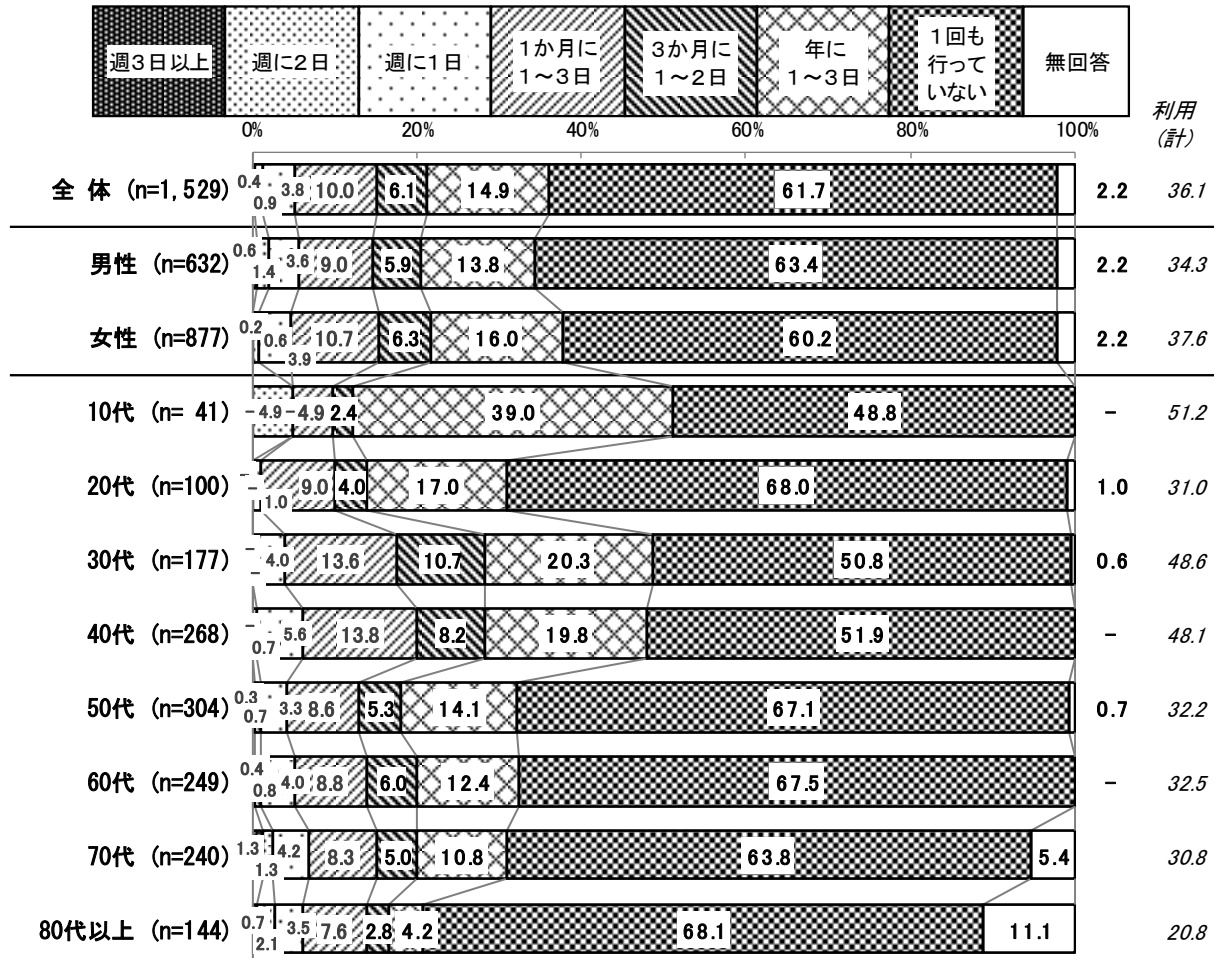


① 性・年齢別

性別で見ると、「利用(計)」は女性(37.6%)の方が男性(34.3%)より高いが、主に「年に1~3日」の構成比の差であり、大差はない。

年齢別で見ると、「利用(計)」が50%以上なのは10代(51.2%)のみである。しかし、構成比をみると「年に1~3日」が最も高く、利用頻度は多くない。「3か月に1~2日」以上利用で区切ってみると、30代・40代でボリューム(共に計28.3%)があり、他層比較では利用頻度が多い。

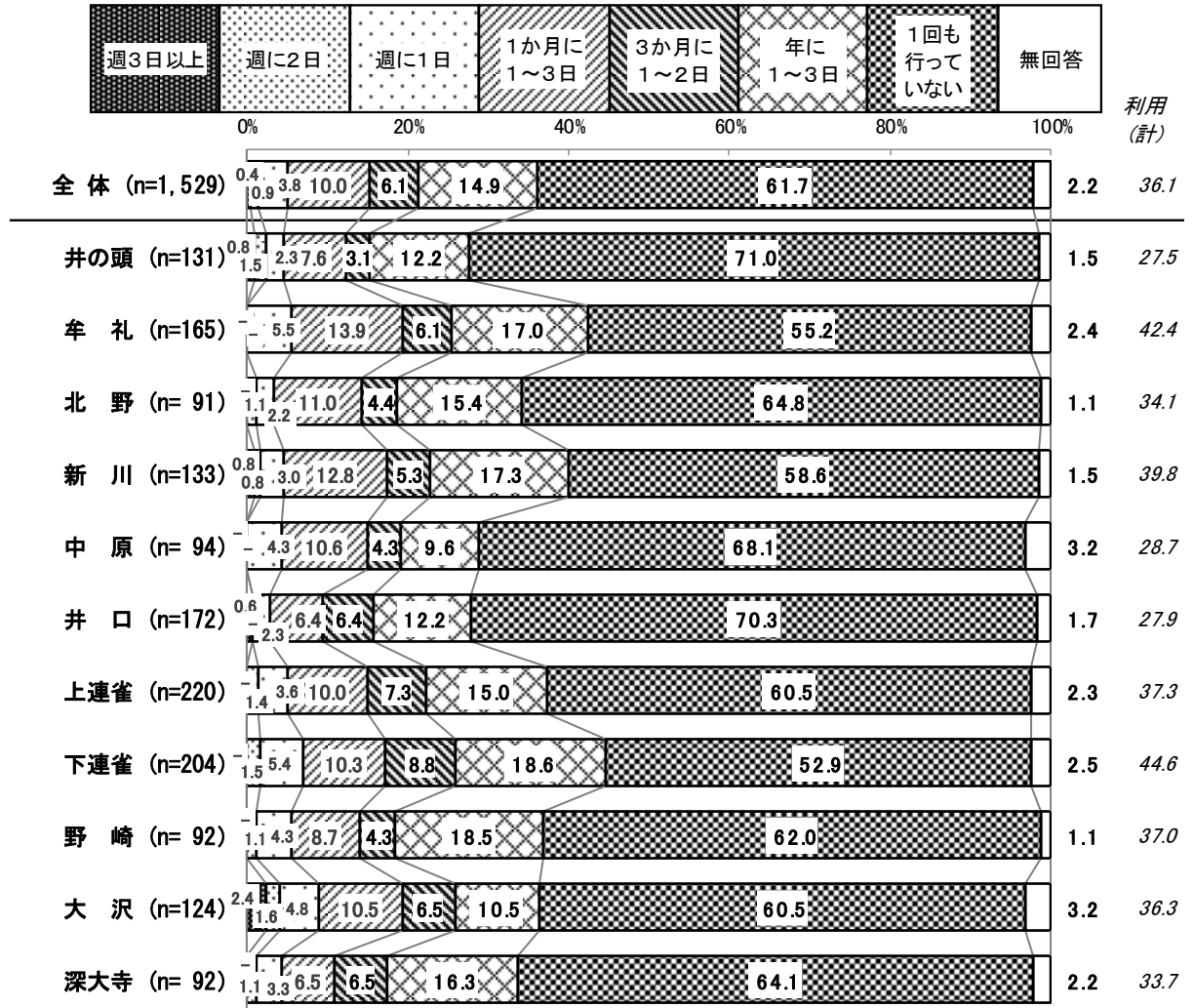
図IV-17-7-3 三鷹市立図書館利用頻度(性・年齢別)



② 地区別

地区別でみると、「利用(計)」が高いのは、下連雀(44.6%)、牟礼(42.4%)で 40%以上である。一方、「利用(計)」が低いのは、井の頭(27.5%)、井口(27.9%)、中原(28.7%)が 20%台にとどまる。

図IV-17-7-4 三鷹市立図書館利用頻度(地区別)





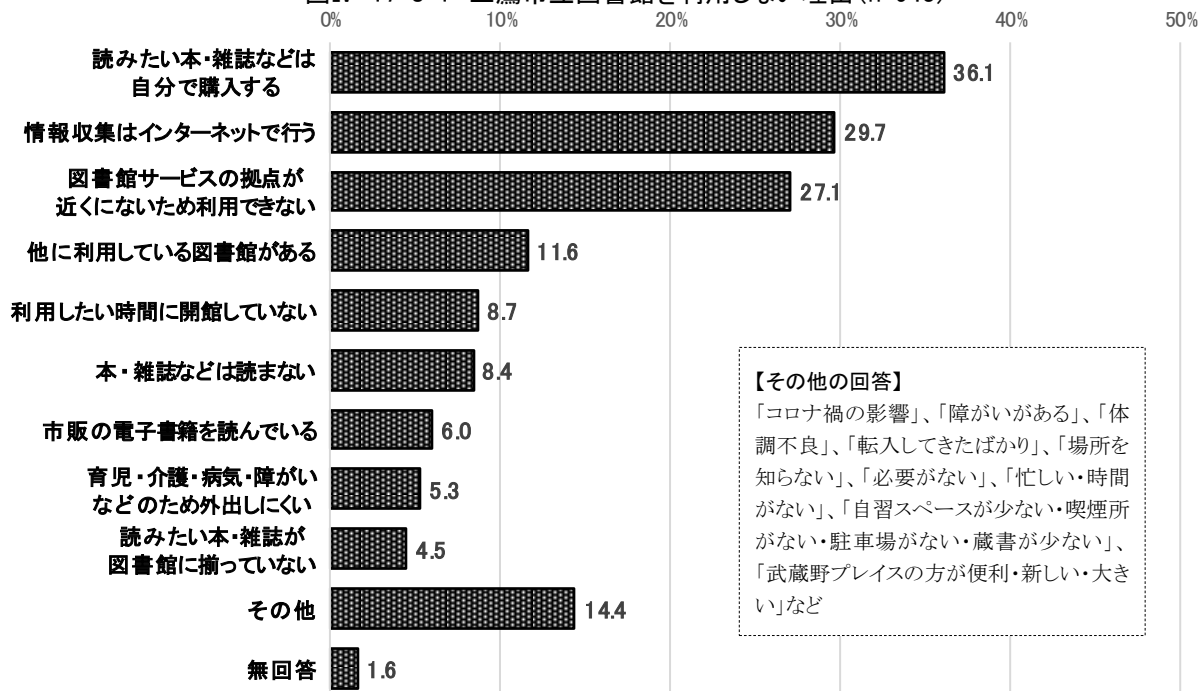
(8) 三鷹市立図書館を利用しない理由

問 48-1:あなたが三鷹市立図書館を利用しないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。[問 48 で「1回も利用していない」と回答した方対象]

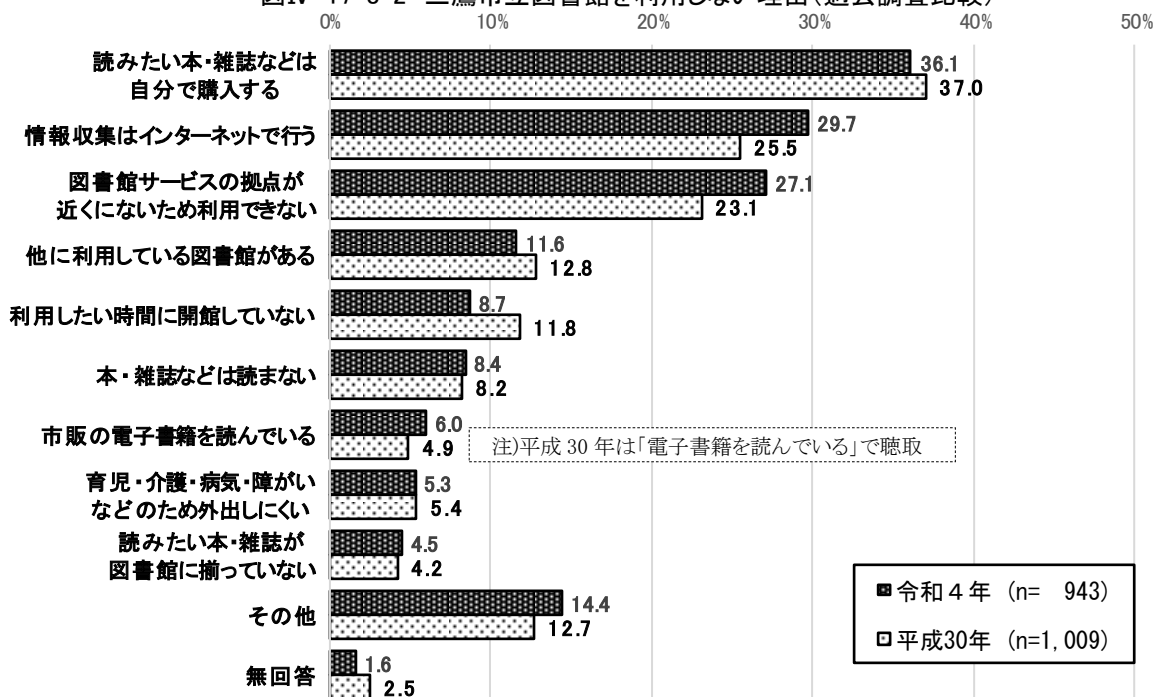
「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」が36.1%で最も高い。次いで「情報収集はインターネットで行う(29.7%)」、「図書館サービスの拠点が近くにないため利用できない(27.1%)」が高い。

平成 30 年の調査結果と比較すると、同項目間で若干の差はみられるものの、項目間順位は同様であり、大きな差はない。

図Ⅳ-17-8-1 三鷹市立図書館を利用しない理由(n=943)



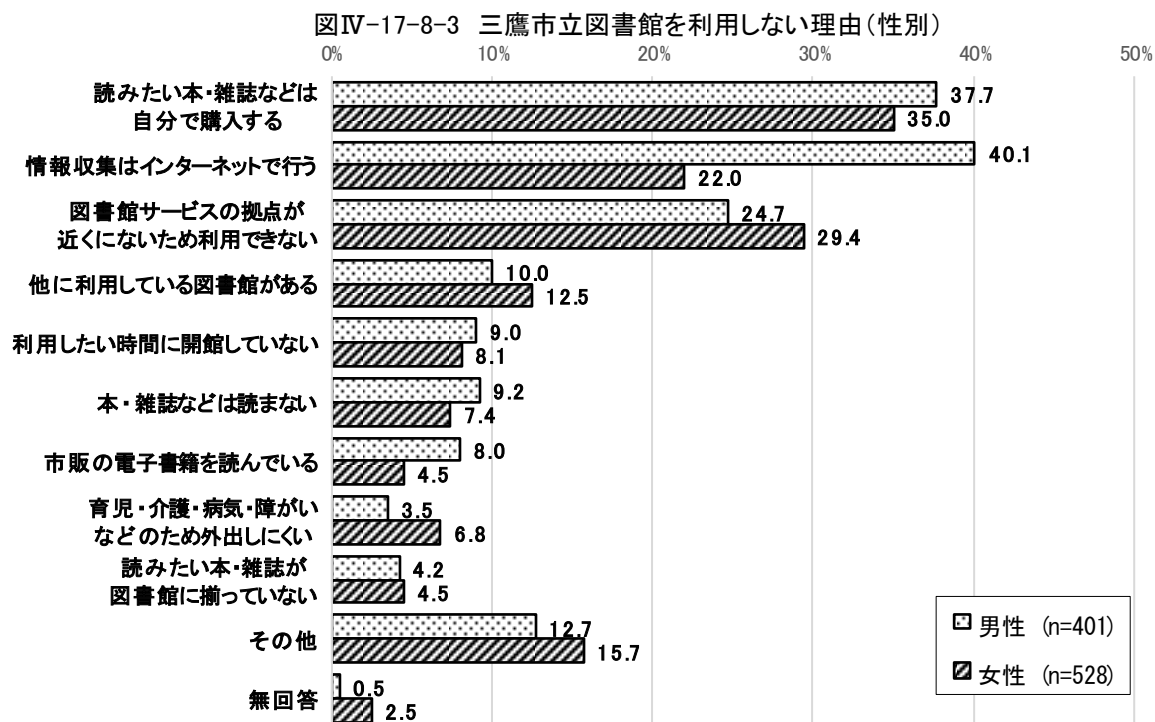
図Ⅳ-17-8-2 三鷹市立図書館を利用しない理由(過去調査比較)



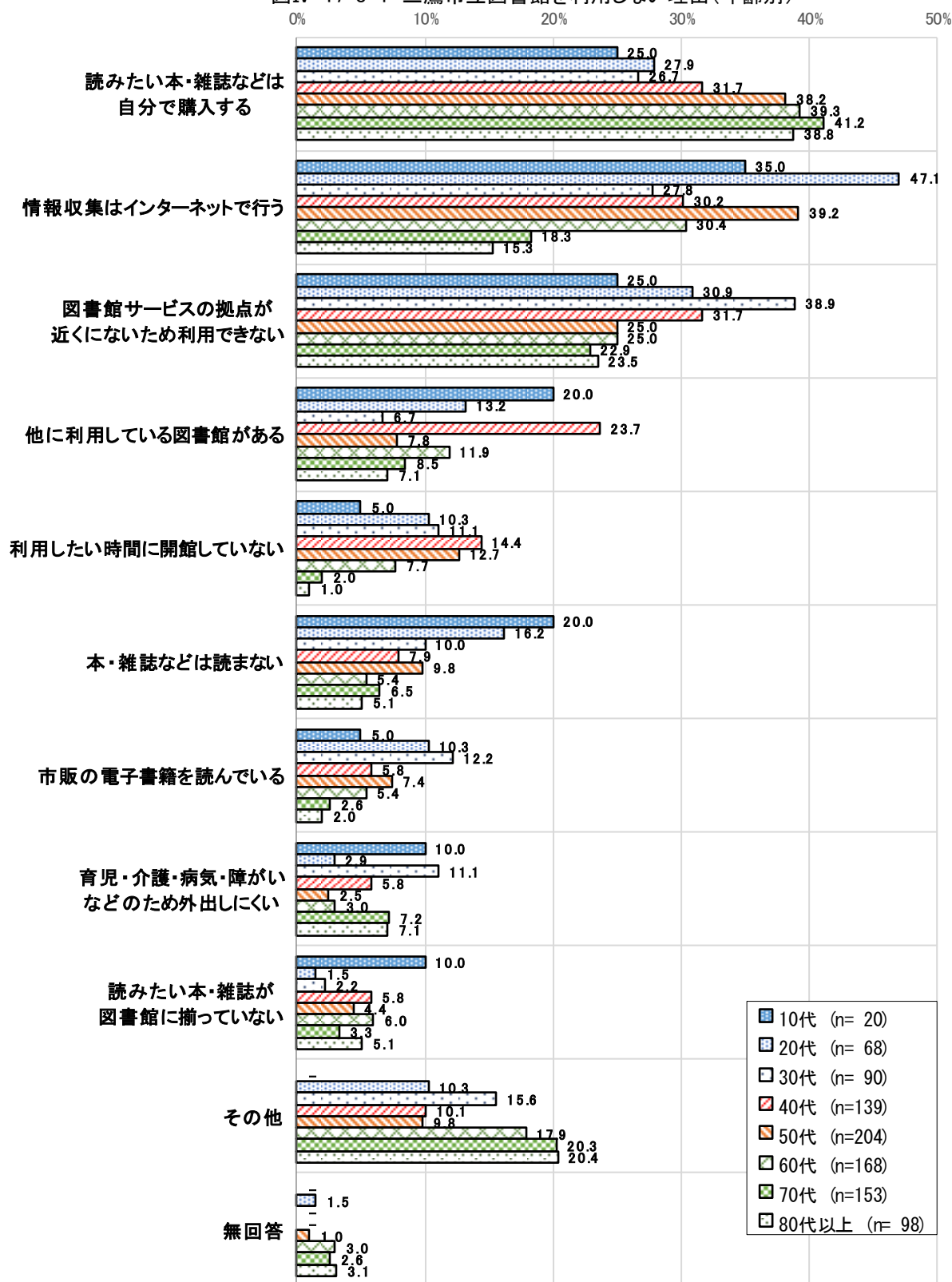
① 性・年齢別

性別でみると、「情報収集はインターネットで行う」は女性(22.0%)より男性(40.1%)の方が18.1ポイント高い。

年齢別でみると、回答数が少ない10代を除くと、「読みたい本・雑誌などは自分で購入する」は50代以上の計4層が40%前後で高い。「情報収集はインターネットで行う」は20代が47.1%である。「本・雑誌などは読まない」は20代(16.2%)、30代(10.0%)が10%以上で他層より高いが、一方で「市販の電子書籍を読んでいる」も20代(10.3%)、30代(12.2%)で他層より高い。



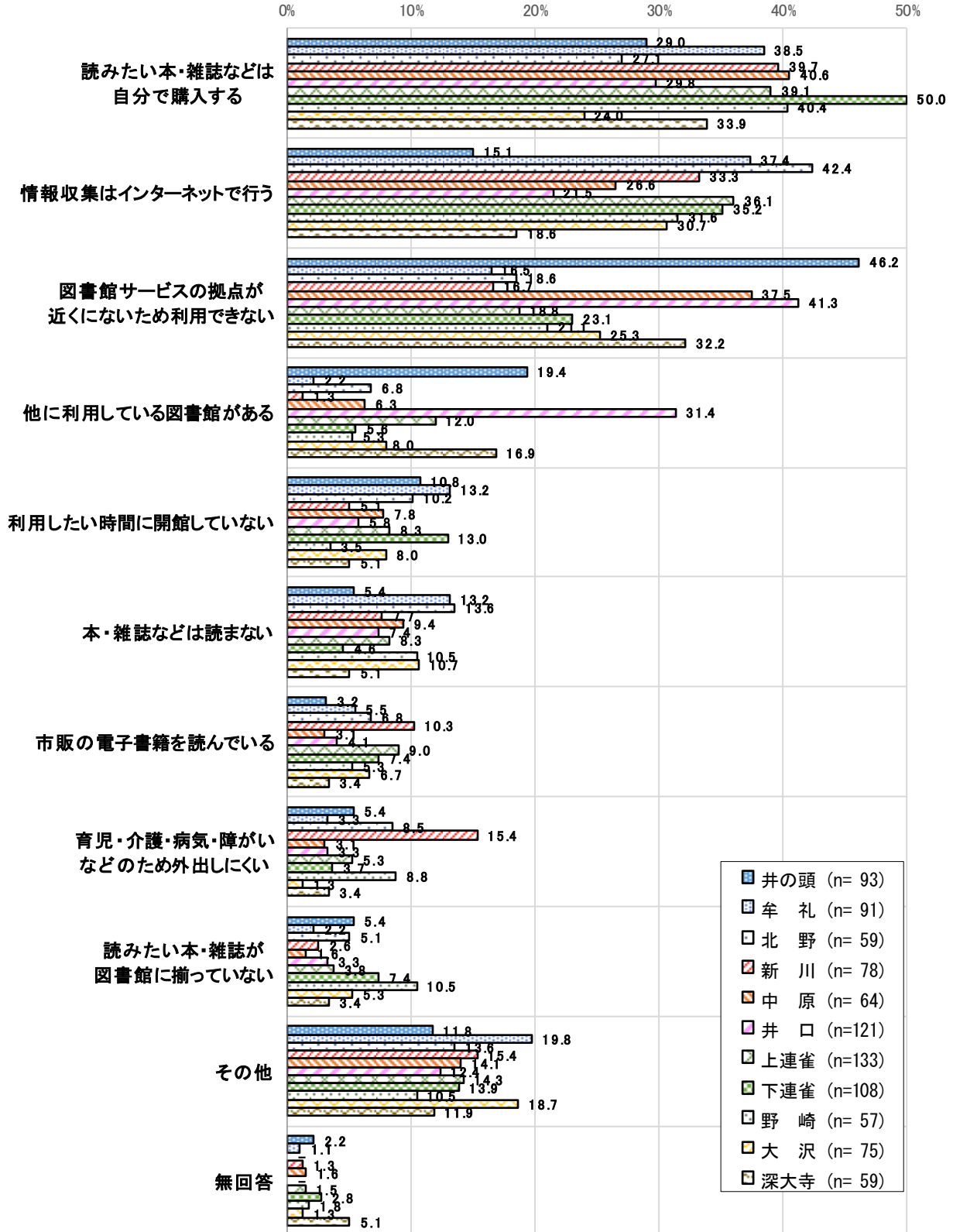
図IV-17-8-4 三鷹市立図書館を利用しない理由(年齢別)



## ② 地区別

地区別でみると、「図書館サービスの拠点が近くにならないため利用できない」が高いのは、井の頭(46.2%)、井口(41.3%)が40%以上で高い。「他に利用している図書館がある」も同様に、井の頭(19.4%)、井口(31.4%)が他層比較で高い。

図IV-17-8-5 三鷹市立図書館を利用しない理由(地区別)

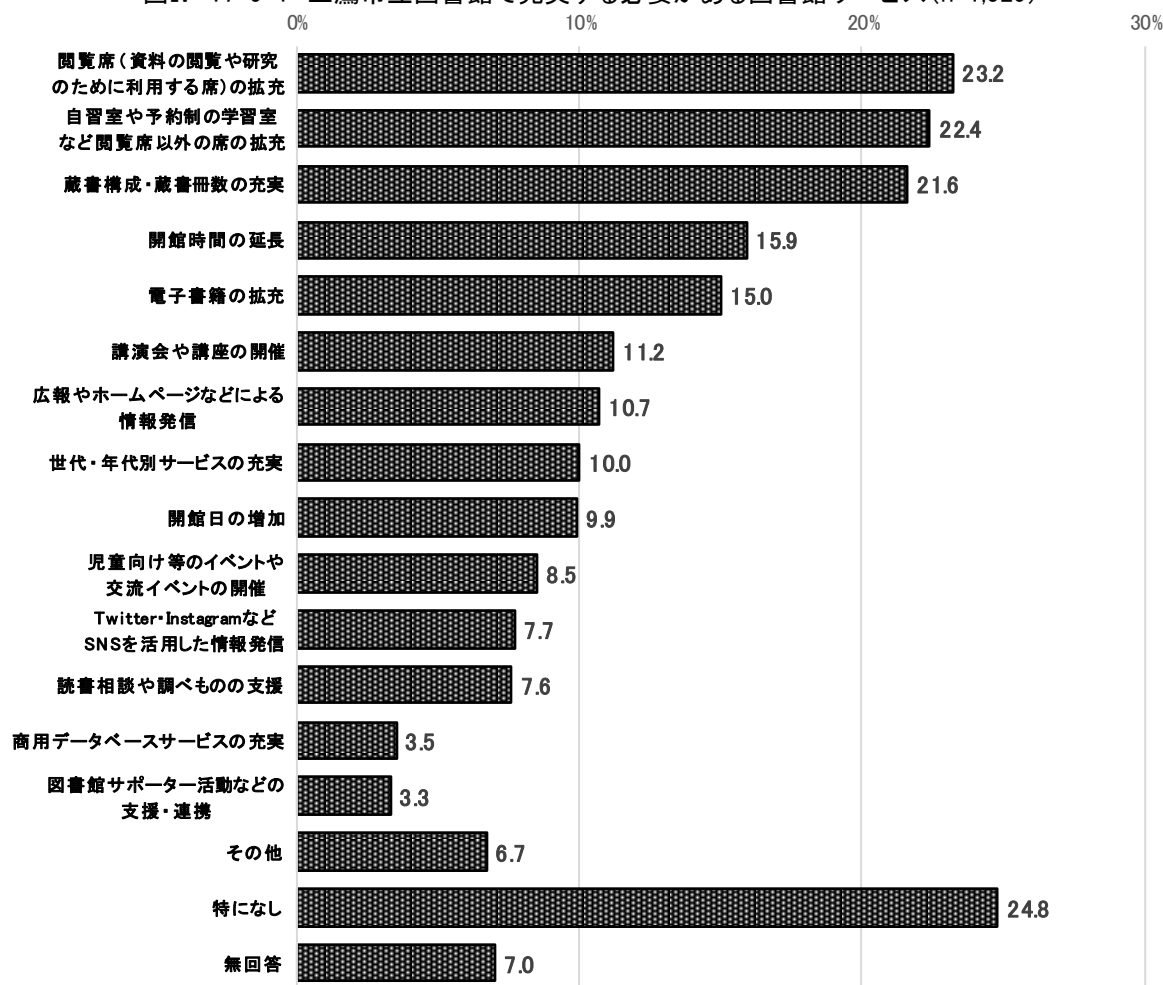


### (9) 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス

問 49: あなたが「三鷹市立図書館で充実する必要がある」と考える図書館サービスはどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

「特になし(24.8%)」を除くと、「閲覧席(資料の閲覧や研究のために利用する席)の拡充(23.2%)」、「自習室や予約制の学習室など閲覧席以外の席の拡充(22.4%)」、「蔵書構成・蔵書冊数の充実(21.6%)」の順に高い。

図IV-17-9-1 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(n=1,529)

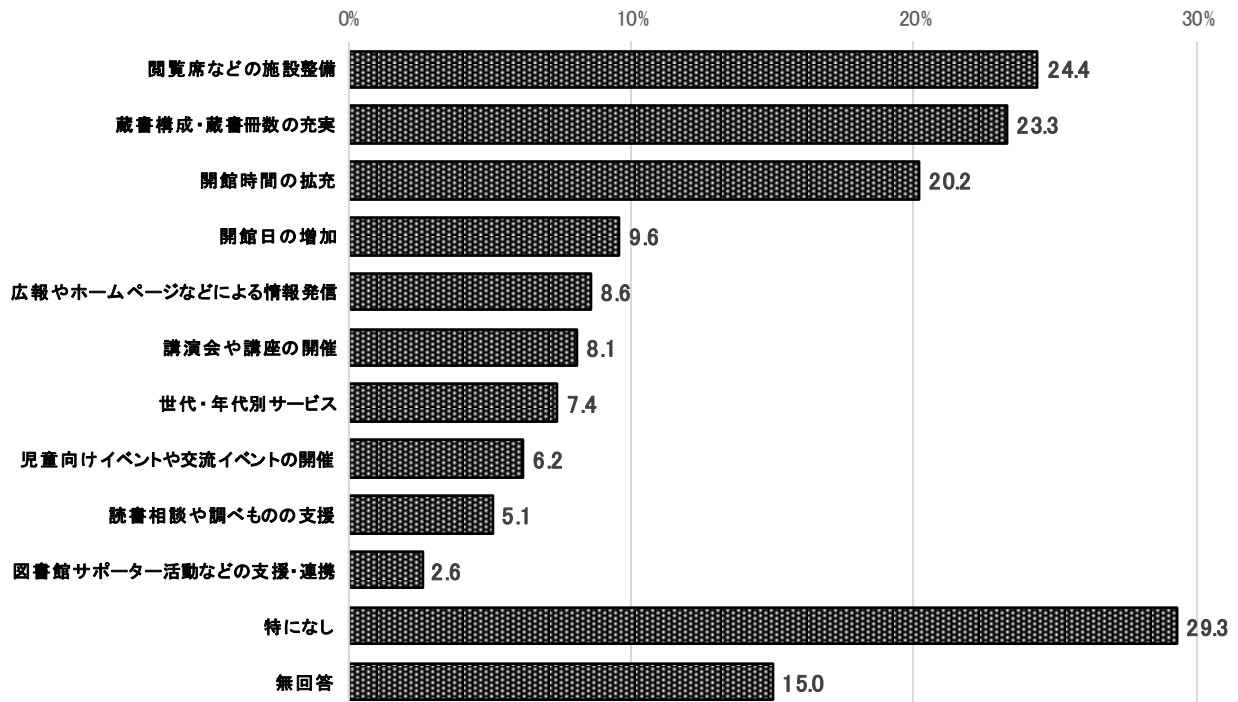


**【その他の回答】**

「利便性の良い場所へ」、「改築」、「カフェ等飲食店の併設」、「駐車場完備」、「休館日の告知をわかりやすく」、「情報発信」、「オンライン検索・予約サービスの改善」、「CD・DVDの充実」、「蔵書を増やす・他市との相互利用」、など

【参考資料】

三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(平成30年 n=1,667)

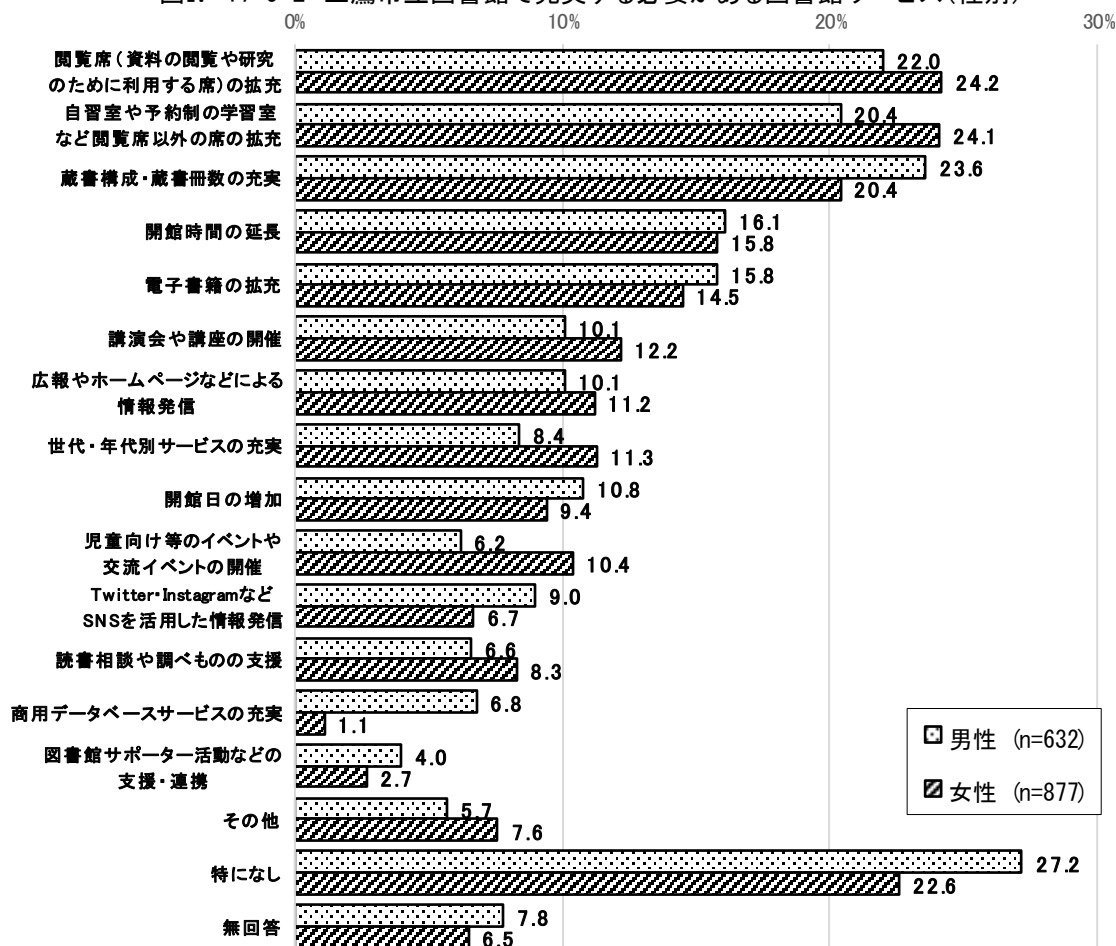


### ① 性・年齢別

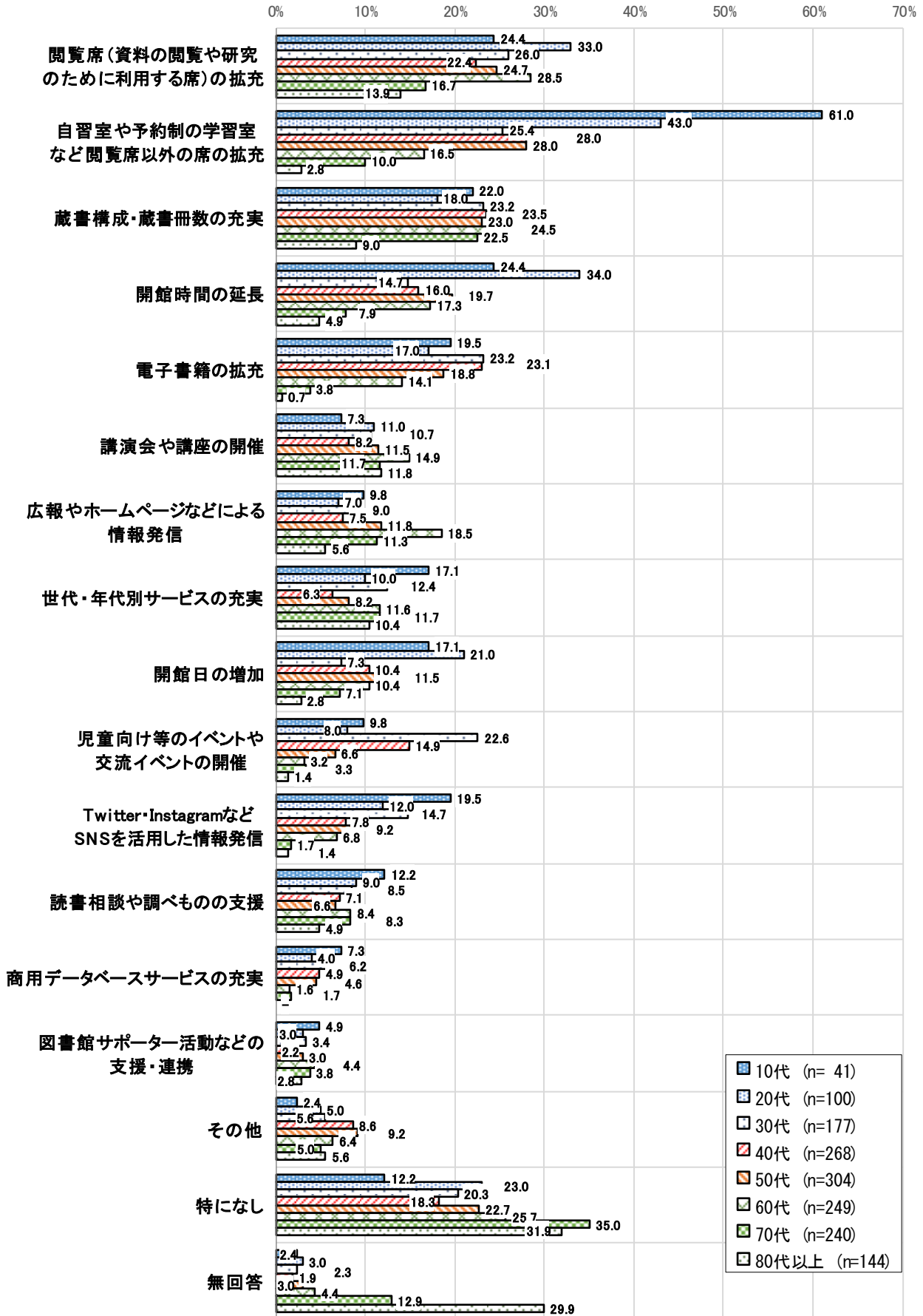
性別でみると、男性は「蔵書構成・蔵書冊数の充実(23.6%)」が最も高く、女性は「閲覧席(資料の閲覧や研究のために利用する席)の拡充(24.2%)」が最も高い。「商用データベースサービスの充実」は女性(1.1%)より男性(6.8%)の要望が高い。

年齢別でみると、「自習室や予約制の学習室など閲覧席以外の席の拡充」、「開館時間の延長」、「開館日の増加」は他層より10代・20代における要望が高い。

図IV-17-9-2 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(性別)



図IV-17-9-3 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(年齢別)

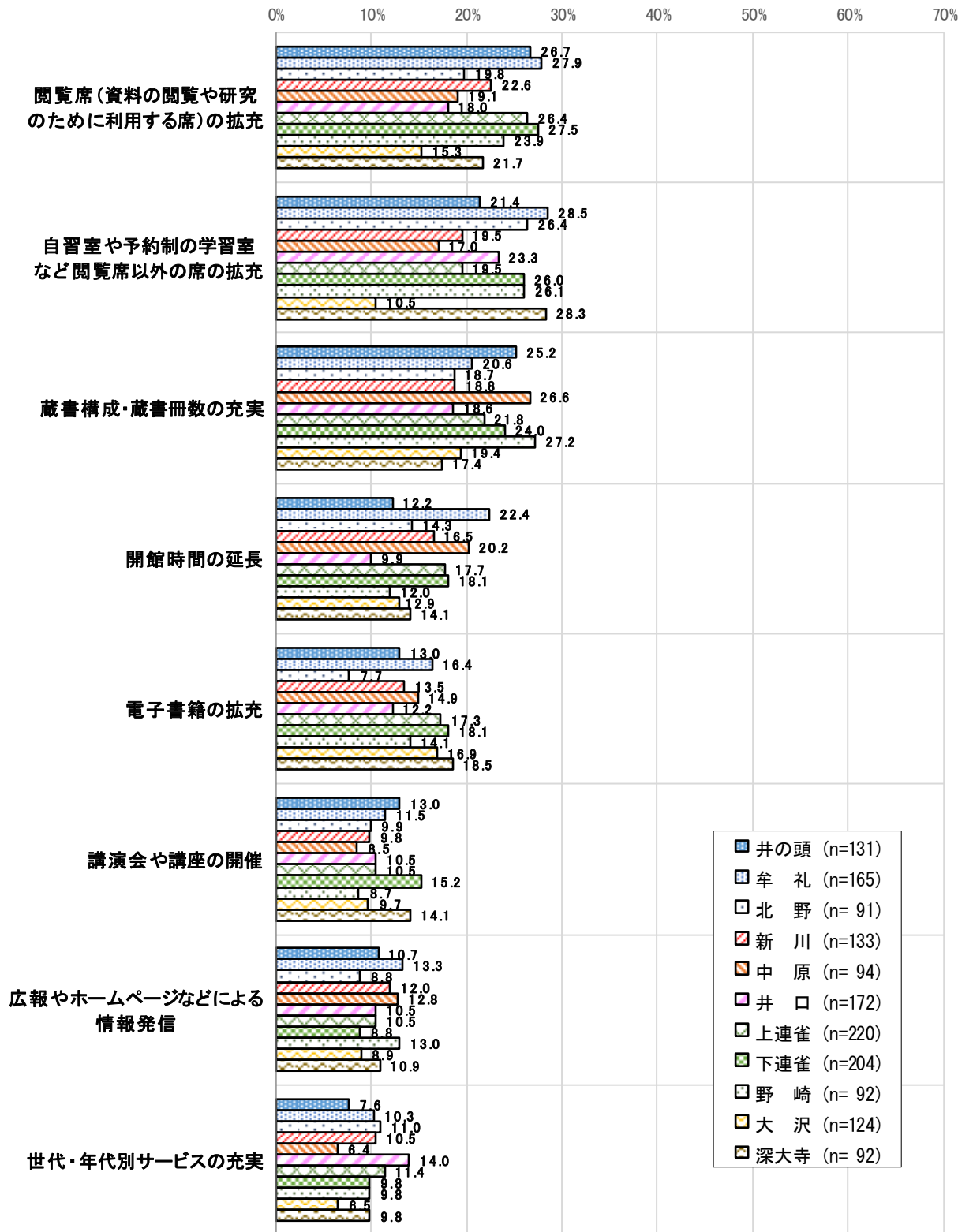




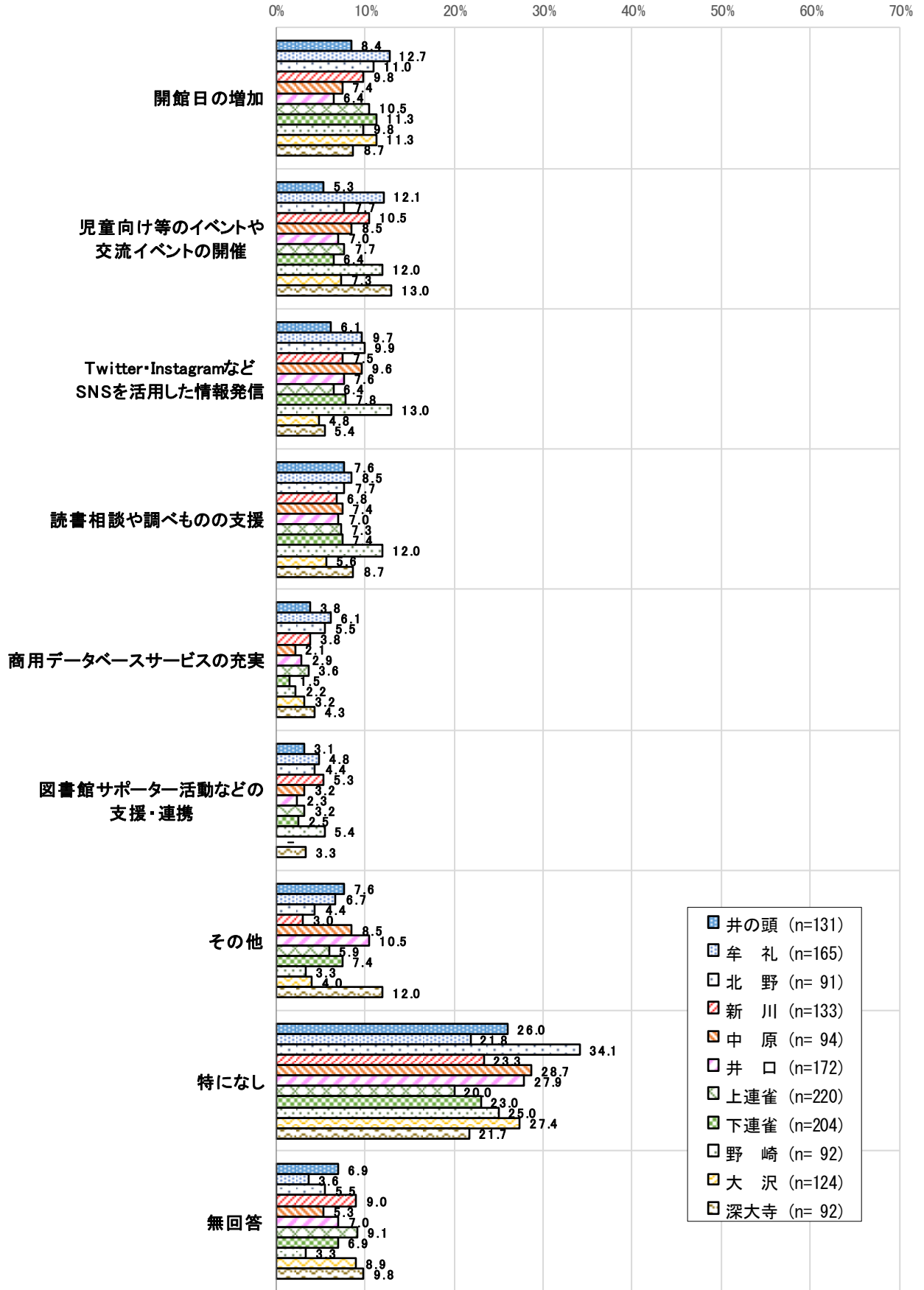
② 地区別

地区別でみると、地区間の最大差は「自習室や予約制の学習室など閲覧席以外の席の拡充」の牟礼(28.5%)と大沢(10.5%)の18.0ポイント差である。

図IV-17-9-4 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(地区別)(その1)



図IV-17-9-4 三鷹市立図書館で充実する必要がある図書館サービス(地区別)(その2)



資 料 編

調 査 票



三鷹市からの大切なお願いです。  
市民満足度調査アンケートにご協力ください。

三鷹市では、令和6年度に予定している第5次基本計画策定に向けた準備として、これまでの施策の達成状況の確認とともに新たな政策課題に関する検討を進めています。

そこで、現在取り組んでいるさまざまな課題やまちづくりの進め方について、広く市民の皆様のご意見をうかがい、基本計画策定に反映するとともに、今後のより良い行政サービスの提供に向けた仕組みを検討するため、アンケート調査を実施いたします。

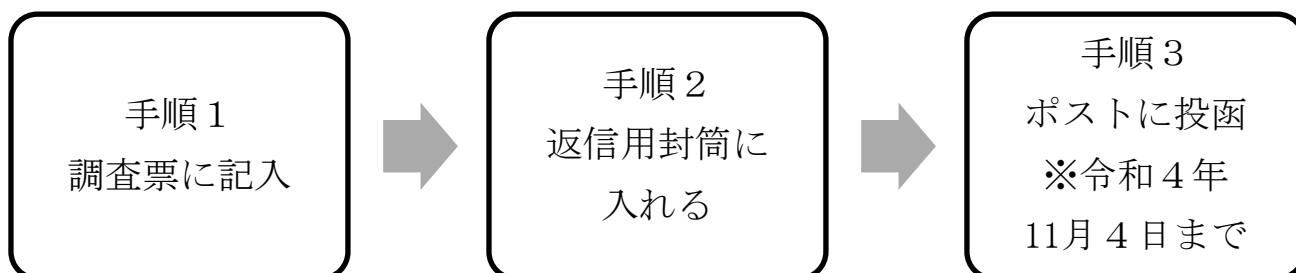
調査の実施にあたりましては、市内にお住まいの満15歳以上の方から、住民基本台帳をもとに無作為に3,500名を選ばせていただきました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、広く市民の皆様のご意見を反映した市政運営のため、どうぞ最後の質問まで、もれなくご回答いただき、貴重なご意見をお寄せいただきますように、心からお願い申し上げます。

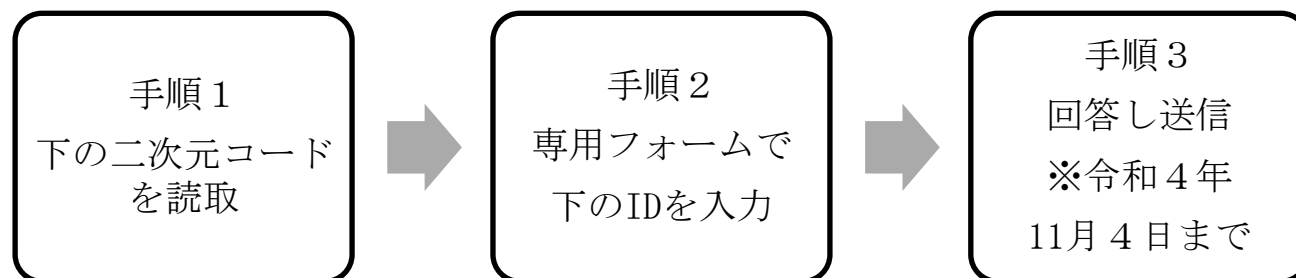
三鷹市長 河村 孝

回答は、郵送又はWEBでお願いいたします。

○郵送で回答する場合



○WEBで回答する場合



【調査票 ID( )】

IDの構成: 全て半角【アルファベット大文字1文字+数字4桁+アルファベット大文字1文字】

※この調査は無記名形式で行います。調査票とWEBとの重複回答を防止するため、調査票IDを割り振っていますが、ご回答いただいたアンケート調査票から個人が特定されることはありません。また、結果はすべて統計的に処理いたします。なお、調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

※本調査の集計等は株式会社アダムコミュニケーションズに委託して行いますが、上記の点について順守する契約を交わしています。

三鷹市役所 企画部企画経営課 企画調整係  
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号  
【電話】 0422-29-9034  
【E-mail】 kikaku@city.mitaka.lg.jp

## I はじめに、あなたご自身についてうかがいます。

以下の項目についてあてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。(F3(2)を除く)

|                |  |
|----------------|--|
| F1 性別          | 1. 男性      2. 女性      3. その他      4. 回答しない   |
| F2 年齢          | 1. 15～17歳    2. 18・19歳    3. 20代      4. 30代      5. 40代<br>6. 50代      7. 60代      8. 70代      9. 80代以上 |
| F3 世帯の構成       | F3(1)あなたには同居している家族がいますか。   |
|                | 1. 同居している家族がいる →F3(2)にお答えください  |
|                | 2. 同居している家族はいない →F4へ   |
|                | F3(2)同居しているご家族のうち、あてはまる方についてすべて選び○をつけてください。(あなたご自身は除きます。)また、いずれにも該当しない場合は「4」に○をつけてください。                  |
|                | 1. 6歳未満の乳幼児    2. 小・中学生      3. 65歳以上の方<br>4. いずれにも該当しない   |
| F4 ご職業         | 1. 会社員    2. 公務員    3. 自営・自由業    4. パート・アルバイト    5. 学生<br>6. 専業主婦・主夫    7. 無職    8. その他(具体的に: )          |
| F5 居住地区        | 1. 井の頭    2. 牟礼    3. 北野    4. 新川    5. 中原    6. 井口<br>7. 上連雀    8. 下連雀    9. 野崎    10. 大沢    11. 深大寺    |
| F6 丁目          | 1. 一丁目    2. 二丁目    3. 三丁目    4. 四丁目    5. 五丁目    6. 六丁目<br>7. 七丁目    8. 八丁目    9. 九丁目                   |
| F7 三鷹市にお住まいの年数 | 1. 3年未満      2. 3年以上5年未満      3. 5年以上10年未満<br>4. 10年以上20年未満    5. 20年以上30年未満    6. 30年以上                 |

## 市政全般に関する質問

### II 三鷹市での今後の定住意向についてうかがいます。

問1: あなたは三鷹市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

|                           |   |              |
|---------------------------|---|--------------|
| 1. これからも住み続けたい            | } | 問1-1にお答えください |
| 2. 当分は住みたい                |   |              |
| 3. あまり住みたくない(機会があれば転出したい) | } | 問1-2にお答えください |
| 4. すぐにでも転出したい             |   |              |
| 5. わからない                  | → | 問2にお進みください   |

問1-1: 問1で「1. これからも住み続けたい」「2. 当分は住みたい」と回答した方にうかがいます。三鷹市に住み続けたいと思う理由について、あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

|                |                   |                 |
|----------------|-------------------|-----------------|
| 1. 住環境が良い      | 2. 交通の便が良い        | 3. 自然環境が良い      |
| 4. 教育環境が良い     | 5. 文化的な環境が良い      | 6. 買い物などに便利     |
| 7. 公共施設が充実している | 8. 近隣の間人間関係が良好である | 9. 長年住んでいて愛着がある |
| 10. 持ち家がある     | 11. その他(具体的に: )   |                 |

問1-2: 問1で「3. あまり住みたくない」「4. すぐにでも転出したい」と回答した方にうかがいます。三鷹市に住み続けたくない理由について、**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

- |                      |                   |             |
|----------------------|-------------------|-------------|
| 1. 住環境が悪い            | 2. 交通の便が悪い        | 3. 自然環境が悪い  |
| 4. 教育環境が悪い           | 5. 文化的な環境が悪い      | 6. 買い物などが不便 |
| 7. 公共施設が利用しにくい       | 8. 近隣の間人間関係が良好でない | 9. 住宅の都合で   |
| 10. その他（具体的に： _____） |                   |             |

### III 三鷹市のコミュニティ創生施策やお住まいの地域におけるご近所づきあい、地域活動についてうかがいます。

問2: あなたは、三鷹市のコミュニティ創生施策に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※コミュニティ創生施策の主な取り組み

- ・地域ケアネットワーク(7か所)の活動支援
- ・町会・自治会や住民協議会等の地域活動の活性化支援
- ・公共施設等へのデジタル(Wi-Fi)環境の整備
- ・「市民参加でまちづくり協議会(Machikoe(マチコエ))」による市民参加の実践
- ・ボランティアポイント・地域通貨の導入に向けた取り組み
- ・旧どんぐり山施設を、在宅医療・介護を推進する研究・人財育成の拠点とする「福祉 Labo どんぐり山(仮称)」プロジェクト
- ・スクール・コミュニティの創造に向けて、学校を地域の共有地「コモンズ」としての移行を目指す学校3部制に向けた取組

- |           |             |        |         |       |
|-----------|-------------|--------|---------|-------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. ふつう | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-----------|-------------|--------|---------|-------|

問3: 今後、住民同士が共に支えあう地域社会を生み出すために、三鷹市が推進すべき取り組みはどのようなものですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○をつけてください。

- |  |
|--|
| 1. 地域の居場所づくりなどを行う地域ケアネットワーク事業の推進       |
| 2. 孤立死などを防ぐ見守りネットワーク事業の推進              |
| 3. 学校を核としたコミュニティづくり（スクール・コミュニティ）の推進    |
| 4. 地域活動の担い手の育成                         |
| 5. 町会・自治会等の活動支援                        |
| 6. 自主的な防災・防犯活動の支援                      |
| 7. スポーツ、文化、生涯学習、まちづくりなど、様々なコミュニティ活動の推進 |
| 8. 地域活動等を開始、継続する際の相談・支援機能の充実           |
| 9. 多世代・多文化の交流                          |
| 10. その他（具体的に： _____）                   |
| 11. 特になし                               |

問4: あなたはお住まいの地域で何かしらの活動を行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                             |   |                   |
|-----------------------------|---|-------------------|
| 1. 活動している                   | → | 問4-1にお答えください      |
| 2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている | → | 問4-1、問4-2にお答えください |
| 3. 活動していない                  | → | 問4-2にお答えください      |

問4-1: **問4で「1. 活動している」「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方**にうかがいます。「1. 活動している」と回答した方は現在行っている活動、「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」と回答した方は今後行いたいと考えている活動について、**あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。**

1. 自分がスポーツやレクリエーションなどを行うサークル活動やクラブ活動
2. 自分が指導者としてスポーツやレクリエーションなどを教える活動
3. 子どもの登下校時の見守りや安全安心・市民協働パトロールなどの防犯活動
4. 防災訓練や防災イベントを実施するなどの災害への備えを啓発する防災活動
5. 歩道脇や公園など地域内の草木や花壇の管理をする緑化推進活動
6. 資源ごみの集団回収や、道路、河川などを清掃する環境保全活動
7. 地域ケアネットワークなど地域の支え合いを推進する地域福祉活動
8. 高齢者を対象としたサロンや健康教室を開くなどの高齢者福祉活動
9. 手話通訳や移動の補助など障がい者（児）福祉活動
10. 絵本の読み聞かせや子育て中の悩み相談を受けるなどの子ども・子育て家庭支援活動
11. 学校の授業補助や児童・青少年の居場所づくりなどの教育・青少年育成活動
12. 町会・自治会や住民協議会の行事の運営に参加するなどの地域コミュニティ活動
13. にぎわいづくりや商業、工業、農業などを応援する観光・産業振興活動
14. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
15. わからない

問4-2: **問4で「2. 今は活動していないが、今後活動したいと考えている」「3. 活動していない」と回答した方**にうかがいます。あなたが今後、様々な地域の活動に参加する場合、どのような条件が必要となりますか。**あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。**

1. 活動に関する情報提供の充実
2. 誰もが参加しやすい条件や雰囲気
3. 誰もが平等な立場で参加できる条件や雰囲気
4. 仕事をしながらでも参加しやすい曜日や時間帯、参加方法（オンライン参加等）への配慮
5. 仕事をしながらでも参加可能な軽度の負担
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
7. 特に必要な条件はない

#### IV 市政に対する総合的な満足度、行政機関としての信頼度についてうかがいます。

問5: 三鷹市政について、総合的にどの程度満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |           |             |         |       |
|-----------|-------------|---------|-------|
| 1. 満足している | 2. まあ満足している | 3. やや不満 | 4. 不満 |
|-----------|-------------|---------|-------|

問5-1: そのように思う理由をご記入ください。

問5の理由：



問6: 三鷹市役所は行政機関としてどの程度信頼できますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |          |            |              |           |
|----------|------------|--------------|-----------|
| 1. 信頼できる | 2. まあ信頼できる | 3. あまり信頼できない | 4. 信頼できない |
|----------|------------|--------------|-----------|

問7: 三鷹市役所に期待すること、ご意見・ご要望等がございましたらご記入ください。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 市の施策に関する質問

### V 平和、人権、国際化等についてうかがいます。

問8: あなたは、国籍や文化が異なる市民等と良好な関係を築けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. 築けている          | 2. どちらかといえば築けている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば築けていない | 5. 築けていない        |              |

問9: あなたは、三鷹市の平和施策が市民の平和への意識醸成に十分効果があると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 10: あなたは、最近、人権が侵害されたと感じたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

問 11: あなたは、普段の生活の中で、性別等による不利益を、自分が受けたり、他人が受けるところを見たりしたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

### VI 農業、産業、商業についてうかがいます。

問 12: あなたにとって、農地は大切な存在ですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                  |              |
|-------------------|------------------|--------------|
| 1. 大切である          | 2. どちらかといえば大切である | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば大切ではない | 5. 大切ではない        |              |

問 13: あなたは、三鷹市内の産業の存在が、三鷹市の魅力向上と活性化につながっていると思いますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 14: あなたは、日ごろから地域の商店(街)を利用していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                |                |              |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. よく利用している    | 2. ときどき利用している  | 3. どちらともいえない |
| 4. ほとんど利用していない | 5. まったく利用していない |              |

問 15: あなたは、この2～3年間に消費者トラブルにあったことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |       |       |          |
|-------|-------|----------|
| 1. ある | 2. ない | 3. わからない |
|-------|-------|----------|

## VII 都市整備、住環境についてうかがいます。

問 16: あなたは、普段利用している道路が、安全の面とネットワークの面から通行しやすいと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 17: あなたは、あなたの住んでいる地域の自然環境(公園や緑地など人工物も含む。)と生活環境が調和していると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 18: あなたは、普段からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                 |                 |              |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 1. よく取り組んでいる    | 2. ときどき取り組んでいる  | 3. どちらともいえない |
| 4. ほとんど取り組んでいない | 5. まったく取り組んでいない |              |

問 19: あなたは、あなたの住んでいる地域は良好な住環境であると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 20: あなたは、あなたの住んでいる地域は防犯の面で安心して暮らせる環境であると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 21: あなたは、自宅などから目的地(三鷹市内)まで円滑に移動できる交通手段が確保されていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 22: あなたは、豪雨時に浸水被害などの不安を感じますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                 |                |              |
|-----------------|----------------|--------------|
| 1. 感じる          | 2. どちらかといえば感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じない | 5. 感じない        |              |

## VIII 健康・福祉についてうかがいます。

問 23: あなたは、「民生委員・児童委員」の役割を知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |          |                     |                     |
|----------|---------------------|---------------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはあるが役割は知らない | 3. 聞いたこともないし役割も知らない |
|----------|---------------------|---------------------|

問 24: あなたは、三鷹市は高齢者が暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 25: あなたは、三鷹市は障がいのある人が暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 26: あなたは、経済的な困窮状態に陥ったとしても、三鷹市は安心して暮らせるまちだと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 27: あなたは、日ごろから健康の維持・増進のため何かに取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                |                 |              |
|----------------|-----------------|--------------|
| 1. よく取り組んでいる   | 2. ときどき取り組んでいる  | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり取り組んでいない | 5. まったく取り組んでいない |              |

## IX 子ども・教育についてうかがいます。

問 28: あなたは、三鷹市の子どもは人権が守られていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 29: あなたは、三鷹市は子育て世帯が暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 30: あなたは、三鷹市は小学校・中学校の教育が充実していると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 31: あなたは、何らかの活動を通して三鷹市立の学校施設を利用していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |               |                |              |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. よく利用している   | 2. ときどき利用している  | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり利用していない | 5. まったく利用していない |              |

## X 市(市役所)についてうかがいます。

問 32: あなたは、オンラインサービス等のデジタル技術を活用した行政サービスの提供について満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                    |                   |              |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 満足している          | 2. どちらかといえば満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば満足していない | 5. 満足していない        |              |

問 33: あなたは、テレビや新聞、Web メディア、SNS などにより、三鷹の魅力の PR が十分に行われていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 34: あなたは、市民の意見が市政に反映されていると思いますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                   |                 |              |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う           | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない       |              |

問 35 あなたは、あなたが必要なときに必要な市の情報が得られていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

- |                    |                   |              |
|--------------------|-------------------|--------------|
| 1. 得られている          | 2. どちらかといえば得られている | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば得られていない | 5. 得られていない        |              |

### 個別のテーマに関する質問

#### XI あなたの日頃の防災意識や行動についてうかがいます。

問 36: あなたは日頃から地震など災害に対してどのような対策を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. 自宅の家具を固定している   |
| 2. 自宅の窓ガラスなどを割れにくい素材にしたり、フィルムシートを貼るなど飛散防止をしている                    |
| 3. 避難するときに携帯する非常用持出袋（1日分程度の食料・水・常備薬など）を用意している                     |
| 4. 発災後自宅でも最低3日間は生活できるよう、食料・水の備蓄をしている                              |
| 5. 上下水道に被害があっても使える、携帯トイレや簡易トイレを用意している                             |
| 6. 家族や親せきとの安否確認方法や連絡手段を決めている                                      |
| 7. 災害時に安全を確保するための避難場所（屋外のオープンスペース）を把握している                         |
| 8. 普段から食べている食品を少し多めに買い置きして、賞味期限が切れる前に食べ、それを買ひ足すという日常備蓄の考えを取り入れている |
| 9. その他（具体的に： _____）   |
| 10. 特に行っていない  |

#### XII あなたの環境に対する意識や行動についてうかがいます。

問 37: あなたは日頃からどのような環境に配慮した取り組みを行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

- |   |
|---|
| 1. エアコンの温度設定を夏は28℃、冬は20℃に調整している   |
| 2. 外出や通勤・通学時には、自転車や徒歩での移動を心がけている  |
| 3. 油のついた食器などは、拭き取ってから洗っている  |
| 4. 家電を買い替えるときは、省エネ性能の高いものを選んでいる   |
| 5. エコバッグを活用し、レジ袋はもらわないようにしている   |
| 6. シャンプーや調味料などは詰替え商品を購入し、容器を再利用している   |
| 7. 食品トレイ、紙パック、ペットボトルなどの店頭回収を利用している  |
| 8. 食品ロスを出さないように、食べ残しや消費期限切れに気を付けている   |
| 9. 生ごみはコンポストや生ごみ処理機で減量化している   |
| 10. 自宅でエアコンを使わないよう、図書館など公共施設に行き、クール・ウォームシェアをしている                                    |
| 11. 自宅に太陽光発電設備や高効率な給湯器などを設置している   |
| 12. 地域の環境活動（資源ごみ集団回収、清掃活動、花いっぱい運動など）に参加している   |
| 13. スーパーやコンビニ、飲食店、ホテル、クリーニング店などで、使い捨てのプラスチック使用製品（スプーンやフォーク、ブラシ、ハンガーなど）をもらわないようにしている |
| 14. 飲み物にはマイボトルを用意して、なるべく使い捨て容器に入った飲料を買わないようにしている                                    |
| 15. その他（具体的に： _____）  |
| 16. 特に行っていない  |

### X III あなたのライフ・ワーク・バランスについてうかがいます。

問38: あなたは、「生活と仕事の調和(ライフ・ワーク・バランス)」という言葉を見聞きしたことがありますか。  
あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

### X IV 男女平等に関するあなたのお考えについてうかがいます。

問39: あなたは、家庭における役割のうち、家事、育児、介護について、パートナーとの間でどのように分担することが望ましいと思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

|       | 主に女性が担う | どちらかといえば女性が担う | 男女が同じ程度 | どちらかといえば男性が担う | 主に男性が担う | 主にパートナー以外の家族が担う | 家族以外(民間・行政サービスを含む。)が担う | わからない |
|-------|---------|---------------|---------|---------------|---------|-----------------|------------------------|-------|
| (ア)家事 | 1       | 2             | 3       | 4             | 5       | 6               | 7                      | 8     |
| (イ)育児 | 1       | 2             | 3       | 4             | 5       | 6               | 7                      | 8     |
| (ウ)介護 | 1       | 2             | 3       | 4             | 5       | 6               | 7                      | 8     |

問 40: あなたは、次にあげる7つの分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目であてはまるもの1つを選び、番号に○印をつけてください。

|             | 女性の方が優遇されている | 女性の方がやや優遇されている | 平等になっている | 男性の方がやや優遇されている | 男性の方が優遇されている | わからない |
|-------------|--------------|----------------|----------|----------------|--------------|-------|
| (ア)家庭の中で    | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (イ)職場の中で    | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (ウ)学校教育の場で  | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (エ)社会生活の場で  | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (オ)政治の場で    | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (カ)法律や制度の上で | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |
| (キ)社会全体で    | 1            | 2              | 3        | 4              | 5            | 6     |

### X V あなたの子育て支援施策に対する意識についてうかがいます。

問 41: あなたは、三鷹市の子ども・子育て支援施策に満足していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※子ども・子育て支援の主な取り組み

- ・子ども・子育て基金の創出
- ・保育園待機児童者数 令和4年度ゼロ
- ・保育士等キャリアアップ、宿舍借り上げ助成の対象の拡充による保育従事者の働く環境の向上
- ・ゆりかご面接をはじめとした産前・産後サポート支援事業
- ・学童保育所待機児童の解消に向けた取り組み

- ・新たな子育て支援サイト・アプリの構築による情報発信、相談体制の強化など、子育て環境の整備
- ・子どものいる家庭に対する宅食・見守り支援事業

1. 満足している    2. まあ満足している    3. ふつう    4. やや不満    5. 不満

問 42: 今後、充実してほしい施策はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

1. 妊婦健診や出産費用、不妊治療などの妊産婦への経済的支援
2. 子育てに関する相談体制の強化
3. 親子ひろばや一時預かりの充実
4. 保育園、学童保育所の待機児童解消
5. 子育てと仕事の両立ができる職場づくり
6. 小・中一貫教育の充実
7. 奨学金制度などの経済的支援
8. 公園などの親子で遊べる場所の拡充
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
10. 特になし

## XVI あなたの健康に対する意識や行動についてうかがいます。

問 43: あなたはご自身の健康管理のために、年に1回は健康診断を受けていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 受けている    \_\_\_\_\_ →    **問 43-1**にお答えください
2. 受けていない    \_\_\_\_\_ →    **問 43-2**にお答えください

問 43-1: 問 43で「1. 受けている」と回答した方にうかがいます。どこで健康診断を受診していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 勤務先・通学先の健康診査で
2. 自主的に申し込んだ健康診査（人間ドックなど）で
3. 市が実施する健康診査（特定健康診査など）で
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 43-2: 問 43で「2. 受けていない」と回答した方にうかがいます。あなたが健康診断を受けないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 心身ともに健康に自信があるから
2. 受ける時間がないから
3. 現在治療中だから
4. 経済的な理由から
5. どうすれば受けられるかわからないから
6. 受けることに不安があるから
7. 心身の調子が悪くなったら受ければ良いと思うから
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
9. 特に理由はない

**XVII あなたのスポーツに対する意識や活動についてうかがいます。**

問 44: あなたは、この1年間でスポーツをどのくらい行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※「スポーツ」には、サッカー、野球等の競技スポーツだけでなく、健康・体力の保持増進を目的としたウォーキング、散歩(犬の散歩等を含む)、体操、ヨガ、太極拳等の軽い運動や野外活動としてのハイキングや登山、スキーなどを含みます。

|              |   |                     |
|--------------|---|---------------------|
| 1. 毎日        | } | 問 45にお進みください        |
| 2. 週3日以上     |   |                     |
| 3. 週に2日      |   |                     |
| 4. 週に1日      |   |                     |
| 5. 1か月に1～3日  | } | 問 44-2にお答えください      |
| 6. 3か月に1～2日  |   |                     |
| 7. 年に1～3日    |   |                     |
| 8. 1回も行っていない | → | 問 44-1、44-2にお答えください |

問 44-1: **問 44で「8. 1回も行っていない」と回答した方**にうかがいます。あなたがスポーツを行わないのはどのような理由からですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

|                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. 学校や仕事で忙しくて時間がない | 2. 子育てや介護、家事で忙しくて時間がない |
| 3. 健康に不安がある        | 4. 仲間がない               |
| 5. きっかけがない         | 6. 費用をかけたくない           |
| 7. 場所や施設がない        | 8. 必要な情報がない            |
| 9. その他(具体的に: )     | 10. 特に理由はない            |

問 44-2: **問 44で「5～8」と回答した方**にうかがいます。あなたは、どのような環境を整えば、週1回程度、スポーツをしたいと思いますか。**あてはまるものすべて**を選び、番号に○印をつけてください。

|   |
|---|
| 1. 個人で気軽にできるスポーツのメニューがあれば良い                     |
| 2. 家族や友人などと一緒に気軽にできるメニューがあれば良い                  |
| 3. 家や職場の近くにスポーツができる施設や場所があれば良い                  |
| 4. スポーツに関する情報(施設、場所、教室等)が簡単に手に入れば良い             |
| 5. 自分のしたいスポーツを技術的に教えてくれる指導者が身近にいれば良い            |
| 6. 自分に合ったスポーツのプログラムについてアドバイス・支援をしてくれる人が身近にいれば良い |
| 7. スポーツを通じた健康づくり・生活習慣病対策などについて医師等からアドバイスを貰えれば良い |
| 8. スポーツを行うことで、ポイントなどの「特典(ご褒美)」を貰うしくみがあれば良い      |
| 9. 特になし   |



**XVIII あなたの芸術・文化や生涯学習(スポーツを除く)に対する意識や活動についてうかがいます。**

問 45: あなたは、市内外を問わずこの1年間で、芸術・文化の鑑賞・体験をどのくらい行っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※「芸術・文化」は、音楽、演劇、舞踊、映画、アニメーション、マンガ、美術、芸能、文芸など様々な分野で、鑑賞、体験などをするにより、自分の興味や知的好奇心を高め、感動や生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものを想定しています。

|              |   |                 |
|--------------|---|-----------------|
| 1. 毎日        | } | 問 46 にお進みください   |
| 2. 週3日以上     |   |                 |
| 3. 週に2日      |   |                 |
| 4. 週に1日      |   |                 |
| 5. 1か月に1～3日  |   |                 |
| 6. 3か月に1～2日  |   |                 |
| 7. 年に1～3日    |   |                 |
| 8. 1回も行っていない | → | 問 45-1 にお答えください |

問 45-1: **問 45 で「8. 1回も行っていない」と回答した方**にうかがいます。あなたが芸術・文化の鑑賞・体験を行わないのはどのような理由からですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 学校や仕事で忙しくて時間がない  | 2. 子育てや介護、家事で忙しくて時間がない |
| 3. 健康に不安がある         | 4. 仲間がいない              |
| 5. きっかけがない          | 6. 費用をかけたくない           |
| 7. 場所や施設がない         | 8. 必要な情報がない            |
| 9. その他(具体的に: _____) | 10. 特に理由はない            |

問 46: あなたは、この1年間で何らかの生涯学習活動(スポーツを除く)をどのくらいの頻度で行いましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※「生涯学習」とは、人が生涯を通じて、各時期の興味や必要に応じて、自分の成長や生活の向上、社会のために自ら進んで行うさまざまな学習のことです。ボランティアや趣味の活動も含まれます。

|              |   |                 |
|--------------|---|-----------------|
| 1. 毎日        | } | 問 46-1 にお答えください |
| 2. 週3日以上     |   |                 |
| 3. 週に2日      |   |                 |
| 4. 週に1日      |   |                 |
| 5. 1か月に1～3日  |   |                 |
| 6. 3か月に1～2日  |   |                 |
| 7. 年に1～3日    |   |                 |
| 8. 1回も行っていない | → | 問 46-2 にお答えください |

問 46-1: **問 46 で「1～7(年1回は生涯学習活動を行った)」と回答した方**にうかがいます。あなたは生涯学習(スポーツを除く)の成果をどのように活かしていますか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

1. 仕事や就職活動で活かしている
2. 地域や社会での活動に活かしている(学習活動での指導、ボランティア活動など)
3. 家庭生活や日常生活に活かしている
4. 仲間づくりに活かしている
5. 自分の人生を豊かにしている
6. その他(具体的に )
7. 活かしていない

問 46-2: **問 46 で「8. 1回も行っていない」と回答した方**にうかがいます。あなたが生涯学習活動(スポーツを除く)を行わないのはどのような理由からですか。**あてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

1. 学校や仕事で忙しくて時間がない
2. 子育てや介護、家事で忙しくて時間がない
3. 健康に不安がある
4. 仲間がいない
5. きっかけがない
6. 費用をかけたくない
7. 場所や施設がない
8. 必要な情報がない
9. その他(具体的に : )
10. 特に理由はない

問 47: 今後あなたが行いたい、①芸術・文化の鑑賞・体験、②生涯学習活動の内容はどのようなものですか。**それぞれあてはまるものをすべて**選び、番号に○印をつけてください。

①芸術・文化の鑑賞・体験

1. コンサートホールやライブ会場での音楽鑑賞
2. 美術館での絵画鑑賞
3. 劇場などでの演劇、舞踊(ダンス)、ミュージカルの鑑賞
4. 映画館での映画鑑賞(アニメーション作品を除く)
5. 自宅以外でのアニメーション映画、メディアアート(コンピュータや映像を活用したアート)などの鑑賞・体験
6. 文学(文学者)展示の鑑賞
7. 能や歌舞伎などの伝統芸能鑑賞
8. 歴史的な建物や遺跡等の文化財の見学
9. 歴史・民俗系の博物館・資料館の見学
10. その他(具体に : )
11. 特になし

② 生涯学習活動

1. 趣味的なもの（音楽、美術、書道、華道、舞踊、園芸など）
2. 教養的なもの（歴史、文学、哲学など）
3. 科学に関すること（天文学、生物学、物理学、数学など）
4. 社会問題に関すること（社会・時事、国際、環境など）
5. 家庭生活に役立つ技術に関すること（料理、洋裁、収納整理など）
6. 育児や教育に関すること（家庭教育、幼児教育、教育問題など）
7. 語学（英語、中国語、ハンゲルなど）
8. デジタル技術の活用に関すること（パソコンやスマホの操作、SNS、新しいツールの活用など）
9. 地域の伝統文化・郷土史などに関すること
10. 国際交流、異文化交流に関すること
11. 仕事に役立つ知識・技能・資格の習得
12. ボランティア活動やそのために必要な知識・技術の習得（手話、点訳、介護など）
13. 読書・図書館活動
14. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )
15. 特になし

問 48: あなたは、この1年間で三鷹市立図書館をどのくらいの頻度で利用しましたか。あてはまるものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

※三鷹市立図書館は、三鷹図書館(本館)、三鷹駅前図書館、東部図書館、西部図書館、南部図書館、移動図書館ひまわり号のことをいいます。

- |  |                      |
|--|----------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 週3日以上</li> <li>2. 週に2日</li> <li>3. 週に1日</li> <li>4. 1か月に1～3日</li> <li>5. 3か月に1～2日</li> <li>6. 年に1～3日</li> <li>7. 1回も利用していない</li> </ol> | <p>問 49 にお進みください</p> |
| <p>→ 問 48-1 にお答えください</p>   |                      |

問 48-1: 問 48 で「7. (1回も利用していない)」と回答した方に伺います。あなたが三鷹市立図書館を利用しないのはどのような理由からですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。

1. 図書館サービスの拠点が近くにないため利用できない
2. 利用したい時間に開館していない
3. 読みたい本・雑誌が図書館に揃っていない
4. 読みたい本・雑誌などは自分で購入する
5. 情報収集はインターネットで行う
6. 市販の電子書籍を読んでいる
7. 育児・介護・病気・障がいなどのため外出しにくい
8. 本・雑誌などは読まない
9. 他に利用している図書館がある
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問 49: あなたが「三鷹市立図書館で充実する必要がある」と考える図書館サービスはどのようなものですか。

**あてはまるものをすべて選び、番号に○印をつけてください。**

1. 閲覧席（資料の閲覧や研究のために利用する席）の拡充
2. 自習室や予約制の学習室など閲覧席以外の席の拡充
3. 蔵書構成・蔵書冊数の充実
4. 電子書籍の拡充
5. 開館時間の延長
6. 開館日の増加
7. 読書相談や調べものの支援
8. 商用データベースサービスの充実
9. 世代・年代別サービスの充実
10. 児童向け等のイベントや交流イベントの開催
11. 講演会や講座の開催
12. 図書館サポーター活動などの支援・連携
13. 広報やホームページなどによる情報発信
14. Twitter・Instagram など SNS を活用した情報発信
15. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ ）
16. 特になし

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ(切手不要)、 11月4日(金)までに ご投函ください。

---

第5次三鷹市基本計画策定に向けた  
市民満足度調査報告書

令和5年3月発行

発行 三鷹市  
編集 三鷹市企画部企画経営課  
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号  
電話 0422-45-1151(代表)